中小企業省力化投資補助事業

製品カテゴリ

令和８年３月２６日

独立行政法人 中小企業基盤整備機構

1．主に非製造業を対象とした製品カテゴリ

No.	製品カテゴリ名	製品登録数	対象業種	対象業務領域	頁番号
	清掃・配膳ロボット、バックヤード業務サポート				
1-1-1	清掃ロボット	12	飲食サービス業、宿泊業、製造業、卸売業、小売業、その他の事業サービス業、娯楽業、生活関連サービス業、倉庫業、建設業、介護業	清掃業務	12
1-1-2	配膳ロボット	3	飲食サービス業、宿泊業、製造業、卸売業、介護業	配膳業務、搬送業務	14
1-1-3	飲料補充ロボット	1	小売業	飲料補充業務	16
	店舗・施設向けセルフ対応型機器				
1-2-1	券売機	84	飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業	注文受付、請求・支払、顧客対応	18
1-2-2	自動精算機	26	飲食サービス業、小売業、生活関連サービス業、娯楽業、専門・技術サービス業	注文受付、請求・支払、顧客対応	20
1-2-3	自動チェックイン機	10	宿泊業	受付案内、予約管理、請求・支払、顧客対応	22
	店舗・施設向けバックヤード業務サポート				
1-3-1	入出金機	1	小売業、宿泊業、飲食サービス業、金融業	精算管理	24
	厨房サポート				
1-4-1	スチームコンベクションオーブン(プログラム機能付き調理器具)	174	宿泊業、飲食サービス業、小売業、製造業	調理、加工・生産	26
1-4-2	自動フライヤー	30	宿泊業、飲食サービス業、小売業、製造業	調理、加工・生産	28
1-4-3	コンベアオーブン	30	飲食サービス業、宿泊業、小売業、製造業	調理、加工・生産	30
1-4-4	両面焼きグリドル	1	飲食サービス業、小売業	調理	32
1-4-5	業務用自動食器類洗浄機	37	飲食サービス業、宿泊業、製造業、小売業	洗浄・除去	34
1-4-6	飲料ディスペンサー／とろみ給茶機	2	飲食サービス業、宿泊業、小売業、介護業	飲食調整・提供	36
1-4-7	再加熱キャビネット／カート	5	宿泊業、飲食サービス業、製造業、小売業、介護業	調理、加工・生産	38
1-4-8	ドゥコンディショナー	0	小売業、卸売業、飲食サービス業、宿泊業、製造業	調理、加工・生産	40
1-4-9	解凍機	0	小売業、飲食サービス業、製造業、宿泊業	保管・在庫管理、調理、加工・生産	42

目次

No.	製品カテゴリ名	製品登録数	対象業種	対象業務領域	頁番号
	燃料補給等サービスシステム				
1-5-1	タブレット型給油許可システム	15	小売業	給油	44
1-5-2	石油燃料容量遠隔監視システム	0	小売業	保管・在庫管理、入出庫、運送・運搬	46
	自動車整備				
1-6-1	自動調色システム	7	サービス業（他に分類されないもの）、小売業	アフターサービス	48
1-6-2	自動車向け溶接機（スポット溶接機）	19	自動車整備業	整備・修理	50
1-6-3	自動車向け溶接機（パルス制御溶接機）	0	自動車整備業	整備・修理	52
1-6-4	自動車向け塗装ブース	1	自動車整備業、小売業	整備・修理	54
1-6-5	自動車両洗浄機	5	運輸業、小売業、製造業、自動車整備業、廃棄物処理業、物品賃貸業	洗車・洗浄	56
1-6-6	自動車用全自動フロンガス回収・充填装置	6	自動車整備業、小売業	整備・修理	58
	美容機器				
1-7-1	美容ライト脱毛機器	8	生活関連サービス業	施術	60
1-7-2	美容トリートメント機器	11	生活関連サービス業	施術	62
1-7-3	自動シャンプー（洗髪）機器	0	生活関連サービス業	施術	64
	店舗・施設向け販売情報表示支援システム				
1-8-1	電子棚札システム	6	小売業	保管・在庫管理	66
	店舗・施設向けデジタル映像システム				
1-9-1	デジタル映写システム（デジタルシネマプロジェクター・デジタルシネマサーバー）	18	娯楽業、映像・音声・文字情報制作業	上映・試写	68
	交通誘導システム				
1-10-1	映像解析ＡＩによる交通誘導システム	0	その他の事業サービス業、建設業	交通誘導	70

2．非製造業・製造業を対象とした製品カテゴリ

No.	製品カテゴリ名	製品登録数	対象業種	対象業務領域	頁番号
	食品機械				
2-1-1	食品包覆機（食品包あん機、餃子成型機等）	20	製造業、小売業、飲食サービス業、宿泊業、卸売業	加工・生産、調理	73
2-1-2	食品スライサ・カッタ	53	製造業、卸売業、小売業、飲食サービス業、宿泊業	加工・生産、調理	75
2-1-3	パン等発酵生地の分割・まるめ機	5	製造業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業	加工・生産、調理	77
2-1-4	小型豆乳プラント（グラインダー・煮釜・絞り機一体タイプ）	4	製造業、小売業、飲食サービス業	加工・生産、調理	79
2-1-5	食品切断・分離・除去機（ヘッダー、ガッター、オートシェラー、芯取り機等）	1	製造業、卸売業、小売業、飲食サービス業	加工・生産、調理	81
2-1-6	食料品加熱撹拌機	0	製造業、卸売業、小売業、飲食サービス業、宿泊業	加工・生産、調理	83
2-1-7	食品（粉粒体含む）自動開封機	0	製造業、卸売業、小売業、飲食サービス業	加工・生産、調理	85
	物流システム機器				
2-2-1	無人搬送車（AGV・AMR）	41	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、加工・生産、検査、保管・在庫管理、入出庫	87
2-2-2	検品・仕分システム	6	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、加工・生産、検査、保管・在庫管理、入出庫	89
2-2-3	自動倉庫	19	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	保管・在庫管理、入出庫	91
2-2-4	ピッキングカートシステム	7	製造業、倉庫業、卸売業、小売業、運輸業	保管・在庫管理、入出庫	93
2-2-5	ラックシステム（垂直回転ラック）	3	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、保管・在庫管理、入出庫	95
2-2-6	ラックシステム（移動ラック）	7	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、保管・在庫管理、入出庫	97
2-2-7	ラックシステム（流動ラック）	2	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、保管・在庫管理、入出庫	99
2-2-8	垂直搬送機（貨物専用）	10	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、加工・生産、入出庫	101
2-2-9	デジタルピッキングシステム	8	製造業、倉庫業、卸売業、小売業、運輸業	保管・在庫管理、入出庫	103
2-2-10	パレタイズロボット	42	製造業、倉庫業、卸売業	入出庫、加工・生産、梱包・加工	105

No.	製品カテゴリ名	製品登録数	対象業種	対象業務領域	頁番号
2-2-11	無人フォークリフト（ＡＧＦ）	1	製造業、建設業、倉庫業、卸売業	入出庫、出荷、施工	107
2-2-12	バラ積みピッキングロボットシステム	0	製造業	加工・生産	109
2-2-13	物流用ドローン	0	運輸業、製造業、建設業、飲食サービス業、倉庫業、小売業	運送・運搬、搬送業務	111
	印刷機械、紙加工関連機械				
2-3-1	デジタル紙面色校正装置（グラビア・紙器パッケージ用デジタルプルーフ）	0	印刷・同関連業	印刷	113
2-3-2	印刷用紙高積装置	12	印刷・同関連業	印刷	115
2-3-3	印刷用インキ自動計量装置	9	印刷・同関連業	印刷	117
2-3-4	産業用枚葉デジタル印刷機	89	印刷・同関連業	印刷	119
2-3-5	印刷用紙反転機	11	印刷・同関連業	印刷	121
2-3-6	自動紙折機	15	印刷・同関連業	印刷	123
2-3-7	印刷物インサーター	9	印刷・同関連業、製造業、倉庫業、卸売業、小売業、情報サービス業	印刷、加工・生産、梱包・加工、販売・納品、出荷	125
2-3-8	トムソン加工自動カス取り装置	11	製造業、印刷・同関連業	加工・生産、印刷	127
2-3-9	丁合機	37	製造業、倉庫業、卸売業，小売業、その他の事業サービス業	加工・生産、梱包・加工、出荷、販売・納品	129
2-3-10	デジタル加飾機	3	製造業	加工・生産	131
2-3-11	印刷紙面検査装置	58	製造業	検査	133
2-3-12	段ボール製箱機	10	製造業、小売業、卸売業、倉庫業	加工・生産	135
2-3-13	産業用デジタルラベル印刷機	9	印刷・同関連業	印刷	137
2-3-14	産業用小ロット印刷対応デジタル印刷機（フラットベッドタイプ/ロールタイプ）	86	印刷・同関連業、製造業、その他の事業サービス業、広告業、建設業、 映像・音声・文字情報制作業	印刷、加工・生産	139
2-3-15	用紙（シート）積み下ろし装置	7	印刷・同関連業、製造業、卸売業、小売業	加工・生産	141

No.	製品カテゴリ名	製品登録数	対象業種	対象業務領域	頁番号
2-3-16	産業用カッティングプロッター	18	印刷・同関連業、製造業	印刷、加工・生産	143
2-3-17	平面・曲面印刷機（パッド印刷機/ホットスタンプ印刷機）	16	製造業、卸売業、小売業、印刷・同関連業	加工・生産、印刷	145
2-3-18	産業用自動ラミネーター機	18	印刷・同関連業、製造業	加工・生産、印刷	147
2-3-19	面板加工機	3	製造業、印刷・同関連業	印刷、加工・生産	149
2-3-20	段ボール箱糊付け機	0	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、出荷	151
2-3-21	段ボール箱製函機	2	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、出荷	153
2-3-22	重ね切り対応三方断裁機	6	印刷・同関連業	印刷	155
2-3-23	製本冊子断裁寸法検査装置	3	印刷・同関連業	検査	157
2-3-24	ＤＴＦプリンターシステム	0	印刷・同関連業、製造業	印刷、加工・生産	159
2-3-25	カッタークリーサー（多機能自動断裁筋押し加工機）	4	印刷・同関連業、卸売業、小売業、広告業、生活関連サービス業、娯楽業、飲食サービス業	印刷、加工・生産	161
2-3-26	組立函自動製函機	6	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、出荷	163
2-3-27	乱丁防止検査装置	4	印刷・同関連業、倉庫業、小売業、製造業	検査	165
2-3-28	段ボール用デジタルインクジェット印刷機	0	印刷・同関連業、製造業	印刷、加工・生産	167
	廃棄物分離回収				
2-4-1	近赤外線センサ式プラスチック材質選別機	1	製造業、廃棄物処理業、卸売業	分別業務	169
2-4-2	缶・ビン選別圧縮機	0	廃棄物処理業、製造業、卸売業	分別業務	171
2-4-3	異素材の複合廃棄物破砕分離装置	0	廃棄物処理業、卸売業、製造業	分別業務	173
	荷移動・運搬サポート				
2-5-1	バランサ装置	38	鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業、運輸業、倉庫業、卸売業、小売業、物品賃貸業、廃棄物処理業	搬送業務、加工・生産、入出庫、梱包・加工、施工、施設管理、処理業務	175
2-5-2	バッテリー式階段運搬台車	1	建設業、小売業、運輸業	施工、運送・運搬	177

No.	製品カテゴリ名	製品登録数	対象業種	対象業務領域	頁番号
	ラベル貼り付け				
2-6-1	オートラベラー	24	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、梱包・加工、保管・在庫管理	179
	測量機器				
2-7-1	測量機（自動視準・自動追尾機能付き高機能トータルステーション）	35	建設業、専門・技術サービス業	調査・測量、施工、検査	181
2-7-2	地上型3Dレーザースキャナー	17	建設業、専門・技術サービス業	調査・測量、施工、検査	183
2-7-3	ＧＮＳＳ測量機（ＲＴＫ）	31	建設業、専門・技術サービス業	調査・測量、施工、検査	185
	高機能建設機械				
2-8-1	マシンコントロール・マシンガイダンス機能付ショベル	21	建設業	施工	187
2-8-2	チルトローテータ付ショベル	10	建設業	施工	189
2-8-3	ウォータージェットはつりロボット	0	建設業	施工、解体・撤去	191
2-8-4	ICT締固め管理機能付き道路機械	0	建設業	施工	193
	解体機				
2-9-1	シンダーコンクリート解体機	4	建設業	施工、解体・撤去	195
	建設現場作業				
2-10-1	建設現場作業ロボット（鉄筋組立作業ロボット）	1	建設業	施工	197
2-10-2	鉄筋自動曲装置	1	建設業	加工・生産	199
	製造業・整備業等向けバックヤード業務サポート				
2-11-1	物品貸出管理機	2	製造業、卸売業、小売業	保管・在庫管理	201
	労働負担軽減デバイス				
2-12-1	パワーアシストスーツ	2	建設業、運輸業、製造業、倉庫業	運送・運搬、入出庫	203
	伝票処理・検品支援システム				
2-13-1	仕分検印機能付きシートリーダー	8	製造業、運輸業、倉庫業、小売業、卸売業	文書・帳票管理	205
2-13-2	RFIDによる一括読み取りシステム	2	倉庫業、製造業、小売業、建設業、物品賃貸業、生活関連サービス業	入出庫、保管・在庫管理	207
	包装機器・包装関連機器				
2-14-1	シュリンクフィルム収縮装置	1	製造業、運輸業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、梱包・加工	209

3．主に製造業を対象とした製品カテゴリ（主に加工・生産・検査）

No.	製品カテゴリ名	製品登録数	対象業種	対象業務領域	頁番号
	プレス・板金加工用機器				
3-1-1	一本バー搬送ロボット	2	製造業	加工・生産	212
3-1-2	プレス用多関節ロボット	4	製造業	加工・生産	214
3-1-3	鍛圧・板金加工用バリ取り装置	40	製造業	加工・生産	216
3-1-4	パイプベンダー用投入・排出ロボット	0	製造業	加工・生産	218
3-1-5	板金機械用材料シート自動搬入・搬出装置	14	製造業	加工・生産	220
3-1-6	プレスブレーキ用金型自動交換装置	6	製造業	加工・生産	222
3-1-7	コイルライン	50	製造業	加工・生産	224
3-1-8	プレス間搬送ロボット	8	製造業	加工・生産	226
3-1-9	金属加工製品用洗浄装置	5	製造業	加工・生産	228
3-1-10	プレス機械用トランスファ装置	0	製造業	加工・生産	230
3-1-11	テーブル式スポット溶接機	12	製造業	加工・生産	232
3-1-12	クリンチングファスナー圧入機	1	製造業	加工・生産	234
3-1-13	精密板金向けTIG溶接協働ロボットシステム	2	製造業	加工・生産	236
3-1-14	プレスブレーキ用ロボットシステム	1	製造業	加工・生産	238
3-1-15	金型・大型部材用反転機	20	製造業	加工・生産	240
3-1-16	プレスブレーキ用金型交換サポート装置	3	製造業	加工・生産	242

No.	製品カテゴリ名	製品登録数	対象業種	対象業務領域	頁番号
	鋳造用機器				
3-2-1	鋳物用自動バリ取り装置	18	製造業	加工・生産	244
3-2-2	鋳造用自動注湯機	0	製造業	加工・生産	246
3-2-3	鋳造用ブラスト装置	5	製造業	加工・生産	248
3-2-4	鋳造用自動駆動ミキサー（グリッド造型システム）	1	製造業	加工・生産	250
3-2-5	鋳造用砂性状自動測定装置	3	製造業	加工・生産	252
3-2-6	鋳造用反転装置	0	製造業	加工・生産	254
	非破壊検査装置				
3-3-1	インライン非破壊検査装置（内部不良検査）	4	製造業・卸売業	検査	256
3-3-2	インライン非破壊検査装置（外部不良検査）	4	製造業・卸売業	検査	258
	工作機械				
3-4-1	5軸制御マシニングセンタ	38	製造業	加工・生産	260
3-4-2	複合加工機	68	製造業	加工・生産	262
3-4-3	ツールプリセッター	29	製造業	加工・生産	264
3-4-4	NC細穴放電加工機	5	製造業	加工・生産	266
3-4-5	木材加工用5軸マシニングセンタ	2	製造業	加工・生産	268
3-4-6	CNC複合研削盤	4	製造業	加工・生産	270
3-4-7	4軸制御マシニングセンタ	25	製造業	加工・生産	272
3-4-8	ワイヤ自動供給付ワイヤ放電加工機	47	製造業	加工・生産	274
3-4-9	木材用高周波接着機	10	製造業	加工・生産	276
3-4-10	全自動CNC工具研削盤	9	製造業	加工・生産	278

No.	製品カテゴリ名	製品登録数	対象業種	対象業務領域	頁番号
3-4-11	キー溝加工機	14	製造業	加工・生産	280
3-4-12	機上計測装置付平面研削盤	1	製造業	加工・生産	282
3-4-13	ローダ付きNC旋盤	50	製造業	加工・生産	284
3-4-14	鏡面仕上げ加工機	2	製造業	加工・生産	286
3-4-15	電極自動交換装置付き形彫放電加工機	12	製造業	加工・生産	288
3-4-16	多軸自動旋盤	4	製造業	加工・生産	290
3-4-17	カメラ位置決め機能付き板金レーザ加工機	0	製造業	加工・生産	292
3-4-18	帯鋸用自動歪み取り機	2	製造業	加工・生産	294
3-4-19	切削粉塵飛散防止機能付きNCルータ	0	製造業	加工・生産	296
3-4-20	自動ダボ穴加工機	0	製造業	加工・生産	298
3-4-21	自動ワーク交換装置付3軸マシニングセンタ	0	製造業	加工・生産	300
3-4-22	合板積込装置	0	製造業	加工・生産	302
3-4-23	木材加工用自動四面かんな盤	0	製造業	加工・生産	304
3-4-24	パレットチェンジャー付3軸マシニングセンタ	0	製造業	加工・生産	306
	プラスチック機械				
3-5-1	原材料自動計量混合搬送装置	22	製造業	加工・生産	308
3-5-2	プラスチック成形機部品洗浄装置（洗浄液式）	5	製造業	加工・生産	310
3-5-3	後工程自動化機能付成形品取出しロボット	2	製造業	加工・生産	312
3-5-4	金型・温調機器水管洗浄機	1	製造業	加工・生産	314
	表面処理				
3-6-1	蛍光Ｘ線膜厚測定器	11	製造業	検査	316

No.	製品カテゴリ名	製品登録数	対象業種	対象業務領域	頁番号
	縫製機械				
3-7-1	自動裁断機	67	製造業	加工・生産	318
3-7-2	自動つま先縫製機能付き丸編み靴下編機	7	製造業	加工、生産	320
	精密測定・品質管理機器				
3-8-1	CNC三次元測定機	51	製造業	検査	322
3-8-2	自動画像測定機	20	製造業	検査	324
3-8-3	トラック積載容量計測システム	1	廃棄物処理業、建設業、製造業、倉庫業、卸売業	計測・分析	326
	溶接ロボット				
3-9-1	ハンディファイバーレーザ溶接機用協働ロボットシステム	2	製造業	加工・生産	328
3-9-2	アーク溶接ロボット	2	製造業	加工・生産	330
3-9-3	デジタルアーク溶接機	6	製造業	加工・生産	332
	AM（Additive　Manufacturing：付加製造）機器				
3-10-1	3Dプリンタ（AM）	3	製造業、建設業、専門・技術サービス業	加工・生産、設計	334
	配線加工・電装組立装置				
3-11-1	ワイヤーハーネス製造装置	2	製造業	加工・生産	336
	ガス精製・供給装置				
3-12-1	窒素ガス精製ユニット	14	製造業	加工・生産	338
	計測・分析機器				
3-13-1	自動分析計測機器	0	製造業	計測・分析	340

製品カテゴリ　総件数	164
製品登録　総件数	2,127

1

主に非製造業を対象とした製品カテゴリ

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-1-1	清掃ロボット	12件	飲食サービス業、宿泊業、製造業、卸売業、小売業、 その他の事業サービス業、娯楽業、生活関連サービス業、倉庫業、建設業、介護業	清掃業務

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

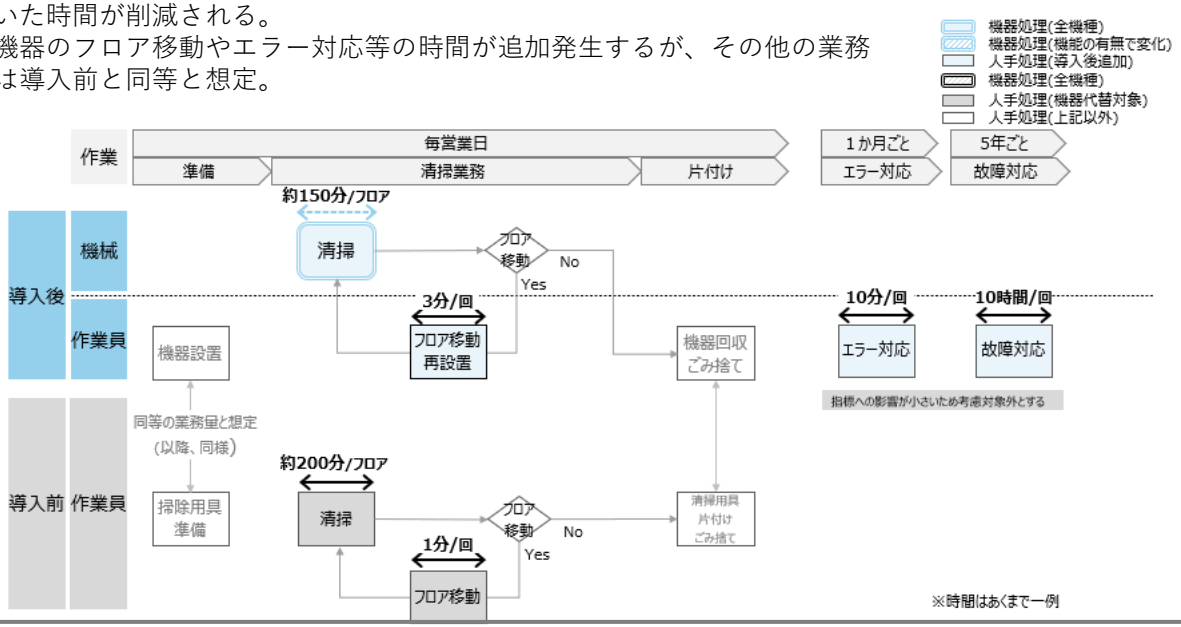
- 清掃員が作業していた清掃業務を自動で動く清掃ロボットが担います。
- 人や障害物を避けながら、廊下やロビーなどの床面を清掃をすることが可能です。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

店舗・施設に清掃ロボットを導入することにより、清掃業務にかかっていた時間が削減される。
機器のフロア移動やエラー対応等の時間が追加発生するが、その他の業務は導入前と同等と想定。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-1-1	清掃ロボット	12件	飲食サービス業、宿泊業、製造業、卸売業、小売業、 その他の事業サービス業、娯楽業、生活関連サービス業、倉庫業、建設業、介護業	清掃業務

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

自律走行で床を清掃（湿式、乾式等）するロボット。各種センサにより、人や障害物を回避しながら清掃可能。

主に利用が想定される中小企業

主に宿泊業、飲食サービス業などの清掃業務が発生し、従業員による清掃作業を行っていた事業者。

省力化効果

人手により実施している清掃業務を清掃ロボットが代替することにより、清掃業務の省力化が期待できる。具体的には、例えば、導入前に要していた廊下やロビーの清掃にかかる業務が、当該製品カテゴリの導入により大幅に機器に置き換わり、当該業務の人手による作業を削減できるため、大きな省力化効果が見込める。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

- 掃除機での清掃と比べて、大幅にコスト削減効果を得られた事例も。

（製品イメージ）（例）

©IRIS OHYAMA／SoftBank Robotics

※無断転載を禁ず

※上記写真は市販製品の一例（乾式清掃ロボット）であり、今後、メーカー等からの申請によりカタログに掲載される製品が決定・公開されます。
※本資料で示す業務プロセスや事例・効果の例は、上記製品以外の市販製品を含む一般的な例としてお示しするものです。

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-1-2	配膳ロボット	3件	飲食サービス業、宿泊業、製造業、卸売業、介護業	配膳業務、搬送業務

2026年3月23日時点

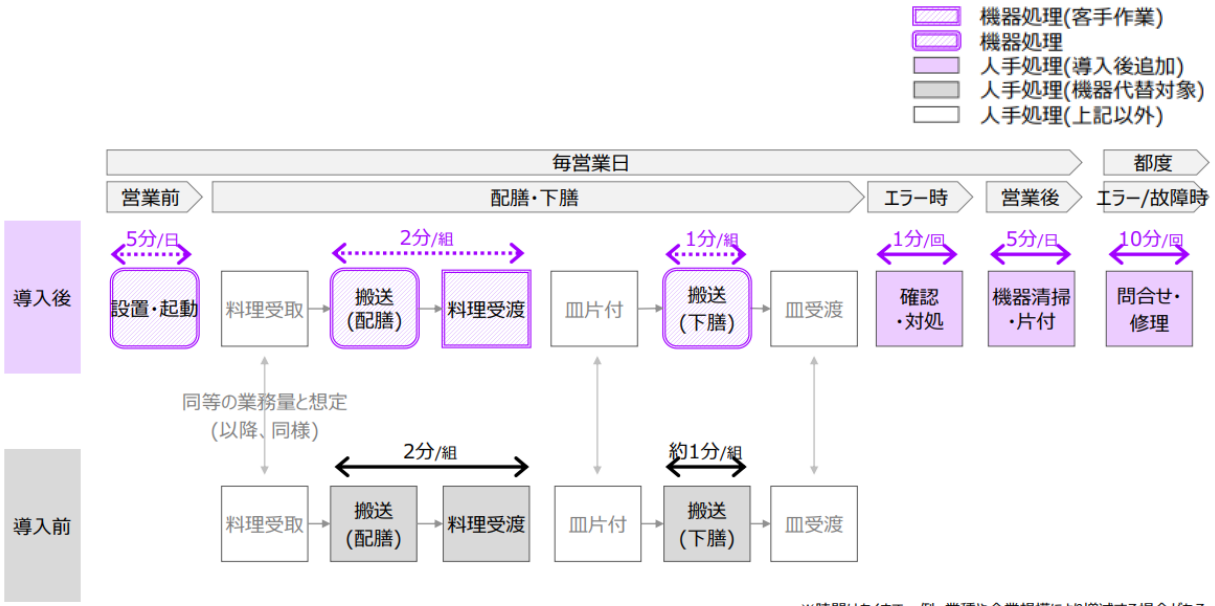
例えばこんな場面で、

- 飲食店等では、店員が行っていた配膳や下げ膳を自動配膳ロボットが担います。
- 工場や物流倉庫では、従業員が行っていた部品などの搬送を担います。
- 人や障害物を自律的に避けながら、トレーに乗せて運びます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）



※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-1-2	配膳ロボット	3件	飲食サービス業、宿泊業、製造業、卸売業、介護業	配膳業務、搬送業務

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

各種センサにより人や障害物を回避しながら自律走行により料理や飲み物等（工場や物流倉庫では、物資・部品や梱包物等）を人に代わって配膳するロボット。

主に利用が想定される中小企業

店舗や工場等での配膳業務や搬送業務を人手により行っていた事業者。

省力化効果

人手により実施している配膳業務や搬送業務を配膳ロボットが代替することにより、配膳業務の省力化が期待できる。具体的には、例えば、導入前に要していた配膳・下膳、搬送にかかる業務が、当該製品カテゴリの導入により大幅に機器に置き換わり、当該業務は人手による作業を削減できるため、大きな省力化効果が見込める。

価格と導入費用（目安）

数十～数百万円程度で導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

- 例えば、飲食店ではテーブルの片づけが終わらずに客が入れない場合があるが、配膳ロボットを導入することで従業員がテーブルの片づけ作業に注力できる場合も。
- 工場では、工程間の部品や工具、完成品の運搬などを配膳ロボットが代替することにより、従業員は製造工程での作業に注力できる。

（製品イメージ）（例）

（SOCIAL ROBOTICS株式会社）

※無断転載を禁ず

※上記写真は市販製品の一例であり、今後、メーカー等からの申請によりカタログに掲載される製品が決定・公開されます。
※本資料で示す業務プロセスや事例・効果の例は、上記製品以外の市販製品を含む一般的な例としてお示しするものです。

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-1-3	飲料補充ロボ	1件	小売業	飲料補充業務

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

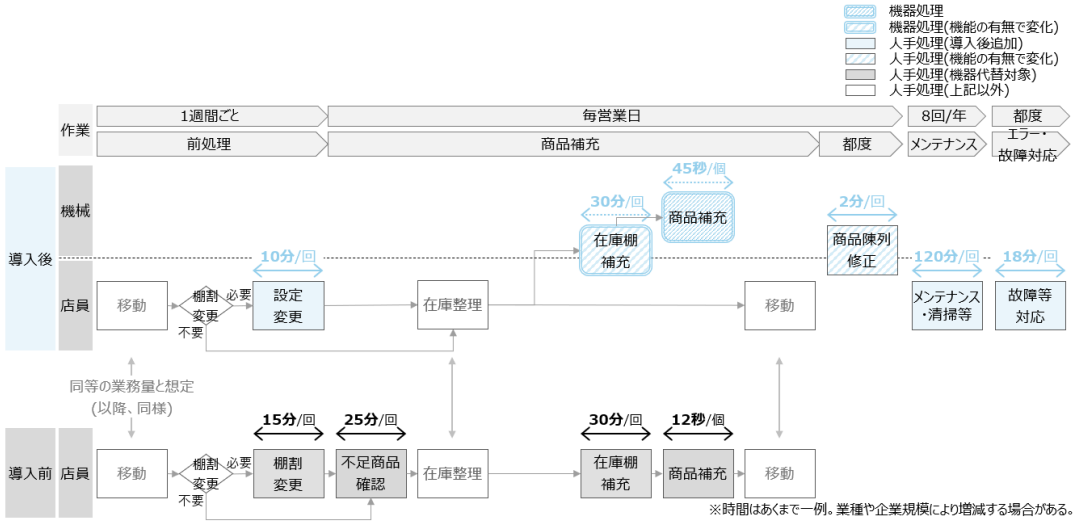
- 小売店舗のバックヤードにおける商品棚への飲料補充業務を機器が代替することで、大幅な省力化効果が見込めます。
- バックヤード業務をロボットが行うことで、人は接客業務に注力することができます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた飲料陳列業務に機器を導入することで、業務量の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-1-3	飲料補充ロボ	1件	小売業	飲料補充業務

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

小売店舗のバックヤードにおける商品棚への飲料補充業務を行うロボット。

主に利用が想定される中小企業

バックヤードにおいて商品棚への飲料補充業務を行う事業者。

省力化効果

小売店舗のバックヤードにおける商品棚への飲料補充業務を機器が代替することで、大幅な省力化効果が見込める。また、商品棚への商品補充だけでなく、倉庫から補充棚への陳列も同時に行える製品もあり、より大きな省力化効果が見込める。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

- 様々なサイズの飲料陳列を自動で行うことができ、限られた人材を接客等の他業務に集中させることできる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-2-1	券売機	84件	飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業	注文受付、請求・支払、顧客対応

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 飲食店において、従業員が事前オーダー方式でお客様の注文を受け付けていたところ、券売機で自動化が可能です。
- さらに、キャッシュカウント機能を具備していれば、売上計上作業や売上金と釣銭準備金を分けるなどの経理業務が不要に。

置き換えが可能となる機能・性能

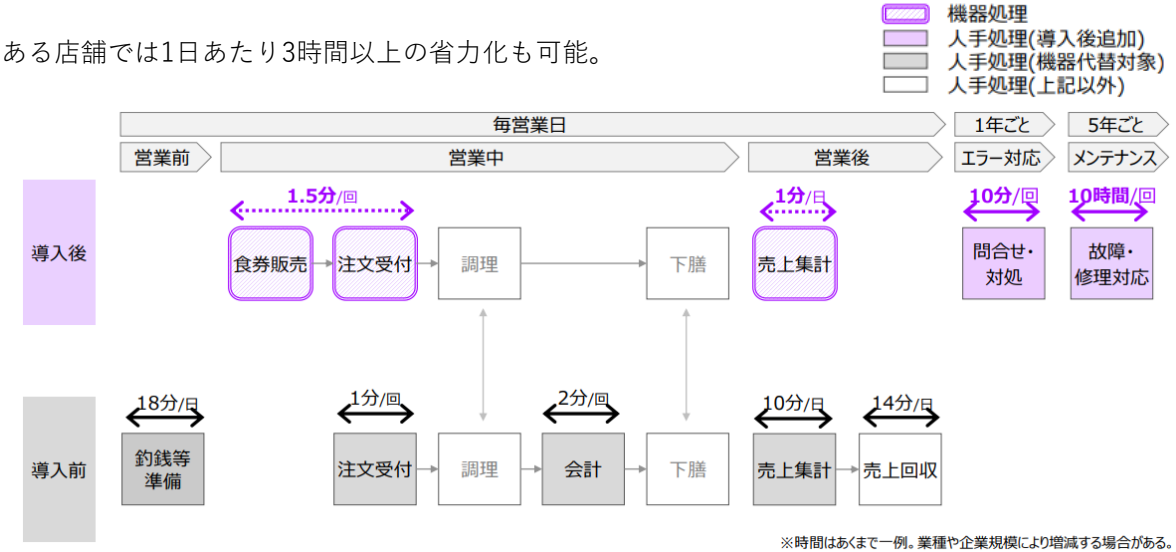
- 多言語対応機能
- キャッシュレス決裁機能
- 厨房との連携機能（モニター連携機能・キッチンプリンタ等）

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

ある店舗では1日あたり3時間以上の省力化も可能。



※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-2-1	券売機	84件	飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業	注文受付、請求・支払、顧客対応

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

注文受付、券類の発行、支払・決済業務を自動的に行う製品。

主に利用が想定される中小企業

主に従業員による事前オーダー方式で注文を受け付けていた飲食店等の事業者。

省力化効果

従来の従業員による事前オーダー方式ではなく、チケット（食券）販売機で無人化対応することで効率化を図り、店舗全体の生産性向上に貢献することができる。
さらに、キャッシュレス会計に対応することで、お客様（インバウンド向けに言語対応済）へのサービス向上と企業での金銭管理に要する業務の省力化に大きく貢献。

価格と導入費用（目安）

数十万～数百万円程度で導入可能。設置費用は数万～数十万円程度。
初期設定を行えばすぐに稼働ができる。

活用事例・ポイント

- 一例として、１店舗当たり１日３時間以上の業務が削減された事例も。また、呼び出しシステムの採用により配膳と下げ膳をセルフにした場合は、1店舗当たり５時間以上の業務が削減された事例も。
- 現金の取り出しが困難になることでセキュリティが強化され、現金不正の可能性を減らすことで従業員が疑われるような機会を減らし、職場環境が改善されるケースも。
- 外国語対応であれば旅行客への対応の負担も減少。

（製品イメージ）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-2-2	自動精算機	26件	飲食サービス業、小売業、生活関連サービス業、娯楽業、専門・技術サービス業	注文受付、請求・支払、顧客対応

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 飲食店や小売店において、店員が対面で商品登録、決済処理を行っていたところ、自動精算機の導入により会計処理にかかる時間が削減されます。
- 会計処理以外にも、例えば、オープン前の現金管理、レジ点検、閉店時の売上金の回収などの業務が削減されます。

置き換えが可能となる機能・性能

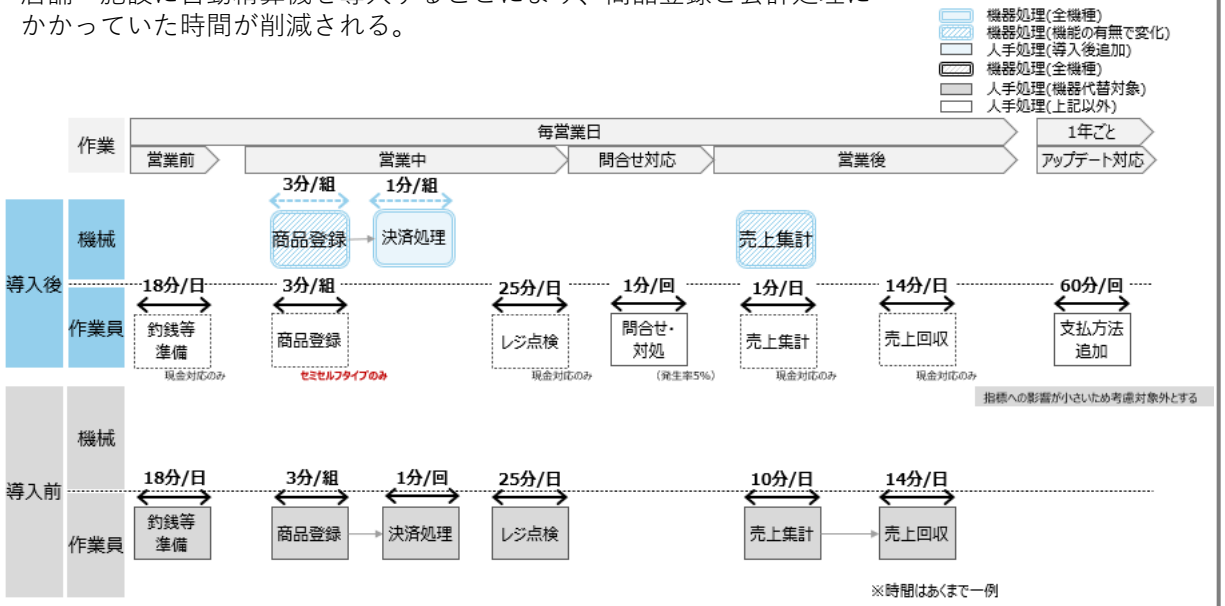
- 多言語対応機能
- 精算情報外部連携機能
- キャッシュレス決済機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

店舗・施設に自動精算機を導入することにより、商品登録と会計処理にかかっていた時間が削減される。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-2-2	自動精算機	26件	飲食サービス業、小売業、生活関連サービス業、娯楽業、専門・技術サービス業	注文受付、請求・支払、顧客対応

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

主に商品販売時及びサービス提供時における支払・精算対応又はつり銭等現金の受け渡しを自動的に行う製品。

■対象製品

「注文・精算機/フルセルフレジ」：商品登録または注文、および決済処理を購入者が行う製品。

「セミセルフレジ」：商品登録は店舗スタッフ、決済処理は購入者が行う製品。

※セミセルフレジは分離型のみ対象。
　対面型（一体型）のセミセルフレジは対象外。

主に利用が想定される中小企業

対面による精算業務を行っていた飲食サービス業、小売業等の事業者。

省力化効果

従来は対面による精算業務を行っていたところ、自動精算機を導入することによって精算業務を自動化。
また、つり銭の準備、締め処理について、金銭の確認に時間を要していたところ、精算機導入によって、時間短縮が可能に。
具体的には、導入前に要していた商品登録、決済処理にかかる業務、もしくは決済処理にかかる業務のみが、当該製品カテゴリの導入により完全に機器に置き換わり、当該業務は人手による作業が不要となるため、省力化効果が見込める。

価格と導入費用（目安）

数十万～数百万円程度で導入可能。設置費用は数万～数十万円程度。初期設定を行えばすぐに稼働ができる。

活用事例・ポイント

- 手動による現金の取り扱いが減るため、ヒューマンエラーによる過不足金の計算がなくなる。
- 入出金のデータの蓄積により、準備金の圧縮が可能に。
- 現金の取扱にかかる教育時間が、一例として月あたり5時間から3時間に削減。

対象製品

注文・精算機　フルセルフレジ　セミセルフレジ 分離型

対象外製品

セミセルフレジ 対面型（一体型）

対面型（一体型）セミセルフレジは、購入者が決済処理を完了するまで、次の購入者の商品登録を行うことが出来ず、省力化指標が規定に達しないため対象外。

フルセルフレジを対面型（一体型）のセミセルフレジとして使用する場合も対象外。

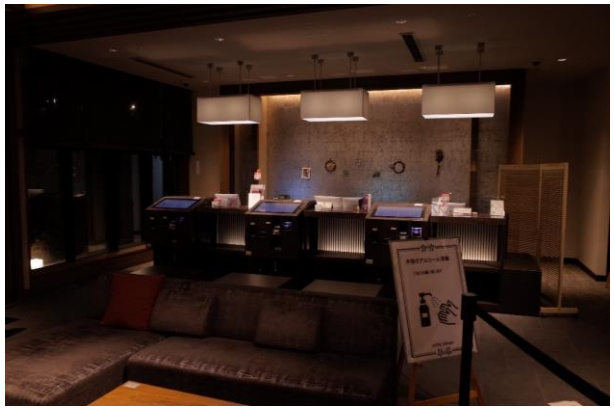
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-2-3	自動チェックイン機	10件	宿泊業	受付案内、予約管理、請求・支払、顧客対応

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 旅館やホテルにおいて、チェックインのフロント業務が自動化。
- 集中するチェックイン時間帯の混雑を軽減。

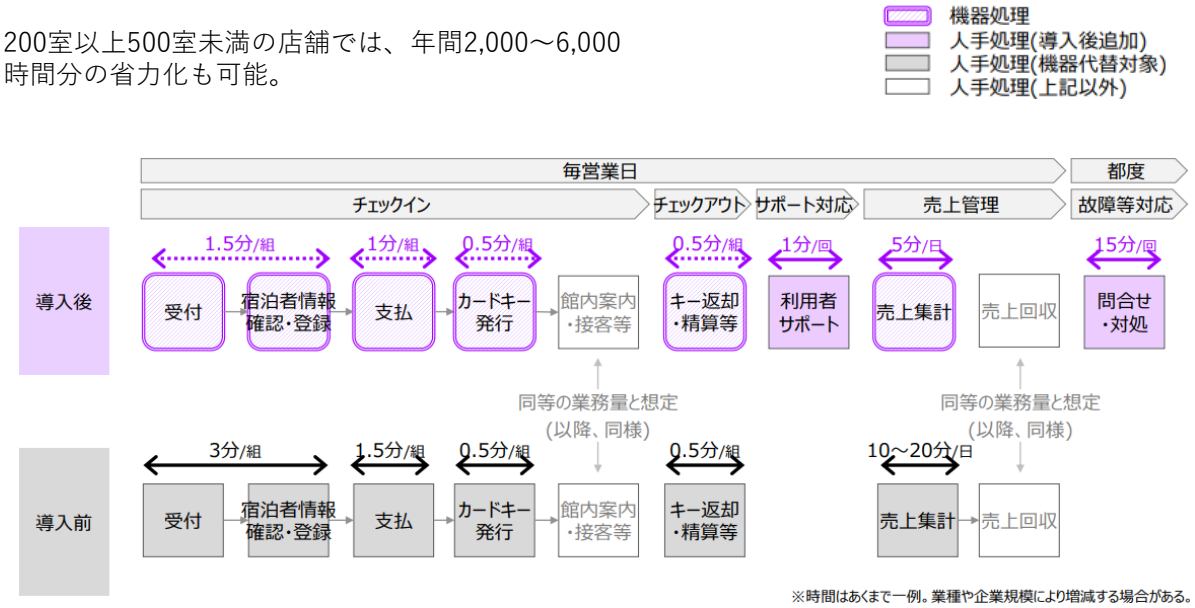
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

200室以上500室未満の店舗では、年間2,000～6,000時間分の省力化も可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-2-3	自動チェックイン機	10件	宿泊業	受付案内、予約管理、請求・支払、顧客対応

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

チェックイン機能、精算・会計機能を有し、顧客が自動でチェックインを行えるようになる製品。
チェックアウト機能、カードキー発行機能を有し、これらを自動化できる製品も。

主に利用が想定される中小企業

従業員が対面でチェックイン・アウト業務、請求・支払い業務、カードキー発行業務等を行っている旅館・ホテル等の宿泊業の事業者。
チェックイン手続きの多さが省力化効果の高さに直結するため、客室が数十部屋以上の施設の方がより望ましい。

省力化効果

自動チェックイン機を導入することにより、これまで対人で対応していたチェックイン・アウト業務、請求・支払い業務、カードキー発行業務等を自動化し、フロント業務の負荷低減や省力化に貢献。また、自動化により客室のアサインミスや接客トラブル、金銭トラブルを削減できることで生産性が向上。
カードキー発行や精算・会計対応等も自動化できる製品であれば、当該業務は自動化される。

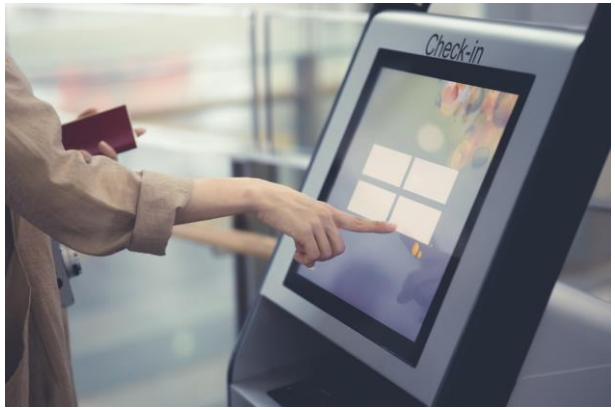
価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。設置費用は数十万円程度。
初期設定を行えばすぐに稼働ができる。

活用事例・ポイント

- ヒューマンエラーおよび接客時の金銭トラブルが削減。
- 窓口対応に割いていた人員を他の作業に回すことで顧客満足度も向上が期待できる。
- 顧客情報やパスポート情報のペーパーレス化による環境への配慮も。

（製品イメージ）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-3-1	入出金機	1件	小売業、宿泊業、飲食サービス業、金融業	精算管理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

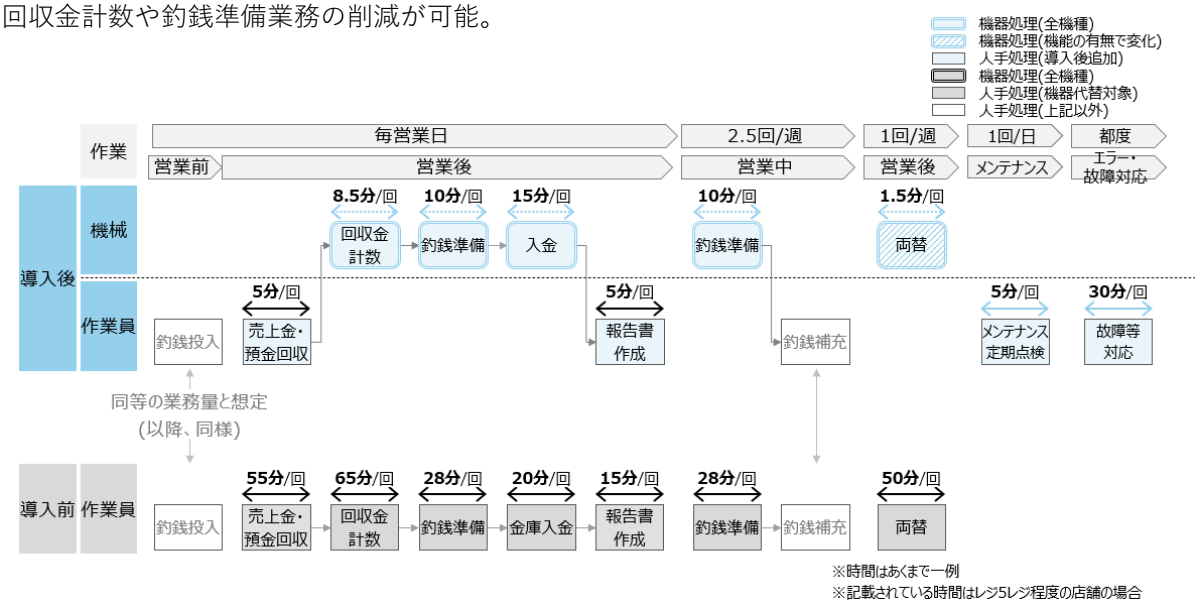
- 本機器は、小売業や飲食業、宿泊業などの現金管理を自動化し、省力化が期待できます。
- 売上金の計数やつり銭準備を効率化することで、人的ミスを削減し、正確な経理業務を実現できます。
- 業務負担の軽減により、店舗運営の効率化を図りながら、セキュリティ面でも安心して活用できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた現金管理業務に機器を導入することで、
回収金計数や釣銭準備業務の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-3-1	入出金機	1件	小売業、宿泊業、飲食サービス業、金融業	精算管理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

店舗の経理業務における現金管理を行う製品で、売上金の計数精算、つり銭準備、現金管理などこれまで手作業で行われた業務を自動化し、セルフ化を実現する製品をいう

主に利用が想定される中小企業

主に売上金の計数業務やつり銭準備を人手による計数により対応していた事業者

省力化効果

従来、人手で行っていた現金管理を自動化し、セルフ化することで省力化を推進できる。具体的には、各レジからの回収金計数、売上金との突合、つり銭の準備といった業務が、本製品の導入により機器に完全に置き換わる。これにより、人手による作業が不要となり、大幅な省力化効果が期待できる。

価格と導入費用（目安）

約100万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、小売業や飲食業、宿泊業などの店舗において、売上金の計数精算やつり銭準備を自動化し、経理業務の省力化を実現する。従来は手作業で行われていた現金管理をデジタル化することで、人的ミスの削減や業務負担の軽減につながる。また、業務の効率化だけでなく、不正防止やセキュリティ向上にも寄与する。導入にあたっては、店舗の規模や業務フローに適した機種選定と、従業員の運用ルールの整備が重要となる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-1	スチームコンベクションオーブン(プログラム機能付き調理器具)	174件	宿泊業、飲食サービス業、小売業、製造業（規模問わず調理が行われている場所）	調理、加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 飲食店のシェフがフライパンで調理していたものが、焼く、蒸す、煮る、炊く、炒めるなどの調理を全てスチームコンベクションオーブンが担います。
- 例えばローストビーフは、熟練の料理人が約2時間の間付きっ切りだったが、当該製品はボタンを押せば後は待つだけ。

置き換えが可能となる機能・性能

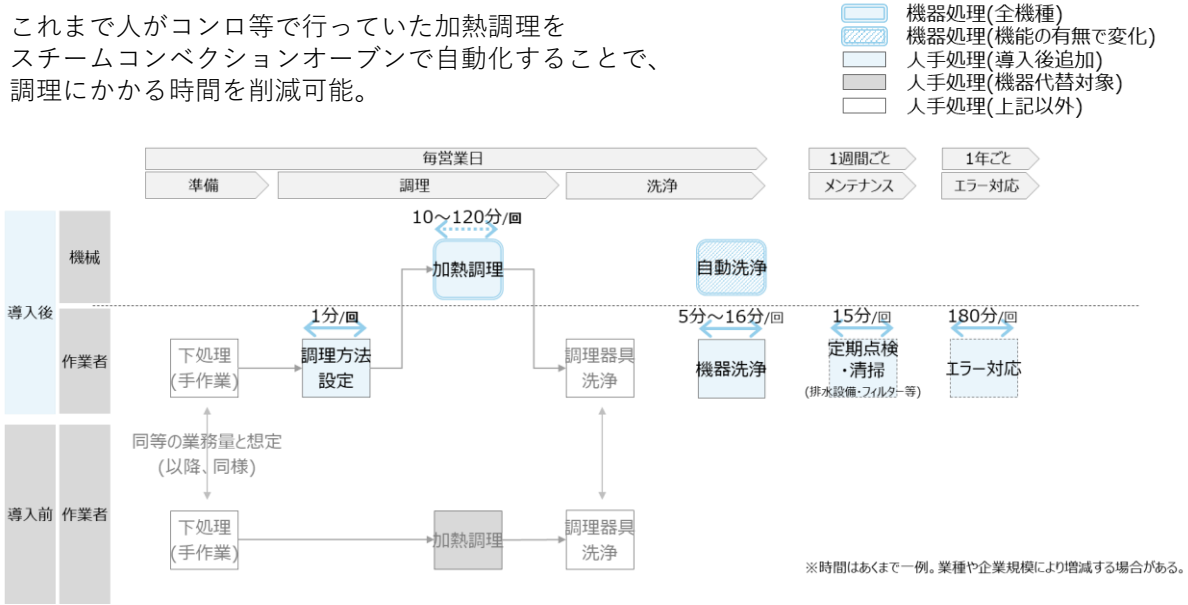
- 自動洗浄機能
- ファン調整機能（スピード・回転どちらか一方でも可能）
- 複数調理機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

これまで人がコンロ等で行っていた加熱調理を
スチームコンベクションオーブンで自動化することで、
調理にかかる時間を削減可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-1	スチームコンベクションオーブン(プログラム機能付き調理器具)	174件	宿泊業、飲食サービス業、小売業、製造業（規模問わず調理が行われている場所）	調理、加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

プログラム機能を持ち、料理、食材ごとの加熱時間、温度等を登録でき、使用する人間を問わず調理を任せられる製品。
原理としては、コンベクションオーブン（ファンにより熱風を強制対流させるオーブン）とは、蒸気発生装置を取り付け、熱風、水蒸気、熱風＋水蒸気を利用することにより、焼く、蒸す、煮る、炊く、炒めるなど多様な加熱調理を１台で担うことができる。

主に利用が想定される中小企業

フライパンでの調理等、加熱調理（焼く、蒸す、煮る、炊く、炒めるなど）を人手により行っていた宿泊・飲食店等の事業者。

省力化効果

導入前に要していた人手による加熱調理にかかる業務が、当該製品カテゴリの導入により完全に製品に置き換わる。
さらに、空気よりも熱容量の大きい水蒸気を利用し、従来のオーブンよりも速く食材を調理することが可能。（時間の短縮）
また、加熱時間、加熱温度、加熱方法等がプログラムできるので、経験の浅いスタッフでも熟練の技を再現可能。（人材不足への対応）

価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。設置費用は数十万円程度で、基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

- 例えば、ローストビーフに関してはおおよそ2時間の間熟練の料理人が付きっ切りで作る必要があったが、その必要がなくなる。
- 営業中はオーブンとして、魚のグリルを焼く、ケーキを焼く等様々なユースケースで使用される。
- 肉のうまみをうまく閉じ込めて調理できるなどの料理の品質向上がはかれる。また、内部温度を検知して自動で温度調整を行うため、熟練したスタッフの調理を経験の浅いスタッフでも再現することができる。
- 食材の歩留まりの減少幅が抑えられる。

（製品イメージ）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-2	自動フライヤー	30件	宿泊業、飲食サービス業、小売業、製造業	調理、加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本機器は、飲食店や宿泊施設の厨房における揚げ物調理を自動化し、省力化が期待できます。揚げあがった食材を自動で取り出すため、調理中に他の作業が可能となり、業務効率が向上します。
- 加熱時間や温度をプログラムできるため、熟練者でなくても安定した品質で調理ができ、人材不足の課題解決にも役立ちます。

置き換えが可能となる機能・性能

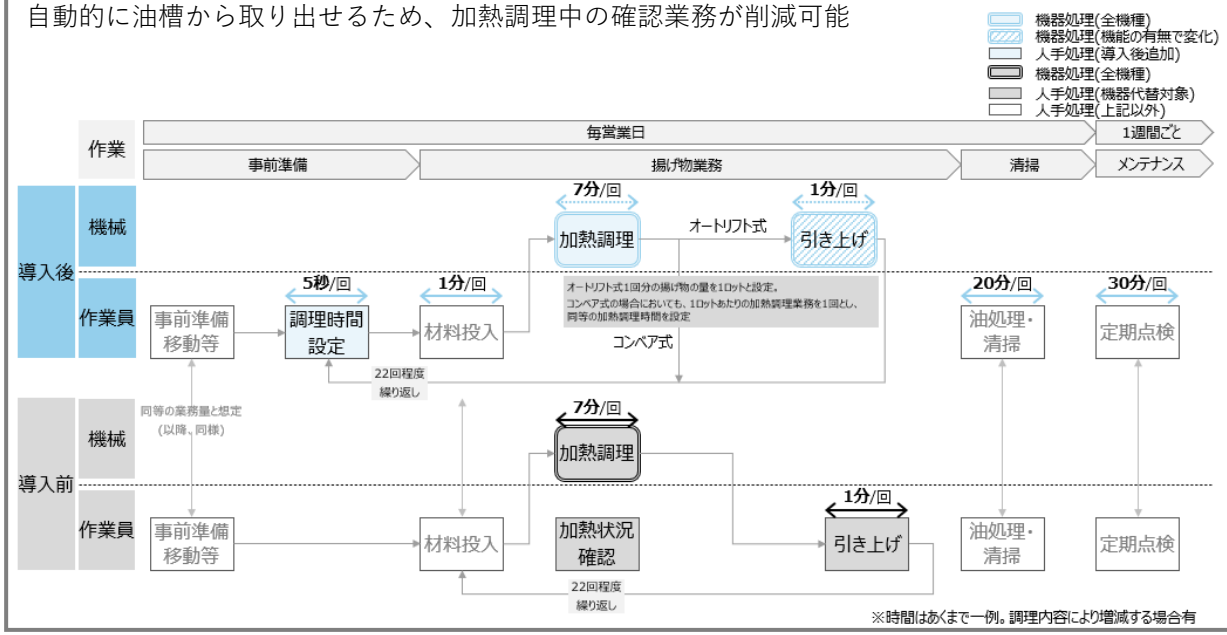
- ろ過機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

従業員がつきっきりで実施している揚げ調理業務への自動フライヤーの導入により、自動的に油槽から取り出せるため、加熱調理中の確認業務が削減可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-2	自動フライヤー	30件	宿泊業、飲食サービス業、小売業、製造業	調理、加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

自動フライヤーとは、揚げあがった食材を自動的に油槽から取り出す機能を有するフライヤーのこと。また、プログラム機能を持ち、料理、食材ごとの加熱時間、温度等を登録でき、使用する人間を問わず調理品質を保つことができる。

主に利用が想定される中小企業

フライヤーを使用し、揚げ物調理を人手で行っていた宿泊・飲食店、総菜店、食品販売店などの事業者。

省力化効果

一般的な飲食店でフライヤーを使用した調理を行う場合、食材を投入してから揚げあがり、取り出すまでの間、従業員がつきっきりで作業を行う必要がある。本製品を導入すると、食材が揚げあがると同時に自動で油槽から取り出されるため、調理時間のほぼすべてを他の作業に充てられる。これにより、作業の効率化が図られ、業務負担が大幅に軽減される。その結果、従来の加熱調理業務が機器に完全に置き換わり、人手による作業が不要となるため、大幅な省力化が期待できる。

価格と導入費用（目安）

約100万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、飲食店や宿泊施設の厨房において、揚げ物調理の効率化と品質向上を実現する。従来は、調理担当者が加熱時間を管理し、揚げあがった食材を手作業で取り出していたが、本機器の導入により、揚げあがり後の取り出しが自動化され、作業時間を削減できる。また、加熱時間や温度をプログラム設定できるため、経験の浅いスタッフでも安定した品質の調理が可能となる。省力化だけでなく、人材不足の解消やサービス品質の向上にも寄与する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-3	コンベアオーブン	30件	飲食サービス業、宿泊業、小売業、製造業	調理、加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

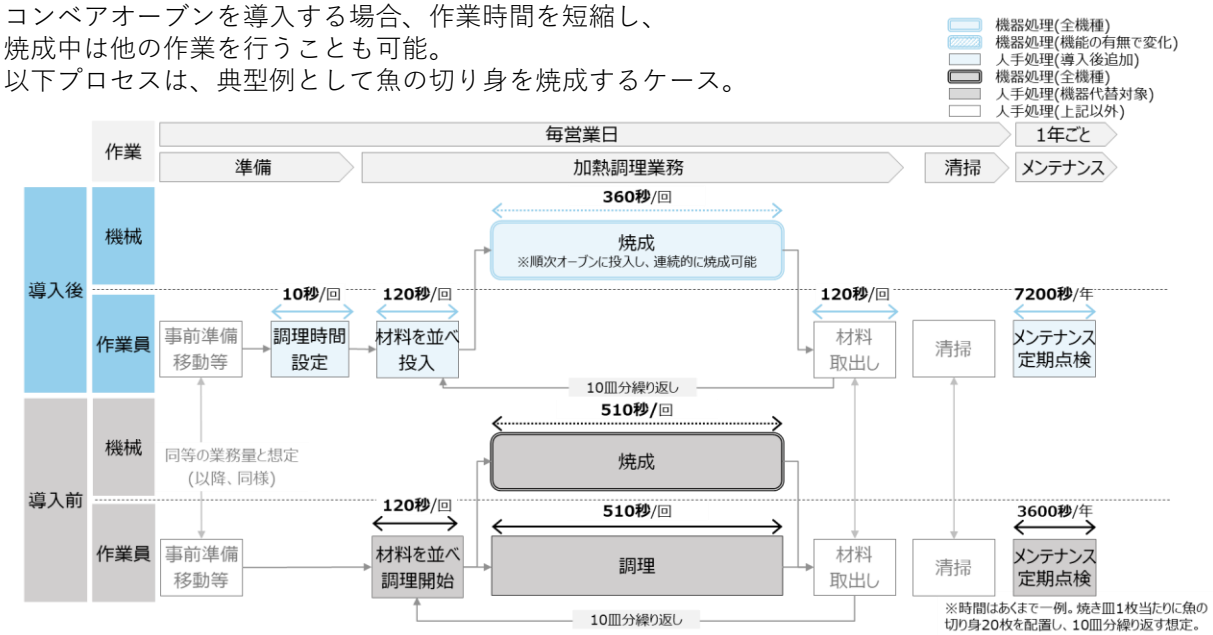
- 500枚の魚の切り身などを調理する場合、従来のバッチ式の焼物器・コンベクションオーブン等を使用する場合、作業員は焼成中に適宜手作業（裏表反転・前後逆転・上下差替）が必要になり、調理に2時間を要しますが、本カテゴリの対象となる製品を導入する場合、作業時間を短縮し、焼成中は他の作業を行うことも可能となります。
- さらに、品質確保・加熱時間/作業時間の削減が可能となります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

コンベアオーブンを導入する場合、作業時間を短縮し、
焼成中は他の作業を行うことも可能。
以下プロセスは、典型例として魚の切り身を焼成するケース。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-3	コンベアオーブン	30件	飲食サービス業、宿泊業、小売業、製造業	調理、加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

コンベアオーブンとはオーブン庫内を貫通するコンベアベルト上に置かれた食材や焼成素材がオーブン内部を一定の速度で移動通過しながら、オーブン庫内の輻射熱（ガス燃焼やヒーター加熱による熱風、過熱水蒸気）で焼成される機器。また、プログラム機能を持ち、食材ごとの加熱時間、温度等を登録でき、使用する人間を問わず調理品質を保つことができ、かつ連続的、効率的な加熱で焼成時間を短縮することもでき、大量調理・処理に適している。

主に利用が想定される中小企業

中小の宿泊業・飲食サービス業の事業者。

省力化効果

焼き皿に載せた切り身を順次コンベアに載せることで、自動で6分で焼き上げることが可能。
焼き皿に20枚の切り身が乗る場合、500枚の切り身焼成には25枚の焼き皿焼成が必要。コンベアオーブンの庫内には2.5枚並ぶ。
焼成時間6分で、1時間で10回、2.5枚 x 10回 x 20枚＝500枚の切り身は1時間で完了できる計算となり、作業時間が短縮される。

価格と導入費用（目安）

約100万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

■大量のチキンやハンバーグを効率的に加熱
■食材の種類に合わせた温度と速度設定で再現性確保
■一括加熱による作業時間の短縮
■焼きムラが少なく、品質を一定に保つ　など

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-4	両面焼きグリドル	1件	飲食サービス業、小売業	調理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

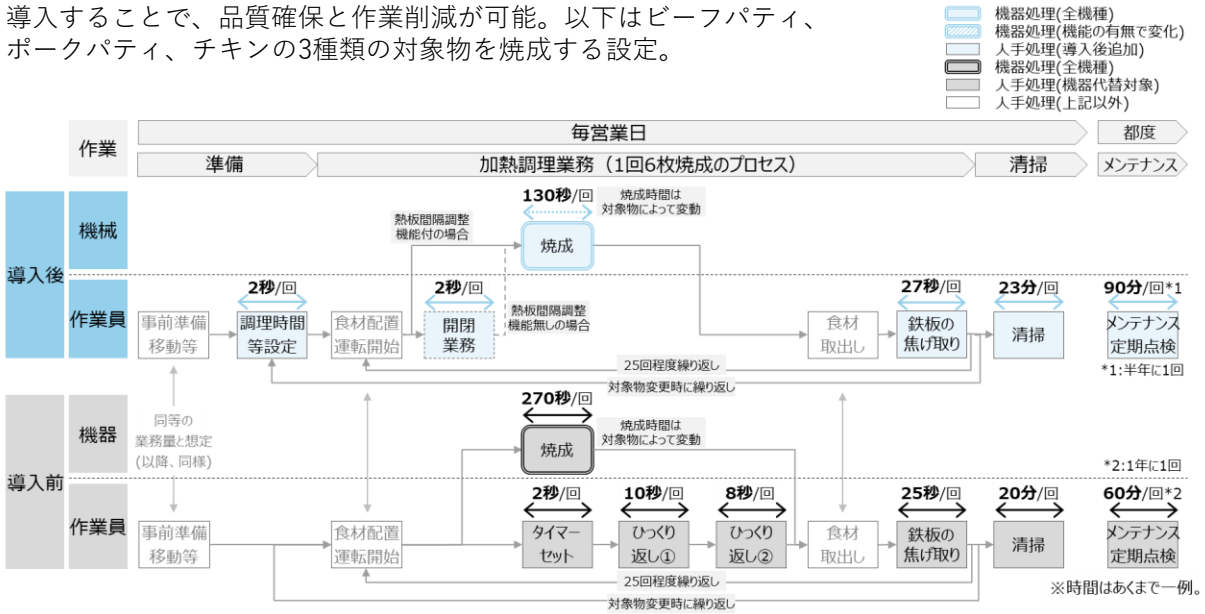
- 大量調理が必要な厨房のピーク時間の場面で利用し、短時間で均一に焼き上げることが可能となります。
- 限られた厨房スペースで効率を上げたい場面で利用し、調理工程の省力化と人手不足対策が可能となります。
- 焦げ付きやオーバークックを避けたい繊細なメニュー調理の場面で利用し、安定した品質保持が可能となります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

ハンバーグ等の加熱調理の際、手作業で行っていた焼成業務に省力化製品を導入することで、品質確保と作業削減が可能。以下はビーフパティ、ポークパティ、チキンの3種類の対象物を焼成する設定。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-4	両面焼きグリドル	1件	飲食サービス業、小売業	調理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

両面焼きグリドルとは温度調整が自動で出来る金属板にて食材を上下挟み焼きするタイマーを装備した調理機器（グリドル）である。上下の金属板の動作や上下隙間の調整は自動で行う製品と手動で行う製品があるが、共に焼成される食材をひっくり返す手間が省け、また温度調整機能とタイマーにより均一な仕上りが実現できる。

主に利用が想定される中小企業

中小の宿泊業・飲食サービス業の事業者。

省力化効果

ハンバーガーショップで6枚のハンバーグを調理する場合、食材を金属板に並べてからタイマーをセットし、2回ひっくり返し、食材を取り上げるまで50秒の作業時間が生じる。（1枚あたり8.33秒）
当該製品を導入し同様の作業を行う場合、食材を挟み焼きし、タイマーが自動で開始されるため、食材を取り上げるまで30秒の作業時間で済み（1枚あたり5秒）調理作業が40％削減される。また、調理時間も52%削減されるため時間当たりの生産効率も向上し、同じスペースで1人が1時間に調理出来る量が1.8倍に向上する。
以上より、導入前に料理提供のボトルネックとなっていた調理時間と調理作業が、当該製品カテゴリの導入により完全に機器に改善され、大きな省力効果と料理提供の合理化が見込める。

価格と導入費用（目安）

100万～200万

活用事例・ポイント

両面焼きグリドルは、忙しい厨房での大量調理やスピード提供が求められる場面で利用し、両面同時加熱によって調理時間の短縮と均一な焼き上がりが可能となります。ハンバーグやステーキなど厚みのある食材を扱う場面でも、芯までムラなく火を通すことができ、品質の安定化に貢献します。また、省スペースの厨房で調理効率を上げたい場面で利用し、作業負担の軽減や人手不足対策にも効果を発揮します。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-5	業務用自動食器類洗浄機	37件	飲食サービス業、宿泊業、製造業、小売業	洗浄・除去

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 調理現場で、洗浄・すすぎ・乾燥等の作業の自動化により「省力化」に貢献します。
- レストラン・居酒屋などで、大量の皿やグラスを洗浄等する場面で利用され、全体洗浄時間の短縮、自動洗浄中に他の作業を行うことが可能となります。

置き換えが可能となる機能・性能

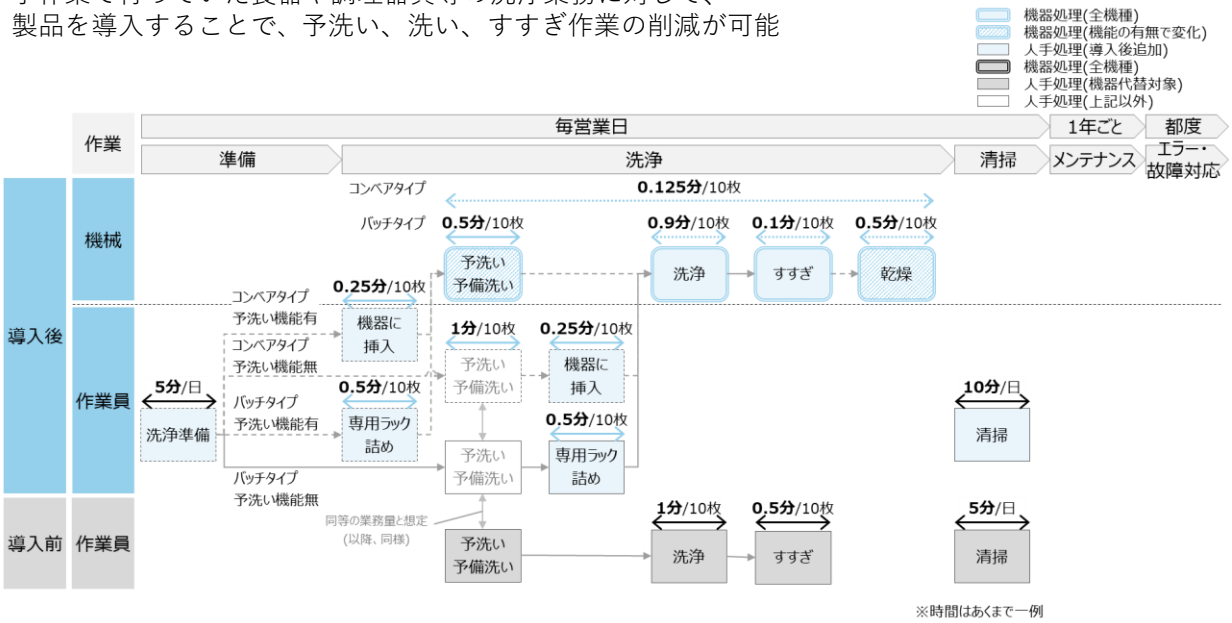
- 予洗い機能
- 乾燥（水切り）機能
- 運転準備機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた食器や調理器具等の洗浄業務に対して、
製品を導入することで、予洗い、洗い、すすぎ作業の削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-5	業務用自動食器類洗浄機	37件	飲食サービス業、宿泊業、製造業、小売業	洗浄・除去

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

業務用自動食器類洗浄機とは、宿泊業、飲食サービス業、食品製造業において使用する「食器・調理器具」等を、機器に投入すると自動で洗浄を行う機器のこと。又、乾燥まで行う機器もある。

主に利用が想定される中小企業

中小の宿泊業・飲食サービス業・食品製造業の事業者。

省力化効果

導入前は、食器や調理器具等を水のはった槽（シンク）に浸漬、又は流水で予洗いを実施し、スポンジ等で洗い、洗剤が残らないように十分すすぎ、自然乾燥又は乾燥機に入れる。
自動洗浄機を導入する事で、浸漬時間、予洗いの短縮、自動洗浄、すすぎ、乾燥（高温すすぎによる、自然乾燥促進も含む）する事が可能。
全体洗浄時間の短縮、自動洗浄中に他の作業を行うことが出来る。（作業の効率化）

価格と導入費用（目安）

・食器洗浄機、器具洗浄機：50万～150万
・ラック・フライト・ネットコンベアタイプ洗浄機：100万～300万
・予洗い付自動洗浄機：100万～150万
・浸漬槽型自動洗浄機：100万～200万
（処理能力、省エネ効果の有無、槽の大きさ、洗浄方法等の違いによる）

活用事例・ポイント

業務用自動食器類洗浄機は、レストランやホテル、食堂、セントラルキッチンなどで大量の食器を短時間で洗浄し、作業効率を高める機器。人手不足対策やバックヤードの省力化に大きく貢献。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-6	飲料ディスペンサー／とろみ給茶機	2件	飲食サービス業、宿泊業、小売業、介護業	飲食調整・提供

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

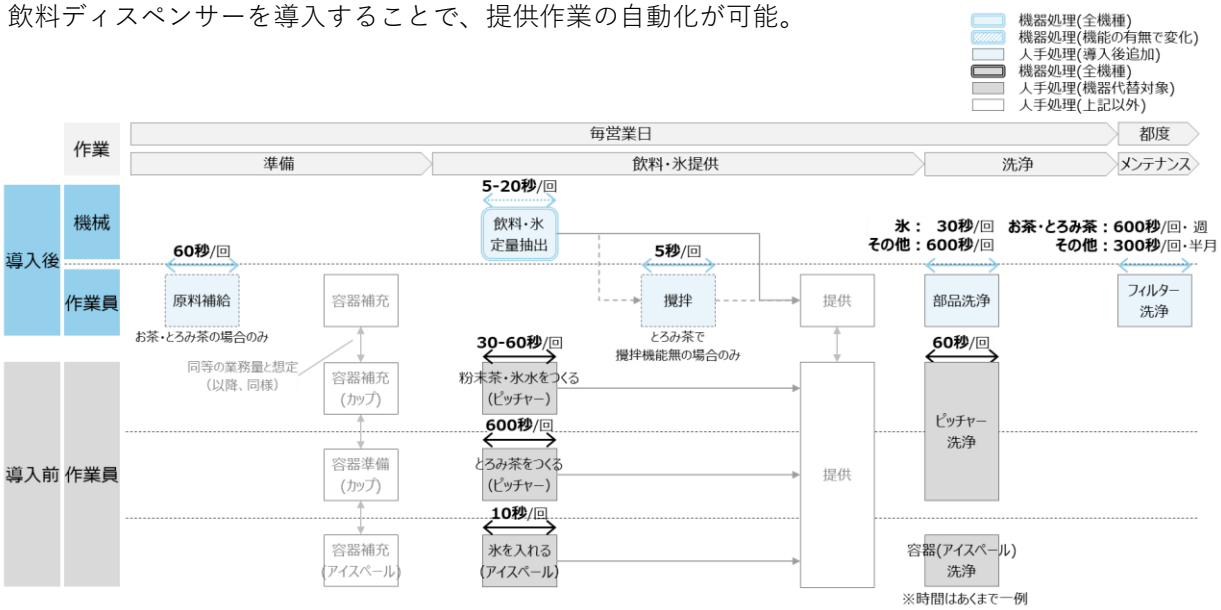
- 飲料ディスペンサーは、温度調整や注出定量などを登録でき、誰でも「同じ品質・同じ量」の飲料を提供することができます。さらに、飲料のセルフサービス提供により、スタッフの負担を減らしつつ「注文～提供」までのスピード向上に貢献します。
- とろみ給茶機は、１杯ごとに手作業でとろみ付けしなくても済むことで、時間と労力を大幅に削減することが可能となります。さらに、とろみ加減が常に均一・適正に保たれるため、誤嚥リスクの低減に寄与します。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

導入前は人手で準備していた飲料や氷の提供作業に対し、
飲料ディスペンサーを導入することで、提供作業の自動化が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-6	飲料ディスペンサー／とろみ給茶機	2件	飲食サービス業、宿泊業、小売業、介護業	飲食調整・提供

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

飲料ディスペンサーとは、注出ボタンをワンタッチするだけで自動的に飲料（お茶、氷水、氷）をカップなどに注ぐ機能を有するディスペンサーのこと。またプログラム機能を持ち、温度調整や注出定量などを登録でき、使用する人間を問わず同じ品質、同じ量の飲料を提供することができる。とろみ給茶機は、食べ物や飲み物が誤って気管に入ってしまうこと（誤嚥）を防ぐため、「とろみ」をつけた飲料を、抽出ボタンをワンタッチするだけで自動的にカップなどに注ぐ機能を有する装置。

主に利用が想定される中小企業

中小の宿泊業・飲食サービス業の事業者。

省力化効果

飲食店やホテルでお茶、冷水を提供する際、ピッチャー提供であれば、一定回数の補充作業が発生する。また宿泊施設などで氷を利用者に提供する際は、従業員が製氷機の氷を入れる作業が発生する。当該製品を導入する場合、ディスペンサーの注出ボタンを押すだけで数秒でコップにお茶、氷入りの冷水が補給できるため、人手による作業が不要となり、省力化効果が見込める。また当該製品はセルフにすることも可能なので、その場合一連の提供に関する作業が全く無くなるので更なる大きな省力化が見込める。

価格と導入費用（目安）

約50万～110万程度（抽出能力によって異なる）

活用事例・ポイント

・飲料ディスペンサーの導入により、セルフサービス化を実現。スタッフの配膳・提供作業を削減でき、人手不足対策や業務効率化に貢献する。また、一定量・一定品質で提供できるため、味のばらつきや提供ロスを防止できる。
・とろみ給茶機は、お茶や水に適切なとろみを自動で均一に付与できるため、職員が行っていた計量・攪拌作業を省力化でき、準備時間と負担を大幅に削減する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-7	再加熱キャビネット／カート	5件	宿泊業、飲食サービス業、製造業、小売業、介護業	調理、加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

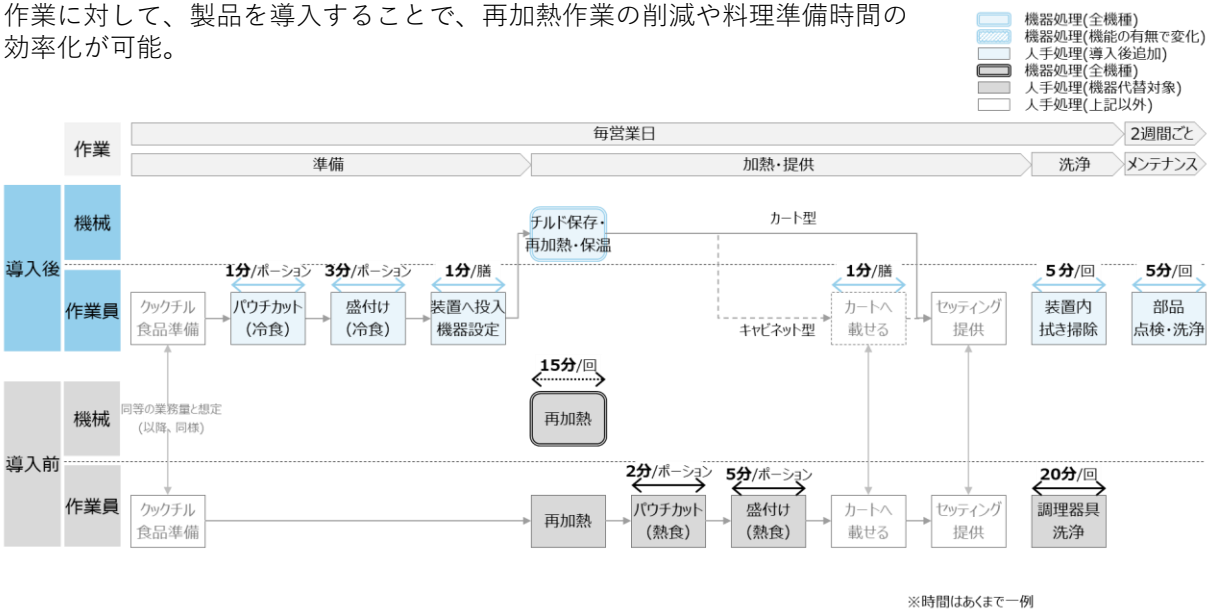
- クックチル方式で調理済みの食事を冷蔵保存し、配膳直前に再加熱キャビネットで一括加熱し、温度管理された状態で搬送が可能となります。（調理と配膳の時間分離で人手不足を緩和／提供温度の均一化（温かい料理を温かく））
- 社員食堂では、昼食ピーク前に再加熱キャビネットで準備し、提供時間帯は盛り付け・配膳のみにすることで、短時間集中型の提供に強く、調理スタッフの負担を軽減します。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

これまで人手で行っていたクックチル食品の再加熱（蒸らし・湯煎など）作業に対して、製品を導入することで、再加熱作業の削減や料理準備時間の効率化が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-7	再加熱キャビネット／カート	5件	宿泊業、飲食サービス業、製造業、小売業、介護業	調理、加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

再加熱キャビネット/カートとは、チルド状態で保存された食事を、提供時間に合わせて再加熱、保温まで自動的に行う加熱装置のこと。プログラム機能を持ち、温度調整や時間等を登録設定でき、誰でも同じ時間で、同じ品質の食事を提供することができる。

主に利用が想定される中小企業

中小の宿泊業・飲食サービス業、介護業の事業者。

省力化効果

宿泊施設や介護施設での朝食提供に関し、作業員が早出をして調理する必要があるが、近年クックチル食品を提供当日朝までチルド保存しておき、再加熱して提供するメニューも多い。
（クックチル食品は一般的に早朝に出勤し湯煎用のお湯を用意し、湯煎で加熱した後に盛付けを行う。）
当該製品カテゴリを導入し同様の朝食準備作業を行う場合、前日のアイドルタイムにクックチル食品を盛付けし、再加熱キャビネットにセットしチルド保存。翌朝提供時間に合わせて再加熱→蒸らし→保温までを自動的に行うことで、出勤後すぐに配膳可能となる。
製造業、小売業（社員食堂）においても同様に当該製品カテゴリの導入によって再加熱に係るこれらの業務が当該製品のカテゴリの導入により完全に機器に置き換えることができ、特に夜勤労働者向けの食事では、深夜作業になる場合も多く、人手を確保するのが困難になってきており、当該製品カテゴリを導入する事で夜間は最小限の人手で食事を提供できる。

価格と導入費用（目安）

キャビネット型：110万~230万
カート型：1セット400万~500万

活用事例・ポイント

調理されたクックチル食品を施設へ配送し、再加熱キャビネットを活用して提供直前に再加熱。施設内での本格調理が不要となるため、少人数体制でも安定した食事提供が可能。
配膳時間に合わせた一括再加熱により作業工程を簡素化でき、省力化や人手不足対策、衛生管理水準の向上に貢献。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-8	ドゥコンディショナー	0件	小売業、卸売業、飲食サービス業、宿泊業、製造業	調理、加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 冷凍生地を前日にセットし、深夜～早朝に自動で解凍・発酵させることで、開店直前に焼成へ移行できます。（早朝出勤の負担を軽減します。）
- 商業施設内ベーカリーでピーク時間に合わせて仕上げ、焼きたてを計画的に供給することを可能とします。また、気温変動が大きい季節でも温湿度を自動制御し、発酵状態を安定化することで、職人の経験差による品質ブレを抑えることにも寄与します。

置き換えが可能となる機能・性能

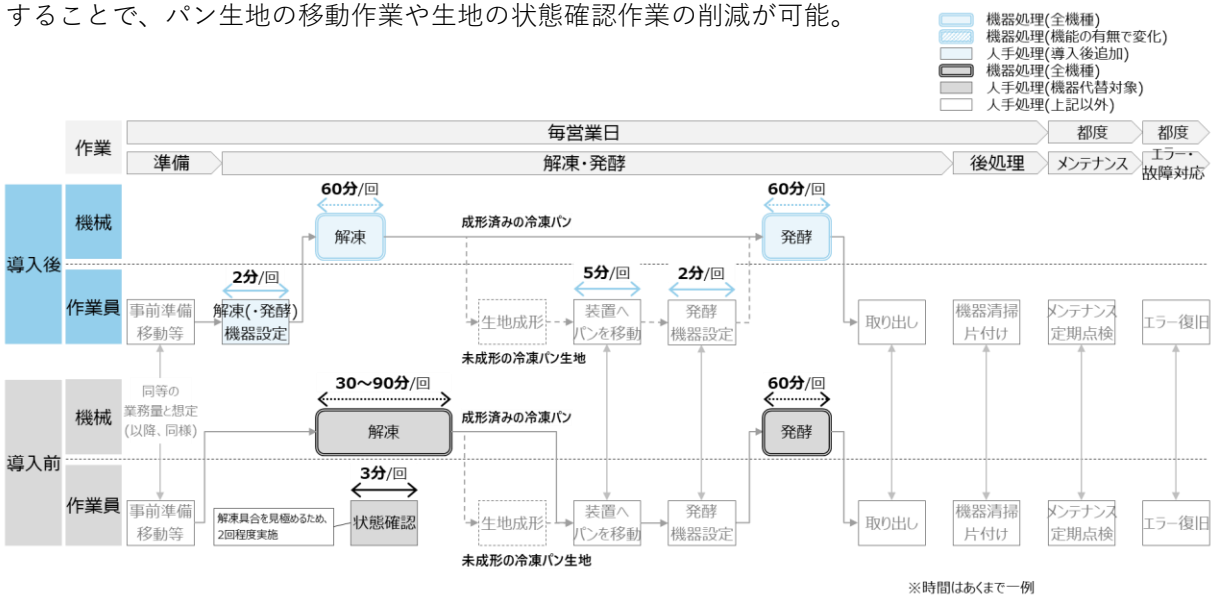
- 仕上がり時間調整機能
- 運転条件メモリ機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた冷凍パン生地の解凍・発酵業務に省力化製品を導入することで、パン生地の移動作業や生地の状態確認作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-8	ドゥコンディショナー	0件	小売業、卸売業、飲食サービス業、宿泊業、製造業	調理、加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

●定義：パン生地の解凍・発酵を自動化するための機器。
●業務内容・対応業務範囲：
①冷凍生地の冷凍保管→解凍→発酵までの作業工程の自動化
②温度と湿度の管理
③解凍・発酵時間の設定と管理
●対象となる製品の具体的な機能：
①温度制御…生地を適切な温度に保つための加温または冷却機能
②湿度制御…生地の発酵を促すための最適な加湿機能
③自動運転機能…解凍・発酵時間を設定し、工程管理する機能
●製品本体と構成：本体

主に利用が想定される中小企業

中小の菓子・パン小売業者。

省力化効果

製品導入前は、解凍・発酵業務の1プロセスに対して状態確認作業・移動作業を1回、解凍工程・ホイロ工程の待ち時間が2回発生するため、1プロセスあたり約120分の時間を要し、生地の状態確認を行う必要がある。
当該製品を導入し同様の作業を行う場合、機器設定を行うだけで解凍・発酵業務に必要な約120分のほぼすべての時間を他の作業に充てることができる 。この結果として、解凍・発酵業務が製品導入により完全に機器に置き換わり、当該業務は人手による作業が不要となるため、大きな省力化効果が見込める。また、開店前の早朝の勤務が軽減され従業員の労働環境の改善につながり、人手不足対策に有効な効果を発揮する。

価格と導入費用（目安）

100万円～300万円
※容量の違いによって異なる

活用事例・ポイント

ドゥコンディショナーは、冷凍保存したパン生地の解凍から発酵までを自動制御。前日に生地をセットすれば、開店時間に合わせて最適な状態に仕上がるため、焼成工程へスムーズに移行可能。人手不足対策と品質の均一化を両立し、多店舗展開や計画生産を支える設備としてベーカリー等で活用されている。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-9	解凍機	0件	小売業、飲食サービス業、製造業、宿泊業	保管・在庫管理、調理、加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

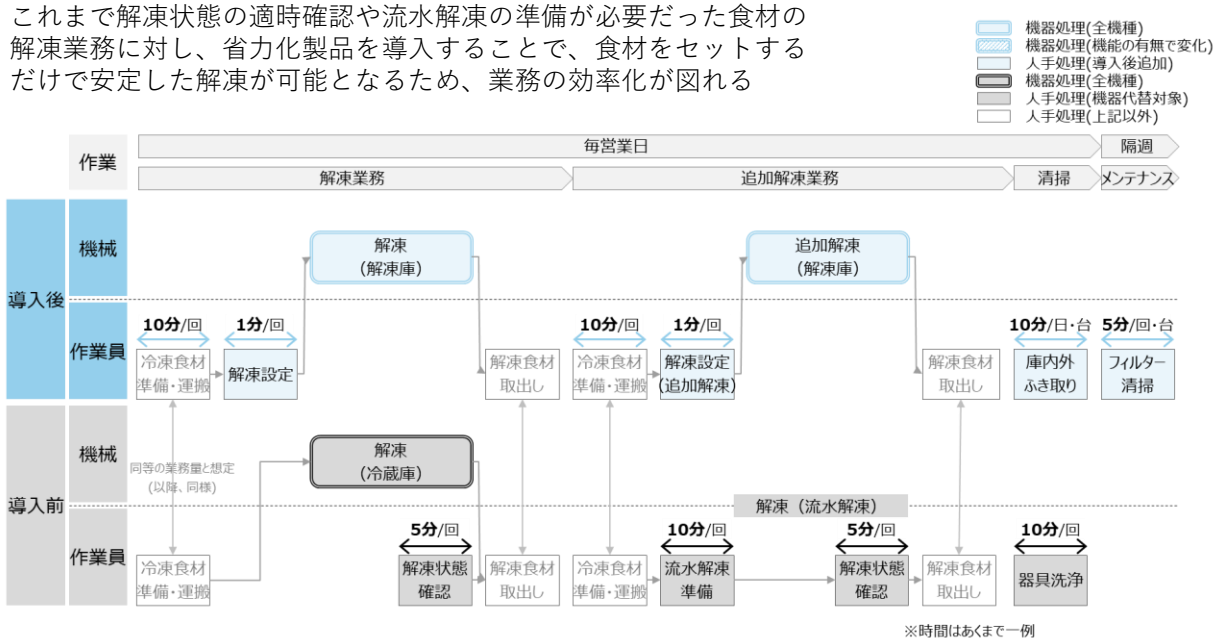
- バックヤードで冷凍牛肉や鶏肉を均一に解凍。ドリップを抑え歩留まりを改善し、売場での鮮度印象も維持します。週末需要に合わせた計画解凍により、廃棄ロス削減と作業の平準化を実現します。
- 冷凍マグロや切身用原料を低温制御で丁寧に解凍することで、「色変わり」や「旨味流出」を抑え、刺身・寿司ネタとして高品質を保持できます。急な需要増にも対応でき、売り場への補充スピード向上と在庫回転率改善に貢献します。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

これまで解凍状態の適時確認や流水解凍の準備が必要だった食材の解凍業務に対し、省力化製品を導入することで、食材をセットするだけで安定した解凍が可能となるため、業務の効率化が図れる



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-4-9	解凍機	0件	小売業、飲食サービス業、製造業、宿泊業	保管・在庫管理、調理、加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

解凍機とは、冷凍された食材を提供時間に合わせて自動的に解凍を行い元の状態に戻すための装置のこと。プログラム機能を持ち、解凍温度調整や時間などを登録設定でき、誰でも同じ時間で、同じ品質の解凍をすることができる。

主に利用が想定される中小企業

中小の食肉小売業・鮮魚小売業・各種商品小売業の事業者

省力化効果

製品導入前は冷凍された食材を、流水解凍や常温での自然解凍、冷蔵庫での解凍など、食材の管理（状態の確認）や時間の管理などで人の介在が必要になる。解凍機を導入することにより、通常時間のかかる解凍作業が、短時間でできることはもちろん、食材を解凍機にセットするだけで自動的に温度管理と時間管理を行うためその間の人的な介在が不要になる。また手作業時の解凍状態の確認や解凍ムラや失敗によるやり直しが不要になる。

価格と導入費用（目安）

50万円 ～ 400万円
※解凍庫サイズ、解凍性能・機能、解凍方式（温風式、真空マイクロ波など）によって異なる

活用事例・ポイント

解凍機は、冷凍食材を短時間かつ均一に解凍できるため、外食・給食・食品加工現場での生産性向上に寄与する。冷凍肉や魚介類をドリップを抑えながら解凍することで歩留まりを改善し、品質を安定化。大量調理施設では、計画的な解凍により仕込み時間を平準化し、人手不足対策にも寄与する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-5-1	タブレット型給油許可システム	15件	小売業（ガソリンスタンド）	給油

2026年3月23日時点

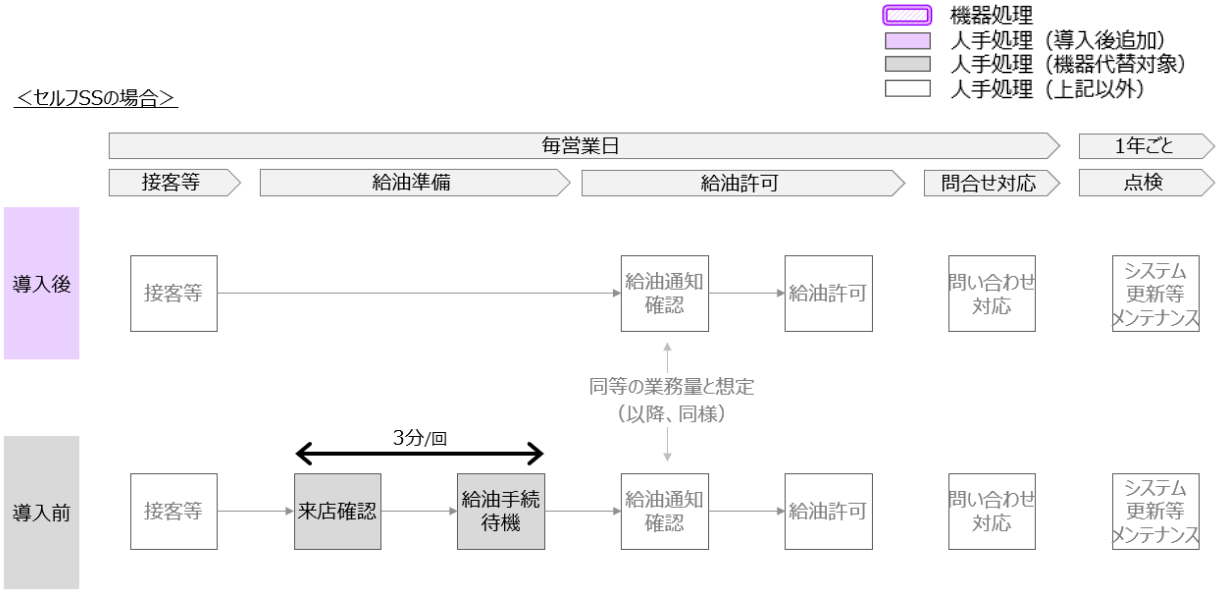
例えばこんな場面で、

- セルフ式ガソリンスタンド（顧客自らが給油するガソリンスタンド。以下、セルフＳＳ）において、事務所内でしかできなかった給油許可が事務所内に限らずＳＳ敷地内であれば可能になり、給油許可専用のスタッフを事務所内に常駐させる必要がなくなります。
- スタッフが他の業務に従事しながら給油許可ができるようになるため、待機時間の削減および人時生産性の向上が見込めます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）
来店確認、給油手続き待機が不要になります。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-5-1	タブレット型給油許可システム	15件	小売業（ガソリンスタンド）	給油

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

セルフＳＳにおいて、来店客に対して行う給油許可行為をＳＳ事務所内システム（固定式）とタブレット型システムを連動させることにより、タブレット型給油許可システムを用いて、事務所内に限らずＳＳ敷地内であれば給油を許可することが可能となるシステム。

主に利用が想定される中小企業

主に給油許可専用のスタッフを事務所内に常駐させていたセルフＳＳの事業者。

省力化効果

ＳＳ事務所内でしかできなかった給油許可が、事務所内に限らずＳＳ敷地内であれば可能となることで、オイル・タイヤ交換等の作業中であっても迅速に給油許可が出せるので作業効率が向上する。給油許可専用のスタッフを事務所内に常駐させる必要がなくなることで、給油許可以外の業務に従事させることができるなど人時生産性の向上による省力化が可能となる。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。ビーコン等の設置および導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

- メーカーヒアリングによる既存導入事例では、一般的なセルフＳＳにおいて、1か月あたり0.5人程度の省力化効果が得られた。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

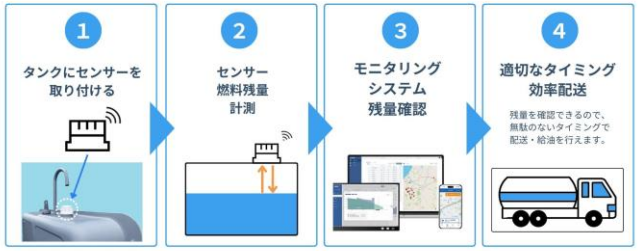
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-5-2	石油燃料 容量遠隔監視システム	0件	小売業	保管・在庫管理、入出庫、運送・運搬

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- タンク残量を遠隔で常時把握することで
  - ✓ 必要なタイミングで補給スケジュールを自動生成することが出来ます。
  - ✓ 緊急補給の発生を減らし運用コスト低減が可能です。
  - ✓ 残量の可視化で在庫切れや異常消費を未然防止することができます。

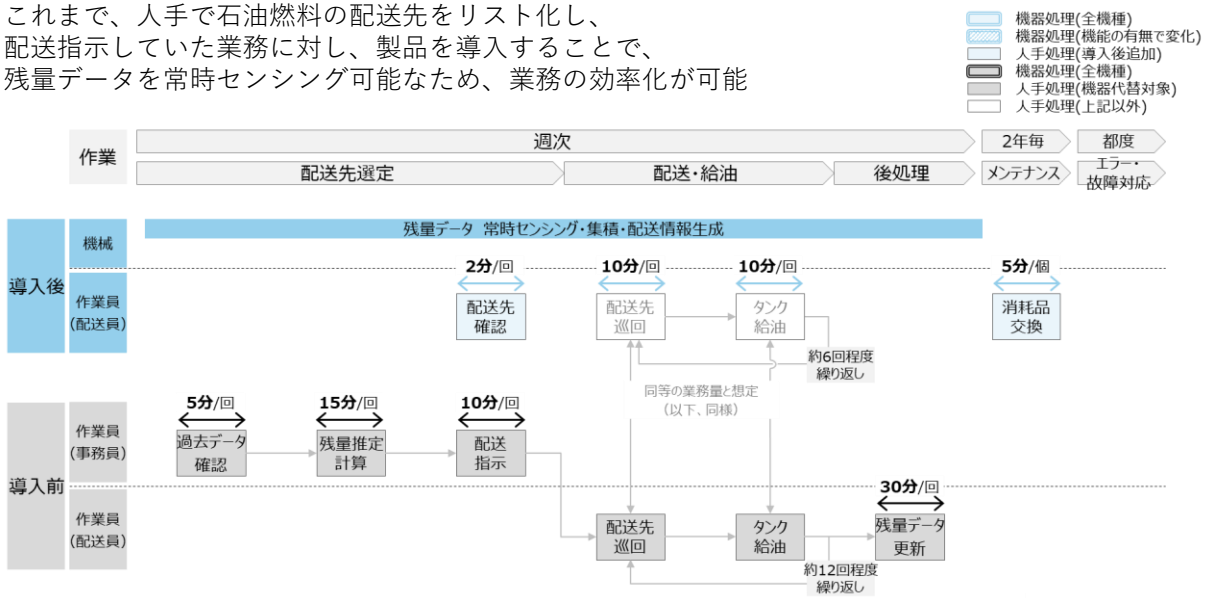
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

これまで、人手で石油燃料の配送先をリスト化し、
配送指示していた業務に対し、製品を導入することで、
残量データを常時センシング可能なため、業務の効率化が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-5-2	石油燃料 容量遠隔監視システム	0件	小売業	保管・在庫管理、入出庫、運送・運搬

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

IoT センサーで容器内の対象物の残量状況を可視化し、回収・配送の最適化を実現する IoT ソリューション。容器内対象物の境界面（液面等）を電磁信号や音波及び光学方式で測距し、取得データを無線通信で送信するIoT センサー（製品本体）と、残量状況の可視化及びリスト化・手順化するクラウドシステムで構成される。

主に利用が想定される中小企業

主に灯油等を販売する中小企業者。

省力化効果

製品導入前は、配送指示者は過去のデータを参照し、手作業で配送先をリスト化、配送員に指示を行い、配送員はデータを元に、1 人1 日30～40 件の配達を行い、週 4 ～5 回の配送を実施している。（配送件数＝平均100 件、月＝400 件）
導入後は、配送指示者はIoT センサーの情報が自動反映されたシステムを使用して、優先度が高い配送先のリストをワンクリックで生成できるため作業時間を1/3 程度に短縮可能。また、優先度の高い配送先に絞り込むことで配送件数を4 割に逓減し、配送員の稼働が縮減できる。
（配送総件数：1/2 の場合、配送員は週 5 日→週 2 日稼働に削減できる）

価格と導入費用（目安）

センサー数50個単位で、80万円 ～
（センサーの通信方式によって価格帯が異なる）

活用事例・ポイント

石油燃料容量遠隔監視システムは、タンク内の燃料残量をリアルタイムで把握し、補給時期を自動で通知することで巡回点検を削減。過不足のない燃料管理を実現し、緊急補給や燃料切れを防止するとともに、物流効率化に貢献する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6-1	自動調色システム	7件	サービス業（他に分類されないもの）、小売業	アフターサービス

2026年3月23日時点

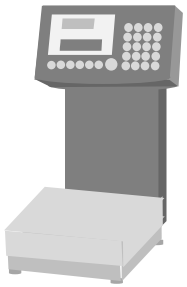
例えばこんな場面で、

- 従来は熟練の技術による手作業で行われていた調色作業を自動化することで、大幅な省力化が見込めます。
- 本機器を導入することで、経年劣化や紫外線等によって変化した車の色も、自動で調色することができ、修理作業時間の大幅な短縮が見込め、生産性向上が見込めます。

置き換えが可能となる機能・性能

- 干渉パール塗膜測定機能
- マット（艶消し）塗膜測定機能

活用イメージ



スケール

PC端末

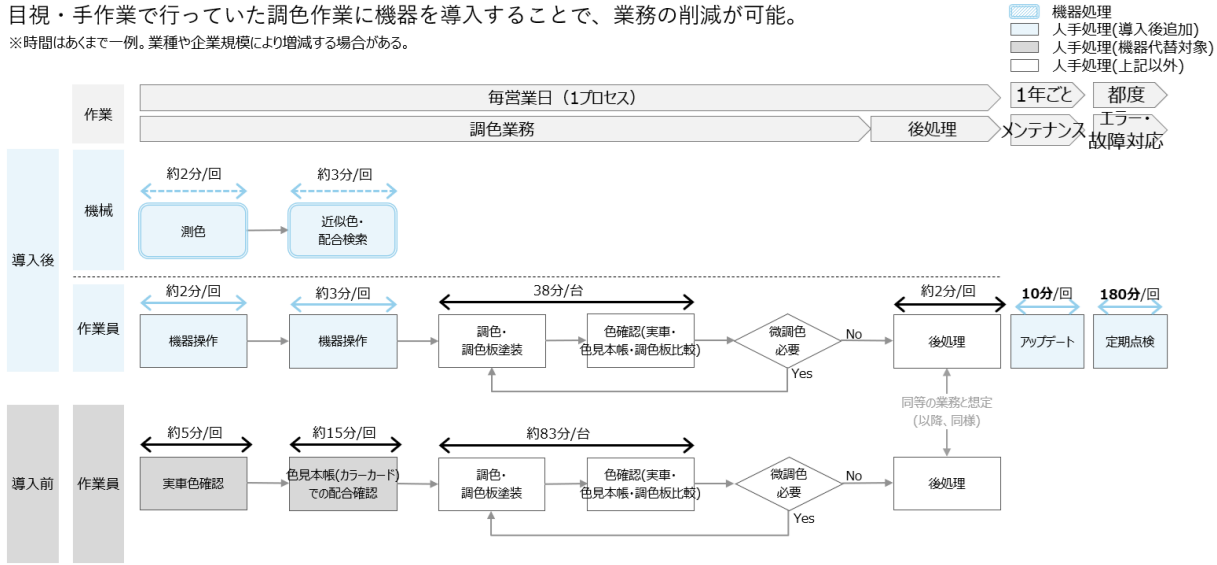
カラーセンサー

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

目視・手作業で行っていた調色作業に機器を導入することで、業務の削減が可能。

※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6-1	自動調色システム	7件	サービス業（他に分類されないもの）、小売業	アフターサービス

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

自動車のボディー等の色を自動で計測し、その色の配合を自動で算出するシステム。

主に利用が想定される中小企業

自動車車体整備を行う事業者。

省力化効果

従来まで、熟練技術による手作業で行っていた調色作業であるが、本機器を導入することで、車体を測色カメラで撮影・数値化し、より近似の配合を算出することで、経験の浅い作業員でも職人並み又はそれ以上の短時間で調色が行えるようになり、大幅な省力化が見込める。

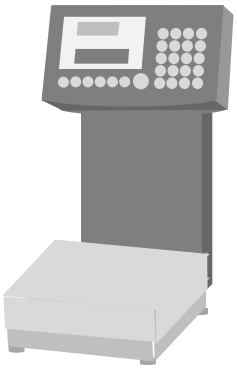
価格と導入費用（目安）

200万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えば
すぐに使用可能。

活用事例・ポイント

自動車修理にあたり、経年劣化や紫外線による微妙な変化を考慮した配合を行う必要がある。本機器を活用し、車体を測色カメラで撮影・数値化し、より近似の配合を算出することで、経験の浅い作業員でも職人並み又はそれ以上の短時間で調色が行えるようになる。

（製品イメージ）（例）



スケール

PC端末

カラーセンサー

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6-2	自動車向け溶接機（スポット溶接機）	19件	自動車整備業	整備・修理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

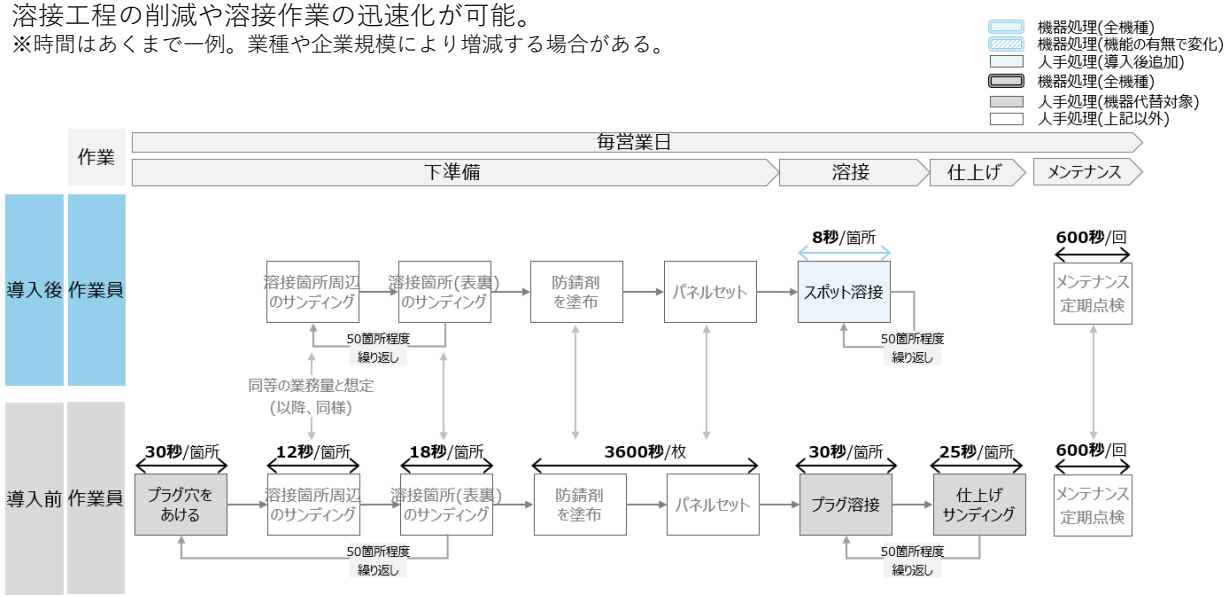
- 本機器を活用し、自動車の鉄板が重なっている箇所を溶接する際、プラグ溶接からスポット溶接へ変更することで、品質向上や工程の短縮、作業ミスの削減といった大幅な省力化が見込めます。
- スポット溶接機は溶接パラメータを自動的に設定するため、溶接条件の設定ミスがなく、ヒューマンエラーを大幅に減らすことができます。これにより、溶接不良や手直しの頻度が下がり、生産性の向上も見込めます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

スポット溶接機を導入することで、導入前のプラグ溶接に比べ、
溶接工程の削減や溶接作業の迅速化が可能。
※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6-2	自動車向け溶接機（スポット溶接機）	19件	自動車整備業	整備・修理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

自動車向けの溶接機は、自動車の鈑金修理に特化して溶接を行える設備である。自動車に穴が空いたり、傷が出来た際に修理に活用することができる。スポット溶接機は主に鉄板が重なっている箇所を溶接する。また、自動車向け溶接機は自動車に特化していない溶接機と比較し、自動で厚みや抵抗値が設定され、スムーズな溶接が可能となる。
※アームありの製品（1種のみ）及び、アームなし製品の場合はアーム1種を必ず併せて登録される製品を対象とする

主に利用が想定される中小企業

自動車車体整備を行う事業者。

省力化効果

自動車に特化していない溶接機から自動車向け溶接機（スポット溶接機）を導入することで、溶接工程の削減、作業ミスの削減、作業の迅速化等により大幅な省力化を図ることが可能である

価格と導入費用（目安）

300万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えば
すぐに使用可能。

活用事例・ポイント

自動車の鉄板が重なっている箇所を溶接する際、スポット溶接機の導入により、プラグ溶接からスポット溶接へ変更することで、品質の向上だけでなく、作業ミスの削減や工程の短縮といった大幅な省力化が見込める。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6-3	自動車向け溶接機（パルス制御溶接機）	0件	自動車整備業	整備・修理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

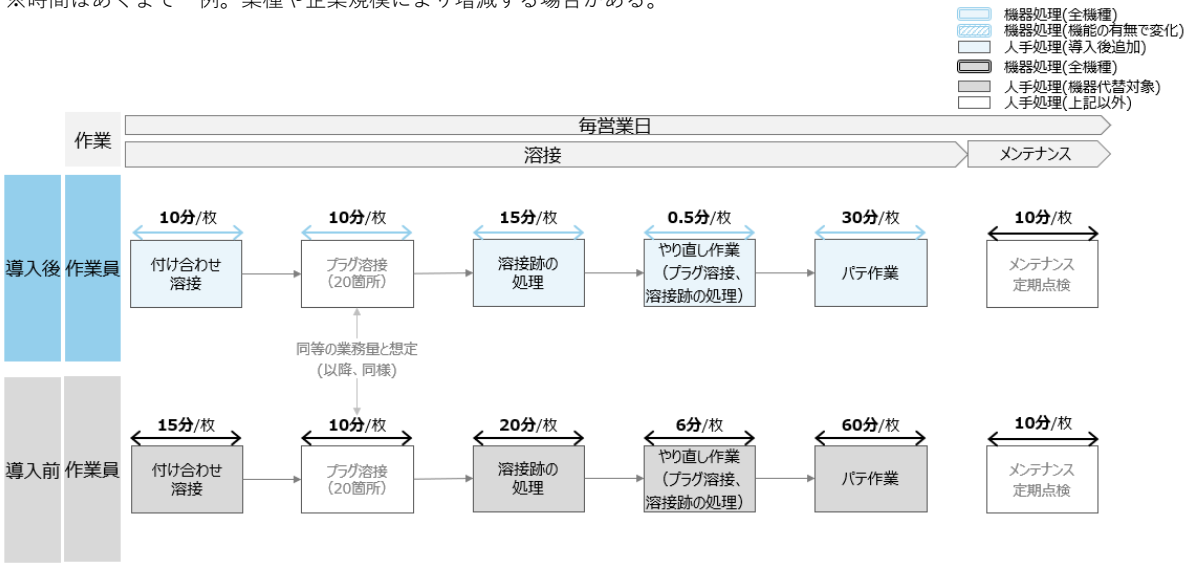
- パルス制御により、温度を最適（高温や低温）に調整しながら溶接することで、品質不良による手直しが減少し、生産性の向上および省力化が見込めます。
- 自動で設定される溶接条件により、溶接設定のミスが減少し、作業者によるヒューマンエラーのリスクが低減され、生産性向上が見込めます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

パルス制御溶接機を導入することで、導入前のパルス制御ではない溶接機に比べ、
作業品質の向上により溶接前後の作業時間の短縮が可能。
※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6-3	自動車向け溶接機（パルス制御溶接機）	0件	自動車整備業	整備・修理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

自動車向けの溶接機は、自動車の鈑金修理に特化して溶接を行える設備である。自動車に穴が空いたり、傷が出来た際に修理に活用することができる。パルス制御溶接機は物理的に鉄板が挟めない箇所の溶接を行う。また、自動車向け溶接機は自動車に特化していない溶接機と比較し、自動で厚みや抵抗値が設定され、スムーズな溶接が可能となる。

主に利用が想定される中小企業

自動車車体整備を行う事業者。

省力化効果

自動車に特化していない溶接機から自動車向け溶接機（パルス制御溶接機）を導入することで、溶接工程の短縮、作業ミスの削減、作業の迅速化等により大幅な省力化を図ることが可能である。

価格と導入費用（目安）

200万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えば
すぐに使用可能。

活用事例・ポイント

自動車のボディ構造やフレーム部分など、非常に高い精度で溶接を行う必要がある部位の修理で使われる。
パルス制御により、溶接電流を細かくコントロールできるため、均一で安定した溶接品質が実現できる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6-4	自動車向け塗装ブース	1件	自動車整備業、小売業	整備・修理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

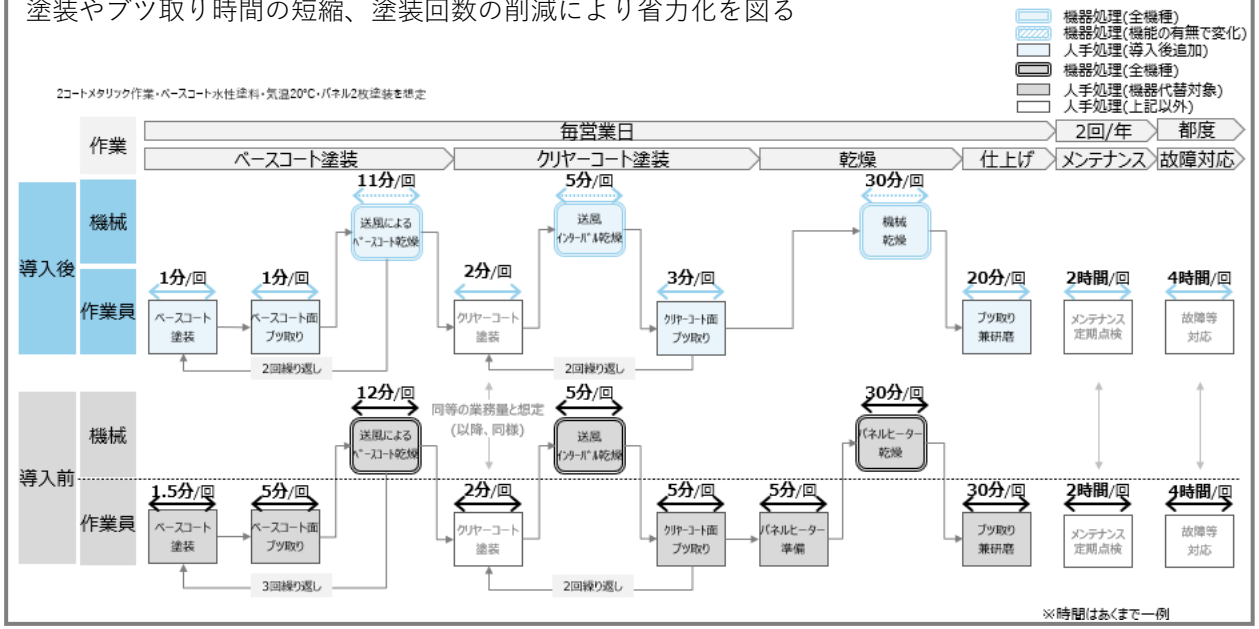
- 自動車の板金修理後や再塗装の際に、安定した品質で塗装作業を行いたい場面で活用できます。
- 例えば、塗装中のゴミの混入や塗料ミストの飛散を防ぎたいときや、塗装後の乾燥を効率よく行いたい整備工場に適しています。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

本機器の導入によりクリーンな作業環境を実現し、主にベースコートの塗装やブツ取り時間の短縮、塗装回数の削減により省力化を図る



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6-4	自動車向け塗装ブース	1件	自動車整備業、小売業	整備・修理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

塗装ブースは、自動車の塗装作業を行うための専用の密閉空間を提供する設備です。車両1台を丸ごと収容でき、塗装作業中のゴミの侵入や有機溶剤を含む塗料ミストの拡散を防ぐ機能を持ちます。本カテゴリでは、プッシュプル型換気装置と車体塗装後の乾燥装置（温風方式もしくはヒーター方式）を備えた設備とする。

主に利用が想定される中小企業

自動車車体整備を行う事業者。

省力化効果

本装置は、換気と乾燥機能を備えた密閉型の塗装空間を提供する設備であり、塗装環境を最適化することにより塗装品質のばらつきを抑えることができる。従来のビニールブースと比較して、周辺環境の塵・埃が少ないため、ブツ取りによる再塗装や後処理が必要な塗装面積が少なくなり、作業時間の短縮にも寄与する。乾燥工程においても品質とスピードが向上するため、全体として作業工程の効率化が図られる。

価格と導入費用（目安）

650万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

塗装中の異物混入を防ぐ密閉空間と、塗装後の乾燥まで一貫して行える構造である点がポイントである。特にプッシュプル型換気装置によって塗装ミストの拡散を抑え、作業環境の安全性向上にもつながる。乾燥装置を備えているため、天候や季節に左右されることなく一定の仕上がり品質が得られる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6-5	自動車両洗浄機	5件	運輸業、小売業、製造業、自動車整備業、廃棄物処理業、物品賃貸業	洗車・洗浄

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 運送業者において、複数台の車両を毎日洗車する必要がある場合に、自動車両洗浄機を活用することで、従業員の手洗い作業にかかる負担を減らし、作業時間を短縮できます。
- ガソリンスタンドやレンタカー事業者などでも、車両の美観維持と回転率向上のために導入されるケースが多く、安定した品質の洗浄を短時間で行うことができます。

置き換えが可能となる機能・性能

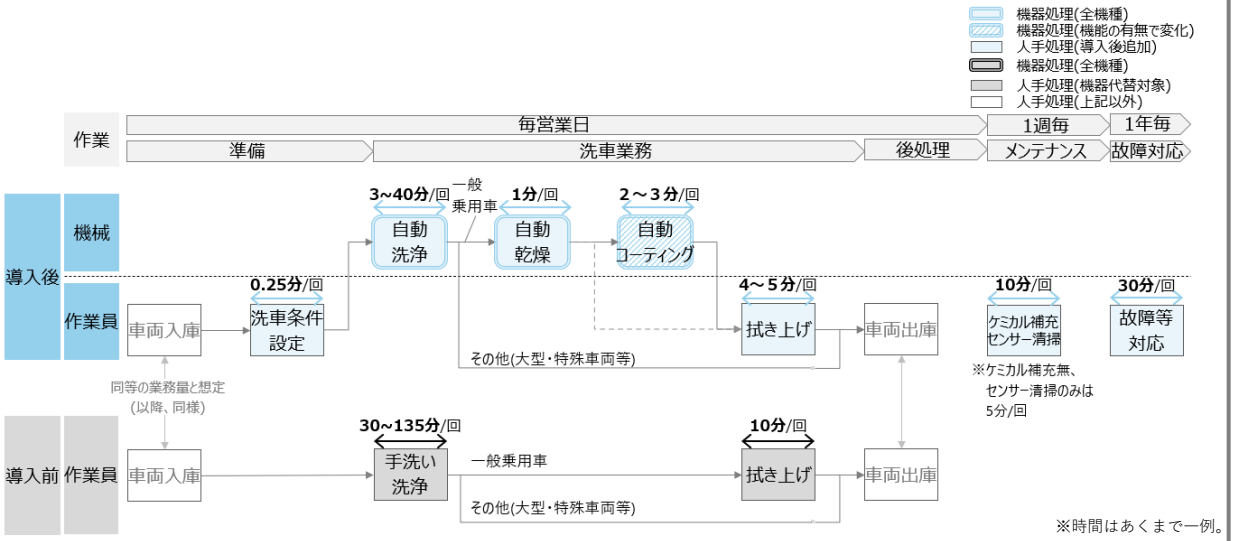
- 洗浄強化機能
- 乾燥強化機能
- コーティング機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

自動車両洗浄機により洗浄や拭き上げ作業の削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6-5	自動車両洗浄機	5件	運輸業、小売業、製造業、自動車整備業、廃棄物処理業、物品賃貸業	洗車・洗浄

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

車両を自動で洗浄する設備を示す。
主に対象となる洗浄車両は、乗用車タイプ(普通車)、バス・トラックなどの大型タイプ、ローリーやパッカー車などの特殊車両など。
従業員が車両を預かり自動車両洗浄機にセットし洗浄を行うフルサービス式の洗浄機

主に利用が想定される中小企業

洗車業務が頻繁に発生し、従業員が手洗い対応していた事業者。

省力化効果

自動車両洗浄機を導入することで、手洗いで30分以上を要していた洗浄作業と拭き上げ作業にかかる時間（10分程度）が大幅に削減される。製品によっては洗浄・乾燥を自動で行えることから、作業員による作業が最小限となり、時間・労力の両面で省力化が可能である。特に大型車両や汚れの多い車両では洗浄時間が長くなる傾向にあるため、省力化製品の導入することで、より多大な省力化効果が期待できる。

価格と導入費用（目安）

600万円～1,500万円（普通車用・大型車用・特殊車輌用などモデルによる違いと、センサー数やブラシ種類・動作等制御の方式によって異なる）

活用事例・ポイント

運送業者では、配送業務の合間に効率よく車両を洗車できる体制づくりに活用されている。2024年問題による拘束時間短縮にも対応する有効な手段となっている。
整備工場では、車検・点検後の納車前サービスとしての洗車作業を、品質を保ちつつ省力化できることが期待される。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6-6	自動車用全自動フロンガス回収・充填装置	6件	自動車整備業、小売業	整備・修理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

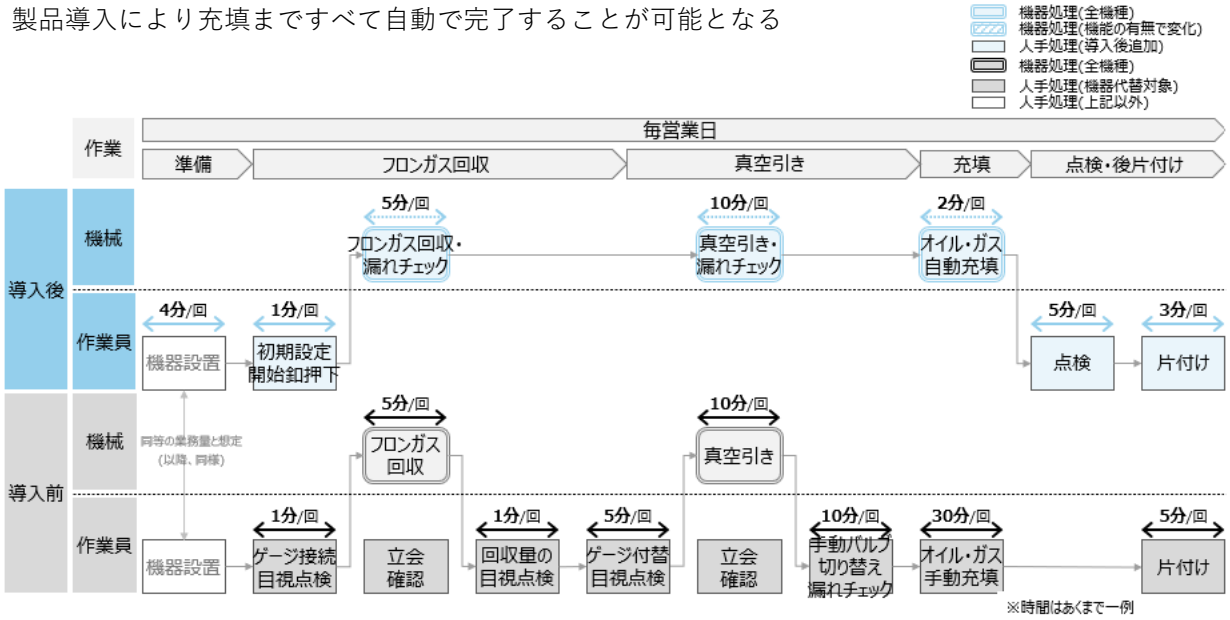
- 夏季などにカーエアコンの整備依頼が集中する時期、作業の合間にフロンガスの回収・充填をスムーズに進めたい場面で活用できます。
- 車両に装置を接続し、ボタン操作のみで自動的に回収から充填までが完了するため、整備士が他の点検作業に専念できるようになります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

ガス回収から充填するまでの作業を手作業で行っていたところ、
製品導入により充填まですべて自動で完了することが可能となる



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-6-6	自動車用全自動フロンガス回収・充填装置	6件	自動車整備業、小売業	整備・修理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

自動車エアコンシステム（カーエアコン）に使用されているフロンガスを回収し、新たなフロンガスを充填する専用機器。自動車整備工場での使用を前提に設計され、冷媒の規格（R134aやR12など）に対応。フロン排出抑制法に基づく第一種特定製品の管理が必要となる。また、フロンガスは R-1234yfという新しい規格になり、既存のフロンガス回収機では対応できないため新しいフロンガス回収機への更新が必要となる。複数のフロンガスの規格への対応が可能な兼用機、一つの規格にのみ対応した専用機がある。本製品は自動回収・充填機能を有した自動車用の全自動フロンガス回収機で、ガス漏れ診断機能を有する製品を本カテゴリの対象とする。

主に利用が想定される中小企業

自動車整備事業者やフロン排出抑制法への対応や新冷媒規格への設備更新が求められる事業者。

省力化効果

本製品の導入により、従来の目視点検や手動によるバルブ切り替えなどの作業が不要となる。ガスの回収から再充填までを一括して自動化できるため、作業時間が大幅に短縮され、作業者の負担も軽減される。

価格と導入費用（目安）

100万円～300万円（使用できるフロンガスの種類によって異なる）

活用事例・ポイント

本装置は、ガスの漏れ診断や冷媒規格への自動対応機能を備えている点が特徴である。操作が簡便であるため、少人数で運営している自動車整備工場でも導入しやすく、繁忙期でも安定した業務遂行が可能となる。特に経営者が高齢であったり、従業員が少数であったりする地域整備工場において、業務の安定化・継続性に寄与する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-7-1	美容ライト脱毛機器	8件	生活関連サービス業	施術

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

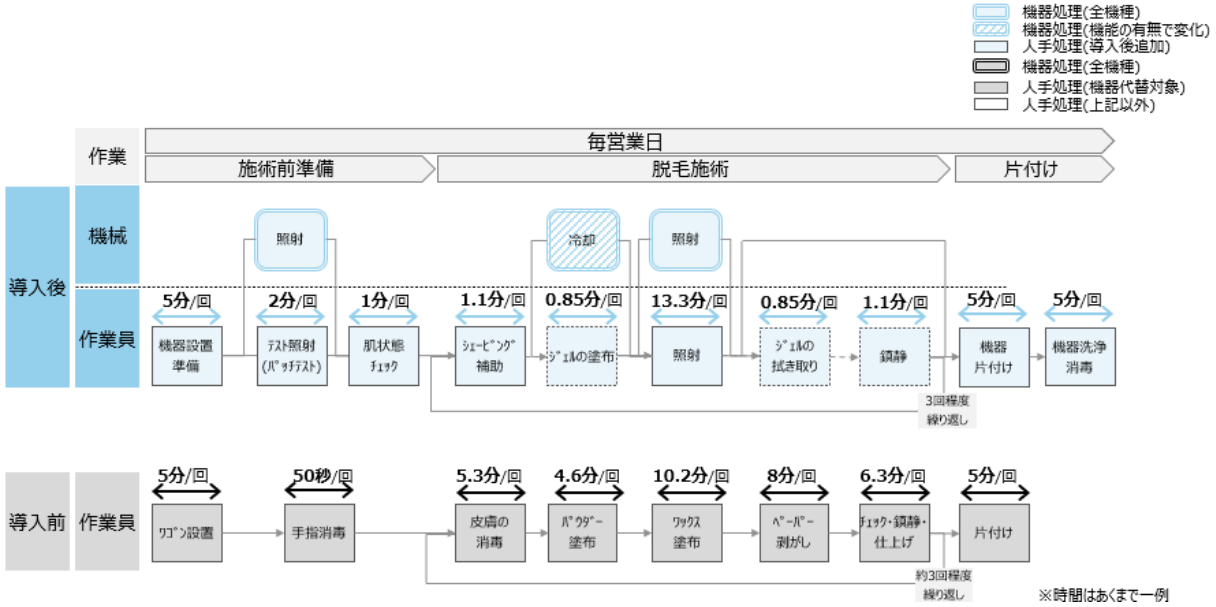
- 本機器は、エステティックサロンや理美容室における脱毛施術を効率化し、省力化が期待できます。従来のオールハンドによる施術と比べ、施術時間を短縮し、スタッフの負担軽減にも貢献します。
- 施術効率の向上により、顧客対応数を増やせるため、売上向上やサービス品質の向上にも役立ちます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

本機器の導入により、ワックスを用いた脱毛業務での作業時間が削減される。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-7-1	美容ライト脱毛機器	8件	生活関連サービス業	施術

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

・フラッシュランプを用いたIPL脱毛（減毛）機器であること。
・専用の教育（機器の導入研修等）を受けたサロンスタッフが機器を用いて施術を行うものであり、セルフ脱毛等には用いないこと。

主に利用が想定される中小企業

脱毛サービスを提供する事業者。

省力化効果

導入前の環境では、サロンでのムダ毛処理の方法は、「オールハンド（ワックス脱毛、除毛クリーム、剃毛、毛抜き）」または「美容ライト脱毛機器とハンドを組み合わせた方法」に大きく分けられる。通常、オールハンドで施術を行う場合、1名の顧客対応に平均100分を要するが、最新の美容ライト脱毛機器を使用することで約50分に短縮され、工数が1/2となる。
オールハンドでは、1名の施術者が1名の顧客に付きっきりで対応する必要があるが、美容ライト脱毛機器の導入により施術時間の短縮が可能となり、同じ時間内でより多くの顧客に対応できる。
また、エステティック業界で課題となっている人手不足の解消や、施術者の腕や腰への負担軽減にもつながり、機器導入後の省力化効果（サービス品質の向上を含む）が期待できる。

価格と導入費用（目安）

約250万円～480万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、エステティックサロンや理美容室での脱毛施術を効率化し、省力化を実現する。従来のオールハンド施術では1名あたり約100分を要していたが、本機器を導入することで約50分に短縮可能となる。これにより、同じ時間でより多くの施術を行うことができ、顧客満足度の向上や売上増加につながる。また、施術者の身体的負担も軽減できるため、人手不足が課題となっている業界にとって有効な導入手段となる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

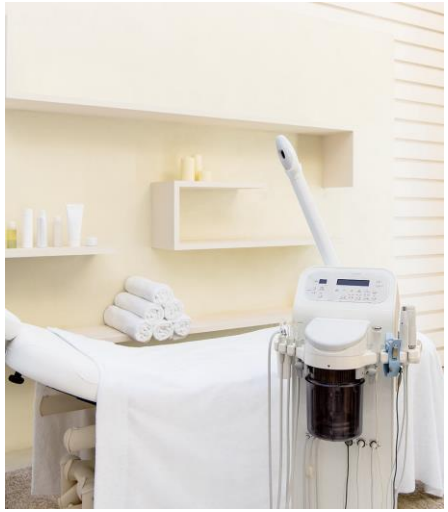
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-7-2	美容トリートメント機器	11件	生活関連サービス業	施術

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本機器は、エステティックサロンなどでの痩身・フェイシャル施術において活用できます。例えば、顧客へのEMSやラジオ波などによるボディケアや、美容液導入や毛穴洗浄などを行う美顔施術の現場で、施術スタッフの業務を支援するために利用されます。
- これまでオールハンドで行っていた施術を、美容トリートメント機器によって自動または半自動で実施することで、作業負担を軽減しながらも高いサービス品質を保つことができます。

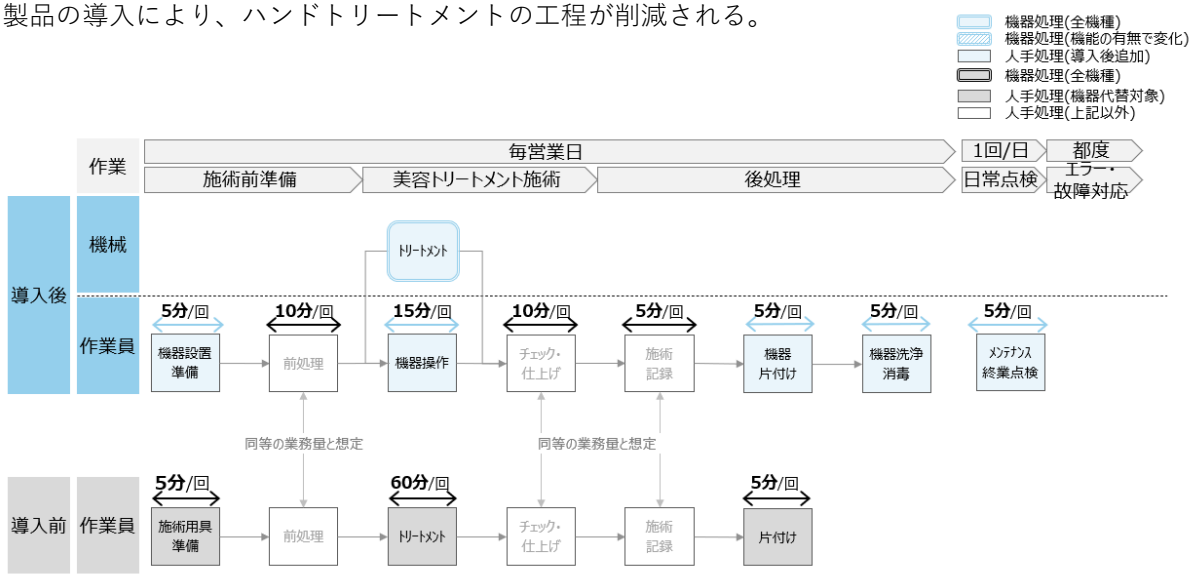
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

製品の導入により、ハンドトリートメントの工程が削減される。



※時間はあくまで一例。施術内容により増減する場合有

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-7-2	美容トリートメント機器	11件	生活関連サービス業	施術

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

エステティックシェイプアップ機器と、フェイシャル機器を対象とする。

・エステティックシェイプアップ機器とは低周波／中周波/高周波パルス等を利用し、身体の筋肉活動を促進するための機器。

・専門の教育（機器の導入研修等）を受けたサロンスタッフが用いて施術を行うものであり、セルフ店舗などでは用いない。

対象となる施術方式は、EMS、電磁パルスマシン、キャビテーション、RF（ラジオ波）、吸引いずれか1つの機能を有する。

・フェイシャル機器とは低周波/エステティックポレーションを利用し、美顔の目的で直接通電するものをいう。

またエステティックイオン導入機器とは、導入作用、いわゆるイオントフォレーシスの原理を利用して、美容液を導入し、或いは吸引作用を利用して毛穴の汚れを除去し、美肌効果を得る目的で使用する機器をいう。

対象となる施術方式は、EMS、 RF（ラジオ波）、エステティックイオン導入、キッシング、プラズマ、エステティックポレーション、超音波、吸引いずれか1つの機能を有する。

省力化効果

本機器は、従来オールハンドで行われていた痩身および美顔施術を自動化・機器化することで、施術スタッフの負担軽減と同時に、対応可能な顧客数の増加を可能とする装置である。EMSやラジオ波機能を活用することで、施術者が常時付きっきりとなる必要がなくなり、同時間内での顧客対応効率が向上する。これにより、人手不足への対応や、施術者の身体的疲労の軽減、省力化とサービスの質の維持・向上が同時に実現できる。

主に利用が想定される中小企業

主に、エステティックサロンや理美容室、リラクゼーション施設、美容サービスを提供する事業者。（セルフ店舗は対象外）

価格と導入費用（目安）

約55万円～300万円程度から導入可能。
（施術方式により異なる）

活用事例・ポイント

本機器は、フェイシャル・痩身を取り扱うエステティックサロンにおいて、特に人手不足や施術効率向上を目的とした導入が進んでいる。オールハンド施術に比べて、機器を活用することで施術の標準化や時間管理がしやすくなり、一定の技術レベルを担保したままサービス提供が可能になる点が導入の大きなメリットである。また、顧客満足度の高い施術体験を安定して提供できる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-7-3	自動シャンプー（洗髪）機器	0件	生活関連サービス業	施術

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

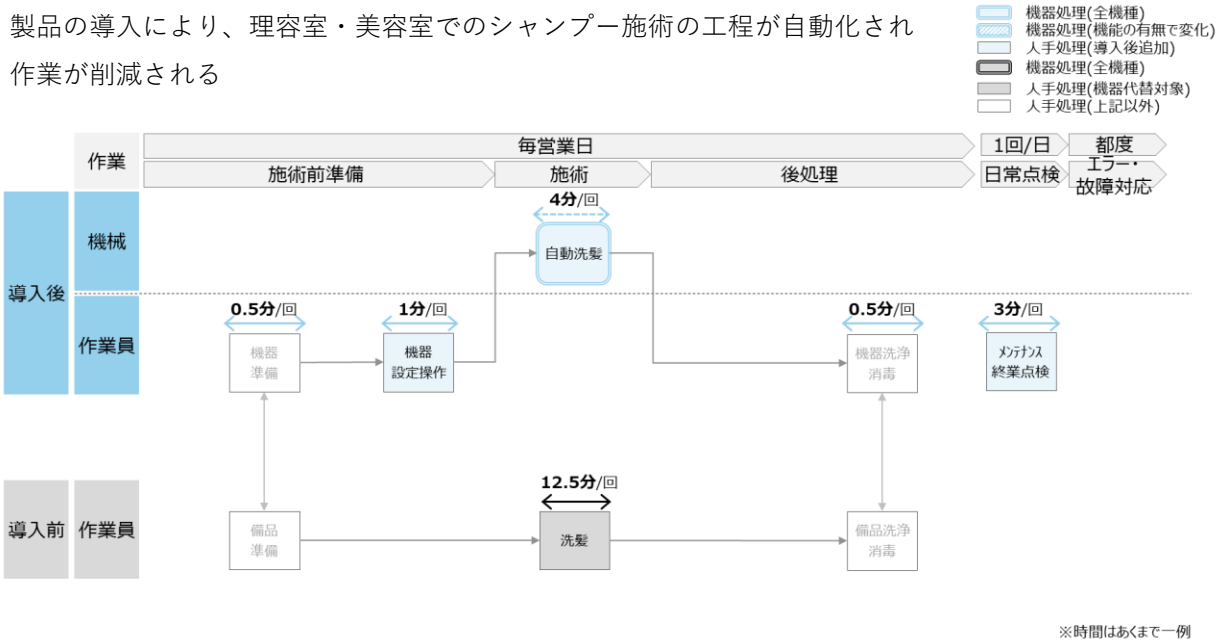
- 理容室・美容室において、カットやカラー前後の洗髪工程を自動シャンプー機器が担うことで、スタッフの負担を軽減できます。
- また、洗髪品質を均一化し、施術時間の短縮や回転率向上につながり、省力化とサービス品質の両立が可能となります。
- 施術者の手作業を減らし「スタッフの負担軽減」にも貢献します。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

製品の導入により、理容室・美容室でのシャンプー施術の工程が自動化され作業が削減される



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-7-3	自動シャンプー（洗髪）機器	0件	生活関連サービス業	施術

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

水流を活用して、洗髪工程をサポートする機器。理容室、美容室で効率的にシャンプー施術を行うために導入されている。
自動シャンプー機器は、主に以下の2つのタイプにわけられる。

1. 扇状に広がるように吐水された水流が頭皮全体を効率的に洗浄する、サイド洗いタイプ。
2. 水流が頭皮までしっかりアプローチしながら爽快感のある洗浄プログラムで心地よく洗い上げる、リア洗いタイプ。

主に利用が想定される中小企業

理容室・美容室

省力化効果

導入前環境として、オールハンドでの方法が主流である。通常オールハンドで行った場合、1名の顧客に対して平均12.5分を要するが、自動シャンプー機器を使用することによって、4分に省力化が図られる。機器を使用している間は、他の工程の準備や同時並行で複数の顧客にサービスが提供できる等、多能工対応の実現や顧客1名にかける労働時間の削減による省力化が期待できる。

価格と導入費用（目安）

約124万～約140万円
（水流の発生方式、洗髪方法によって異なる）

活用事例・ポイント

理容室・美容室において、自動シャンプー（洗髪）機器を導入することで、洗髪作業の自動化による人手不足対策と作業負担の軽減が可能となる。
洗浄圧や時間を一定に制御でき、サービス品質の均一化にも寄与する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-8-1	電子棚札システム	6件	小売業	保管・在庫管理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

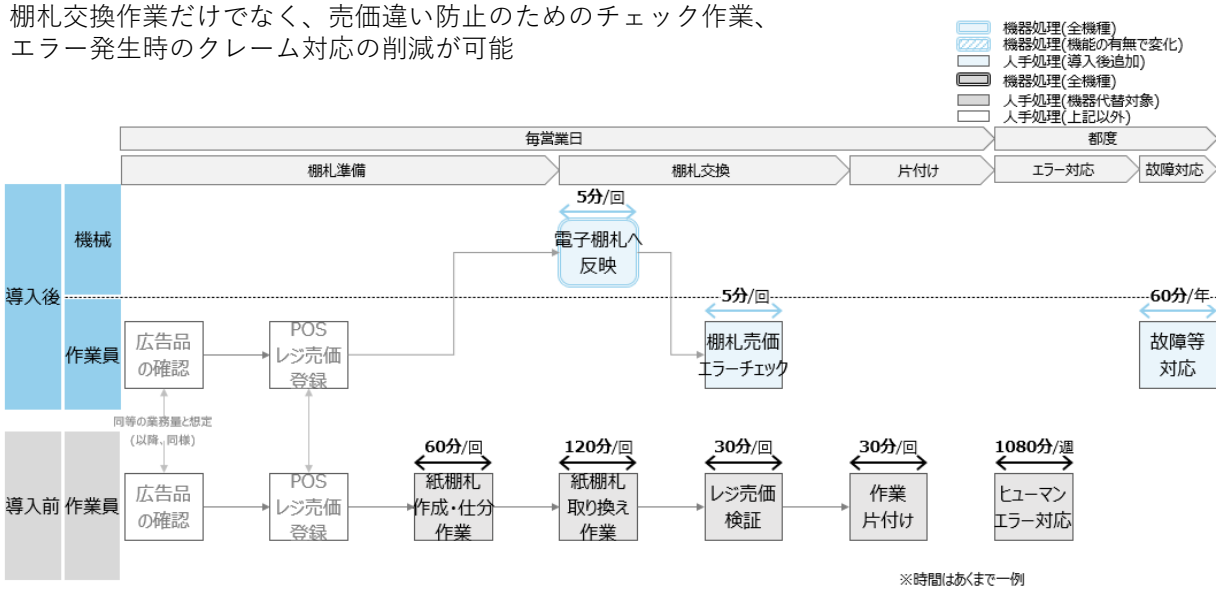
- 本システムは、小売店舗における商品価格の表示や変更作業に活用できます。たとえば、スーパーマーケットや家電量販店など、取扱商品が多く、価格の変更頻度が高い店舗に適しています。
- POSデータと連携させて価格表示を自動更新することで、紙の値札を手作業で印刷・貼り替える必要がなくなり、店舗スタッフの負担軽減につながります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業での紙棚札の運用から電子棚札システムの導入により、
棚札交換作業だけでなく、売価違い防止のためのチェック作業、
エラー発生時のクレーム対応の削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-8-1	電子棚札システム	6件	小売業	保管・在庫管理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

小売店舗の値札などの用途で使われる、通信により書き換えできる小型表示機と、表示内容を制御する制御部で構成される電子棚札システム。保守・管理するシステムも含む。
全ての表示器が個体番号などで制御PC等の画面上にて一覧管理・確認できるものとする。

主に利用が想定される中小企業

主に、スーパーマーケットやドラッグストア、家電量販店など、商品アイテム数が多く価格変動が頻繁に発生する業態の事業者。

省力化効果

本システムは、POS売価との連携により値札情報を自動で表示・更新することで、省力化を実現するシステムである。紙の値札やPOPの印刷・貼替にかかる作業時間を削減するとともに、表示ミスや売価違いなどのヒューマンエラーも抑制できる。これにより、チェック作業の時間削減に加え、クレーム対応に要する工数も削減される。月間での人時削減率は、貼替作業で約75%、エラー対応で約60%と高い省力化効果が確認されている。

価格と導入費用（目安）

200万～1,700万程度（小型表示機の枚数によって異なる）

活用事例・ポイント

本システムは、特にスーパーマーケットやドラッグストア、家電量販店など、商品アイテム数が多く価格変動が頻繁に発生する業態での活用が進んでいる。POSと連携したリアルタイムの価格表示が可能となることで、販促キャンペーンや時間帯別の価格変更にも柔軟に対応できる。さらに、全表示器をPC画面上で一括管理・モニタリングできるため、店舗運営の標準化や遠隔管理にも効果を発揮する。導入により、人的ミスの削減だけでなく、業務負荷の偏りを減らす効果も期待されている。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

制御PCの画面上にて、接続されたデジタル表示器の個体番号の一覧とそのオンライン接続状況の確認が出来るシステムを対象製品とする。補助対象となるデジタル表示器は、別途リスト管理する必要があります。

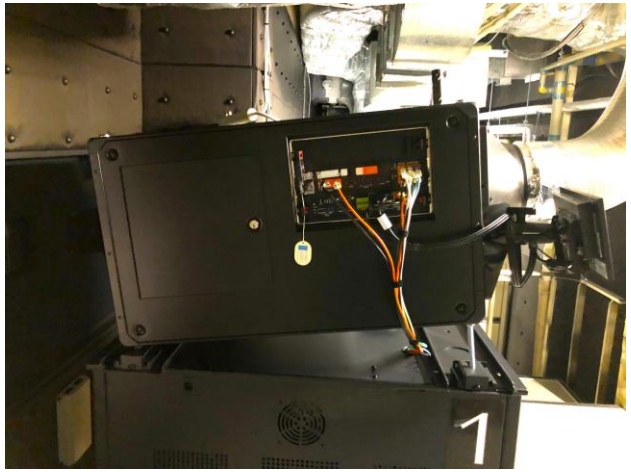
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-9-1	デジタル映写システム（デジタルシネマプロジェクター・デジタルシネマサーバー）	18件	娯楽業、映像・音声・文字情報制作業	上映・試写

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 映画館やミニシアターなどの上映施設において、映画コンテンツを高画質かつ安定して投影する場面で活用できます。特に、上映作品の入替頻度が高く、複数スクリーンを運営している劇場では、映写作業の効率化に役立ちます。
- また、スタッフの人数が限られている小規模な映画館でも、遠隔操作機能により作業負担を軽減できます。

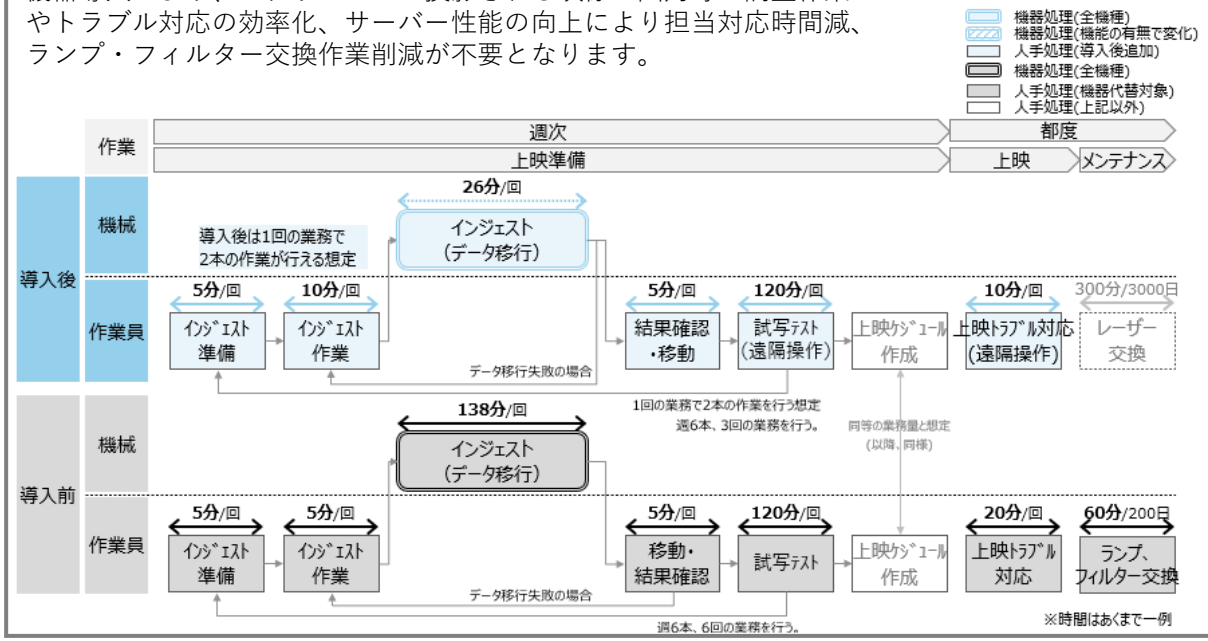
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

機器導入により、スクリーンへの投影される映像の画角等の調整作業やトラブル対応の効率化、サーバー性能の向上により担当対応時間減、ランプ・フィルター交換作業削減が不要となります。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-9-1	デジタル映写システム（デジタルシネマプロジェクター・デジタルシネマサーバー）	18件	娯楽業、映像・音声・文字情報制作業	上映・試写

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

DCP[デジタル・シネマ・パッケージ]をスクリーンに投影するための映写機材システムで、レーザーを光源としたデジタルシネマプロジェクターおよびUSB3.0に対応したデジタルシネマサーバーで構成される。

主に利用が想定される中小企業

ミニシアターをはじめとする、映画上映を行う娯楽施設。

省力化効果

本機器は、複数の業務工程を効率化することで省力化を実現できる。具体的には、①遠隔での画角調整が可能であるため、映写室と劇場内を往復する手間が不要となる。②USB3.0対応により、データインジェスト時間が従来比で半減するほか、再取り込みの手間も削減される。③光源をランプからレーザーに変更することで、約200日ごとに必要だったランプ交換作業が不要となり、保守負担の軽減につながる。

価格と導入費用（目安）

約500万～1,000万程度から導入可能。

活用事例・ポイント

特に小規模な映画館においては、上映作品の入替に伴う作業時間の短縮や、トラブル対応の迅速化が求められる場面で有効である。
本機器を導入することで、画角調整や上映準備作業が遠隔操作で対応可能となり、限られた人員での運営でも上映品質を安定的に確保できる。また、USB3.0対応により、繁忙期でも複数作品の高速インジェストが可能である点も導入のポイントとなる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-10-1	映像解析ＡＩによる交通誘導システム	0件	その他の事業サービス業、建設業	交通誘導

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

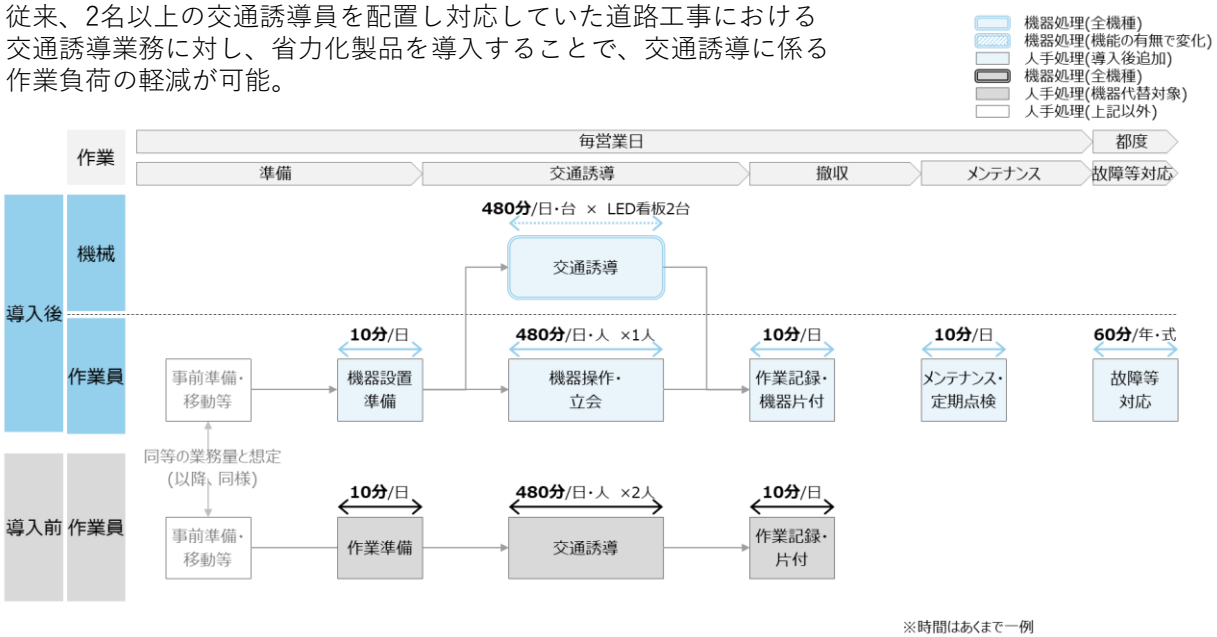
- 交通誘導警備が必要な工事現場等において、カメラ等により収集した映像情報をAIがリアルタイムに解析し、製品操作に関する認定資格等を有するAIオペレーターに対して誘導判断に資する情報を提供します。さらに、LEDディスプレイ等の表示装置を通じて車両および歩行者へ誘導内容を可視化し、AIオペレーターとAIが連携して交通誘導および交通制御を行います。
- このシステムを導入することにより、交通誘導員の配置数削減が可能となります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

従来、2名以上の交通誘導員を配置し対応していた道路工事における交通誘導業務に対し、省力化製品を導入することで、交通誘導に係る作業負荷の軽減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
1-10-1	映像解析ＡＩによる交通誘導システム	0件	その他の事業サービス業、建設業	交通誘導

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

交通誘導警備が必要な工事現場等において、カメラ等により収集した映像情報をAIがリアルタイムに解析し、製品操作に関する認定資格等を有するAIオペレーターに対して誘導判断に資する情報を提供するとともに、LEDディスプレイ等の表示装置を通じて車両および歩行者へ誘導内容を可視化し、AIオペレーターとAIが連携して交通誘導および交通制御を行うシステム。

主に利用が想定される中小企業

道路工事業、建設業、インフラ整備関連企業、警備業の事業者。

省力化効果

本製品カテゴリである「映像解析AI による交通誘導システム」を導入することにより、交通誘導員の配置数削減が可能となる。また、配置数削減により、ローテーション勤務が可能となり、24 時間（夜間）稼働などの対応も可能となる。安全性の向上やコスト削減と業務の安定化などにより、労働力不足解消の効果を発揮する。

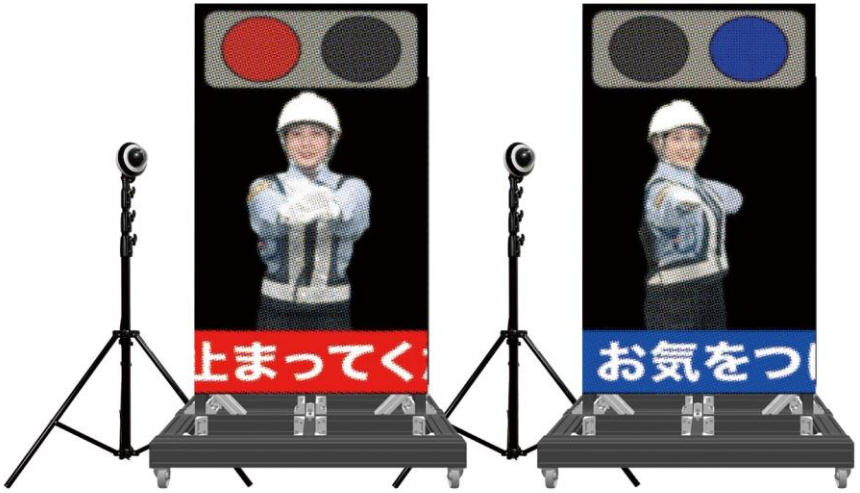
価格と導入費用（目安）

約900万程度

活用事例・ポイント

交通規制を伴う工事現場において、現場設置カメラの映像をAIが常時解析し、車両・歩行者の接近状況や交通流を即時に把握する。得られた分析情報は、製品操作に関する認定資格等を有するAIオペレーターに共有され、適切な誘導判断を支援する。同時に、LED表示装置を通じて進行・停止等の指示を現場へ明確に提示し、人とAIが協働して交通を制御することで、効率的かつ安全性の高い運用体制を構築し、交通誘導業務の省力化を図る。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

2

非製造業・製造業を対象とした製品カテゴリ

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-1	食品包覆機（食品包あん機、餃子成型機等）	20件	製造業、小売業、飲食サービス業、宿泊業、卸売業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 包み食品を効率よく成型・生地等で包むことができ、手作業に比べて生産性が向上することに加え、品質の均一化も図ることができます。
- 従来まで、熟練の作業員が多くの時間と労力を要しながら行っていた作業を、本機器を活用することで大幅な省力化が見込めます。

置き換えが可能となる機能・性能

- 生地製造・調整機能
- タッチパネル式表示機能
- 生産速度可変機能

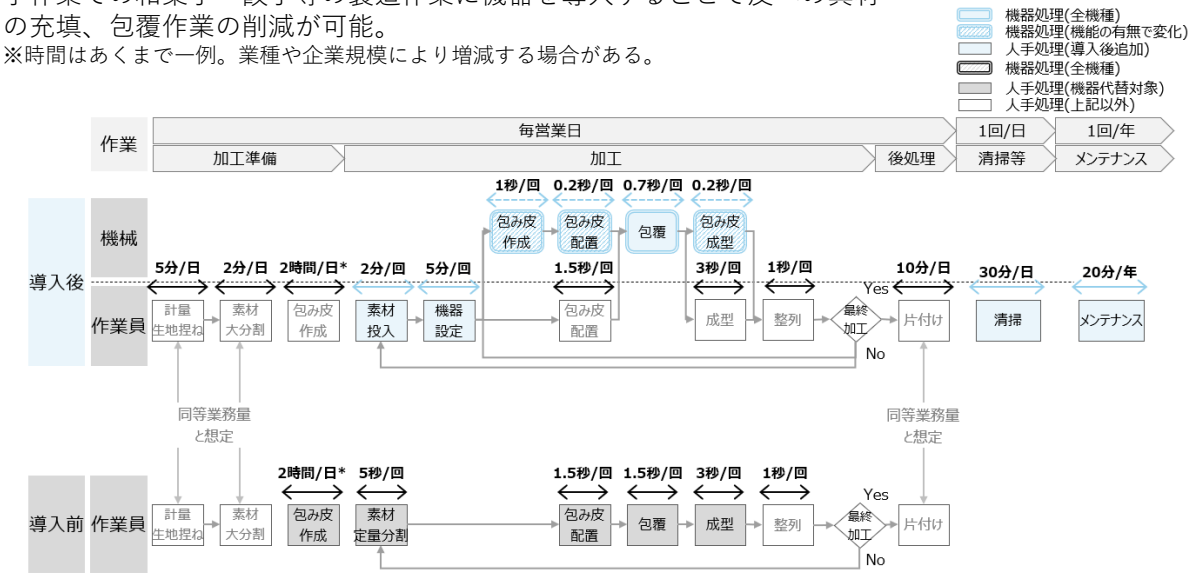
活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業での和菓子・餃子等の製造作業に機器を導入することで皮への具材の充填、包覆作業の削減が可能。

※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。



＊：飲食サービス業の場合は作成する食品数量が少ないため、1時間/日で設定

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-1	食品包覆機（食品包あん機、餃子成型機等）	20件	製造業、小売業、飲食サービス業、宿泊業、卸売業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

和洋菓子や調理食品などの製造工程で、人手を介さずに均一に具材等を生地等で包む作業を行う装置。

主に利用が想定される中小企業

和洋菓子や調理食品などの製造・調理を行う事業者。

省力化効果

和洋菓子や調理食品の製造工程の中、具材等を生地等で包む作業は、時間と労力を要する作業であり、従来までは熟練の作業員が手作業で行うことが多かった。
本機器を活用することで、大幅な生産性の向上が見込める。

価格と導入費用（目安）

価格は機械規模により大きく異なるが、数百万円から数千万円程度のものまで存在する。基本的に導入後の設定を行えば
すぐに使用可能。

活用事例・ポイント

大量の生産が求められる工場等において、包み食品を効率よく成型・生地等で包むことができ、手作業に比べて生産性が向上することに加え、品質の均一化もでき、大幅な省力化が見込める。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-2	食品スライサ・カッタ	53件	製造業、卸売業、小売業、飲食サービス業、宿泊業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

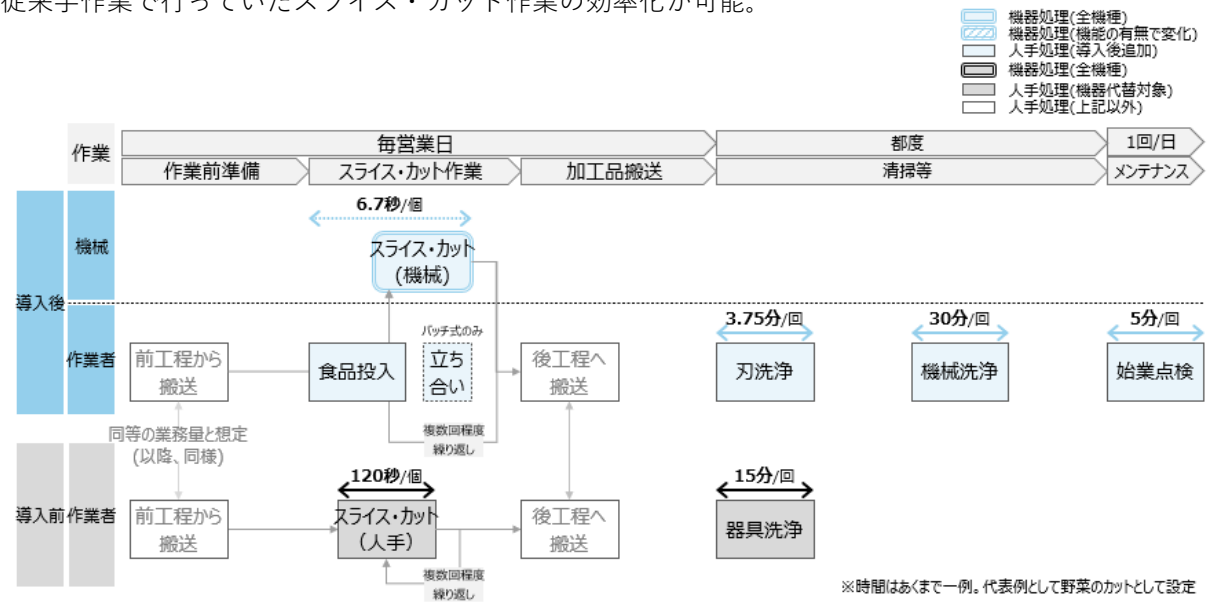
- 飲食店の厨房やスーパーのバックヤード、食品加工会社などで、食材を一定の厚さや形に正確かつ素早くカットしたい場面で活用できます。
- 特に、人手不足が深刻な現場や、食材の仕込みに多くの時間を割けない調理現場で役立ちます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

食品スライス・カットの導入により、
従来手作業で行っていたスライス・カット作業の効率化が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-2	食品スライサ・カッタ	53件	製造業、卸売業、小売業、飲食サービス業、宿泊業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

食肉、野菜、魚介類、パン・菓子、米飯加工食品などの食品を均一な厚みや形状にスライスするなど所定の形状にカットする装置。

主に利用が想定される中小企業

スーパー、飲食店、食料品製造業などで、手作業での仕込み・調理作業を行う事業者。

省力化効果

従来、人手によって行っていた食材のスライスやカット作業を自動化できるため、作業時間を大幅に短縮できる。作業者の負担が軽減されるほか、刃物を扱う危険な作業の頻度を下げることで、事故や怪我のリスクを抑える効果もある。切断精度が均一であるため、仕上がりの品質にも安定性が生まれる。

価格と導入費用（目安）

【食肉スライサ】100万円～3,000万程度
【野菜、魚類スライサ】145万円～1,500万円程度

活用事例・ポイント

スーパーの総菜部門では、大量の野菜やハムのスライス作業をスライサで対応することで、人員を別の業務に充てることが可能となる。飲食店のセントラルキッチンでは、肉や魚のカット工程を効率化し、毎日の仕込み作業を短縮する事例がある。特に、カットの均一性が求められる加工食品製造の現場では、品質と生産性の両立に有効である。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-3	パン等発酵生地の分割・まるめ機	5件	製造業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

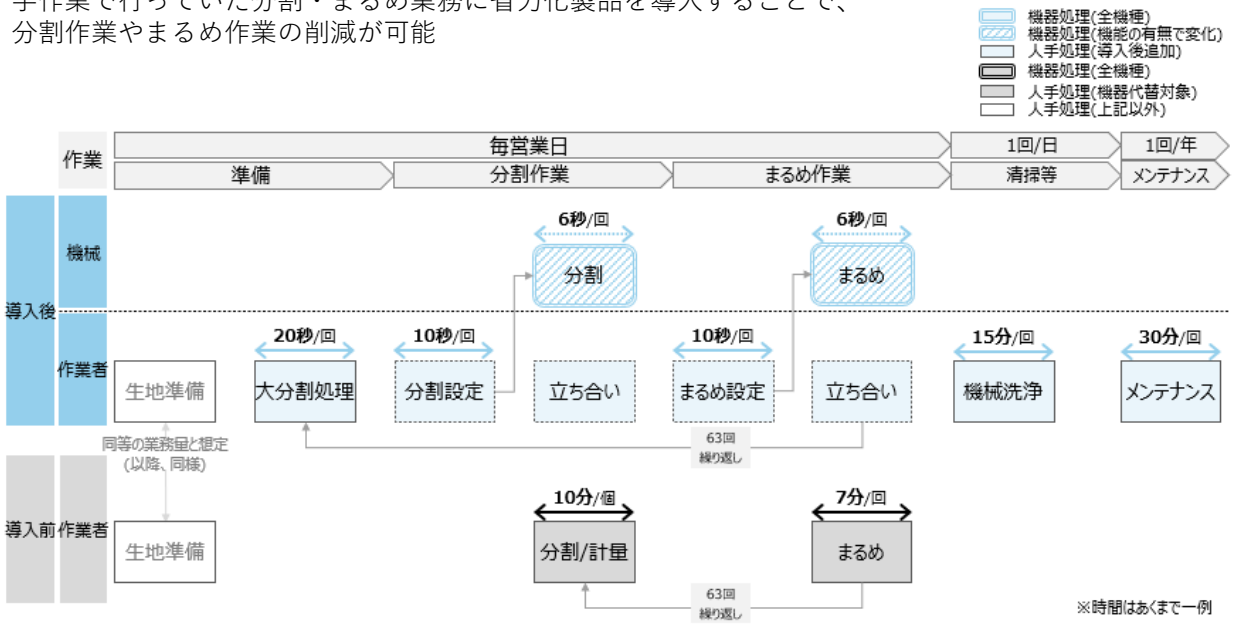
- ベーカリーや飲食店、宿泊施設の厨房などで、パン生地やピザ生地、中華まんじゅうの生地を分割・まるめる作業に多くの時間と手間がかかる場合に活用できます。
- 手作業で行っていた工程を自動化することで、作業時間を大幅に短縮し、安定した品質で生産することが可能になります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた分割・まるめ業務に省力化製品を導入することで、
分割作業やまるめ作業の削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-3	パン等発酵生地の分割・まるめ機	5件	製造業、卸売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

パン生地やピザ生地、中華まんじゅうなどの生地を均一に分割または、まるめ作業を行う装置である。兼用装置も対象とする。
この工程は、パンの製造工程の中で最も時間と労力を必要とする作業であり、従来は熟練の作業員が手作業により行っていた。
本装置を使用することで、熟練の作業員１名が１時間程度かけて行っていた作業を 10 分間程度で終わらせることが可能となる。

主に利用が想定される中小企業

パン生地やピザ生地、中華まんじゅうなどの発酵生地を扱う食品製造・加工を行う事業者や宿泊業・飲食サービス業の事業者。

省力化効果

パン等発酵生地の分割・まるめ工程は、熟練作業者による手作業では多くの時間と労力を要するが、本装置を導入することで大量の生地を短時間で処理でき、作業負担の軽減と生産性向上が期待できる。

価格と導入費用（目安）

290万円～2,100万円程度（タイプごとで異なる）　。

活用事例・ポイント

本装置は、分割・まるめ作業に熟練を要していた中小の製パン事業者や、厨房で日常的にパン・まんじゅうなどを製造している宿泊業・飲食サービス業などでの導入が進んでいる。生地の種類や製品に応じた調整機能を備えた製品も多く、幅広い用途で活用可能である。また、自動化による作業負担の軽減に加え、衛生管理面の対応を強化できることも導入のポイントである。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-4	小型豆乳プラント（グラインダー・煮釜・絞り機一体タイプ）	4件	製造業、小売業、飲食サービス業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

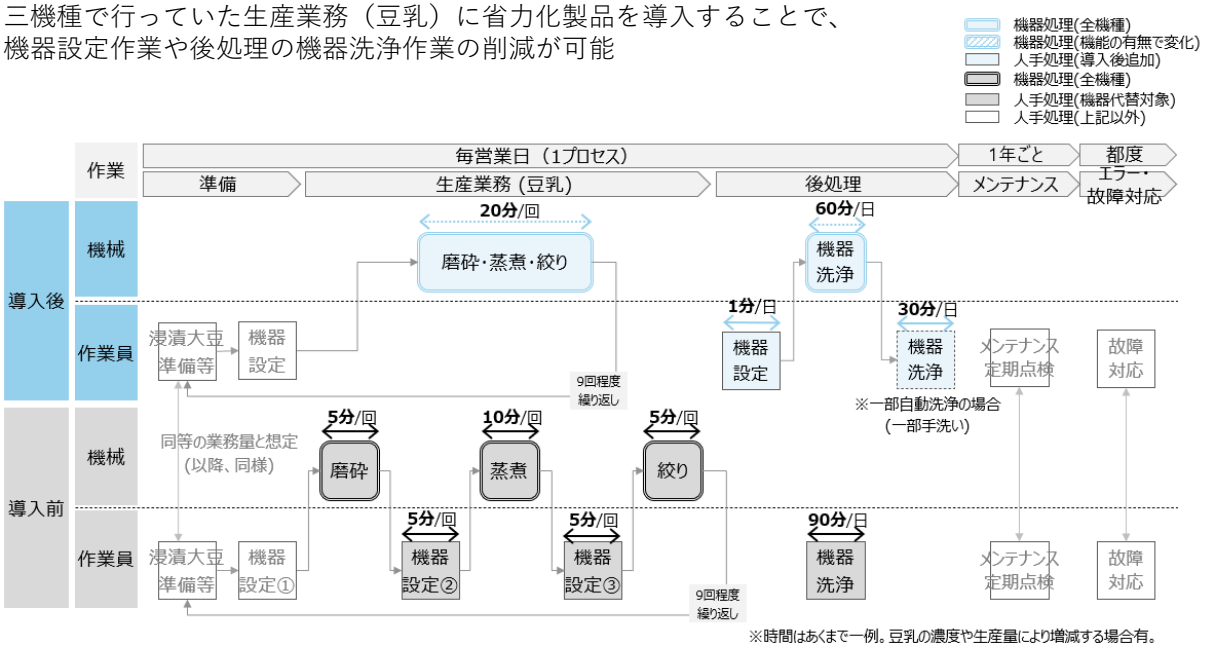
- 小型豆乳プラントは、限られた人数で豆乳や豆腐を製造している小規模な食品工房や飲食店、あるいは直販型の豆腐屋などで活用できます。たとえば、豆腐製造の一連の工程を毎朝手作業で行っているような事業所では、工程の自動化により作業時間の短縮と負担の軽減が期待できます。
- また、豆乳専門カフェや湯葉料理店などでも、店舗内での新鮮な豆乳製造に適しており、品質管理と効率化の両立を実現できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

三機種で行っていた生産業務（豆乳）に省力化製品を導入することで、
機器設定作業や後処理の機器洗浄作業の削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-4	小型豆乳プラント（グラインダー・煮釜・絞り機一体タイプ）	4件	製造業、小売業、飲食サービス業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

グラインダー・煮釜・絞り機の三機種をセットにして機器設定を一元化し、一機種以上の機器洗浄を自動化する小型の製品のカテゴリ。1時間当たりの大豆の処理量が60kg以下の製品を小型と定義する。業務内容は豆乳の製造で、生産業務及び後処理の機器洗浄に対応する。対象となる製品は、浸漬した大豆を、加水しながら磨砕し、蒸煮した後に、オカラを分離して豆乳を抽出する機能を有する。製品本体はグラインダー・煮釜・絞り機の三機種により構成される。

主に利用が想定される中小企業

豆腐製造業者、豆乳・湯葉料理を提供する飲食サービス業者、および直販型の豆腐・豆乳小売店など。

省力化効果

従来は、浸漬した大豆の磨砕、煮沸、搾り出しといった各工程の切り替え時に人手による作業が発生していたが、本製品の導入により三工程が一体となることで、工程切り替え時の機器設定や機器洗浄に要する時間を削減できる。

価格と導入費用（目安）

約300万円～800万円
（製品の一部自動洗浄機能、完全自動洗浄機能によって異なる）

活用事例・ポイント

小規模な豆腐製造事業所では、これまで個別の機器で行っていた磨砕・煮沸・搾り工程を、従業員が手作業で切り替えていた。小型豆乳プラントの導入により、一台で三工程を連続的に処理できるようになったことで、工程の切り替え時間や原材料の移し替え作業が不要となり、作業時間の短縮と身体的負担の軽減が見込める。また、豆乳や湯葉を提供する飲食店においては、厨房内に省スペースで設置できるため、少量製造を必要とする営業形態にも適合している。洗浄機能も一体化されていることから、営業中の清掃作業の簡略化や衛生管理の徹底にも貢献している。本設備は、人手不足や燃料・原材料費の高騰などにより厳しい経営状況に置かれた事業所にとって、日々の業務負担を減らしつつ製品品質を維持する上で、有効な手段となる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-5	食品切断・分離・除去機（ヘッダー、ガッター、オートシェラー、芯取り機等）	1件	製造業、卸売業、小売業、飲食サービス業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

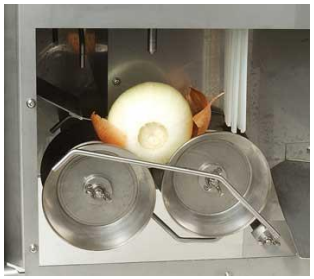
例えばこんな場面で、

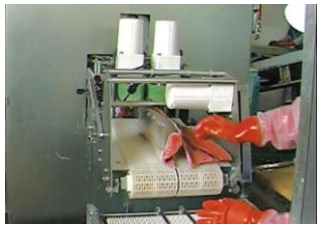
- 食品切断・分離・除去機は、水産・野菜・果実・惣菜・畜産・ナッツ加工など、あらゆる原料処理の自動化を実現し、労働力不足の解消衛生向上歩留まり改善生産性アップに貢献する設備として多くの食品工場で活用されています。
- 給食センター、大手惣菜工場、食品メーカーでの「切断・分離・除去工程の一貫ライン化」により、労働力不足対策、生産量・品質の安定化が図れます。

置き換えが可能となる機能・性能

- 切断位置調整機能
- 加工条件登録機能
- 生産速度高速化機能

活用イメージ

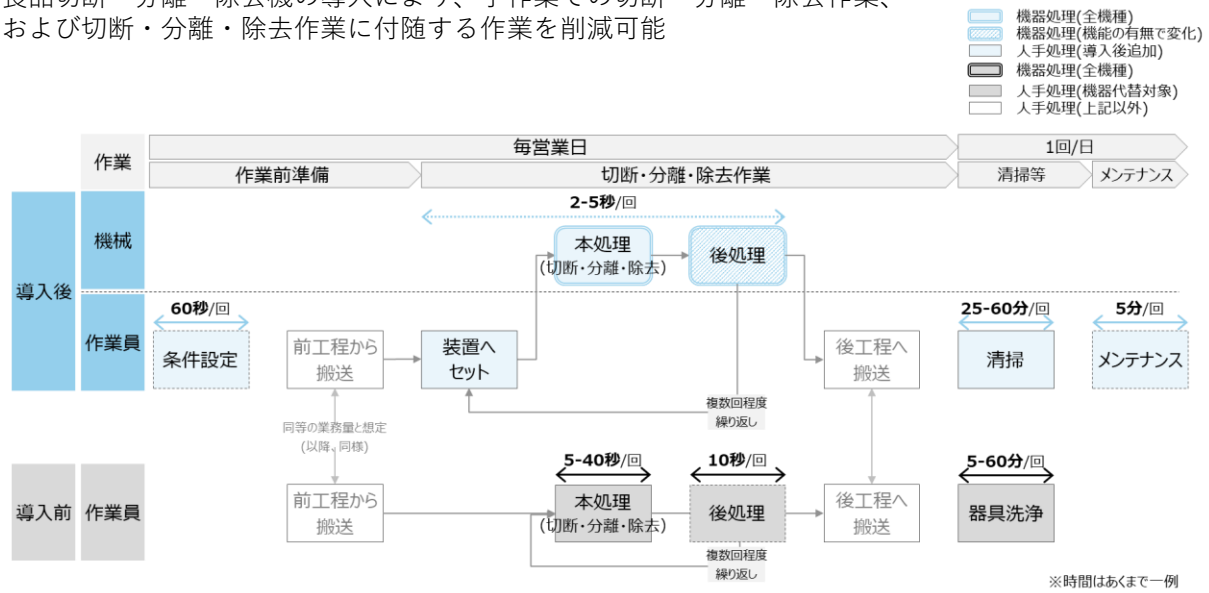




※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

食品切断・分離・除去機の導入により、手作業での切断・分離・除去作業、および切断・分離・除去作業に付随する作業を削減可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-5	食品切断・分離・除去機（ヘッダー、ガッター、オートシェラー、芯取り機等）	1件	製造業、卸売業、小売業、飲食サービス業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

肉類、野菜、魚介類、加工食品等を切断、分離する機械。対象食品を切断し、肉類の骨を取り除いたり、野菜の皮を剥いたり芯をくり抜いたり、魚介類の殻や内臓等を取り除いたり、魚の頭と身を分離（中骨除去／３枚おろし含む）したりすることで、加工食品にする箇所と廃棄する箇所等とを分離し、廃棄又は飼料にする箇所を除去する機械。但し、近年は廃棄せずに再利用するケースも一部存在する。

主に利用が想定される中小企業

野菜や魚介類を一次加工処理する事業者。
野菜や魚介類を店舗等に卸す事業者。

省力化効果

肉類の骨を取り除いたり、野菜の芯をくり抜いたり、魚介類の殻や内臓等を取り除いたり、魚の頭を切断したりする作業は、人手で作業するには非常に手間がかかり危険が伴う。当該製品カテゴリの製品を導入することにより、省力化に資するのみならず、作業者の事故や怪我を未然に防ぐことも期待される。

活用事例・ポイント

食品切断・分離・除去機（ヘッダー・ガッター・オートシェラー・芯取り機など）は、水産・野菜・果実・惣菜・畜産加工の前処理を自動化する装置として活用される。魚の頭部・内臓除去、キャベツや果実の芯抜き、野菜の端カットなどを高速かつ衛生的に処理し、歩留まり向上、人手不足解消、品質安定等に貢献する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-6	食料品加熱撹拌機	0件	製造業、卸売業、小売業、飲食サービス業、宿泊業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 惣菜・食品工場で、タレやソース、あんこの製造工程で温度管理を自動化します。品質のばらつきを抑え、レシピ通りの再現性を確保します。また、炒め物の大量調理等も可能にします。
- 菓子製造工場で、カスタードやクリーム、ジャムを連続製造することを可能とします。焦げやダマを防ぎ、なめらかな仕上がりと生産効率向上を両立します。（コーヒー豆等焙煎にも活用できます。）

置き換えが可能となる機能・性能

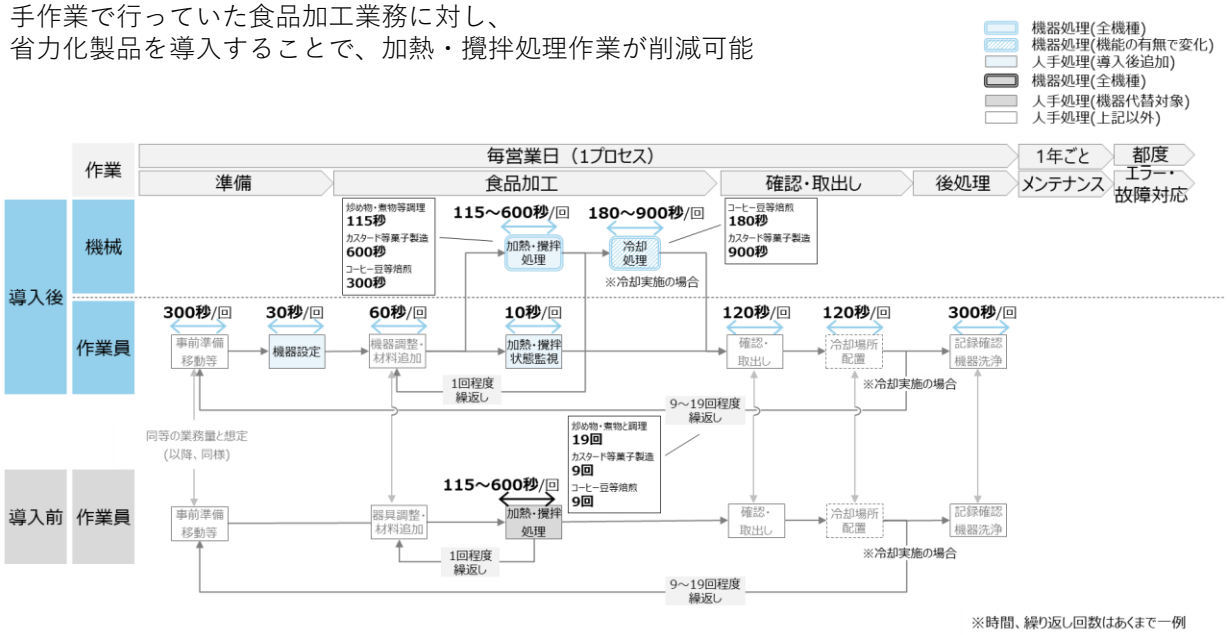
- 工程登録機能
- 温度管理機能
- 比重管理機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた食品加工業務に対し、
省力化製品を導入することで、加熱・撹拌処理作業が削減可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-6	食料品加熱撹拌機	0件	製造業、卸売業、小売業、飲食サービス業、宿泊業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

食品の加熱と撹拌の2 つの機能を同時に行うことができる装置。具体的には、容器に入れた液体や粉体などの材料を、設定した温度に加熱しながら、内蔵された羽根やスクリューなどで混ぜ合わせる機能をもつ。

主に利用が想定される中小企業

食品製造業、および菓子小売業、パン小売業、料理品小売業、飲食店など。

省力化効果

従来の人手による作業では、加熱と撹拌を別々の器具・機器で行う必要があったが、加熱撹拌機一台で両方の工程を同時に行うことにより、機器の準備や移動、材料の移し替えなどの手間が省ける。また、設定した温度と撹拌速度で自動的に運転できるため、作業員が常に監視したり、手動で撹拌したりする必要がなくなる等省力化の効果は大きい。

価格と導入費用（目安）

350万～2,000万
※対応サイズ（容量）によって異なる

活用事例・ポイント

食料品加熱撹拌機は、食材を自動で加熱しながら均一に撹拌できるため、大量調理現場の省力化と品質安定に貢献する。

例えば、給食センターや惣菜工場では、スープやソース、ジャム、あんこ等を焦げ付きなく安定製造でき、熟練者に頼らず味の再現性を確保。加熱温度や時間をデータ管理することで、衛生管理の高度化と人手不足対策を同時に実現する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-7	食品（粉粒体含む）自動開封機	0件	製造業、卸売業、小売業、飲食サービス業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- セントラルキッチンの惣菜製造工程で、調味料袋の開封から排出までを自動処理。人手作業を削減し、仕込み工程を効率化します。
- 精米工場の投入工程では、紙袋を自動開封し、精米ラインへ直結。持ち上げ・切開作業をなくし、少人数で安定稼働を実現します。

置き換えが可能となる機能・性能

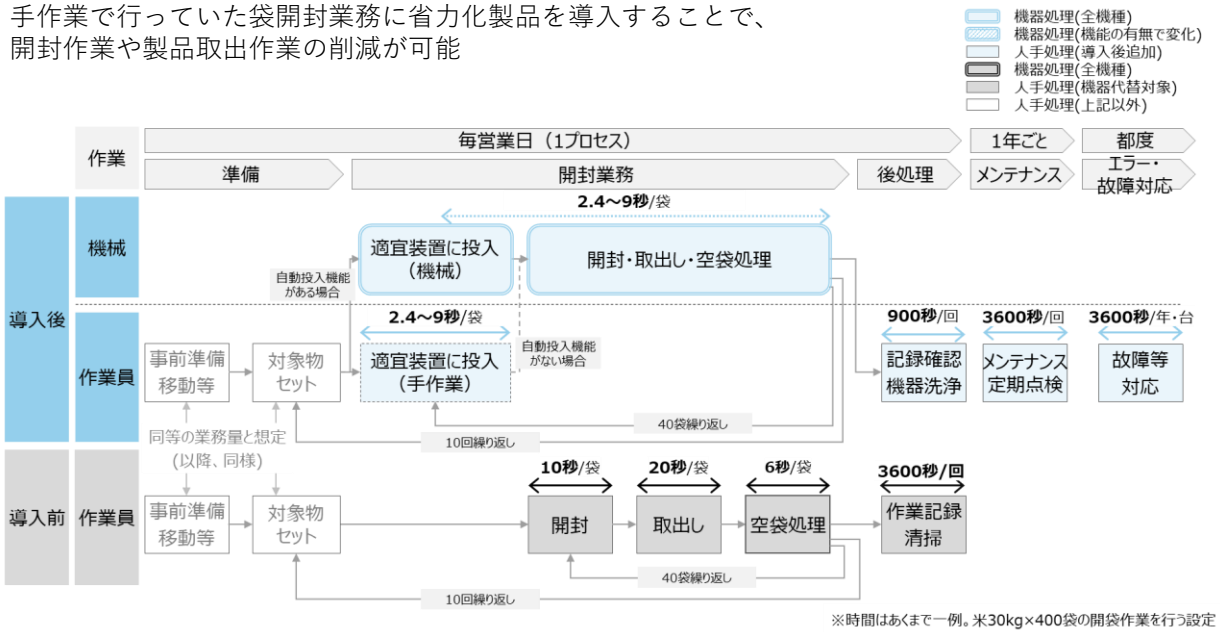
- 空袋回収対応機能
- 自動投入機能
- 誤投入防止機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた袋開封業務に省力化製品を導入することで、
開封作業や製品取出作業の削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-1-7	食品（粉粒体含む）自動開封機	0件	製造業、卸売業、小売業、飲食サービス業	加工・生産、調理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

袋等で封詰めされた冷凍・冷蔵・常温の鶏肉、粉粒体等の食品原料を対象に、人手を介さず自動的に搬送・切断・開封し、内容物を確実かつ衛生的に回収・排出したうえで、包材を内容物と分離・回収する装置である。

主に利用が想定される中小企業

・食品製造業（袋詰めされた粉粒体を使用／袋詰めされた食肉や水産物を使用）
・セントラルキッチン等を併設する食料・飲料卸売業や、飲食サービス業

省力化効果

■米の開袋における導入事例より
製品導入前：①原材料袋セット(50分)②手作業で開封(240分)③清掃(30分)
製品導入後：①原材料袋セット(同様)②自動開袋(60分)③機器清掃(15分)
一日当たり240分(立会不要)＋15分の人手による作業時間が削減される。

■袋詰された鶏肉の開袋における導入事例より
製品導入前：①手作業で開袋(400分)②清掃(30分)③作業記録(30分)
製品導入後：①自動開袋(立会13分)②機器清掃(15分)
一日当たり400分－13分＋15分＋30分＝432分の作業時間が削減される。

価格と導入費用（目安）

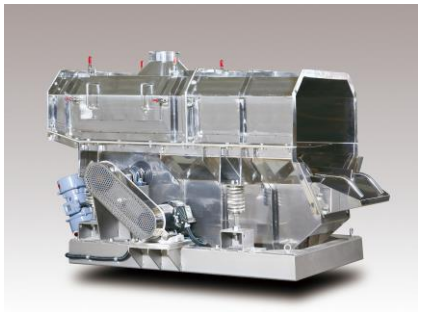
600万円～3,700万円
※開袋方法・処理能力によって異なる

活用事例・ポイント

食品（粉粒体含む）自動開封機は、小麦粉や砂糖、香辛料などの原料袋、袋等で封詰めされた食品を自動で切開・排出することで、作業者の負担軽減と異物混入リスク低減を実現する。

製菓・製パン工場やセントラルキッチンでは、大量原料の連続投入が可能となり、作業時間を短縮。人手不足対策や作業の標準化にも寄与し、衛生管理レベルの向上と生産性改善を同時に図れる。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-1	無人搬送車（AGV・AMR） ※Automatic Guided Vehicle、Autonomous Mobile Robot	41件	倉庫業、卸売業、小売業、製造業	資材調達、加工・生産、検査、保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

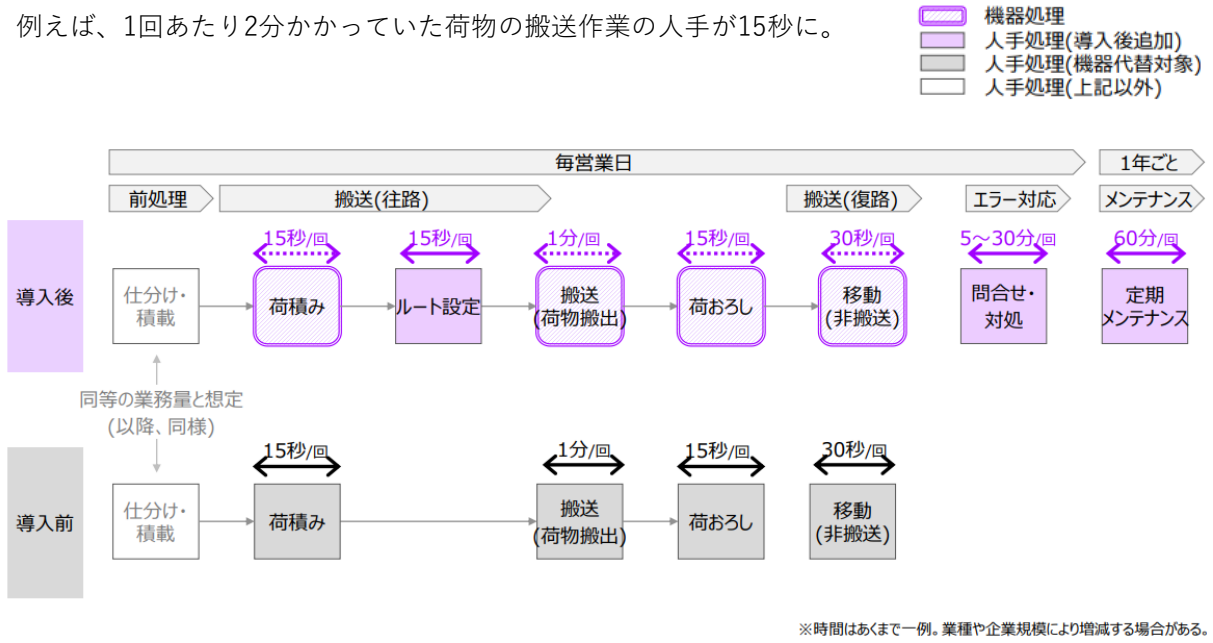
- 台車の自動化機器、製造業の工場や倉庫において、従業員が人手による手押し台車等での搬送を行っていたところ、無人搬送車はルート等を設定するだけで自動で搬送が可能。
- 搬送ミスの低減や作業ムラが無くなることにより、処理スピードや処理精度が向上。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

例えば、1回あたり2分かかっていた荷物の搬送作業の人手が15秒に。



※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-1	無人搬送車（AGV・AMR） ※Automatic Guided Vehicle、Autonomous Mobile Robot	41件 2026年3月23日時点	倉庫業、卸売業、小売業、製造業	資材調達、加工・生産、検査、保管・在庫管理、入出庫

製品カテゴリの概要

自動で走行する車両または台車で、もの（パレット、ケース、台車など）を移載やけん引できる機能を有し、自動で搬送が行える製品。
位置の認識やルートについては、機器に組み込まれたマップ、決められた位置情報やルートに基づき、自動で移動が可能。

主に利用が想定される中小企業

製造業の工場や、倉庫業、卸売業、小売業の倉庫などで、人手によるフォークリフトや手押し台車等での搬送を行っていた事業者。

省力化効果

人手によるフォークリフトや手押し台車等での搬送から、電子的指示による自動搬送が可能となるため、搬送作業の無人化が可能。
重量物の運搬に関して、人間の手で行う必要が無くなり、転倒などによる事故率の低減や作業者への負担が大きく減少。
また、搬送ミスの低減や作業ムラが無くなることによる処理スピードや処理精度の向上にも寄与する。
さらに、物品の位置情報や移動結果等の運搬状況がリアルタイムで把握でき、搬送物の正確な管理ができる。
運搬作業やその作業教育に掛かる人件費・作業者の安全対策等の備品購入費などについてのコスト削減が可能となる。

価格と導入費用（目安）

製品の規模により大きく異なるが、数百万円から1,000万円程度～でも導入可能。導入先にてAGV・AMRの稼働スペースが確保されている場合は、必要な作業はおおまかな運搬ルートの指定、搬送物の荷姿や重量の計測程度。

活用事例・ポイント

- 例えば、自動倉庫から出庫された商品を自動で次の工程まで運搬することが可能。搬送できるのはケースだけで無くカゴ車や棚など、使用環境やニーズによって設定可能であり往復で別のものを搬送することも可能。
- 運搬作業の指示や状況に合わせた変更をタブレット端末にて行い、すべての搬送作業を終えたら自動で充電場所まで戻る機種も。
- 人に追従して複数台の台車を効率良く運搬できる機能も。

（製品イメージ）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-2	検品・仕分システム	6件	倉庫業、卸売業、小売業、製造業	資材調達、加工・生産、検査、保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 製造業の工場や倉庫において、従業員がリストを見ながら目視で検品・仕分を行っていたところ、製品の導入により目視で確認する工程を無くし、仕分けに係る無人化を実現。
- 人手作業の場合、どうしてもなくならない「ミス」を自動化により低減。

置き換えが可能となる機能・性能

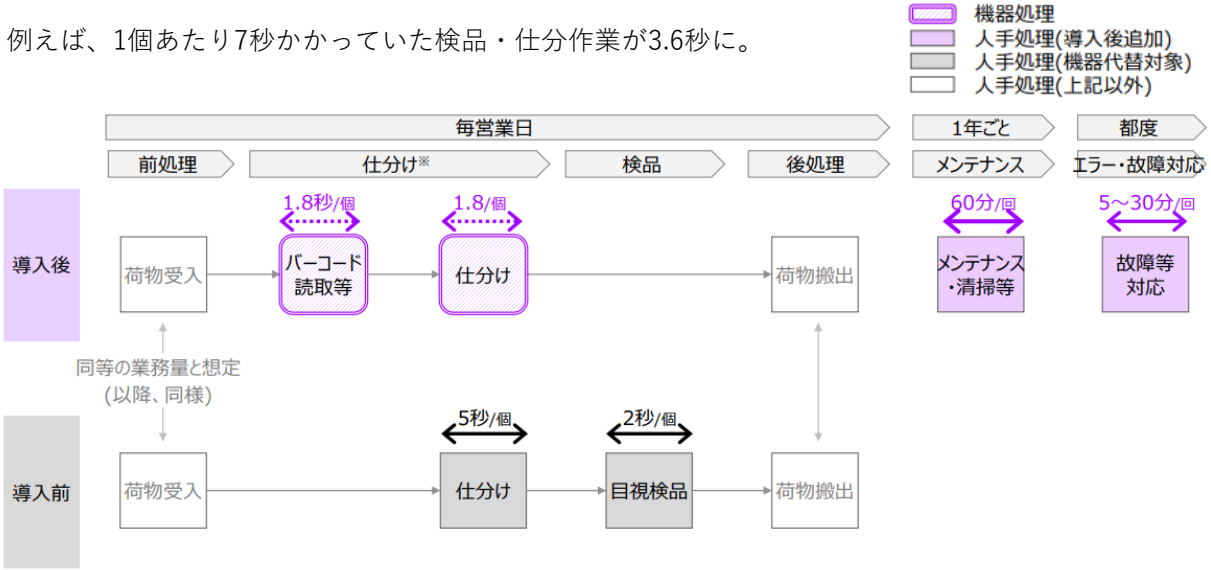
- 多言語対応機能
- 返品システム機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

例えば、1個あたり7秒かかっていた検品・仕分作業が3.6秒に。



※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-2	検品・仕分システム	6件	倉庫業、卸売業、小売業、製造業	資材調達、加工・生産、検査、保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

検品と仕分が一体で完成するシステムにより、目視で確認し仕分ける工程を無くし、仕分や検品にかかる自動化を実現する製品。

主に利用が想定される中小企業

製造業の工場や、倉庫業、卸売業、小売業の倉庫などで、目視等の人手による製品の検品や仕分業務を行っていた事業者。

省力化効果

仕分リストを見ながら目視で確認する工程を無くし、仕分に係る無人化を実現できるので、物品の投入や、仕分けられた物品の処理に関して、手作業だけの場合と比較し大幅な業務効率化を実現。
具体的には、自動仕分けを導入することにより、人手作業では１時間当たり40行（アイテム）～60行のところ、2～3倍の効率化が可能。
また、検品と仕分をつなぐことで、一連の情報受け渡しが可能になり、間に人を介すことなく自動で処理できる。
さらに、作業者に経験が無くても１時間程度の研修で仕事ができる。
加えて、人手作業の場合、どうしてもなくならない「ミス」を自動化により低減できる。人手作業では１時間当たり最大ミス率1,000分の1の発生率と言われるが、仕分け装置の導入により10倍以上となる10,000分の1以下の実現が可能となる。

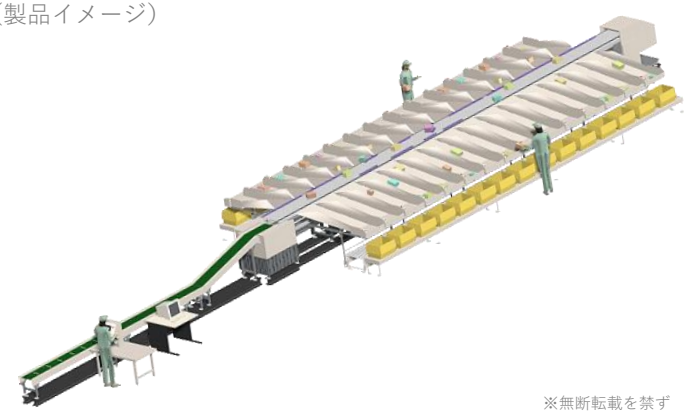
価格と導入費用（目安）

製品の規模により大きく異なるが、数百万円から1,000万円程度～でも導入可能。

活用事例・ポイント

- 「ミス」を自動化により低減でき、お客様との信頼関係も向上。
- 物流センターや、入荷後すぐに出荷する通過型物流センターでの利用、返品商品の仕分けなどにも使用されているケースもある。

（製品イメージ）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-3	自動倉庫	19件	倉庫業、卸売業、小売業、製造業	保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

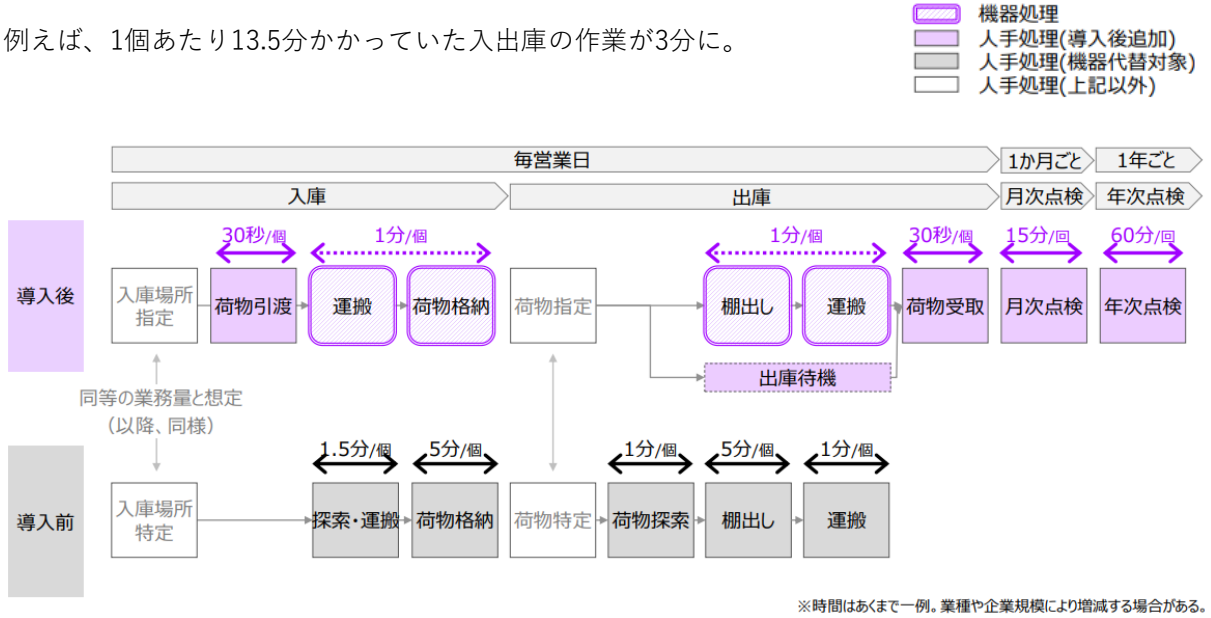
- 製造業の工場や倉庫において、従業員が棚からの出し入れを人力で行っていたところ、自動倉庫では荷渡し装置に置くだけで、棚の中に自動で搬送してくれます。
- 保管場所を探すのにかかっていた時間も、自動倉庫ではロケーション管理、在庫管理、日付管理の自動処理が可能なので、大幅に効率化されます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

例えば、1個あたり13.5分かかっていた入出庫の作業が3分に。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-3	自動倉庫	19件	倉庫業、卸売業、小売業、製造業	保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

自動倉庫は、パレットやケース、コンテナを自動的に入出庫・保管できる製品。
保管する棚、出し入れする機械、前後の荷受け・荷渡し装置で構成され、コントロール、管理するシステムも含む。

主に利用が想定される中小企業

製造業、倉庫業、卸売業、小売業などで、入出庫や在庫管理を人力で行っていた事業者。

省力化効果

荷渡し装置に置くだけで、棚の中に自動で搬送してくれるなど、入出庫作業が自動化。
人手による作業は、自動倉庫の出入口までとなり、保管管理は自動となるため、作業時間の短縮が可能となる。
また、ロケーション管理、在庫管理も、先入れ先出し、日付管理の自動処理が可能。
さらに、空棚の探査、保管記録の自動化などもシステム化され、より正確且つ簡便な作業が可能に。
加えて、作業者に経験が無くても研修１時間後には作業ができるようになる効果も。

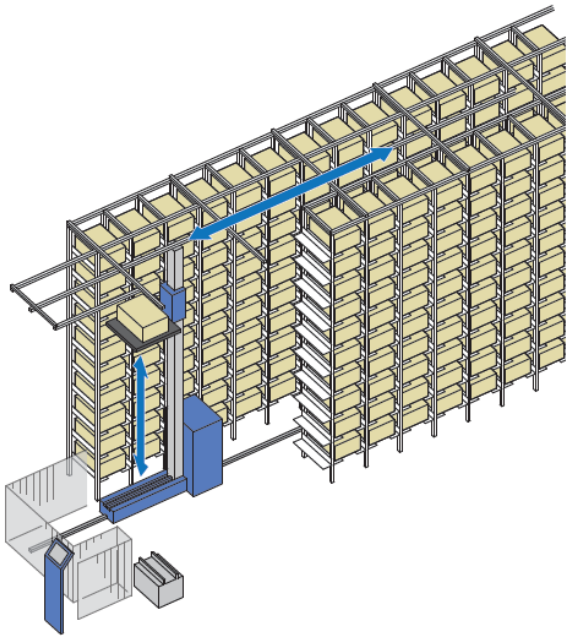
価格と導入費用（目安）

小型のものは2,000万円程度からでも導入可能。

活用事例・ポイント

- 庫内の通路幅を極限まで狭くでき、かつ高積みが可能となるため空間効率の向上に寄与する。
- 煩雑な入出庫や在庫などの管理が自動化され、高速に入出庫が可能となることで、ミスなく生産性の向上が見込まれる。
- 自動機による庫内管理となるため、庫内照明が不要となるだけでなく、庫内移動時の回生エネルギーを活用するなど省エネ効果を有する機種もある。

（製品イメージ）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-4	ピッキングカートシステム	7件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業、運輸業	保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

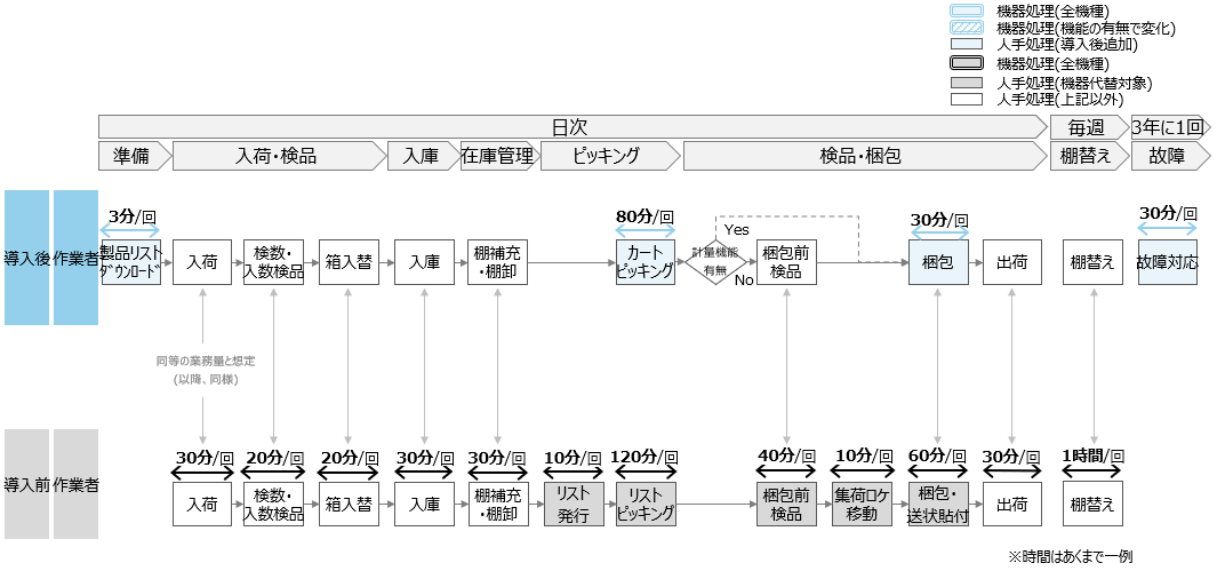
- 本機器は、物流センターや小売店舗のバックヤードなどで効率的な作業を実現する装置です。リアルタイムの指示に従い、初心者でもペーパーレスで正確にピッキングや検品を行うことができます。
- 人手不足の現場にも適しており、限られた人数で作業を効率化できるため、生産性向上や作業負担の軽減といった省力化効果が期待できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

機器の導入により、ピッキング・検品の作業時間効率化が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-4	ピッキングカートシステム	7件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業、運輸業	保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

ピッキングカートとは、手押し台車に商品取り揃え（ピッキング）のための指示端末が搭載されたものを言う。
指示端末に表示されるピック場所、数量、仕分先等に基づいて、ピッキング作業が行えるため、ペーパーレスで、初心者でも作業が出来る。ミスの低減のためバーコードリーダーやウエイトチェッカー（計量器）を設けている台車もある。また、複数のピッキングカート及び制御システムで構成される機器も本カテゴリの対象とする。

主に利用が想定される中小企業

ピッキング及び検品業務等を行う事業者。

省力化効果

本機器は、作業指示を台車に搭載された端末画面にリアルタイムで表示し、指示に従って商品をピッキングおよび仕分けする仕組みである。バーコードリーダーを活用することで、初心者でも効率的に作業を行うことが可能となる。

また、計量器を搭載する事によりピッキングの個数間違いを自動検品出来る為、複数オーダーのマルチピッキングにおいて歩行距離を大幅に短縮し、出荷精度と生産性の向上を実現する。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、物流現場における作業効率と精度を大幅に向上させる実践的なツールである。台車に搭載された端末を通じてリアルタイムに作業指示を表示し、作業者は指示に従い商品をピッキングし、適切な容器に仕分ける流れで運用される。
指示が直感的に分かる設計により、初心者でもすぐに作業に取り組むことができる点が特長である。
特に、多品種少量の商品を扱う現場や、効率を求められる短納期の作業において力を発揮する。リアルタイムで作業情報を取得できるため、進捗管理が効率化され、作業バッチごとの作業終了時刻から追加投入台数の目安や作業者毎の生産性把握等、作業全体の可視化が容易になる。これにより、複数の作業者が同時に連携して動く必要がある場面でも効果的に対応できる。

現場における省力化だけでなく、業務全体の安定化も期待される。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-5	ラックシステム（垂直回転ラック）	3件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

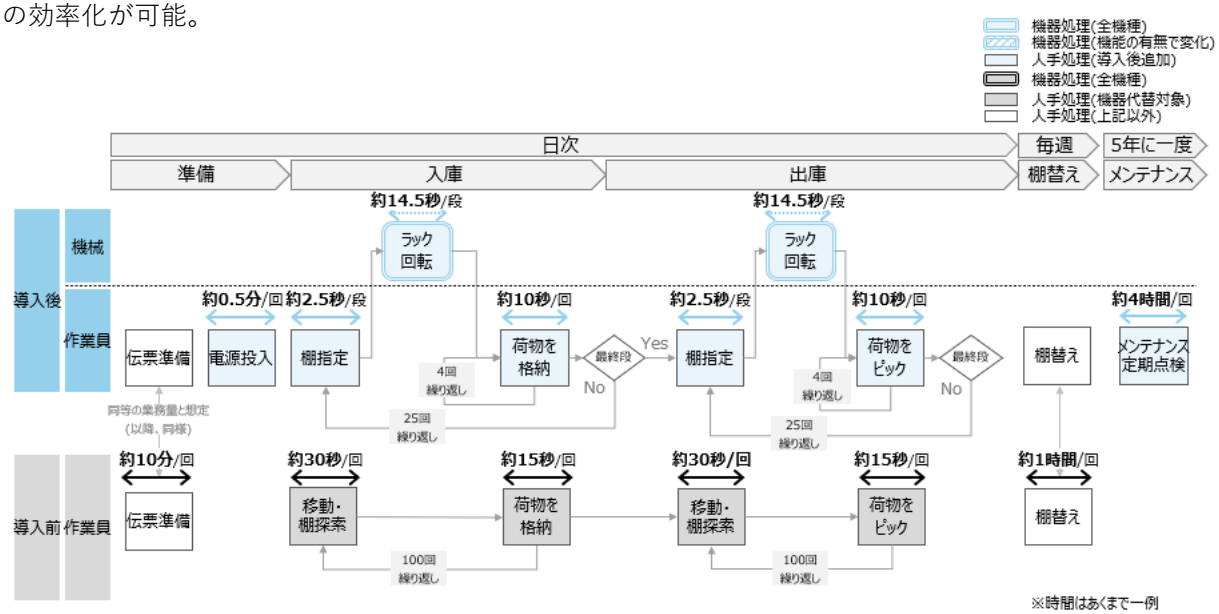
- 本機器は、限られたスペースで効率的な保管と作業を実現する装置です。特に、電子部品や医薬品、ビス・ナット類など、多品種で小型の商品を扱う倉庫や工場での活用が適しています。上部空間を有効活用できるため、省スペース化が求められる現場に最適です。
- 必要な棚が自動で手元に移動してくる仕組みにより、探し回る事がなくなり作業時間を大幅に短縮できます。また、作業者の負担を軽減しながら、効率的な入出庫作業を実現します。これにより、生産性向上や省力化効果が期待できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

機器導入によりラック全体を垂直方向に回転させ、作業者の荷物取出し業務の効率化が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-5	ラックシステム（垂直回転ラック）	3件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

垂直回転ラックは、ラック全体を垂直に回転させることにより、保管効率が向上するだけでなく、作業者の手元に荷物を保管している棚が来るため、効率的に取り出すことが可能となる。
また、表示システムと連動することにより、荷物の探索時間が短縮され、大幅な省力化が見込まれる。

主に利用が想定される中小企業

多品種小型商品の保管や効率的な入出庫作業が必要な物流・倉庫業や製造業の事業者

省力化効果

本機器は、制御システムと情報システムの連携により、作業者が定点で効率的に入出庫作業を行えるシステムである。
必要な棚が自動で手元に移動する仕組みにより作業時間を短縮し、省力化に貢献する。さらに、カメラやバーコードリーダーの活用でミス率を大幅に抑えることが可能であり、精度向上と作業負担の軽減を同時に実現することで、省力化効果が期待される。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、スペースを有効活用しながら効率的な入出庫作業を可能にするシステムである。電子部品や医薬品、ビス・ナット類など小型多品種の商品を扱う現場で特に効果を発揮する。
必要な棚が自動で手元に移動する仕組みにより、作業者の移動を最小限に抑え、効率的な作業が可能である。
また、カメラやバーコードリーダーを組み合わせることでミスを防ぎ、高精度な作業が実現できる。省スペースと省力化が求められる倉庫や生産ラインでの利用に適している。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-6	ラックシステム（移動ラック）	7件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

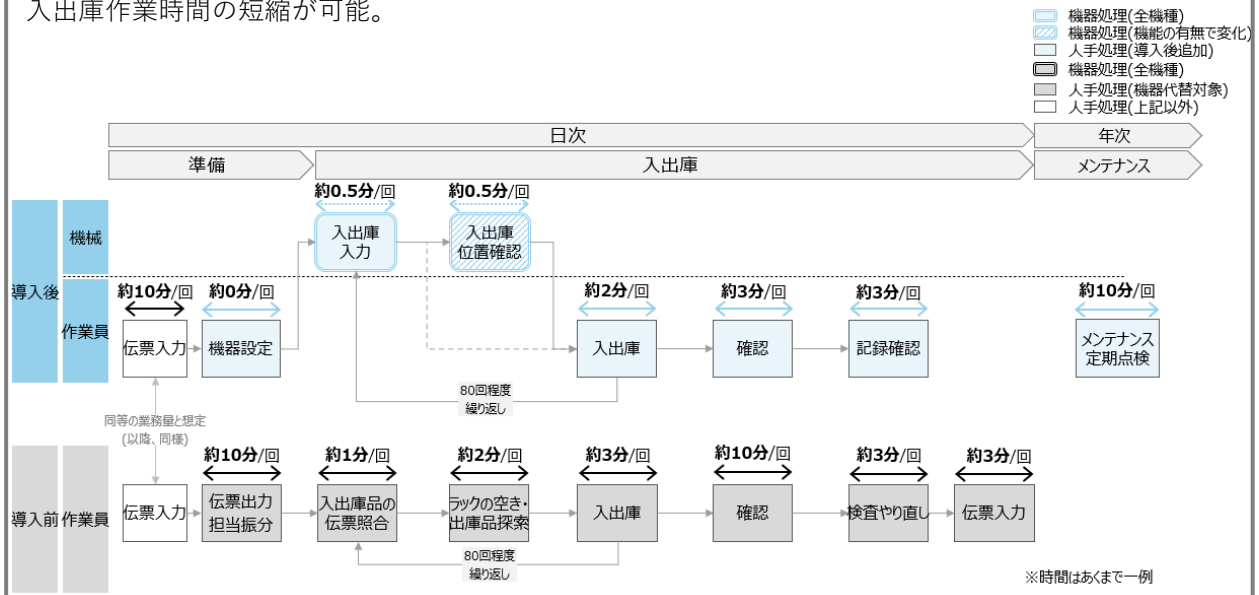
- 本機器は、効率的な保管作業を実現する装置である。ラックの移動により高密度な収納を可能にし、フォークリフトからの遠隔操作で通路を開閉できるため、迅速で正確な入出庫作業をサポートする。
- 限られたスペースや人手不足の現場にも適しており、作業者の負担を軽減しながら、生産性向上と作業効率化を実現する省力化効果が期待できる。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

床にパレットを置いていた入出庫業務に移動ラックを導入する事で、
入出庫作業時間の短縮が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-6	ラックシステム（移動ラック）	7件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

モノを保管する棚(ラック)を入庫、出庫、ピッキング等の目的に応じて動かすシステム。棚を水平方向に移動しフォークリフト、もしくは作業者の通路を確保出来るため、保管効率を向上出来る。また、フォークリフトからの遠隔操作で通路の開閉も可能なことや、保管効率を向上することで移動距離が少なくなるため、作業の時間短縮か可能となり省力化にも貢献する。

主に利用が想定される中小企業

限られたスペースで効率的な保管が求められる事業者や、
冷蔵・冷凍環境での保管を行う事業者。

省力化効果

本機器は、ラックの占有面積に対して1ヵ所の入出庫用通路のみで運用できるため、固定棚と比較してスペース効率が大幅に向上する。また、冷蔵・冷凍環境においては高密度収納が可能となり、庫内エネルギーの利用効率も改善される。さらに、制御システムと情報システムを連携させることで、荷物の取り出しに必要な通路を自動開閉でき、フォークリフトの走行距離を短縮することで省力化に繋がる。加えて、フォークリフトから遠隔操作で通路を開閉できるため、生産性の大幅な向上も期待できる。

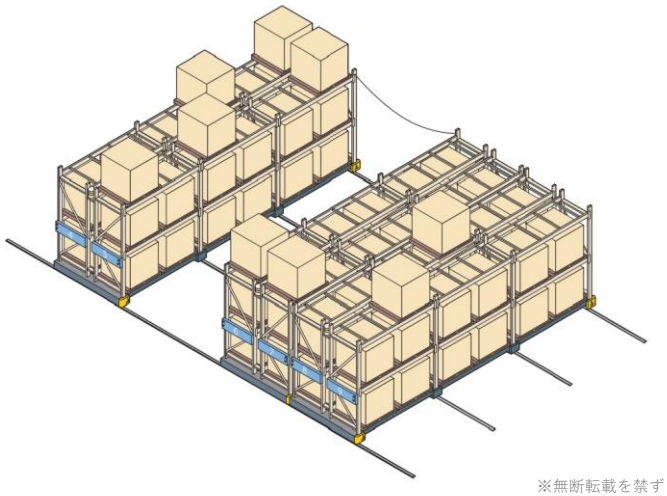
価格と導入費用（目安）

約1,100万円から1,900万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、保管作業のスペース効率と作業生産性を大幅に向上させるツールである。ラックを移動させて必要な通路を確保しながら、高密度な収納を可能にする仕組みで運用される。特に、冷蔵・冷凍環境での保管効率向上や、フォークリフトによる遠隔操作で通路を開閉できる点が特長である。固定棚に比べてスペース効率を大幅に向上させるとともに、制御システムと情報システムを連携させることで、必要なラックだけを移動させ通路を自動開閉する仕組みを実現する。これにより、フォークリフトの走行距離が短縮され、作業負担の軽減と作業時間の短縮が可能となる。本機器は、限られたスペースで効率的な保管が求められる物流現場や冷蔵・冷凍倉庫で特に効果を発揮する。必要なラックだけを動かす設計により、進捗管理や作業効率が向上し、省力化と業務全体の安定化が期待される。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-7	ラックシステム（流動ラック）	2件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

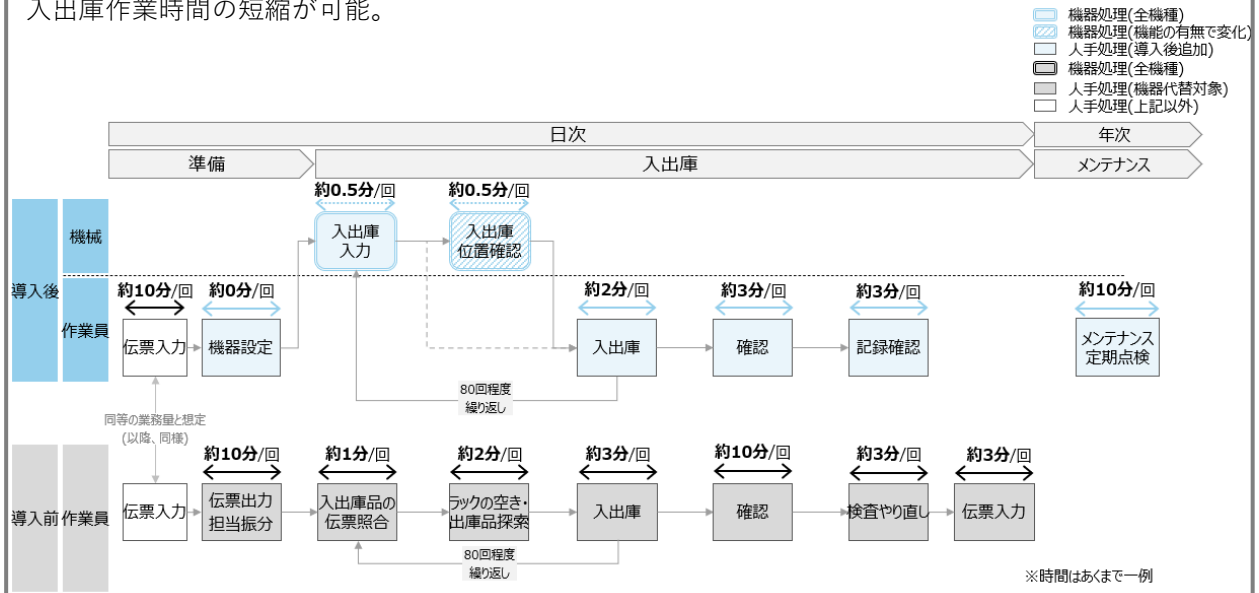
- 本機器は、効率的な保管と作業の省力化を実現する装置である。棚間の通路を不要にし、高密度な収納を可能にするとともに、荷物の自動搬送機能により迅速かつ正確な入出庫作業をサポートする。
- 限られたスペースでの運用が求められる物流現場や、冷蔵・冷凍環境での保管作業に適しており、作業者の負担を軽減しつつ、生産性の向上と効率的な運用が期待できる。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

床にパレットを置いていた入出庫業務に流動ラックを導入する事で、
入出庫作業時間の短縮が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-7	ラックシステム（流動ラック）	2件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

棚の中の上下左右にフリーローラーコンベヤ・駆動コンベヤ・搬送台車等を設け、荷物を搬送し入庫・保管・出庫が行えるため保管効率が高い。入庫で保管されたパレットは、出庫側に自動で搬送されるため、待ち時間が短くなるばかりでなく、搬送作業員が不要となり、大幅な省力化が実現出来る。

主に利用が想定される中小企業

限られたスペースで効率的な保管が求められる事業者や、
冷蔵・冷凍環境での保管を行う事業者。

省力化効果

本機器は、保管効率と作業効率を向上させるシステムである。棚間の通路が不要で、荷物同士の間隔も最小限に抑えられるため、固定ラックより高密度な保管が可能となる。また、制御システムと情報システムの連携により、入庫側または出庫側から効率的に作業でき、棚内に入る必要がない。
さらに、荷物は自動で出庫側に搬送されるため、作業員も不要となる。必要な荷物が出庫口に自動で搬送されているため、待ち時間も削減できる。これにより、保管スペースの最大化と作業効率化、安定した在庫管理が実現する。

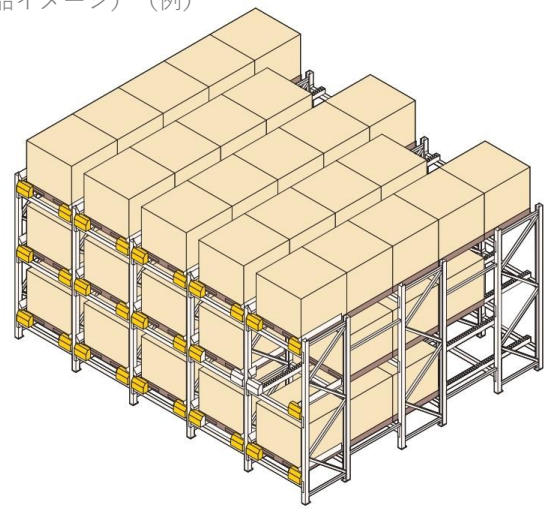
価格と導入費用（目安）

約2,800万円から4,900万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、保管スペースの最大化と作業効率の向上を実現するシステムであり、限られたスペースの有効活用が求められる物流現場や冷蔵・冷凍環境での保管作業において特に力を発揮する。作業負担の軽減と業務全体の安定化に貢献する。棚間の通路を不要にし、荷物同士の間隔を最小限に抑えることで、高密度な保管を可能にする。固定ラックと比較して保管効率を大幅に向上させ、限られたスペースでも効率的な運用が可能となる。また、制御システムと情報システムを連携させることで、必要なラックのみを移動させ、入庫側または出庫側で効率的な作業を行える仕組みを備える。さらに、入庫された荷物は自動で出庫側に搬送されるため、搬送時間が短縮され、作業員の削減が可能となり、大幅な省力化を実現する。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-8	垂直搬送機（貨物専用）	10件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、加工・生産、入出庫

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

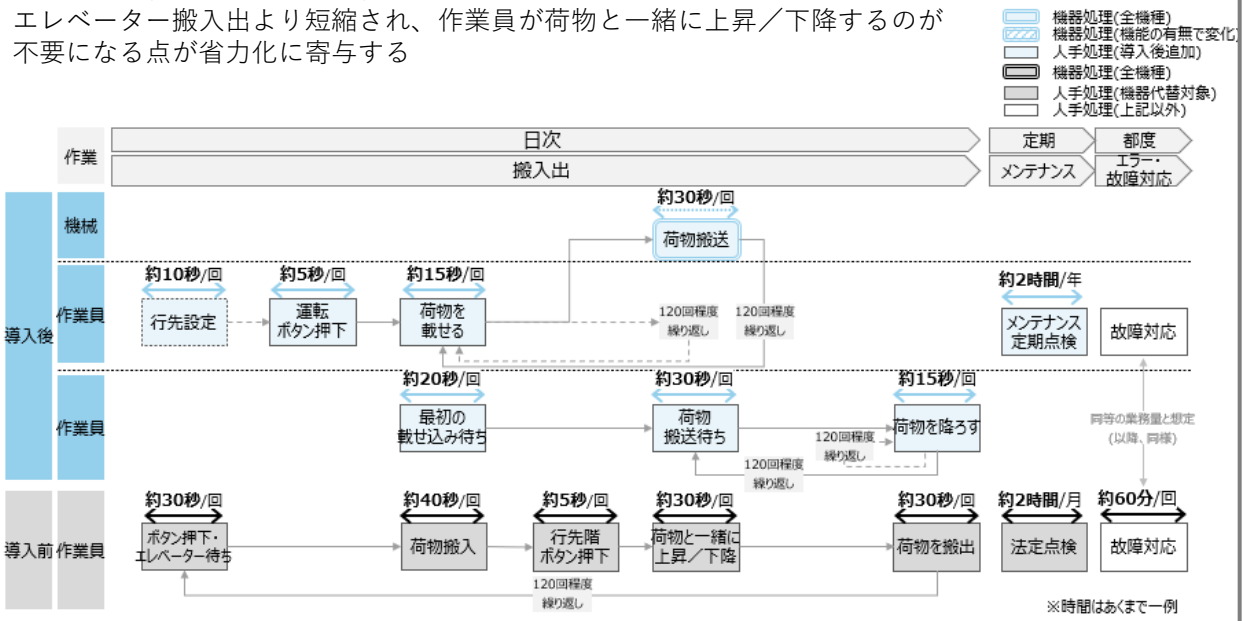
- 本機器は、効率的な上下搬送と省力化を実現する装置です。搬送物を無人で縦方向に搬送できるため、迅速かつ正確な入出庫作業をサポートします。
- 多層階構造を持つ物流倉庫や配送センター、製造工場で特に効果を発揮し、作業者の負担を軽減しながら、省力化と生産性の向上、効率的な物流運用が期待できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

導入後は荷物積載・荷卸し 1名ずつ従事するが、積載・荷卸しの作業時間がエレベーター搬入出より短縮され、作業員が荷物と一緒に上昇／下降するのが不要になる点が省力化に寄与する



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-8	垂直搬送機（貨物専用）	10件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	資材調達、加工・生産、入出庫

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

物流を扱う工場・倉庫・配送センター等では多層階が多く、縦搬送が必要になる。その縦搬送に使用する機器として「垂直搬送機」が用いられる。
搬送物を垂直方向に上下搬送する機器で、「往復タイプ」「連続タイプ」があり、搬送物としては「パレット、ケース、搬送台車」などが対象となる。

主に利用が想定される中小企業

物流倉庫や配送センター、製造工場などの多層階構造を持ち、効率的な縦搬送や自動化が求められる事業者。

省力化効果

本機器は、多層階構造の工場や倉庫、配送センターでの上下搬送を効率化するための装置である。パレットやケース、搬送台車を対象とし、荷受装置に搬送物を置いて設定するだけで、目的階まで無人搬送が可能である。作業者が搬送に関与する必要がなく、上下双方向の搬送流れも構築できるため、安全性が高い。また、エレベータと比較して高い搬送能力を持つ点が特長である。本機器は設定操作のみで運用でき、各階のコンベヤと連携することで完全自動搬送が可能となる。これにより、作業負担の大幅軽減や省力化を実現する。さらに、回生コンバータの採用により、省エネルギー効果も期待できる。これらの特長から、多層階物流現場において効率化、安全性向上、省力化、省エネの効果が見込める。

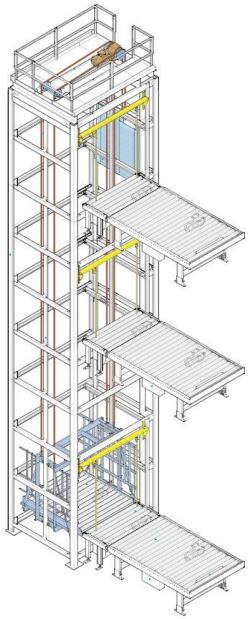
価格と導入費用（目安）

約500万円から2,500万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、多層階構造の物流現場において、上下搬送の効率化と省力化を実現する装置である。パレットやケース、搬送台車を対象に、エレベータでは対応が難しい無人搬送を可能にし、物流作業全体をスムーズに進める。各階のコンベヤシステムと連携することで、入庫から出庫までの完全自動化が可能となり、作業者が搬送に直接関与する必要がないため、人手不足の現場にも適している。また、上下双方向の搬送流れを構築することで物流動線を効率化し、作業の迅速化を支援する。さらに、回生コンバータを採用した省エネルギー設計により、運用コストの削減と環境負荷の低減にも貢献する。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-9	デジタルピッキングシステム	8件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業、運輸業	保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

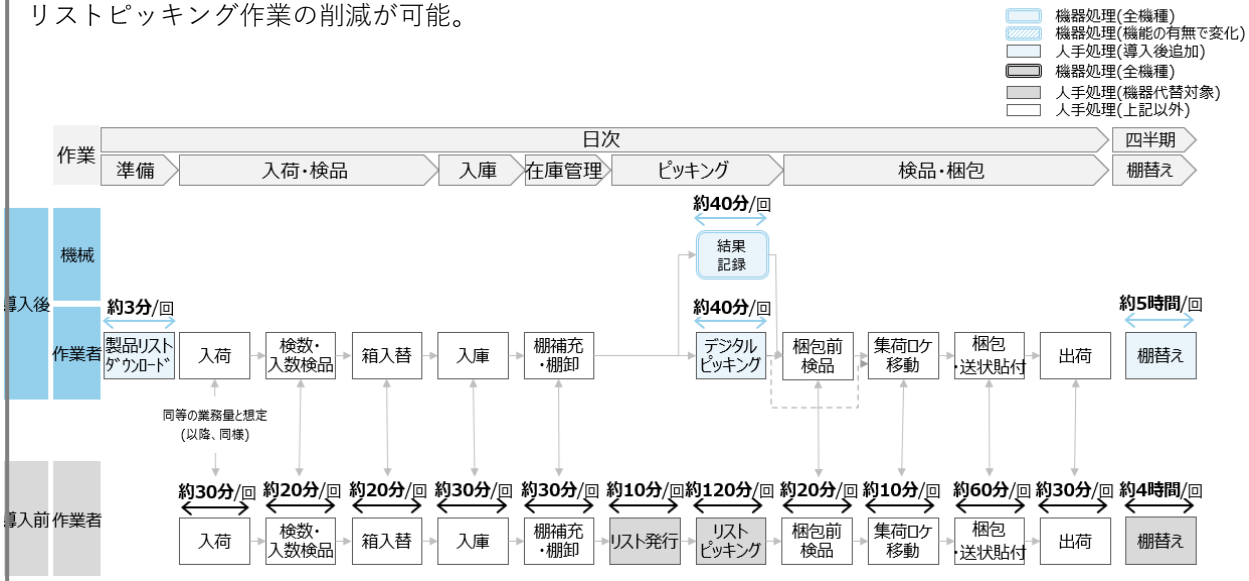
- 本システムは、ピッキング作業の効率化が求められる倉庫や物流センター、工場の部品管理などの現場で活用できます。特に、作業のペーパーレス化や精度向上が求められる現場に適しています。
- デジタル表示器を活用することで、作業者は指示に従って必要な商品をスムーズに取り出せるため、ピッキングミスの防止や作業スピードの向上が期待されます。初心者でも簡単に作業を進められるため、短期間の研修で即戦力となり、作業の属人化を防ぐことができます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

本機器の導入により、ピッキング作業におけるリスト発行、
リストピッキング作業の削減が可能。



※時間はあくまで一例

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-9	デジタルピッキングシステム	8件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業、運輸業	保管・在庫管理、入出庫

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

保管棚にデジタル表示器を付けたピッキング作業の支援システムであり、デジタル表示に従って作業することによりペーパーレス化を実現し、初心者でも作業が出来る。作業者のミス防止として、バーコードリーダー、ウエィトチェッカー（計量器）を設けている場合もある。
デジタル表示器は、有線LAN・無線LANタイプがあり、全ての表示器が個体番号などで制御PC画面上にて一覧管理・確認できるものとする。

主に利用が想定される中小企業

物流業、製造業、小売業などのピッキング作業を伴う事業者。

省力化効果

本システムの導入により、ピッキング作業の効率が向上し、作業者の負担軽減と省力化が実現する。ピッキングリストが不要となり、棚の探索時間が削減されることで、作業スピードが向上する。人時生産性が3倍以上向上し、少人数でも同等の作業量を確保できる。バーコードリーダーやウエィトチェッカー（計量器）を組み合わせることで、ミス率を1,000分の1以下に抑え、POS検品と併用すれば10,000分の1以下の精度を実現できる。リアルタイムで作業状況をデータ収集できるため、進捗管理や生産性の可視化が可能となる。初心者でもスムーズに作業ができるようになり、熟練作業者に依存しない運用が可能となる。

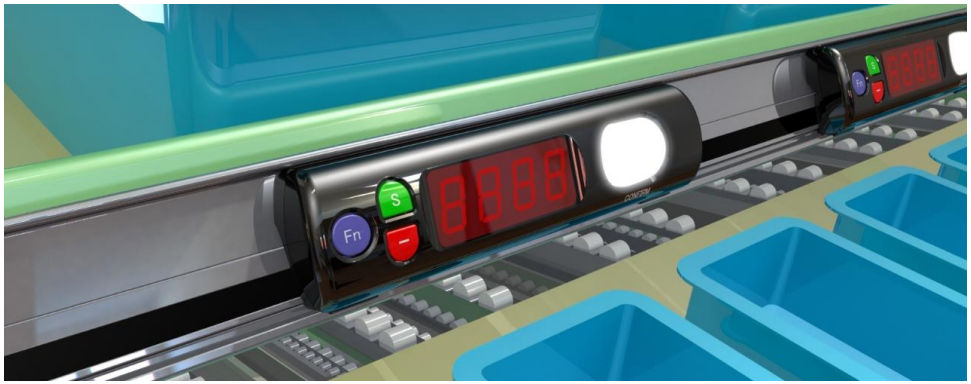
価格と導入費用（目安）

約250万～2,500万円程度（表示器数により異なり100～2,000台導入ベース）から導入可能。

活用事例・ポイント

本システムは、物流倉庫や工場の部品管理、店舗の在庫管理など幅広い業務の効率化に貢献する。特に、大量の商品を短時間で仕分ける必要がある現場では、デジタル表示器による作業指示の明確化により、ピッキングミスの削減と作業スピードの向上が可能となる。また、リアルタイムで作業データを収集し、進捗状況を可視化できるため、生産性向上や業務の最適化に役立つ。初心者でも即戦力となるため、短期間の研修で運用できることも大きな利点である。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

制御PCの画面上にて、接続されたデジタル表示器の個体番号の一覧とそのオンライン接続状況の確認が出来るシステムを対象製品とする。補助対象となるデジタル表示器は、別途リスト管理する必要があります。

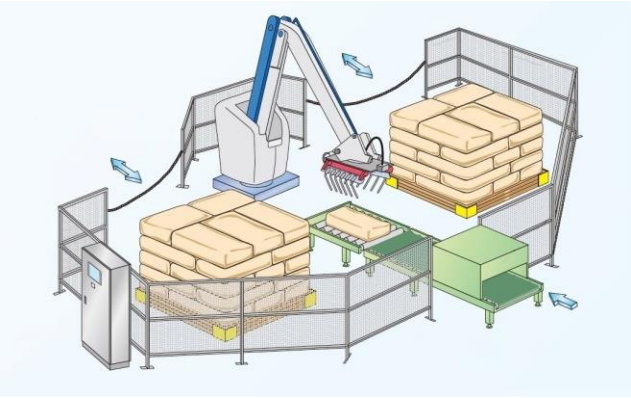
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-10	パレタイズロボット	42件	製造業、倉庫業、卸売業	入出庫、加工・生産、梱包・加工

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本装置は、製造工場や倉庫、物流センターなどで、箱詰めされた製品や荷物をパレットに積み上げたり、逆にパレットから荷物を取り下ろす作業を行う現場で活用できます。例えば、出荷作業が集中する倉庫業や、飲料・食品などの重量物を扱う製造業の現場に適しています。
- 人手による積み上げ作業は、長時間の重労働となるため、パレタイズロボットを導入することで、作業者の負担を軽減し、省力化と安全性の向上を実現することができます。

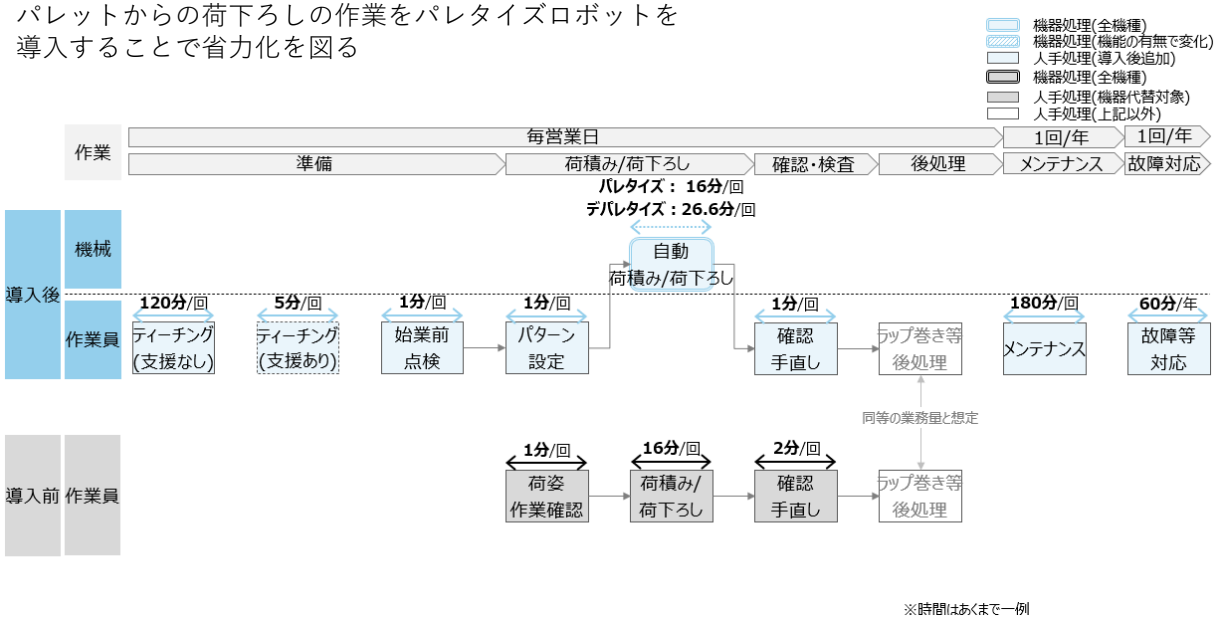
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた段ボール箱等のパレットへの荷積み、パレットからの荷下ろしの作業をパレタイズロボットを導入することで省力化を図る



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-10	パレタイズロボット	42件	製造業、倉庫業、卸売業	入出庫、加工・生産、梱包・加工

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

搬入された商品を決められた配置でパレット上に荷積み（パレタイズ）やパレット上からの荷下ろし（デパレタイズ）作業を人間のかわりに行う専用ロボット。パレタイズロボットは大別して直角座標タイプと多関節タイプ等がある。

主に利用が想定される中小企業

製造業、倉庫業、卸売業など、出荷作業や物流業務等に携わる事業者。

省力化効果

本装置は、人手による荷積み・荷下ろし作業を自動化することで、省力化を実現する装置である。1日あたり2,400個程度の商品取扱量を想定した場合、1パレット80個の積載で、30パレット分の積み上げ作業を自動化することが可能である。特に、10kg前後の重量物を長時間パレットに積み上げる作業は、作業者の腕や腰に大きな負担を与えるが、本装置の導入によりその労働負担を大幅に軽減できる。また、冷暖房設備の整っていない倉庫やトラックヤードでの作業環境改善にも寄与し、労働災害の防止や作業者の離職防止にもつながる省力化効果が期待される。

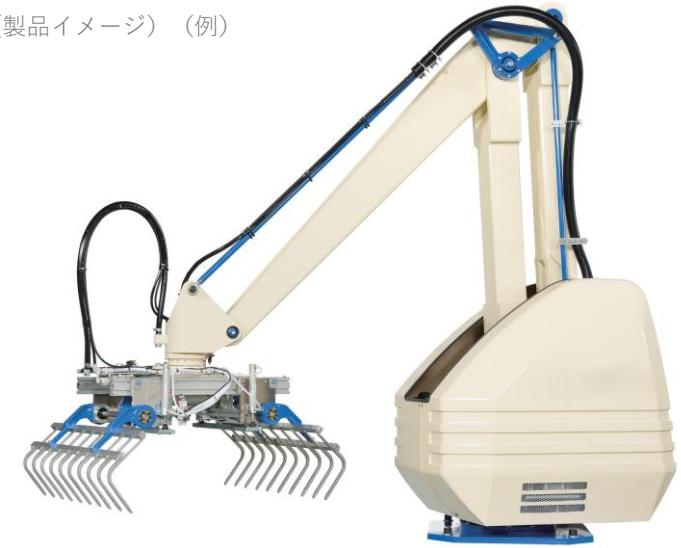
価格と導入費用（目安）

約400万円～3,000万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本装置は、製造業や倉庫業、卸売業など、物流業務を伴う幅広い業種での活用が進んでいる。特に、倉庫業や運輸業においては、近年のEC市場拡大による出荷量の増大に対応するため、省力化と生産性向上が求められている。本装置は、事前に設定したパターンに従い、正確に製品を積み上げることができるため、作業標準化や安全性向上にも寄与する。旧世代機から新世代機への更新により、作業スピードや省力化能力の向上、安全機能の強化などが図られており、有効性が高い装置である。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2 -11	無人フォークリフト（ＡＧＦ）	1件	製造業、建設業、倉庫業、卸売業	入出庫、出荷、施工

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

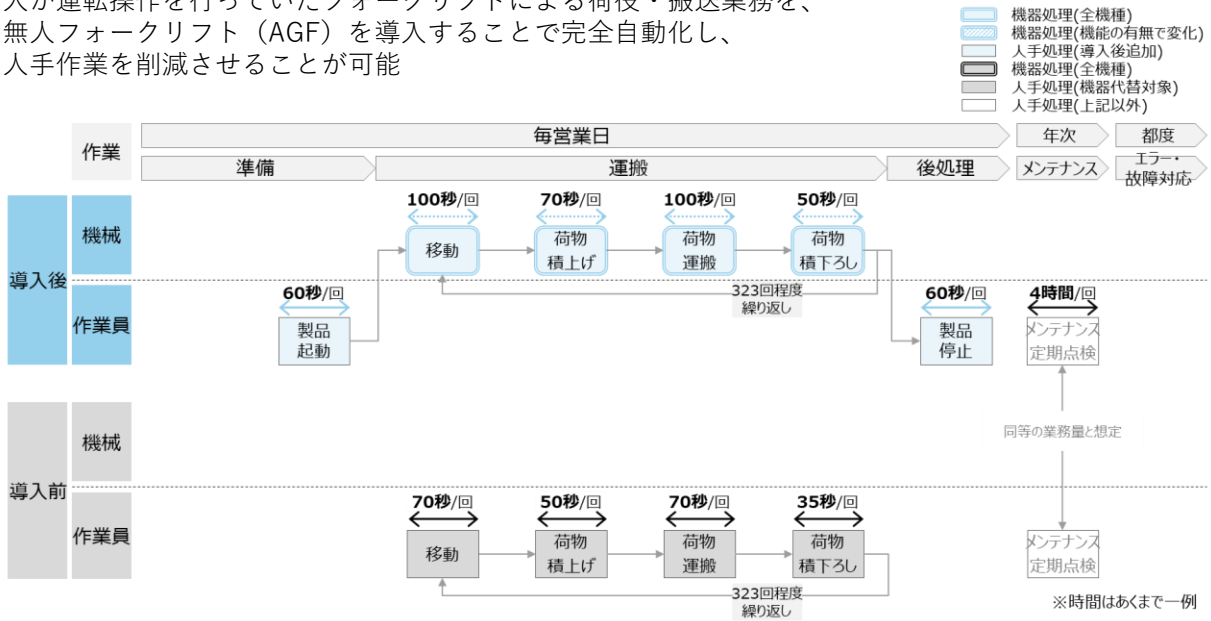
- 原材料を倉庫から生産ラインへ定期供給する場面での活用により、省力化が図られ、生産性の向上と効率的な運用が可能となります。
- 出荷順や便別に仕分けされた製品を、待機トラックへ自動で搬送・積み込みする場面で省力化が見込めます。（無人専用条件有）

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

人が運転操作を行っていたフォークリフトによる荷役・搬送業務を、
無人フォークリフト（AGF）を導入することで完全自動化し、
人手作業を削減させることが可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-11	無人フォークリフト（ＡＧＦ）	1件	製造業、建設業、倉庫業、卸売業	入出庫、出荷、施工

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

フォークリフトの荷役機能及び走行を全自動で行うことができる製品。ただし、荷役用のフォークは装備していても、500㎜以上まで荷を昇降できるものに限るものとし、また有人／無人切替式にあっては、無人でのみ使用するものであって、有人式への切替を使用者が行えないものに限る。
※減価償却資産の耐用年数表において「機械及び装置」に該当するものが対象となる。

主に利用が想定される中小企業

製造業、建設業、倉庫業、卸売業など、出荷作業や物流業務等に携わる事業者。

省力化効果

有人フォークリフトが行っていた、倉庫内での荷役作業やトラックへの積み込み等の作業を自動化できるため、
大幅な省力化が可能。（無人専用条件有）
1台当たり作業員1名を他の自動化できない作業に移管できる。

価格と導入費用（目安）

1,000万円～2,000万円（可搬対象物の大きさ・形状による）

活用事例・ポイント

無人フォークリフト（AGF）を導入することで、原材料や完成品の搬送を自動化し、従来人手に依存していた工程間搬送や倉庫内移動の省力化が見込める。また、作業者の運搬負担軽減にも寄与する。

夜間や人員確保が困難な時間帯でも安定稼働が可能となり、生産性の向上と効率的な運用も期待できる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

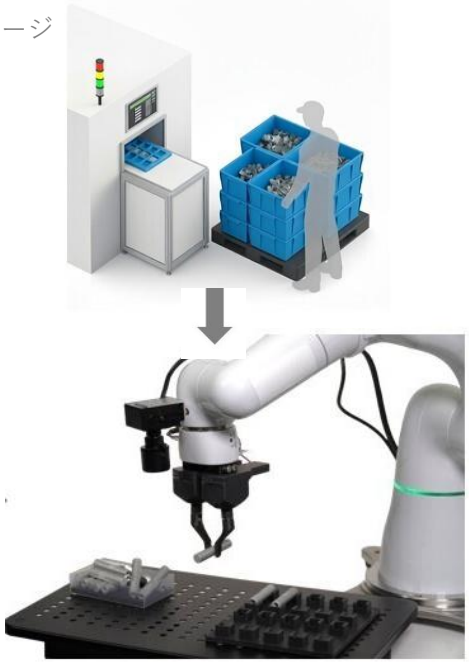
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2 -12	バラ積み ピッキングロボットシステム	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 部品工場等で、箱に「無造作に入った金属部品」を自動認識し、組立ラインへ供給することで、人手による選別作業を減らし、省力化と安定供給を実現します。
- 機械加工工場等で、箱やパレットにバラ積みされた切削部品を3D認識で把持し、工作機械へ自動供給することで、段取り作業を削減し、夜間の無人運転を実現します。

活用イメージ

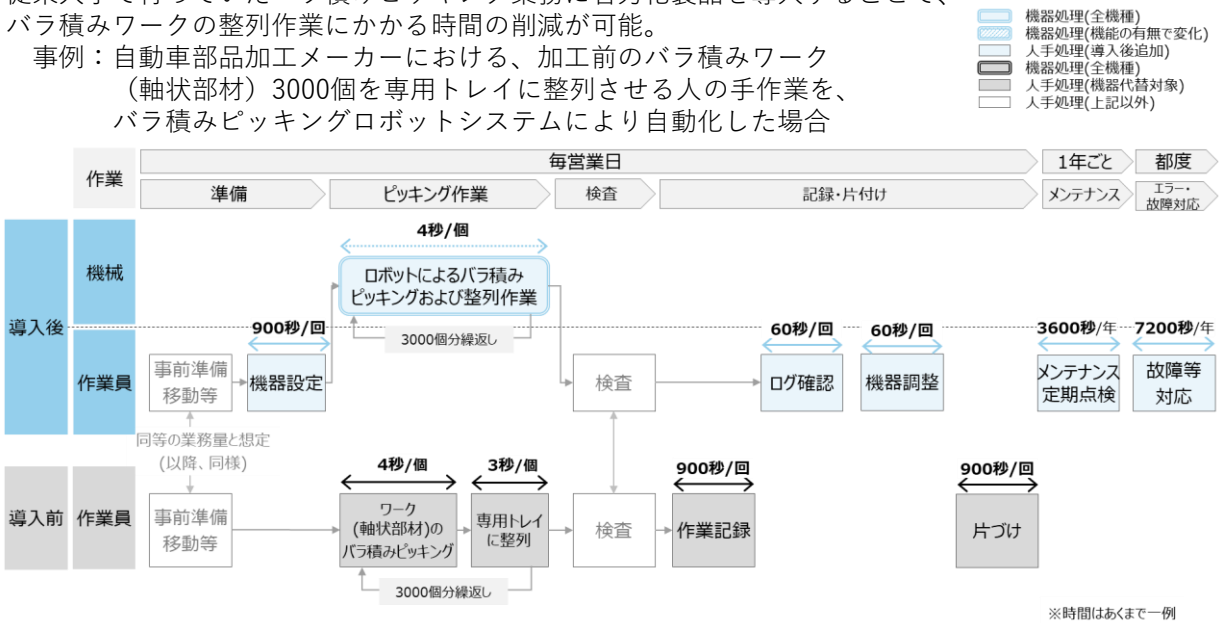


※活用イメージであり、特定メーカ・構成を示すものではない　※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

従来人手で行っていたバラ積みピッキング業務に省力化製品を導入することで、バラ積みワークの整列作業にかかる時間の削減が可能。

事例：自動車部品加工メーカーにおける、加工前のバラ積みワーク（軸状部材）3000個を専用トレイに整列させる人の手作業を、バラ積みピッキングロボットシステムにより自動化した場合



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2 -12	バラ積み ピッキングロボットシステム	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

「バラ積みピッキングロボット」とは、箱やコンテナ（ビン）の中にばらばらに積まれた状態や不規則に置かれた状態の最大20kg程度の部品・製品を、ロボット技術およびセンサー技術を活用して１つずつ正確に認識し、指定の位置に取り出す（ピッキング）ロボットシステムを指す。例えば、製造現場の加工工程の前後においてコンテナ内にばらばらに積まれた加工対象物を1つずつピックアップして専用トレイに整列させる作業や、製品の品質検査工程において不規則に平置きされた検査対象物を1つずつピックアップして検査治具に置く作業が、バラ積みピッキングロボットの対応業務範囲となる。①垂直多関節型ロボット等のロボット本体、②電動グリッパ等のエンドエフェクタ、③２Ｄカメラ等のセンサーシステム、④これらを制御するための制御装置(コントローラ)を基本的な構成要素とする。

主に利用が想定される中小企業

製造業などのピッキング作業を伴う事業者。

省力化効果

バラ積みされた部品を人が手作業で一つずつ専用トレイに整列させる作業などをバラ積みピッキングロボットで完全に代替が可能。従来人手により７秒/個程度かかっていたバラ積み作業（一日当たり3,000個程度）を、一台で代替が可能となる。

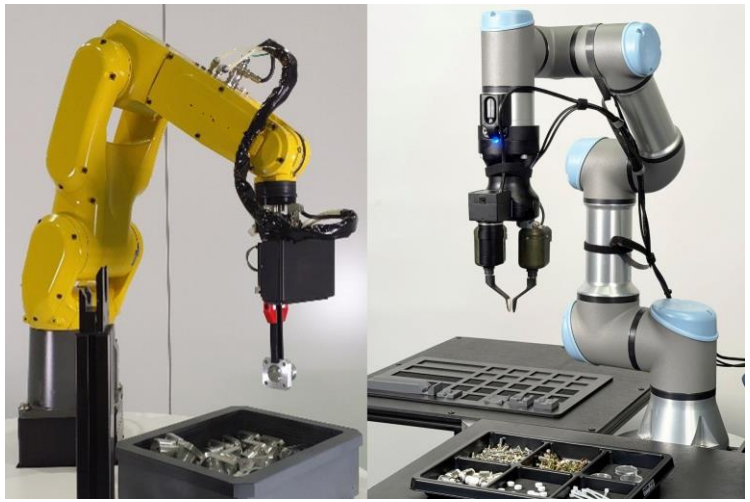
価格と導入費用（目安）

エントリーモデル：600～800万円程度、ミドルレンジモデル：800～1,000万円程度、ハイエンドモデル：1,000万円以上
（ロボット本体の仕様や、ワークの形状・大きさ・バラ積み状態に応じて選定されるエンドエフェクタの仕様、ワーク及びロボットの把持計画に応じて選定されるセンサーシステムの仕等の機能・性能の違いにより異なる）

活用事例・ポイント

製造業の機械加工工場で、バラ積みされた切削部品をロボットが自動認識し、工作機械へ供給する。人手による選別作業を削減し、段取り時間の短縮や無人運転を可能にし、生産性向上と人手不足対策に貢献する。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-13	物流用ドローン	0件	運輸業、製造業、建設業、飲食サービス業、倉庫業、小売業	運送・運搬、搬送業務

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

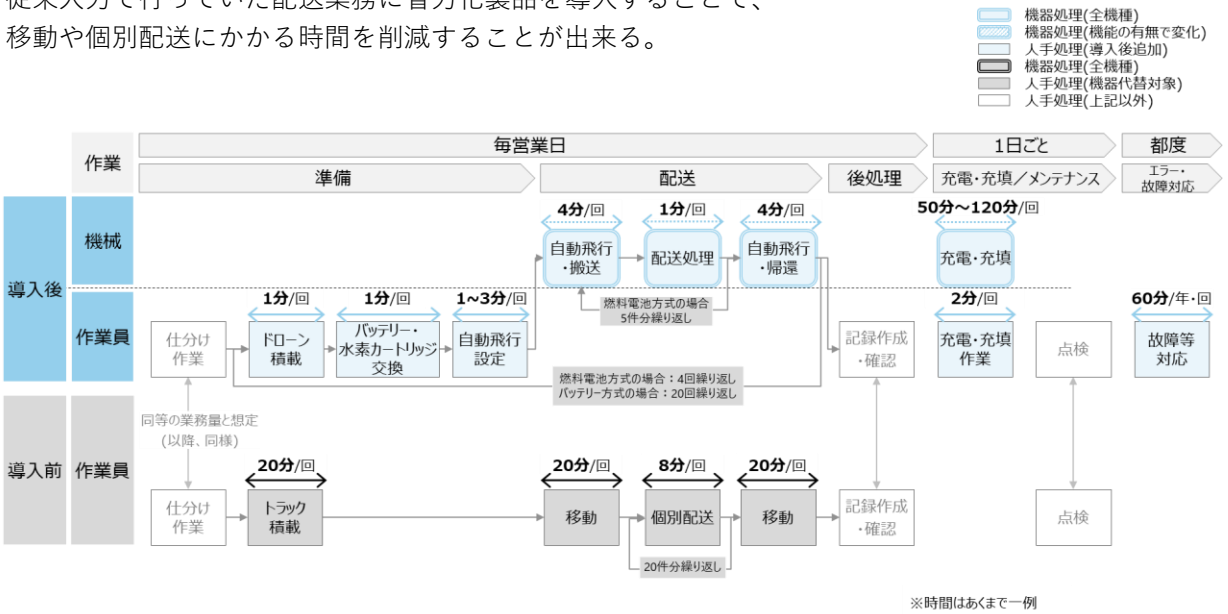
- 山間部や離島への物資配送に寄与します。道路が寸断されやすい地域でも、ドローンにより短時間で安定供給が可能となり、緊急時の輸送対応とともに人手不足の解消にも寄与します。
- 倉庫間の小口部品輸送にも寄与します。工場や物流拠点間で部品をドローンで即時搬送し、リードタイム短縮と在庫削減を実現します。地上輸送の混雑回避により生産性向上にもつながります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

従来人力で行っていた配送業務に省力化製品を導入することで、
移動や個別配送にかかる時間を削減することが出来る。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-2-13	物流用ドローン	0件	運輸業、製造業、建設業、飲食サービス業、倉庫業、小売業	運送・運搬、搬送業務

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

ドローンによる空輸を行うもの。なお、飛行に必要な関連システム（地上局、通信装置など）がある場合、本システムと一体のものとして導入される場合は、本カテゴリの定義に含まれるものとする。（電源タイプはバッテリー方式と燃料電池方式を想定。）

主に利用が想定される中小企業

主に、運輸業、卸売業、ドローンを用いたサービス事業者。

省力化効果

ドローンでの物流は、人手不足の解消、迅速な配送、アクセスが困難な地域への配送、災害時の物資輸送など、従来の物流手法と比べ、大幅な省力化の効果があり、時間の短縮、人件費の削減、環境負荷の低減など、多くの利点が得られる。特に、中山間地域や山間部の物流配送について、従来の車両や人力による方法をドローンを使用した方法に置き換える場合、以下のとおり省力化効果がある。
・車両配送は渋滞や道路状況の影響を受けやすい一方、ドローン物流は直線飛行により配送時間を短縮できる。
・過疎地や災害地域に対しても、迅速な物資輸送が可能である。
・物流業界では人手不足が深刻化しており、特に過疎地では人材確保が困難なため、省力化による効果が大きい。
・燃料価格の高騰により物流コストが増加しているが、バッテリー駆動の物流用ドローンは燃料費負担の軽減が可能である。

価格と導入費用（目安）

約250万～約1,000万程度

活用事例・ポイント

物流用ドローンは、山間部・離島への物資配送において道路事情に左右されず迅速・安定供給を実現し、緊急対応力の向上と人手不足対策に寄与する。
また、拠点間の小口・緊急部品輸送では即時搬送によりリードタイム短縮と在庫圧縮を実現し、交通混雑の影響を回避して生産性向上に貢献する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-1	デジタル紙面色校正装置（グラビア・紙器パッケージ用デジタルプルーフ）	0件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

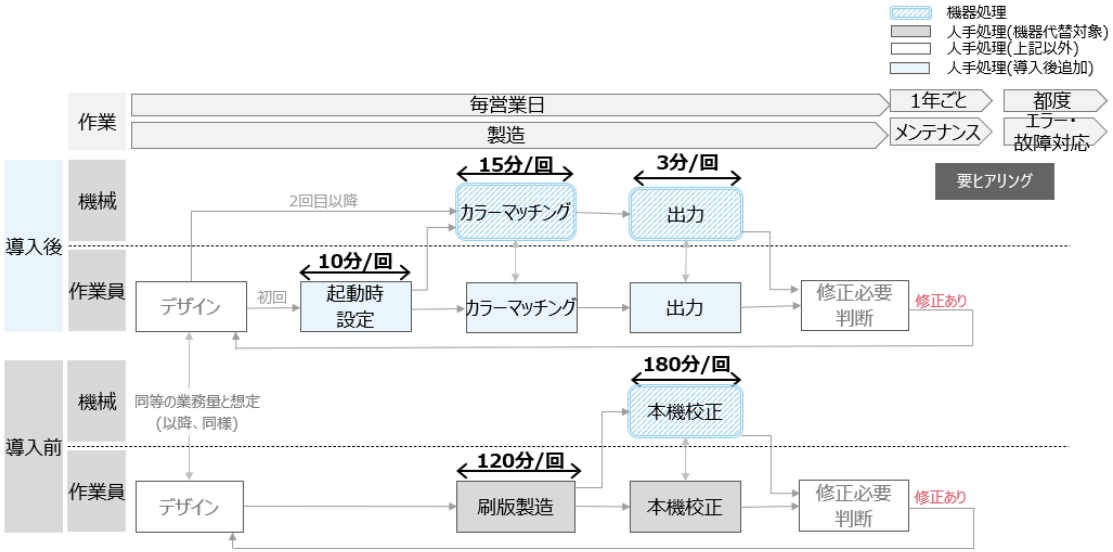
例えばこんな場面で、

- 従来製版、校正・本機印刷で校正していた重労働作業について大幅な省力化効果が見込めます。
- カーボンニュートラルな校正システムなのでCO2排出削減にも繋がります。
- デジタルプルーフシステムにより経験の浅い人でも校正製造業務ができ、生産性の向上が見込めます。

活用イメージ

業務プロセスの変化（例）

従来本機校正だった色校正業務に機器を導入することで、刷版製造や本機設定の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-1	デジタル紙面色校正装置（グラビア・紙器パッケージ用デジタルプルーフ）	0件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

グラビア（食品包装パッケージ等のフィルム印刷）、商品箱等の紙器パッケージ印刷の色校正を行うための印刷装置。

主に利用が想定される中小企業

印刷･同関連業務を行う事業者。

省力化効果

従来製版、校正・本機印刷で校正していた重労働作業の省力化を実現する事が出来る。作業時間が短縮化することで従業員がより付加価値の高い仕事に従事することができるなど、人時生産性の向上による省力化が可能となる。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

従来までベテランの社員でしか出来なかった校正製造業務が、デジタルプルーフシステムにより経験が浅い社員でもできるようになり、生産性の向上が見込める。

またカーボンニュートラルな校正システムなのでCO2排出削減にも繋がる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-2	印刷用紙高積装置	12件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 紙積みでの作業負荷軽減により、身体への負担を大幅に削減します。
- 1日に印刷機一台当たり１０ｔを超える紙積み作業を装置が補助することで大幅な省力化効果が見込めます。
- 本機器の導入により、用紙積換えの負荷軽減に加え、様々な種類の用紙を揃える専門技術が不要となり生産性の向上が見込めます。

置き換えが可能となる機能・性能

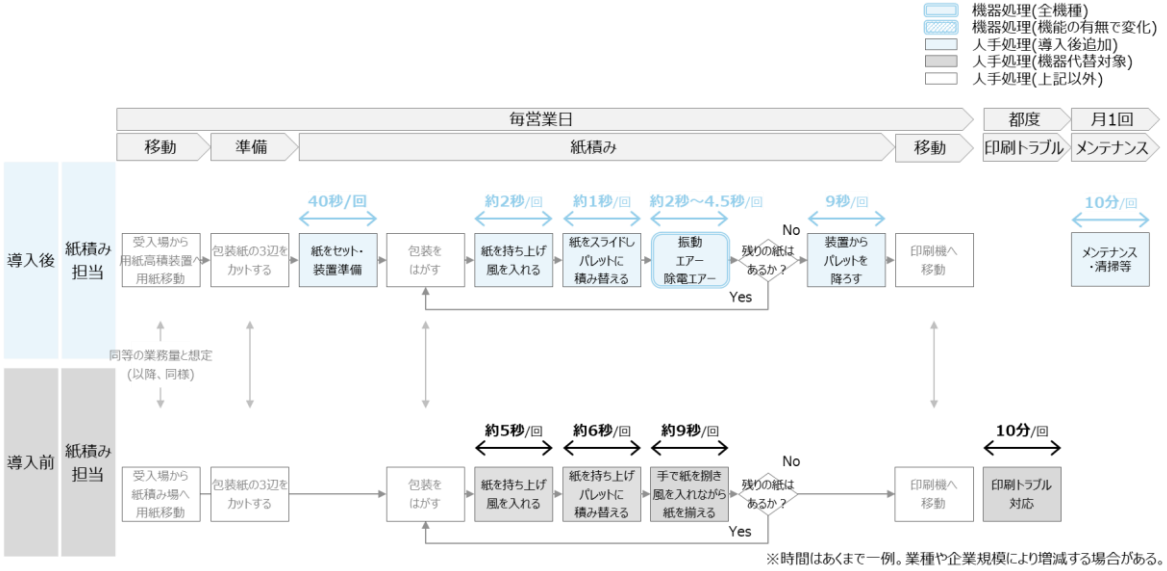
- エアーブロー機能（風入れ機能）
- 除電エアーブロー機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた紙積み業務に機器を導入することで、業務量の削減が可能だが、機器によって完全代替される作業は存在しない。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-2	印刷用紙高積装置	12件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

印刷前の紙積みにおけるワンプ剥き作業・反転作業・検品作業において、作業を省力化し効率的に行う装置。

主に利用が想定される中小企業

印刷･同関連業務を行う事業者。

省力化効果

従来の手積みでの重労働な紙積み作業を装置の活用により、
労働負荷の軽減と作業効率化を実現する。
また、手積み作業で必要であった熟練技術も不要となる。

価格と導入費用（目安）

数百万～一千数百万円程度から導入可能。
基本的に設置後すぐに使用可能。

活用事例・ポイント

オペレーターから紙積み作業を無くすもしくは削減することで、印刷業務に注力できる。また、印刷時のトラブル減少により、紙・インク・時間が削減でき生産性の向上に貢献する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

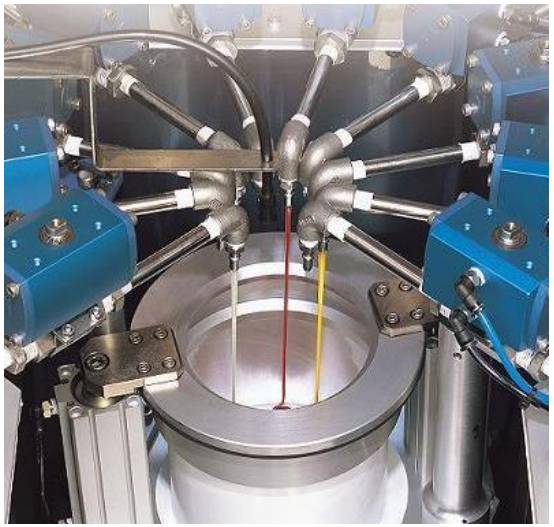
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-3	印刷用インキ自動計量装置	9件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 経験に基づいた手作業が必要とされ多大な時間と労力を要していた指定色のインキ作成業務を自動化することで、大幅な生産性向上を図ることができます。
- インキを計量する職人やオペレーター人員が確保しづらい中でも、短納期・小ロットでの指定色印刷の発注対応が行いやすくなります。

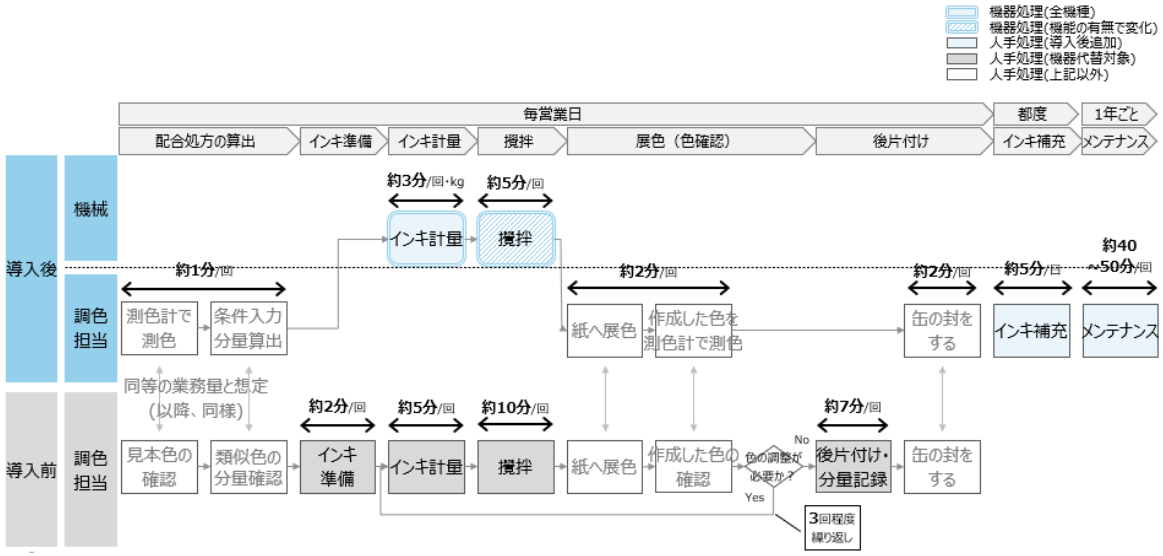
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

インキ自動計量装置を導入することで、手作業で行っていたインキ調色業務の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-3	印刷用インキ自動計量装置	9件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

印刷に使用する特色インキ作成を行う装置であり、市販されているインキ各色から、配合レシピに基づいたインキ必要量を自動的に計量し吐出する装置。

主に利用が想定される中小企業

印刷･同関連業務を行う事業者。

省力化効果

指定された色のインキ作成は、経験に基づいた手作業での作業であったが、本装置導入による自動化により、大幅な生産性向上を図ることができる。

価格と導入費用（目安）

1,300万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

熟練作業員の経験則によるインキの手動計量を自動計量することで、計量作業から解放され、また、熟練作業員の高齢化に伴う、技能承継の機械化が可能となる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -4	産業用枚葉デジタル印刷機	89件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- デジタル印刷では「版」を必要とせず、従来の印刷に必要な製版や刷版という工程が不要となるため、短期間で多品種の印刷物を仕上げることが可能となり大幅な省力化が見込めます。
- 刷版在庫・シフト・工程・納期などが大幅に緩和され、市場ニーズである多品種・小ロットに向けた生産体制の安定とともに生産性向上も見込めます。

置き換えが可能となる機能・性能

- 高速出力機能（ハイエンド）
- 高速出力機能（ミドルレンジ）
- 自動測色機能

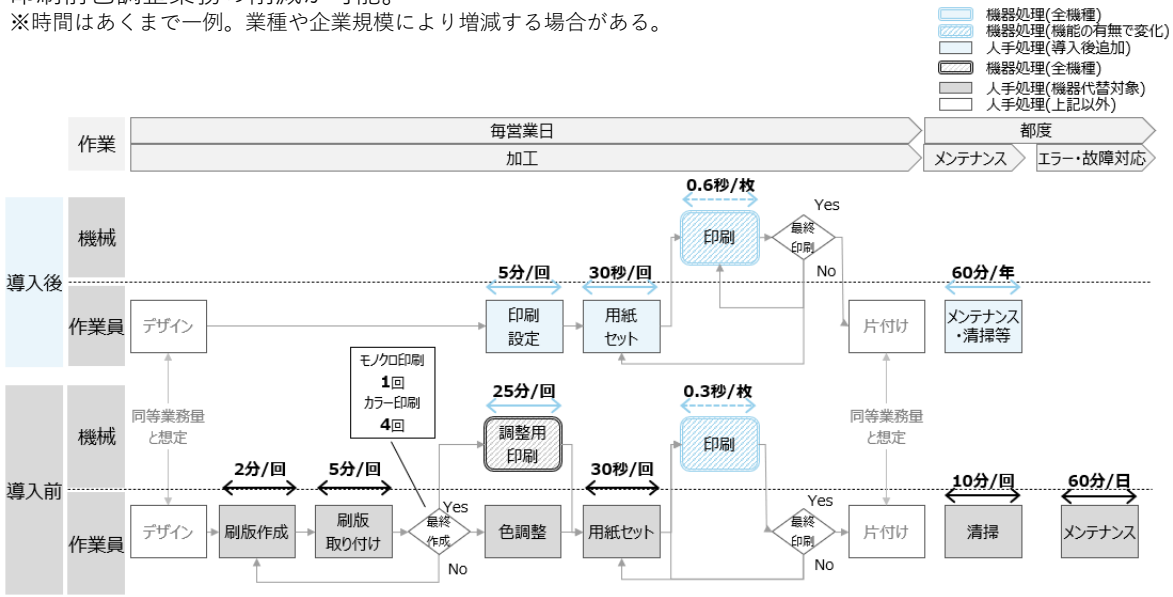
活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

従来のオフセット印刷機を用いていた印刷業務に機器を導入することで色毎の版作成業務、印刷前色調整業務の削減が可能。

※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-4	産業用枚葉デジタル印刷機	89件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

アナログ印刷は紙面データから色数ごとに色数分の「版」を作成し、 その版を印刷機等に取り付けて、使用することで用紙に絵柄が印刷されていく印刷方式である。
一方、デジタル印刷は「版」を必要とせず、印刷データから用紙に直接印刷する印刷方式となる。従来の印刷に必要な製版や刷版という工程が不要となるため、短期間で多品種の印刷物を仕上げることが可能となる。方式としてはコピー機でよく知られるトナーやインクジェット等の印刷方式がある。当該製品において、印刷業務を稼働させるにあたって必須な排紙蓄積機能を有するフィニッシャー部分についても製品本体とする。

主に利用が想定される中小企業

印刷・同関連業務を行う事業者。

省力化効果

印刷版作成作業は、人手に依存する作業が多く作業者への負担も大きかったが、デジタル印刷では版を作成する行程が不要であり、色調整等の作業も自動化されることから大幅な省力化が見込める。
また、刷版在庫・シフト・工程・納期などが大幅に緩和され、市場ニーズである多品種・小ロットに向けた生産体制の安定とともに生産性の向上も見込める。

価格と導入費用（目安）

1,600万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

短納期で高い品質を求められる印刷業であるが、デジタル印刷機を活用すれば高度な熟練技術は必要なくオペレーターの確保も容易となり、人手不足の解消も見込まれる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-5	印刷用紙反転機	11件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 印刷業務では、パレット積替え時や、両面印刷時、表面印刷後に裏面を印刷するために、用紙を手動で反転させる必要がある。
- この工程は労働集約的で多大な時間が必要となるが、同機器を使用することで、短時間でこの作業を行う事が可能となり、大幅な省力化が見込めます。
- 手作業での用紙反転作業は用紙ズレが発生することもありますが、同機器を使用することで正確に用紙の向きを揃えることができ生産性の向上にもつながります。

置き換えが可能となる機能・性能

- エアーブロー機能
- エアーブローノズル移動距離最適化機能（用紙高検知センサー）
- 用紙種類別エアー入れ動作設定メモリ機能（５種類以上）

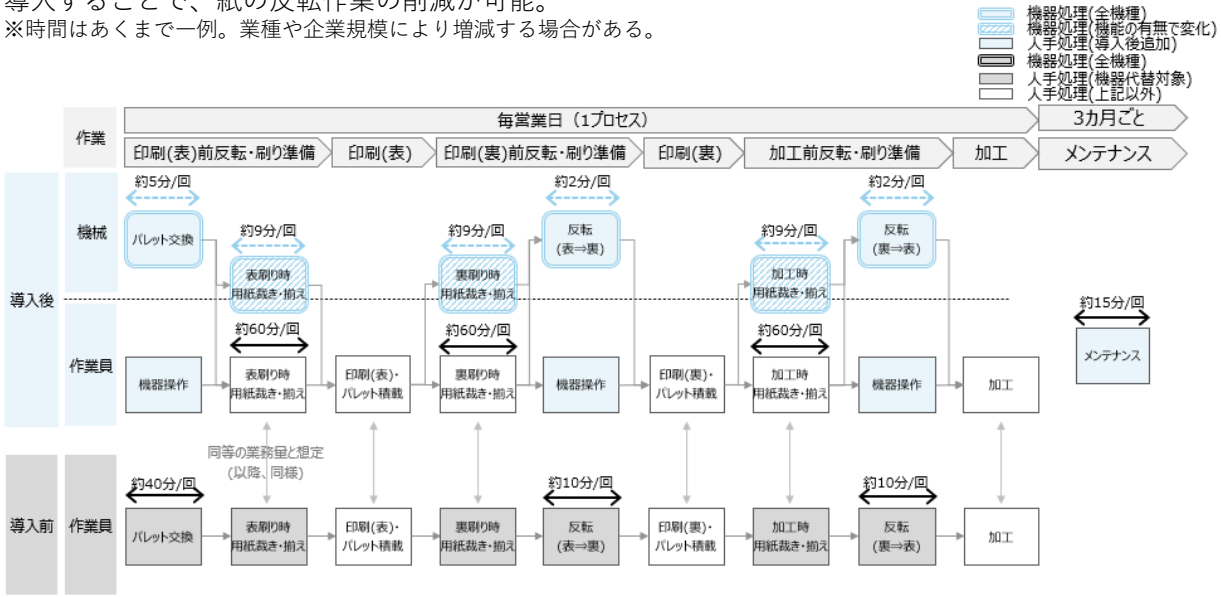
活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた1,000～1,200㎜に高積みされた印刷用紙の反転(表裏)業務に省力化製品を導入することで、紙の反転作業の削減が可能。

※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-5	印刷用紙反転機	11件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

印刷用紙反転機とは、印刷工程において1000mm～1200mmに高積みされた印刷用紙を反転させる機能を持つ装置である。
反転のみ行う装置と、反転機能に付加して紙の間にエアーを入れる処理（紙裁き）を行うエアーブロー機能付きの2種類の装置がある。

活用事例・ポイント

印刷業界では、人手不足や労働コストの増加が課題となっているが、印刷用紙反転機は両面印刷を効率的に行うためのキーテクノロジーである。
パレット積替え時や、両面印刷時に用紙を反転させる業務を自動化することで、大幅な省力化が見込める。

主に利用が想定される中小企業

印刷・同関連事業を行う事業者。

省力化効果

印刷業務では、パレット積替え時や、両面印刷時、表面印刷後に裏面を印刷するために、用紙を手動で反転させる必要がある。
この工程は労働集約的で多大な時間が必要となるが、同機器を使用することで短時間でこの作業を行う事を可能となり、省力化が見込める。

価格と導入費用（目安）

900万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えば
すぐに使用可能。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-6	自動紙折機	15件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

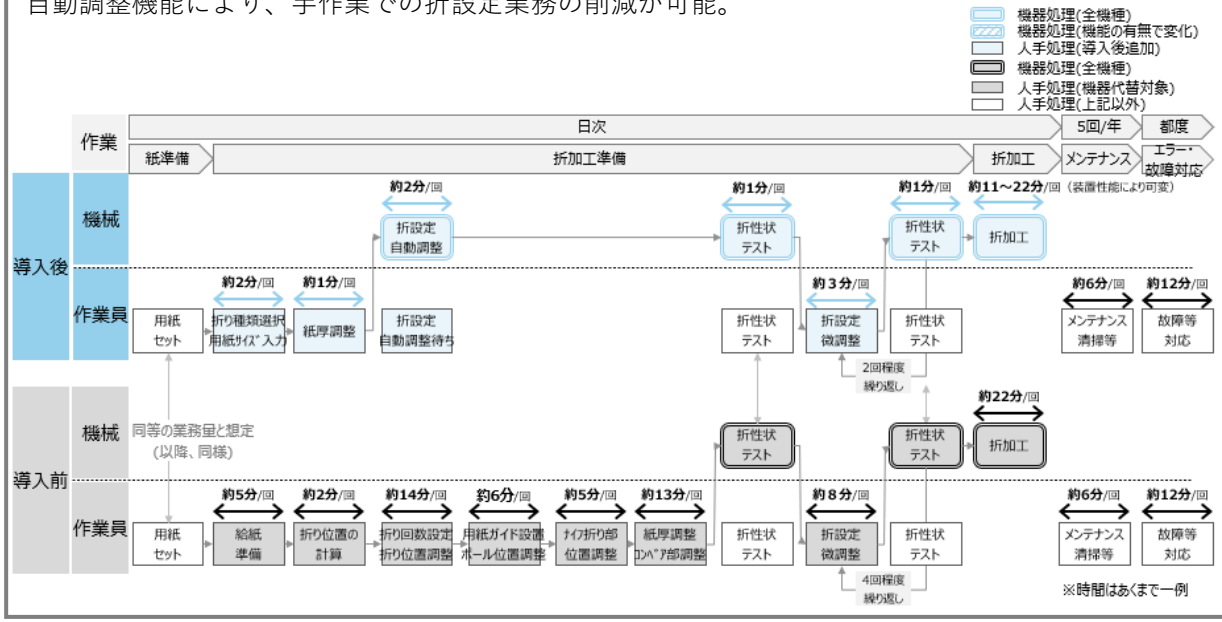
- 本機器は、多種多様な折り方が必要な現場で活用できる装置です。例えば、DMやカタログなどの印刷物を扱う印刷会社や製本業者、または社内で販促物や資料を作成する部署での利用に適しています。
- 登録メニューから簡単に折り方を選択できる仕組みにより、折り準備作業を大幅に短縮できます。また、紙厚計測結果からの折設定の自動調整機能により、効率的かつ安定した仕上がりを実現します。これにより、作業時間の削減や省力化が期待できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

自動紙折機に登録されたメニューでの折り方選択と紙厚計測結果からの折設定の自動調整機能により、手作業での折設定業務の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-6	自動紙折機	15件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

紙折機とは、複数ページまたは、全面に印刷された紙を折り、製品としての印刷物形状に仕上げる装置である。従来の紙折り機「手動紙折機」は紙を折るための準備作業として、各種条件設定（折り位置計算・設定/調整、用紙ガイド設定、折り部位置調整等、詳細は別紙参照）を手作業で行うため数十分の時間を要していた。「自動紙折機」は、これら従来の手動折機に対し、コンピュータ制御により、上記手作業設定が自動的に行われ、従来数十分かかった準備作業を５分以内で終えることが出来る装置である。

主に利用が想定される中小企業

印刷･同関連業務を行う事業者。

省力化効果

本機器は、用途に応じた折り方を迅速に設定できるため、省力化に大きく寄与する装置である。従来の手動設定折機では、折り方の設定や紙厚の調整に多大な時間を要し、生産部数によっては準備作業が機械稼働時間を上回ることもあった。一方、自動紙折機は、登録メニューからの折り方選択や紙厚計測結果からの折設定の自動調整機能により、準備作業を数分以内で完了できる。これにより、作業効率が飛躍的に向上し、生産性向上と省力化の実現が期待される。

価格と導入費用（目安）

1,000万円～1,500万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、多種多様な折り方が求められる現場で特に効果を発揮する装置である。例えば、販促物に使用されるDM折やカタログに用いられる観音折など、20種類以上の折り方に対応可能であり、印刷会社や製本業者、社内での印刷物作成を担う部署での活用に適している。本機器のポイントは、登録メニューから折り方を簡単に選択できることと、紙厚を自動で設定し最適な折り設定を瞬時に行える点である。これにより、従来手動で行っていた煩雑な調整作業が不要となり、折り準備にかかる時間を数分以内に短縮できる。効率的な作業と均一な仕上がりを実現し、安定した品質と作業負担の軽減、さらには省力化を同時に達成できる装置である。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -7	印刷物インサーター	9件	印刷・同関連業、製造業、倉庫業、卸売業、小売業、情報サービス業	印刷、加工・生産、梱包・加工、販売・納品、出荷

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

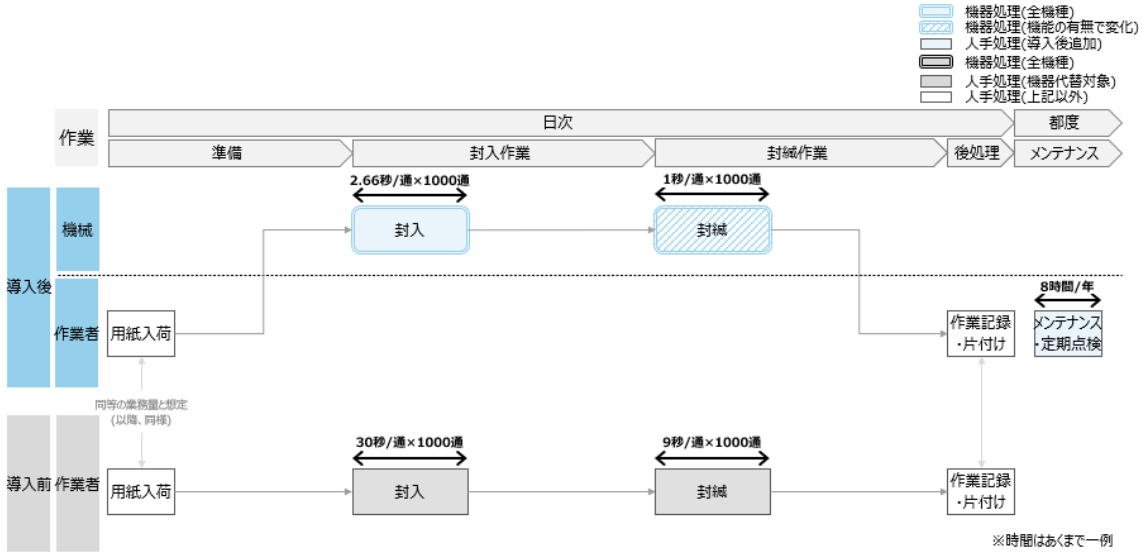
- 本機器は、ダイレクトメール（DM）の大量発送を行う現場で、省力化を実現しつつ、効率的な封入・封緘作業をサポートします。これにより、作業時間の短縮や人手不足の解消が期待できます。
- 新聞販売店では、折り込みチラシを宅配新聞に挟み込む作業を自動化し、作業負担を軽減するとともに、安定した品質を維持します。狭い作業スペースや高い処理能力が求められる現場でも活用いただけます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

DM等の郵便物に使用される「封筒」や宅配媒体である「新聞等」に目的の印刷物を自動で「入れ込む」、または、「挟み込む」作業を自動で行う事により封入作業の削減が可能。
また、封入と同時の封緘作業を自動で行うことにより封緘作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-7	印刷物インサーター	9件	印刷・同関連業、製造業、倉庫業、卸売業、小売業、情報サービス業	印刷、加工・生産、梱包・加工、販売・納品、出荷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

印刷物の伝達手段には郵便物としての伝達方法がありますが、ダイレクトメール（DM）等の郵便物に使用される「封筒」や宅配媒体である「新聞等」に目的の印刷物を「入れ込む」、または、「挟み込む」作業を自動で行う装置が、本カテゴリの印刷物インサーターです。本カテゴリ内の細分製品種としては、封筒に印刷物を入れ込む「封入機」また、さらに省力化が実現できる「封入封緘機：封筒に印刷物を挟み込む封入を行った後、封筒の封緘を同時に行える装置」や、宅配新聞にチラシ等を挟み込む「折り込みチラシインサーター」等が一般的名称として販売されている。

主に利用が想定される中小企業

印刷・同関連業務・受託発送等を行う事業者や新聞販売店等。

省力化効果

本機器を導入することで、封筒への印刷物の封入作業を自動化し、省力化を実現することができる。特に、大量の郵便物を処理する際、手作業に比べて大幅な時間短縮と作業効率の向上が可能である。また、封緘作業を併せて自動化できる「封入封緘機」を使用することで、さらに高い効率化が図れる。本装置は、単純作業の負担を軽減し、労働力不足への対策としても有効である

価格と導入費用（目安）

約170万円程度から導入可能。
（封入物の点数および処理速度によって異なる）

活用事例・ポイント

本機器は、郵便物や宅配媒体の作業効率を向上させる装置であり、幅広い業種で活用されている。たとえば、ダイレクトメール（DM）の大量発送を行う企業では、封筒への印刷物の封入と封緘を同時に行うことで、迅速かつ効率的な処理が可能である。また、新聞販売店では、折り込みチラシを宅配新聞に挟み込む作業を効率化する「折り込みチラシインサーター」が利用されている。本装置の最大のポイントは、省力化と作業の一貫性を高める点にある。人手作業と比較してミスが減少し、品質の安定性も向上する。特に、大量かつ継続的な処理が求められる現場では、その効果を最大限に発揮する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

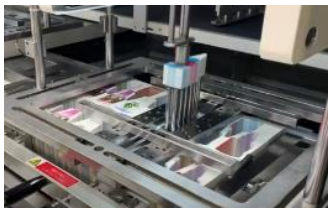
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-8	トムソン加工自動カス取り装置	11件	製造業、印刷・同関連業	製造業：加工・生産 印刷・同関連業：印刷

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- パッケージや紙箱等を生産する際に必要となる手作業でのむしり作業（カス取り作業）を自動化することで、手作業の負担を軽減し、生産スピードを向上させると同時に品質の安定化にも寄与することで、大幅な省力化が見込めます。
- カス取り作業は重労働であり気をつかう作業であったが、これを自動化することで、省力化の実現だけではなく、作業負荷の軽減や職場環境の改善にも繋がり、社員の定着や生産性の向上も見込めます。

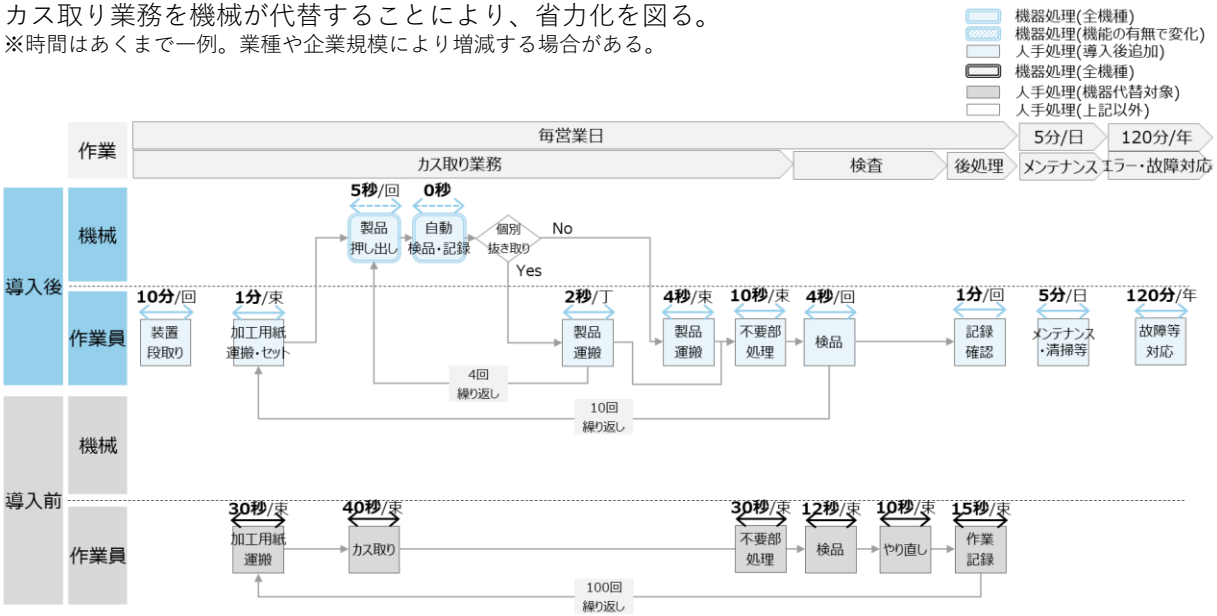
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

カス取り業務を機械が代替することにより、省力化を図る。
※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。



※:時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合あり。

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-8	トムソン加工自動カス取り装置	11件	製造業、印刷・同関連業	製造業：加工・生産 印刷・同関連業：印刷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

パッケージや紙箱等を生産する際にはその展開図を１枚の紙に印刷する。この印刷物を数十枚重ねて、展開図の外形や折り目を付けるために抜型を利用したプレス加工が行われる。この工程後に箱となる部分と不要となる部分（カス部分）を分離させる作業が必要となる。従来人手で行われていたこの作業（むしり作業とも呼ぶ）を自動で行う機器が自動カス取り装置（自動ブランキング装置とも呼ぶ）である。

主に利用が想定される中小企業

印刷・同関連事業を行う事業者。

省力化効果

印刷加工業において必須作業であるむしり作業（カス取り作業）は、人手で行うと重労働であり気をつかう作業であったが、
これを自動化することで、省力化の実現だけではなく、
作業負荷の軽減や職場環境の改善にも繋がり、
社員の定着や生産性の向上に寄与できる。

価格と導入費用（目安）

1,500万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えば
すぐに使用可能。

活用事例・ポイント

抜き加工において６丁・８丁づけ等の多数づけの場合は、むしり箇所が増えることで破れ、めくれの発生を起こしやすくなり、手作業での時間はより多くかかる。
また、一回にむしる枚数が多い場合は、ハンマー等も使用するため、かなりの重労働となる。本機器の導入により、重労働箇所の省力化が見込める。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-9	丁合機	37件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業、その他の事業サービス業	加工・生産、梱包・加工、出荷、販売・納品

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- チラシやカタログ、取扱説明書、帳票等の様々な用紙を高速でピッキングする事ができます。
- 従来まで主に手作業で行われていた用紙のピッキング作業において、本機器を導入することで大幅な省力化が見込めます。
- 手作業でピッキングを行う場合、生産性が属人的となり安定した生産力を保つ事が課題でしたが、本機器を導入することで省力化に加えて生産性の安定を見込むことができます。

置き換えが可能となる機能・性能

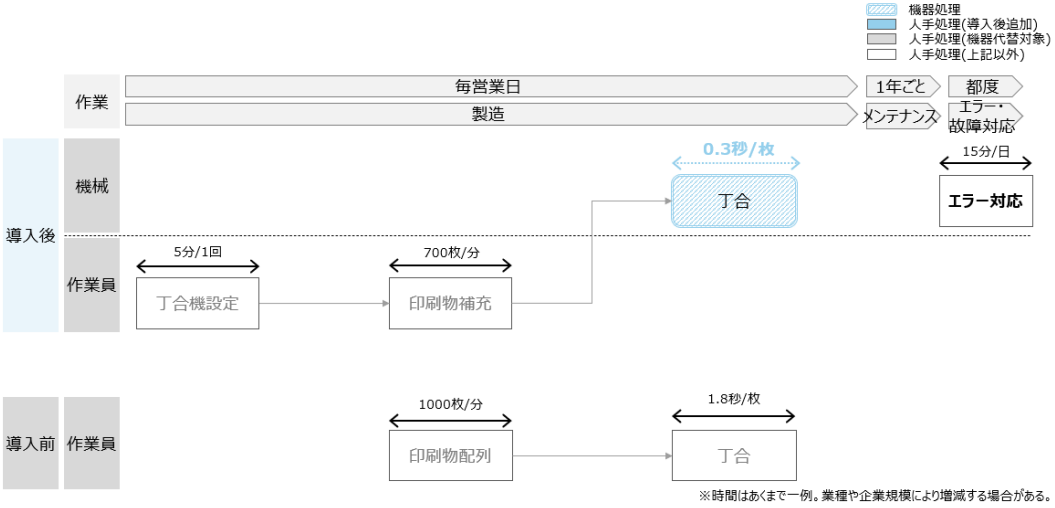
- 高速丁合機能
- 大容量給紙搭載機能
- Ａ４横本（小口３１５mm)以上の機械丁合

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた丁合作業に機器を導入することで、業務の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-9	丁合機	37件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業、その他の事業サービス業	加工・生産、梱包・加工、出荷、販売・納品

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

チラシやカタログ、取扱説明書、帳票等の様々な用紙を高速でピッキングする事ができる機械。

主に利用が想定される中小企業

印刷･同関連業務を行う事業者。

省力化効果

シート用紙や冊子等、多様な形態の用紙をピッキングする作業は主に手作業であり、生産性は低く、多くの人数を必要とする。
丁合機を導入することで、例えば30,000枚のチラシを手作業でピッキングする場合、900分の作業が、150分に短縮される。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

手作業でピッキングを行う場合、生産性が属人的である為、安定した生産力を保つ事が難しいが、丁合機を導入することで大幅な省力化および生産性の安定を見込むことができる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -10	デジタル加飾機	3件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

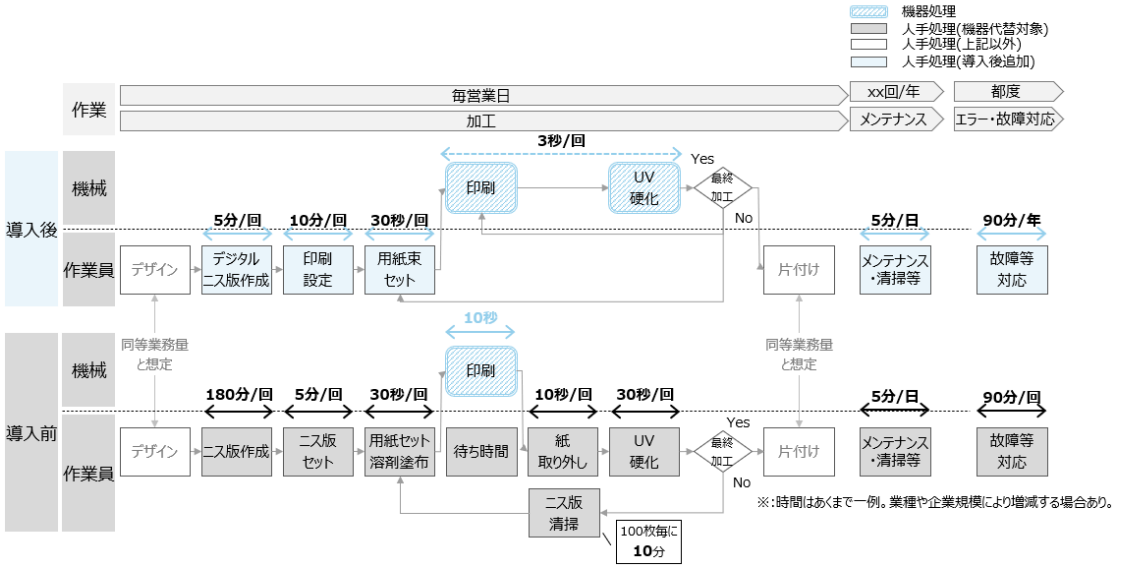
- デジタル加飾システムは、従来のアナログシステムと比較して中間製造工程が無いため、作業工数省力化および中間生成廃材の削減も見込めます。
- 従来までアナログ方式が主流であったニス・箔押し等の後加工において、本機器を活用することでスキルレスで印刷物にインパクトのある付加価値を付けられるようになり、生産性の向上が見込めます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

従来のスクリーン印刷機を用いていたUVニス加工業務に機器を導入することで業務量の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-10	デジタル加飾機	3件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

デジタル加飾とは、従来の印刷版を用いたり、スクリーン印刷や金型を使わずUVインクジェットプリント技術を使用して、デジタルデータからダイレクトに紙等に印刷するスポットニスやデジタル箔の技術である。その技術を応用した印刷機がデジタル加飾機である。

主に利用が想定される中小企業

印刷・同関連業を行う事業者。

省力化効果

デジタル加飾システムは、従来のアナログシステムと比較して中間製造工程が無いため、①作業工数省力化②中間生成廃材の削減というメリットがある。
加飾作業で一番時間を要する箔押の省力化比較では、ひとつの業務あたり約５時間45分の省力化が見込める。

価格と導入費用（目安）

3,000万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

ニス・箔押し等の後加工はアナログ方式が主流であったが、近年環境へ配慮したデジタル加飾システムへの需要が高まっている。スキルレスで印刷物にインパクトのある付加価値を付けられるため、人手不足解消も見込まれる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -11	印刷紙面検査装置	58件	製造業	検査

2026年3月23日時点

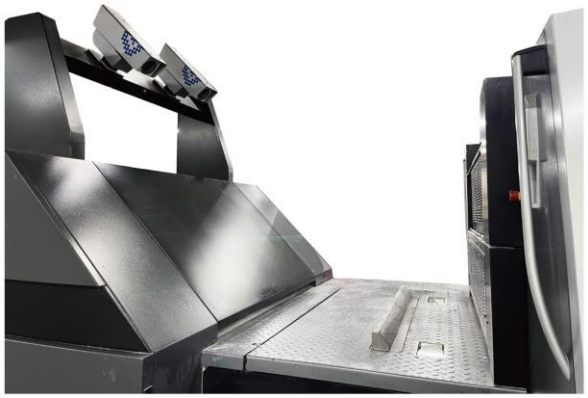
例えばこんな場面で、

- 印刷物の品質要求が高まり、全数検査のエビデンスを求められることが増えてきた近年の市場動向に対しても、本機器を導入することで対応しやすくなります。
- 精神的にも肉体的にも負担の大きい労働であった検査作業を自動化することで、作業負荷が大幅に低減されるだけではなく、社員の定着や生産性の向上が見込めます。

置き換えが可能となる機能・性能

- 検査条件設定方法の簡素化機能
- 自動エリア設定機能

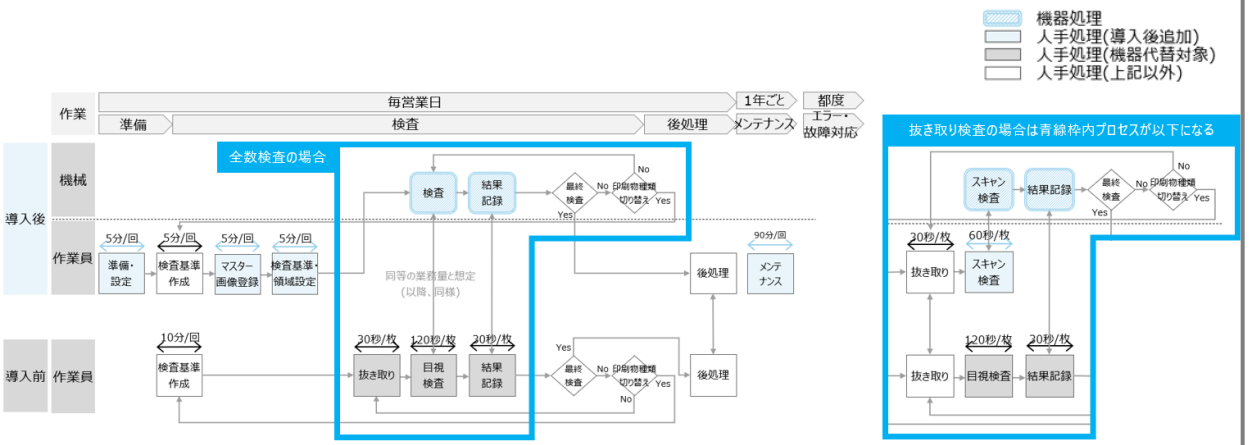
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

目視で行っていた印刷紙面検査に機器を導入することで、業務の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -11	印刷紙面検査装置	58件	製造業	検査

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

印刷会社において、納品物である印刷物の品質要求は高く、発注者要求として検査要件がある。
検査には抜き取り検査と全品検査があるが、検査作業は印刷された製品を目視検品しなければならない。この検査作業を自動的に行う装置が印刷検査装置である。

主に利用が想定される中小企業

印刷・同関連業を行う事業者。

省力化効果

印刷機は1時間に10,000枚以上で印刷することが出来るが、1,000枚に1～2枚程度印刷中の用紙を抜取り、印刷物に連続的な異常が発生していないかを目視確認するのが通例となっている。本機器の導入により、この作業に要する時間を実質「0」とすることが可能となる。

価格と導入費用（目安）

1,500万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

検査作業は非常に長い時間、神経を使い、目を酷使し、精神的にも肉体的にも負担の大きい労働である。このような作業を行う社員の確保は難しく、印刷会社の収益率を圧迫するものである。印刷紙面検査装置はこのような作業を省力化し、作業負荷が大幅に低減されるだけではなく社員の定着や生産性の向上に寄与するものである。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -12	段ボール製箱機	10件	製造業、小売業、卸売業、倉庫業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

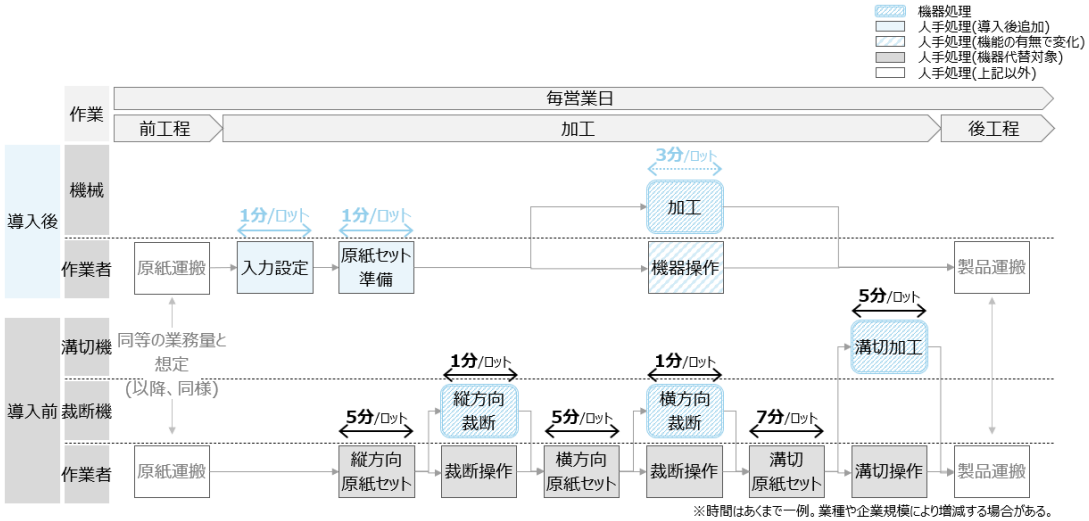
- 段ボールシートを段ボール箱に加工する業務における断裁機のセット替えや溝切機のセット等、危険を伴う重労働について本機器を活用することで大幅な省力化が見込めます。
- 従来までは１枚ずつ手作業で行っていた給紙作業も、本機器では段ボール紙を積み上げておけば自動的に給紙されての加工が可能となり、生産性の向上が見込めます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

従来機種で行っていた段ボールの裁断・溝切業務に機器を導入することで、
業務量の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -12	段ボール製箱機	10件	製造業、小売業、卸売業、倉庫業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

段ボールシートを加工して様々な箱を作る際に、従来はまず断裁機にて縦方向の断裁と罫線入れを行った後、横方向の断裁と罫線入れをしてから溝切機にて６ｍｍの溝を切る工程が必要である。
これら一連の作業を１回の工程で執り行う事が可能な装置。

主に利用が想定される中小企業

段ボールシートを段ボール箱に加工する事業者。

省力化効果

例えば、1日に600個の多種な箱を製造する場合、従来手法では8時間を必要とするが、本機器を導入することで、1時間40分で同量の作業が可能となる。

価格と導入費用（目安）

製品の規模により異なるが、1,600万円程度から導入可能。
導入にあたり機械の設置工事等が必要。

活用事例・ポイント

段ボールシートを段ボール箱に加工する業務における断裁機のセット替えや溝切機のセット等、危険を伴う重労働について本機器を活用することで大幅な省力化が見込める。
また、従来までは１枚ずつ手作業で行っていた給紙作業も、本機器では段ボール紙を積み上げておけば自動的に給紙されての加工が可能となり、生産性の向上が見込める。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -13	産業用デジタルラベル印刷機	9件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

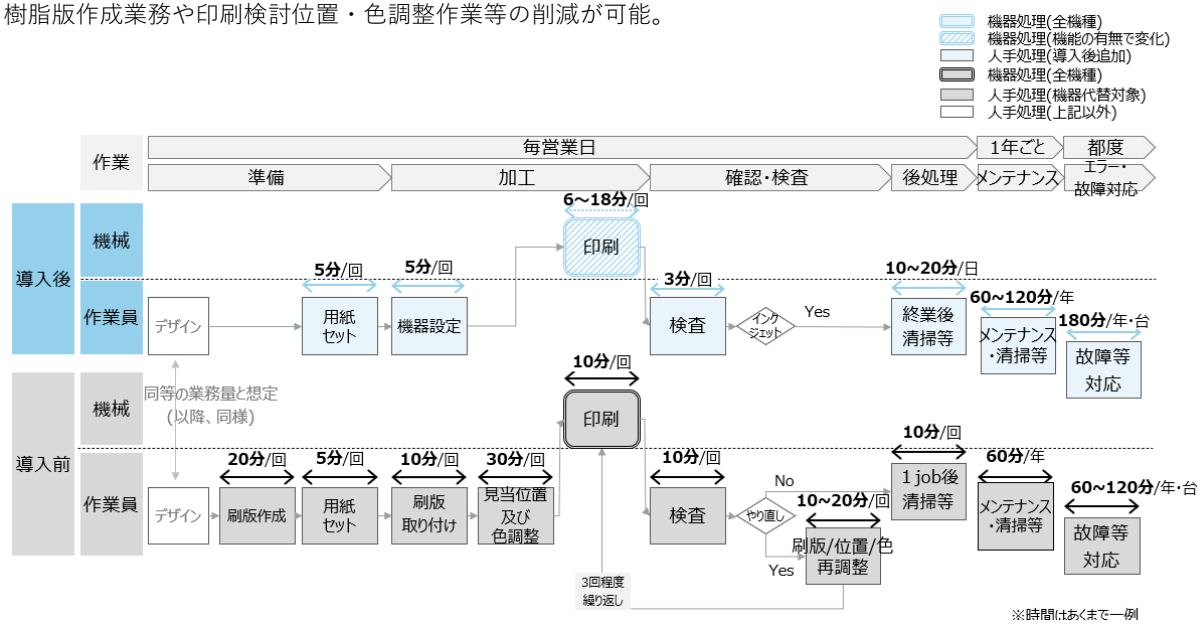
- 本機器は、ラベルやシール、ステッカーの印刷を行う事業者において、短納期・多品種対応を効率化し、省力化が期待できます。従来のアナログ印刷で必要だった製版作業が不要となり、印刷準備の手間を削減できるため、作業効率が向上します。
- 熟練技術が不要なため、経験の浅い作業者でも品質を維持した印刷が可能となり、人手不足の解消にも貢献します。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

従来のアナログ式凸版輪転印刷機等で行っていた印刷業務に省力化製品を導入することで、
樹脂版作成業務や印刷検討位置・色調整作業等の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -13	産業用デジタルラベル印刷機	9件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

紙面データから「版」を作成して印刷するアナログ方式と違い、デジタル技術を活用して画像処理・出力を行うシステム。
従来の樹脂凸版印刷に必要であった製版や刷版という工程が不要となるため、多品種・短納期で印刷物（シール・ラベル・ステッカー）を仕上げることが可能となる。トナーあるいはインクジェット等の印刷方式を用いたロールタイプの印刷機である。
印刷機本体に給紙ユニット・巻き取りユニットが含まれない場合は、給紙ユニット・巻き取りユニットを必ず併せて登録される製品を対象とする。

主に利用が想定される中小企業

ラベル・シール・ステッカーの印刷を行う事業者。

省力化効果

デジタルラベル印刷機は、従来のアナログ式印刷機（平圧機・凸版間欠機など）で必要だった樹脂版を使用しないため、製版作業が不要となる。さらに、印刷時の準備工程において経験が求められる印刷見当位置、印圧、インキ量の調整作業も不要となり、作業の効率化が図れる。加えて、1ジョブごとに作成していた印刷用樹脂版や、それに伴う製版機も不要となるため、設備投資や運用コストの削減に加え、終業後の清掃作業の省力化にもつながる。

価格と導入費用（目安）

約1,500万円～6,000万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、従来のアナログ方式と異なり、製版作業が不要なため、短納期・多品種対応の印刷業務に適している。これまで印刷見当位置や印圧、インキ量の調整には熟練技術が求められ、作業者の確保が課題となっていたが、本機器の導入により、経験が浅い作業者でも一定の品質を維持した印刷が可能となる。加えて、樹脂版の作成が不要となるため、印刷準備時間の削減や終業後の清掃作業の省力化にもつながる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -14	産業用小ロット印刷対応デジタル印刷機（フラットベッドタイプ/ロールタイプ）	86件	印刷・同関連業、製造業、その他の事業サービス業、広告業、建設業、 映像・音声・文字情報制作業	印刷、加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

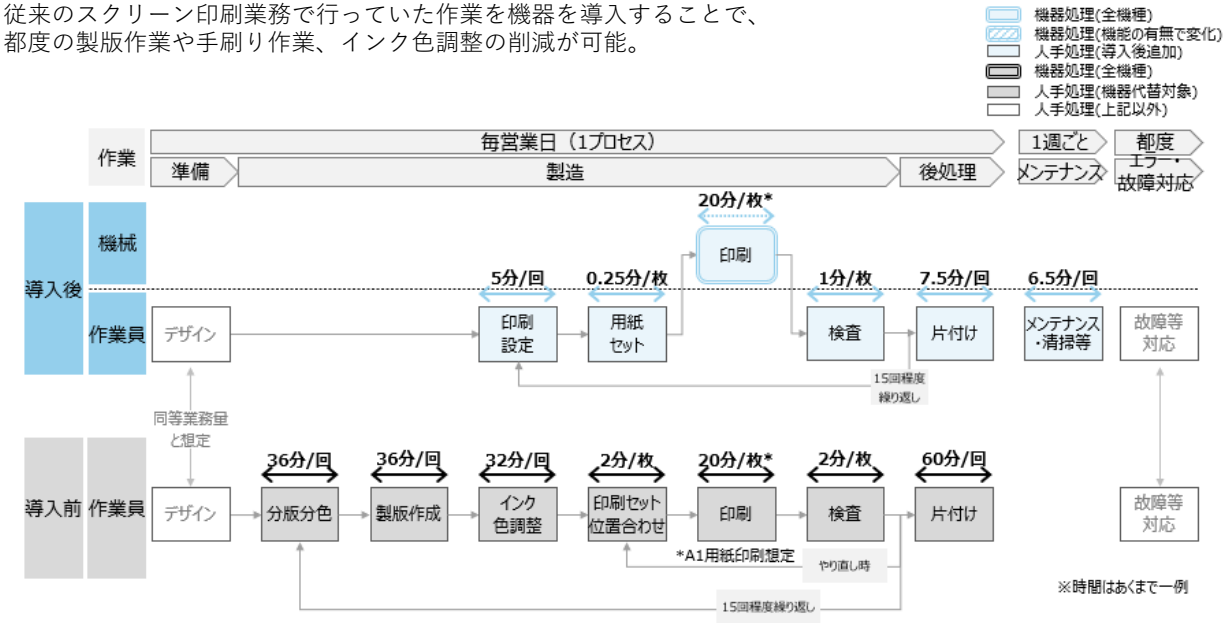
- 本装置は、多品種・小ロットの印刷が求められる現場で活用できます。例えば、店舗内装用のサインやディスプレイ製作、看板や広告物の製作、販促物の印刷業務など、少量多品種のオーダー対応が多い現場に適しています。
- 従来のスクリーン印刷のように製版が必要ないため、短納期での印刷が求められる案件や、試作品・限定品の製作現場でも効果を発揮します。印刷版の作成や色合わせ作業が不要となり、誰でも簡単に印刷作業を行うことができます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

従来のスクリーン印刷業務で行っていた作業を機器を導入することで、
都度の製版作業や手刷り作業、インク色調整の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -14	産業用小ロット印刷対応デジタル印刷機（フラットベッドタイプ/ロールタイプ）	86件	印刷・同関連業、製造業、その他の事業サービス業、広告業、建設業、 映像・音声・文字情報制作業	印刷、加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

印刷版を使用する従来のアナログ印刷機（代表例：スクリーン印刷機）で製造する印刷物の代替となる品質の印刷物を、短時間で小枚数製造できる装置が、産業用小ロット印刷対応デジタル印刷機（フラットベッドタイプ/ロールタイプ）。
基本構成はコントローラーと出力エンジンとしてのプリンタ部（印字装置と共に、用紙の給紙・排紙機能を有している装置）。
装置種別としては、フラットベッドタイプとロールタイプ、フラットベッド/ロール共用タイプ（ロールタイプの印刷基材幅600㎜以上）の3タイプとなり、使用するインクは(a)UVインク(b)ソルベントインク(UVソルベントインク含む) (c)ラテックスインク (d)昇華インク及び(a) ～(d)と同等の特性を持ったインク、及び、７色以上の水性インクを同時に使用できる装置となる。
従来のアナログ印刷機工程に比べ1枚あたりの生産性は低くなるが、製版工程が不要となる為、小ロットジョブでは大幅な省力化が可能となる。市場では印刷物の小ロット多品種化が進んでおり、これらを本製品に置き換えることで、印刷現場での省力化が期待できる。

省力化効果

本機器の導入により、従来のスクリーン印刷に必要であった分版・原版の作成、色インクの調色、位置合わせ、各色の重ね刷りなどの工程が不要となる。特に、小ロットや多品種の印刷業務においては、生産準備にかかる工数と時間を大幅に削減することができる。プリンタ設定と用紙セットのみで印刷を行うため、印刷作業に必要な人員や専門的な技能も最小限で済み、省力化と作業効率の向上を実現する。

主に利用が想定される中小企業

主に内装工事業、印刷業、看板・標識製造業、広告制作業、ディスプレイ業等に携わる事業者。

価格と導入費用（目安）

約100万円～5,000万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、印刷業や看板製作業、内装工事業など、短納期・小ロット対応が求められる現場での活用が進んでいる。従来のアナログ印刷では難しかった、少量生産・多品種対応を容易に実現することができる。また、製版工程が不要であることから、受注から納品までのリードタイムが短縮され、柔軟な生産対応が可能となる。さらに、UVインクやラテックスインクなど、多様なインク対応により、素材を選ばず様々な用途に対応できることが特徴である。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -15	用紙（シート）積み下ろし装置	7件	印刷・同関連業、製造業、卸売業、小売業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

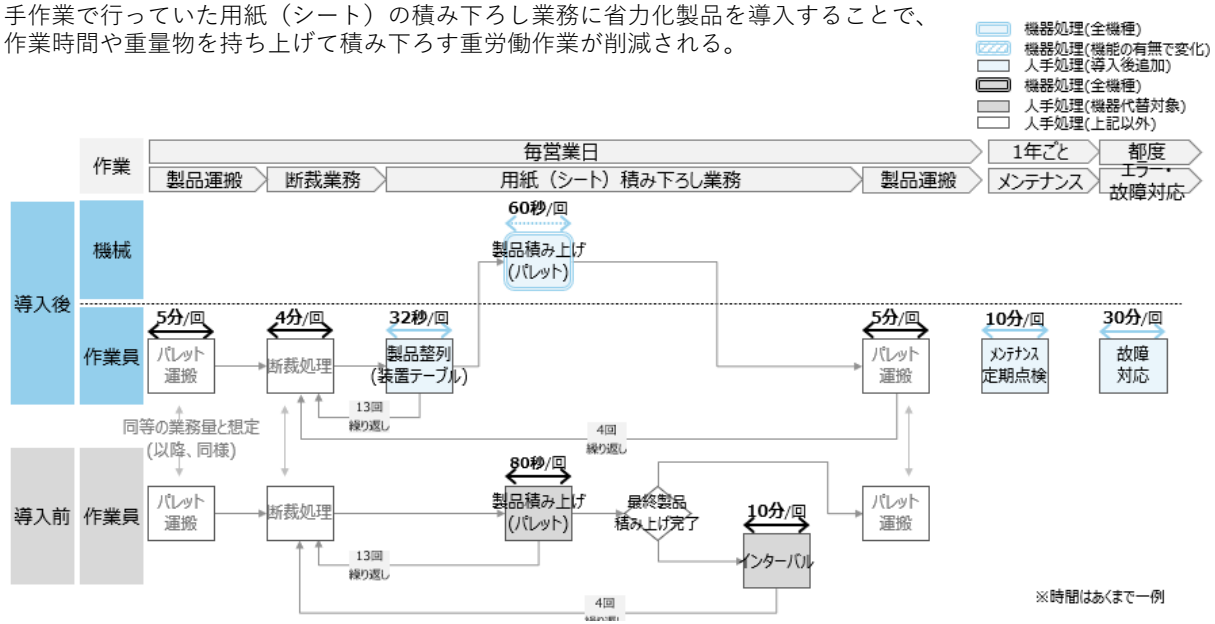
- 本装置は、大判用紙や印刷物、フィルムなどのシート状製品を取り扱う現場で活用できます。例えば、印刷業や紙加工業の工場で、断裁後の印刷物をパレットに積み上げる作業が多い現場に適しています。
- これまで人手で行っていた積み下ろし作業を自動化することで、作業時間の短縮だけでなく、作業者の腕や腰への負担軽減にもつながります。重労働となりがちな積み下ろし作業を効率化し、安全かつ安定した作業環境を実現することができます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた用紙（シート）の積み下ろし業務に省力化製品を導入することで、作業時間や重量物を持ち上げて積み下ろす重労働作業が削減される。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-15	用紙（シート）積み下ろし装置	7件	印刷・同関連業、製造業、卸売業、小売業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

装置テーブル上に積層、整列された用紙（印刷物）やフィルム等のシート状製品をそのままの姿勢で正確にパレット上に積み上げていく装置が「用紙（シート）積み下ろし装置」である。
用紙（シート）積み下ろし装置は基本的に上下可能なテーブルと荷崩れなく正確に積み上げるための機能（前後左右の挟み装置やグリップ機能）を有する。

主に利用が想定される中小企業

主に、印刷業、紙加工業、パルプ・紙製品製造業等に携わる事業者。

省力化効果

本装置は、印刷物や紙製品の断裁後に発生する積み上げ・積み下ろし作業の自動化により、省力化を実現する装置である。従来、人手による積み上げ作業では1回あたり約80秒を要していたものが、本装置の導入により整列作業は約32秒/回、装置による自動積み上げは約60秒/回へと短縮され、作業時間の削減効果が期待できる。さらに、腕や腰への負荷が大きい積み下ろし作業を機械化することで、作業者の身体的負担を大幅に軽減し、労働災害の発生防止や離職者の抑制、新たな人材確保への効果が期待される。

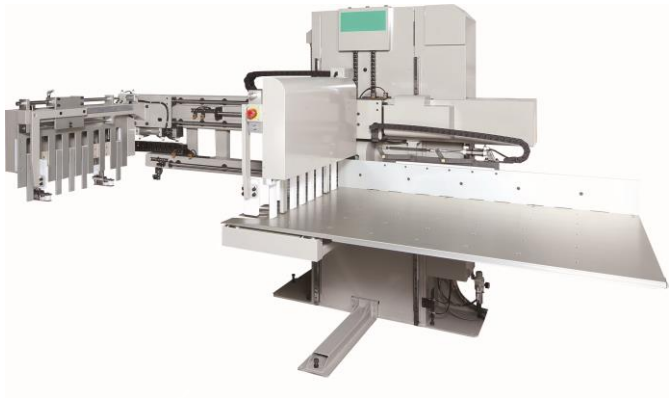
価格と導入費用（目安）

約700万円～2,000万円程度から導入可能。
（積み上げる製品サイズ（A倍判、B全判等）による）

活用事例・ポイント

本装置は、印刷業や紙加工業など、大判の用紙やシート製品を多く扱う現場での省力化に大きく貢献する。特に、断裁後の印刷物や加工済みのシート製品をパレットに積み上げる作業においては、人手による作業では長時間の労働による身体的負担や労働災害のリスクが高い。装置導入により、省力化や作業効率化に加え、安全面の向上や作業環境改善が実現できる。また、自動積み下ろしによる作業標準化は、作業者の熟練度に依存しない安定した作業品質を確保するうえでも有効である。特に、人材確保・労働環境改善に課題を抱えている事業者において、本装置の導入効果は高い。労働人口の減少や高齢化が進む中、省力化と安全性向上の両立が求められる現場での活用が期待される。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -16	産業用カッティングプロッター	18件	印刷・同関連業、製造業	印刷、加工・生産

2026年3月23日時点

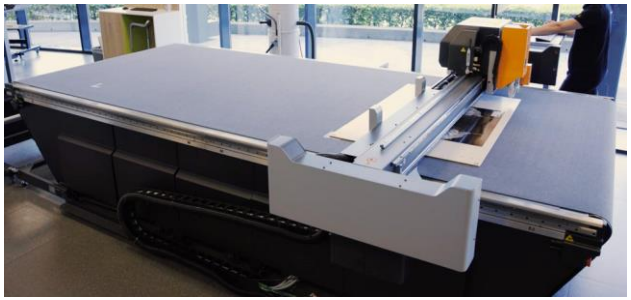
例えばこんな場面で、

- 本装置は、紙やフィルム、樹脂材などのシート素材をカット加工する現場で活用できます。段ボールや紙器などのパッケージ製造、ノベルティやシール、看板素材の加工を行う印刷・加工業者に適しています。
- 小ロットやサンプル製作、複雑形状の加工においては、CADデータに基づき自動で切断や罫線入れを行うため、手作業に比べて作業効率と品質の安定性が大きく向上します。

置き換えが可能となる機能・性能

- 加工条件設定方法の簡素化
- ナイフ(ツール)の自動切替機能
- カメラによる補正機能

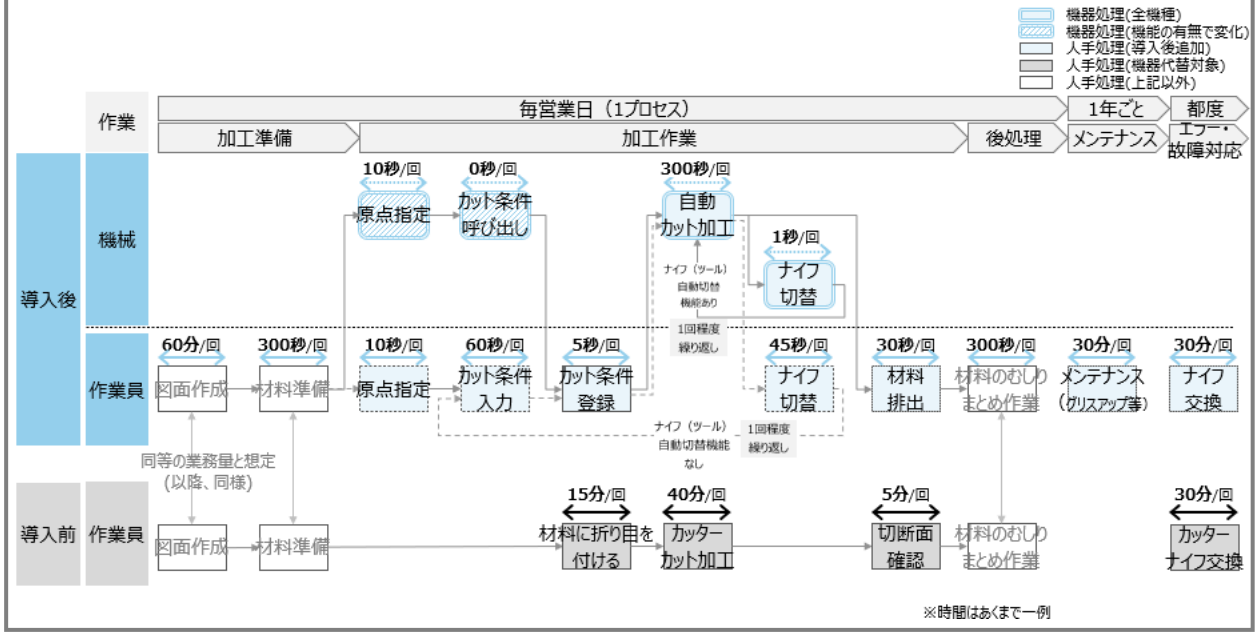
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

産業用カッティングプロッター導入により、作業員によるカッター加工の業務が削減



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -16	産業用カッティングプロッター	18件	印刷・同関連業、製造業	印刷、加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

CADデータ等のベクターデータを元に抜き加工を行う機械となる。紙やシート・板状の素材（フィルムや樹脂材等）等を指定したデータに基づいて切断・切削や折り目（罫線）を入れたり、ペン書きなどの加工を自動的に行う。
機種によっては、カメラによる位置・傾き補正やミーリング加工が可能なものもある。

主に利用が想定される中小企業

主に、紙器・段ボールなどのパッケージ製造を行う事業者。

省力化効果

本装置は、CADデータ等をもとに自動で素材の切断や罫線入れなどを行うことで、省力化を実現する装置である。従来の手作業においては、罫線の書き込みやカッターによる切断、切断面の確認といった複数工程が必要であったが、本装置の導入により、データの読み込みから加工までが一貫して自動化される。
1m×1m程度の同形状カット加工においては、約8割以上の作業工数が削減される場合もあり、人手による作業時間と労力の大幅な削減に寄与する。

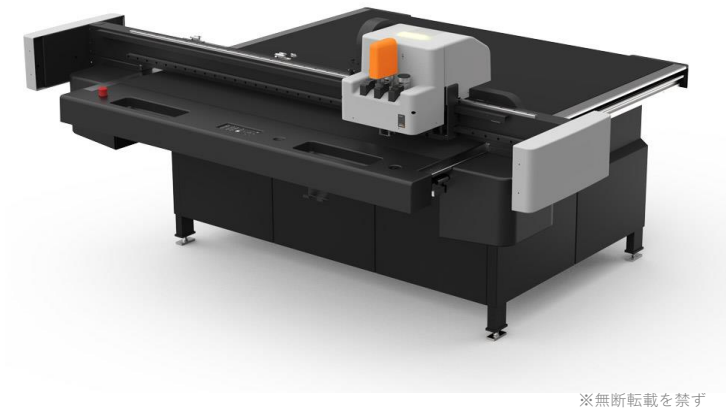
価格と導入費用（目安）

約300万円～4,500万円程度から導入可能。
（マシンの堅牢性、加工時の圧力の違い、精度、加工可能サイズによる）

活用事例・ポイント

本装置は、段ボールや紙器を扱うパッケージ製造業や、各種販促ツールの製作を行う印刷関連企業において活用されている。特に、小ロット製品の多品種対応や、試作品・サンプルの迅速な製作においては、従来の打ち抜き加工では対応が難しい形状や仕様にも柔軟に対応できる点が評価されている。また、カメラによる位置補正機能やミーリング対応などの高機能機種を導入することで、さらなる精度向上と加工の幅の拡大が可能となり、作業標準化や品質安定化にもつながっている。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

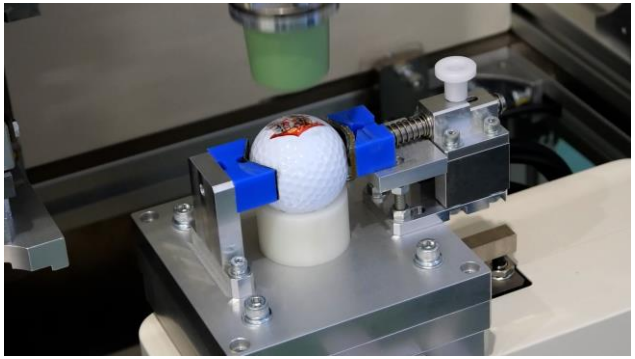
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-17	平面・曲面印刷機（パッド印刷機/ホットスタンプ印刷機）	16件	製造業、卸売業、小売業 印刷・同関連業	加工・生産、印刷

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 立体的な形状をした製品にロゴや文字、装飾を印刷したいときに活用できます。たとえば、プラスチック製の容器やガラス瓶、家電製品のボタンやパーツなど、複雑な形状の部品にも高精度な印刷を行うことができます。
- 金属、プラスチック、紙など多様な素材にも対応できるため、幅広い業種で利用されています。

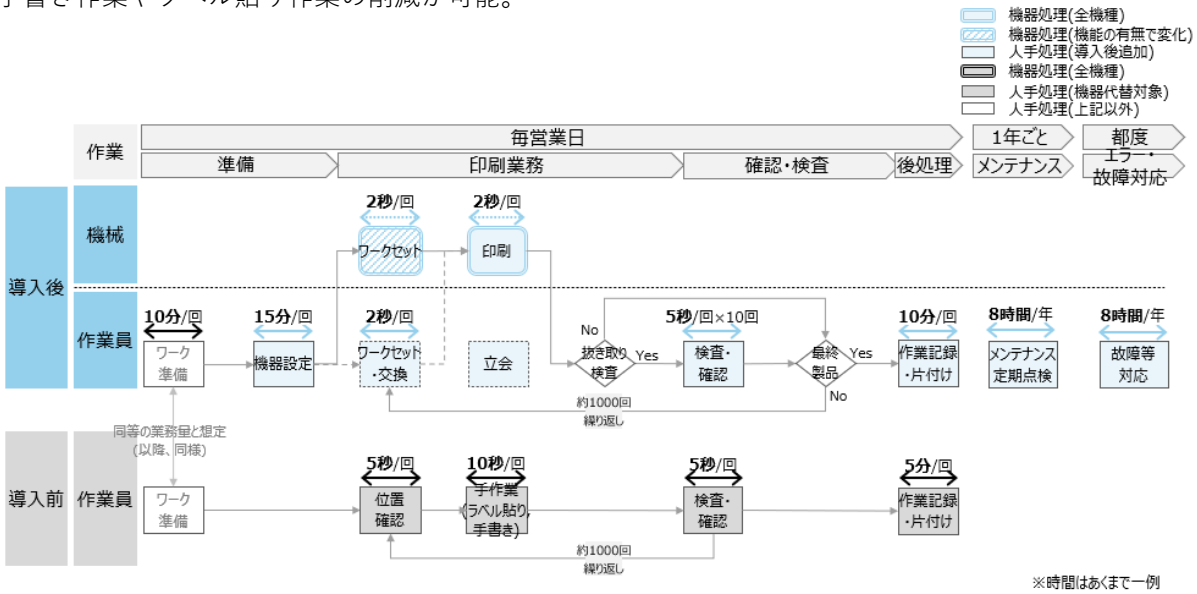
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた印刷業務に省力化製品を導入することで、
手書き作業やラベル貼り作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-17	平面・曲面印刷機（パッド印刷機/ホットスタンプ印刷機）	16件	製造業、卸売業、小売業 印刷・同関連業	加工・生産、印刷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

平面の印刷に限らず、立体的形状を有する複雑な形状の表面や任意の位置に印刷が可能であり、紙、ガラス、プラスチック、金属などの多様な素材にも対応し印刷ができる装置。

主に利用が想定される中小企業

印刷やプラスチック製品の製造などを行う事業者。

省力化効果

従来は人手で行っていたラベル貼りや手書きによる装飾工程を自動化できるため、作業時間の削減とともに品質の安定化が図れる。特に、印刷位置が複雑な立体構造物への印刷においては、手作業よりも正確で、ミスややり直しのリスクを抑えることができる。

価格と導入費用（目安）

約50万円～1,000万円程度
（印刷速度、治具搭載可能数、印刷対象物のサイズ、装置本体のサイズ、一度に同時印刷できる数によって異なる）

活用事例・ポイント

印刷対象物が曲面や凹凸を持つ場合でも、インクを均一に転写することができる点が大きな特長である。また、素材や形状に応じて印刷方法を選択できる柔軟性があり、小ロット多品種生産やカスタマイズ品への対応力が高い。多様な業種で活用されており、製品の付加価値を高める工程として導入が進んでいる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -18	産業用自動ラミネーター機	18件	印刷・同関連業、製造業	加工・生産、印刷

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 販促用のポスターや商品パッケージなどの印刷物に、光沢感や耐久性を加えたいときに活用できます。印刷物をラミネート加工し、傷や水濡れ、退色から保護することで、製品の付加価値を高めることができます。
- 大量の印刷物を処理する必要がある印刷現場や、品質を一定に保ちたい商業印刷業者にも最適です。

置き換えが可能となる機能・性能

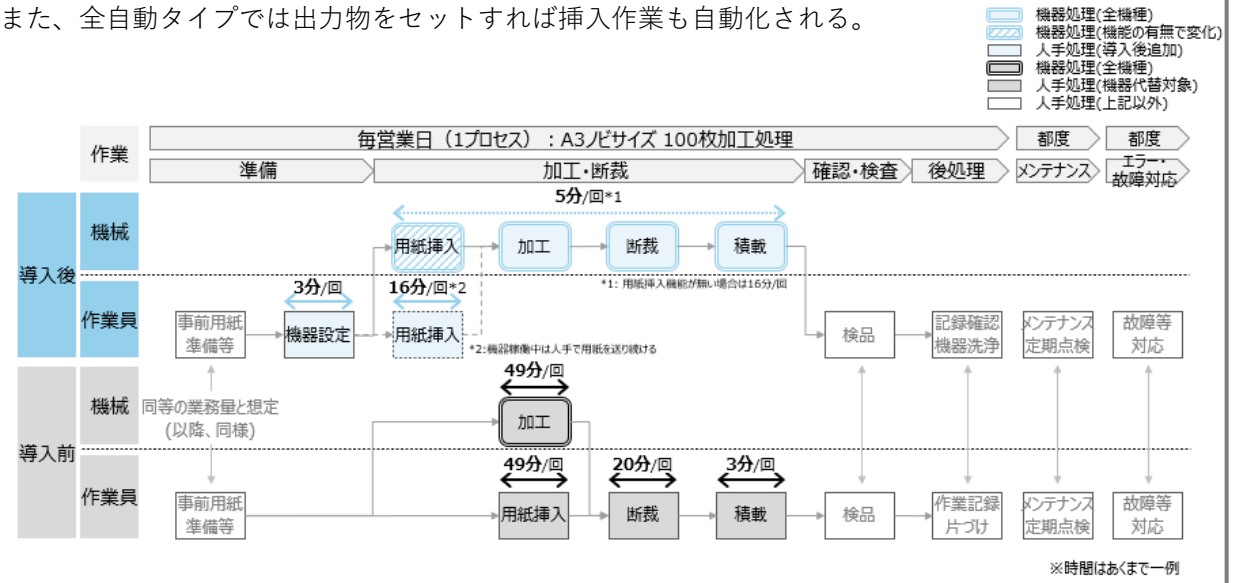
- 広幅対応（加工サイズアップ）
- 自動集積機能
- 高速加工（加工スピードアップ）

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手動タイプで行っていたラミネーター業務に省力化製品（自動タイプ）を導入することで、断裁作業や検品作業の削減が可能。
また、全自動タイプでは出力物をセットすれば挿入作業も自動化される。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -18	産業用自動ラミネーター機	18件	印刷・同関連業、製造業	加工・生産、印刷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

印刷物やデジタル出力紙等の保存性を高めるためにラミネートフィルムを印刷物の両面、又は片面に貼ることをラミネートと呼ぶが、この作業を断裁まで自動で行う機械。出力物（ポスターや化粧品箱加工する印刷物等）をフィルムで加工して、防水性・保湿性・耐候性・耐光性・傷・汚れから保護する。使用する基材フィルムの光沢性により、付加的に高級感も得られる。手動によるラミネート加工やその後の断裁加工を自動化することにより、省力化が図れる。特に断裁については自動で行うため、見栄えもよく、断裁ミスの解消にも繋がる。なお、対象物が自動で給紙される全自動タイプと手差しで行う半自動タイプがある。

主に利用が想定される中小企業

印刷物のラミネート加工を内製化している事業者。

省力化効果

従来は、出力物を手動でラミネーターに挿入し、加工後に人手で断裁していたが、自動ラミネーター機を導入することで、給紙、ラミネート、断裁までを一貫して自動処理できる。これにより、少人数での作業が可能となり、人手不足への対応や作業時間の短縮に寄与する。また、断裁ミスの防止や加工品質の安定化にもつながる。

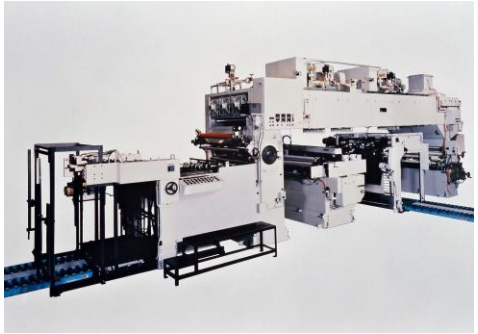
価格と導入費用（目安）

約300万円～7,300万円程度（加工速度、加工対象物、加工対象物の用紙厚、最大堆積高、フィルム材質によって異なる）

活用事例・ポイント

印刷物の加工業務において、作業者2名で対応していたラミネートおよび断裁工程を、自動化により1名での対応が可能となる。とくにA3ノビサイズなど大型の出力物にも対応可能なタイプでは、従来複数台体制で行っていた作業の集約が可能となり、作業スペースと人件費の削減につながる。自動断裁により品質のばらつきも抑えられる。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -19	面板加工機	3件	製造業、印刷・同関連業	印刷、加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

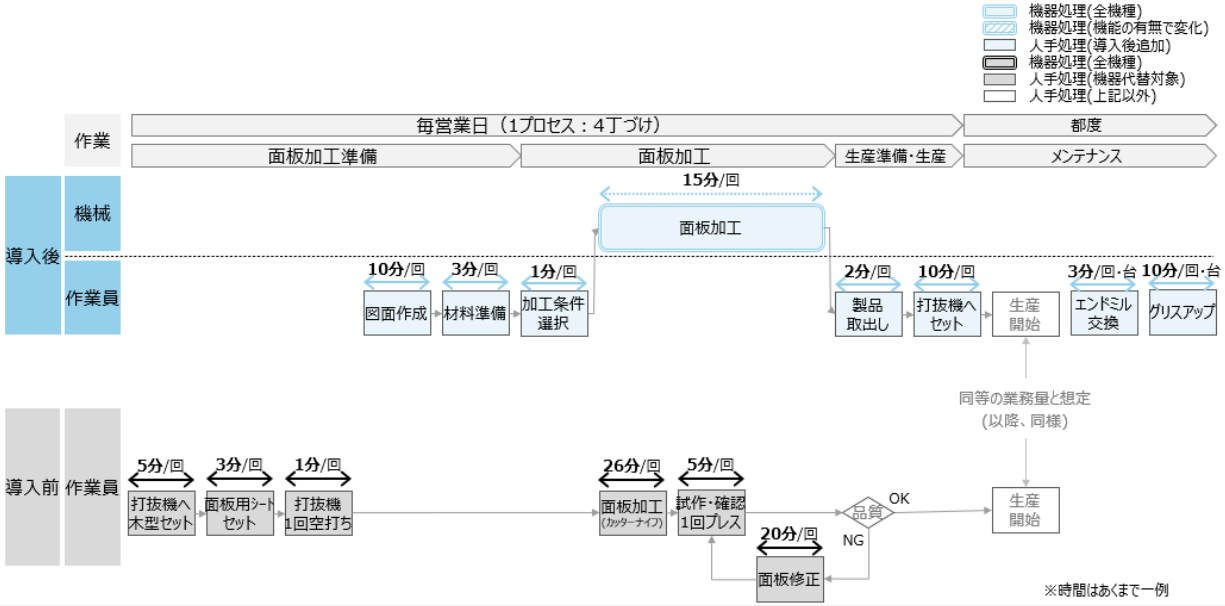
- 紙器パッケージをトムソン加工で製造する現場で、罫線加工のために面板（凹版）を作成する必要がある際に活用できます。
- 従来、熟練作業者が手作業で紙に溝を掘っていた工程を、CADデータに基づいて自動加工することで、誰でも安定した品質の面板を短時間で作成することができます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

カッター等の刃物を用いて人手作業で行っていた面板作成作業に省力化製品を導入することで、
高品質な面板を短時間かつ再現性高く製作することが可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-19	面板加工機	3件	製造業、印刷・同関連業	印刷、加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

紙器パッケージをトムソン加工機の型によって切り取る際に、折り曲げ罫線の部分に罫線用刃物を使用するが、刃物を押し込んでも反対面（下板）が平面だと紙に罫線が入りにくい。そのため、紙と打抜き機の間に罫線と同じ長さの溝を掘り、雌（凹み）となる面板が必要となる。この型の凸版と凹版で行う抜きのプレス加工の際に必要となる凹版（面板）を自動で高精度に製造できる装置が面板加工機である。従来、面板は面紙という専用紙にカッター等の刃物を用いて作成するが、罫線部分は紙の厚みや質によって太さを変えて溝を掘る必要がある。面板加工機はこの面板作成をCADデータに基づき作成するため、高度な熟練技術を必要とせず、刃物の使用も避けられるため、危険を伴う作業負荷が大幅に軽減できるため、生産性の向上や省力化に大きく寄与する機械である。

主に利用が想定される中小企業

紙器パッケージを製造するトムソン加工機を保有する事業者。

省力化効果

従来の手作りによる面板製作では、木型からの写し取り、罫線部分の加工、刃物によるカットなど複数の工程を伴い、多くの時間と労力を要していた。面板加工機を導入することで、図面データをもとに自動で加工が行われるため、作業者の手間を大幅に軽減できる装置である。また、加工素材が紙から硬質シートへ変わることで耐久性が向上し、面板の作り直し頻度が低下する点でも省力化に寄与する。

価格と導入費用（目安）

約1,000万円～1,400万円程度から導入可能。
（Z軸補正に関する仕組みの違い、駆動機構の違い（ベルト・ラック&ピニオン・ボールスクリューなど）、オートツールチェンジ機能の有無によって異なる）

活用事例・ポイント

本機器の導入により、従来10,000回の加工で再作成が必要だった面板を、300,000回の加工に対応できる高耐久面板に置き換えることが可能となる。これにより、繰り返し生産が必要な現場での安定稼働が実現し、面板の作り直しにかかる工数やコストの削減につながっている。また、刃物を使わない加工により、作業安全性も向上している。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-20	段ボール箱糊付け機	0件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、出荷

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

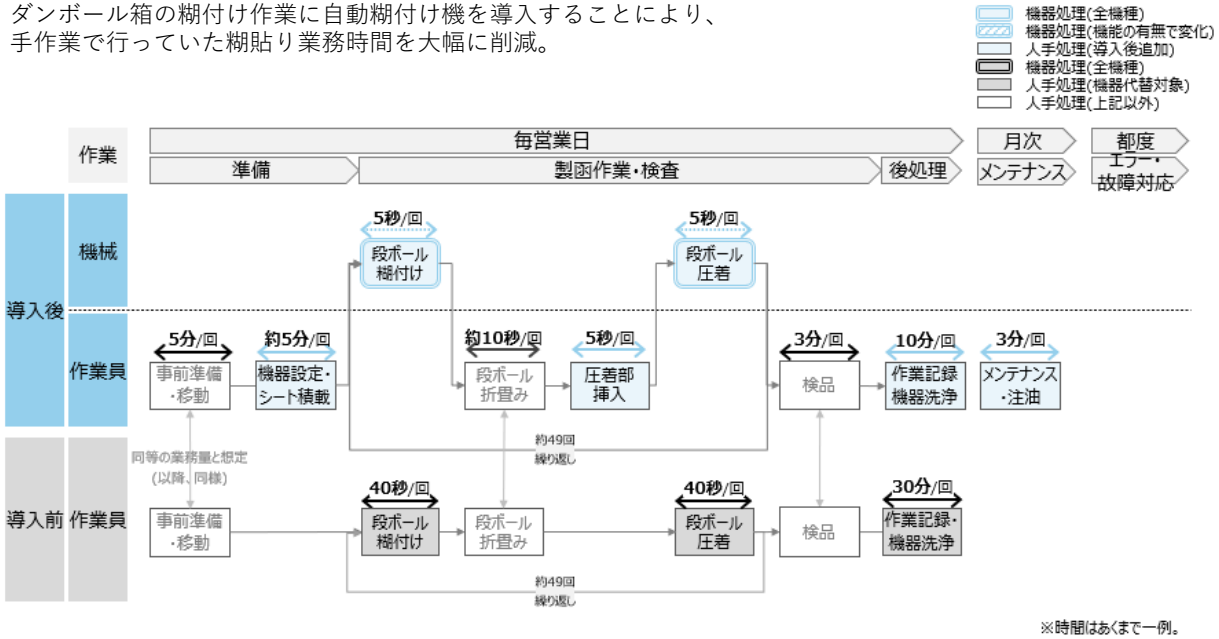
- 倉庫や製造現場などで、小ロット・多品種の段ボール箱を組み立てる作業が頻繁に発生する場合に活用できます。
- 折りたたまれた状態の箱を機械にセットするだけで、自動で糊付け・圧着まで対応できるため、少人数での出荷準備にも対応しやすくなります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

ダンボール箱の糊付け作業に自動糊付け機を導入することにより、
手作業で行っていた糊貼り業務時間を大幅に削減。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-20	段ボール箱糊付け機	0件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、出荷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

段ボールや紙器等を箱として製函する機械で、折りたたまれた状態の段ボール箱を組み立てられるように底面や側面部分に自動で糊貼りした後、手動で折り畳み、最終的に圧着コンベアから排出される機械である。接着方法としては、ホットメルト等が使用され、小ロットで多品種向けの機械である。一部手作業による圧着のための給紙が必要ではあるが、給紙から組み立て・糊貼り・糊貼り後の最終圧着まで自動で行うので、手作業と比べるとミスなく、貼り合わせ部分もきれいに仕上がる。製品本体の他にコンプレッサーが必要となる。

主に利用が想定される中小企業

・主に段ボール箱や紙器を製造する事業者。
・それらを梱包資材として利用する倉庫業、卸売業、小売業の出荷業務を担う事業者

省力化効果

従来は段ボール箱を一つずつ手で開き、刷毛などで糊付けをし、手作業で圧着する工程が必要であったが、本装置の導入により糊付けと圧着の作業を自動化できるため、作業負担の軽減と時間短縮が可能となる装置である。加えて、糊付けに使用する刷毛や器具の洗浄作業も削減できるため、トータルでの省力化効果が期待される。

価格と導入費用（目安）

1,000万円～2,500万円（通紙できるサイズによって異なる）

活用事例・ポイント

本装置は、ホットメルト等による自動糊付けと圧着を一貫して行えることから、手作業による貼りミスや仕上がりのばらつきを防ぎ、一定品質での製函作業が可能となる。特に小ロット・多品種の加工が多い事業者にとっては、作業の柔軟性と生産性を両立できる点が導入のポイントである。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -21	段ボール箱製函機	2件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、出荷

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

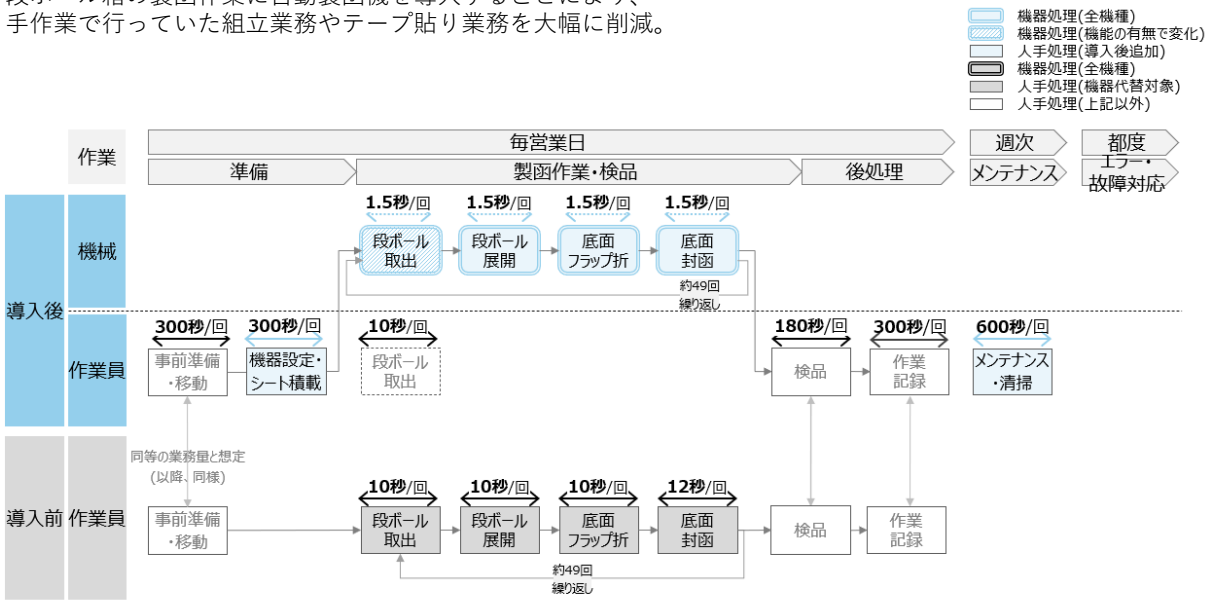
- 商品の発送や保管用に日常的に段ボール箱を使用している事業者にとって、段ボール箱の組み立て作業は意外に手間がかかる工程です。
- 特に、一定量の出荷が日常的に発生する小売業や製造業、倉庫業などでは、作業者が一つひとつ箱を開いて底面にテープを貼るという繰り返し作業が発生します。
- 段ボール箱製函機を導入することで、この作業を自動化し、箱詰め作業の前工程をスムーズに進めることができます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

段ボール箱の製函作業に自動製函機を導入することにより、
手作業で行っていた組立業務やテープ貼り業務を大幅に削減。



※時間はあくまで一例

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -21	段ボール箱製函機	2件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、出荷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

段ボールを箱として製函する機械で、折りたたまれた状態の段ボール箱をフラップ開口して、底面に自動で粘着テープ貼りまでの作業を自動化した機械である。接着方法としては粘着テープでのI貼りとなり、小ロットで多品種向けの機械である。給紙から組み立て・テープ貼りまで自動で行うので、手作業と比べるとミスなく、貼り合わせ部分もきれいに仕上がる。

主に利用が想定される中小企業

主に、梱包・出荷作業を自社内で行っている製造業の中小企業や、在庫・配送センターを運営している倉庫業者、EC対応の出荷が増加している小売業者などの事業者。

省力化効果

製函作業を自動化することで、作業者が段ボール箱を手開きし、テープを貼って組み立てる一連の工程にかかる時間を削減できる。また、テープ貼りのばらつきがなくなることで品質の安定化にも繋がり、結果として工程全体の省力化が図られる。

価格と導入費用（目安）

500万円～1,000万（安全カバー・サイズ変更・センサー追加・マガジン追加等によって異なる）

活用事例・ポイント

例えば、日々一定数の商品を出荷する製造業や、店舗やネット通販を展開している小売業では、段ボール箱の製函作業がボトルネックになりやすい。本製品を導入することで、出荷前の段ボール組み立て作業を効率的にこなすことができ、繁忙期や短時間で大量の出荷が必要なタイミングにおいても安定した作業スピードを維持できる。製品は多品種小ロット対応であるため、多様なサイズの箱を取り扱う事業者にとっても柔軟に活用できる点が強みである。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -22	重ね切り対応三方断裁機	6件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

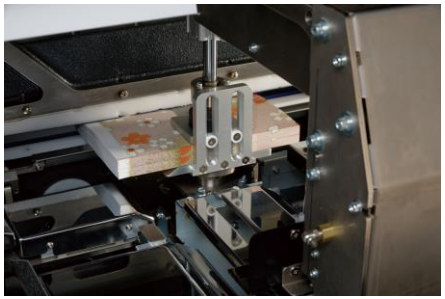
例えばこんな場面で、

- 製本の製造工程において、「三辺（本の上（天）・本の下（地）・本を開く側（小口））」を自動で裁断する際に活用できます。
- 平裁断機を使用した場合は「本の上（天）」「本の下（地）」「本を開く側（小口）」を１回ごとに裁断を行う必要がありますが、本裁断機の活用により、自動で三辺を断裁することが可能となります。

置き換えが可能となる機能・性能

- 自動寸法調整機能
- 広幅三方断裁機能

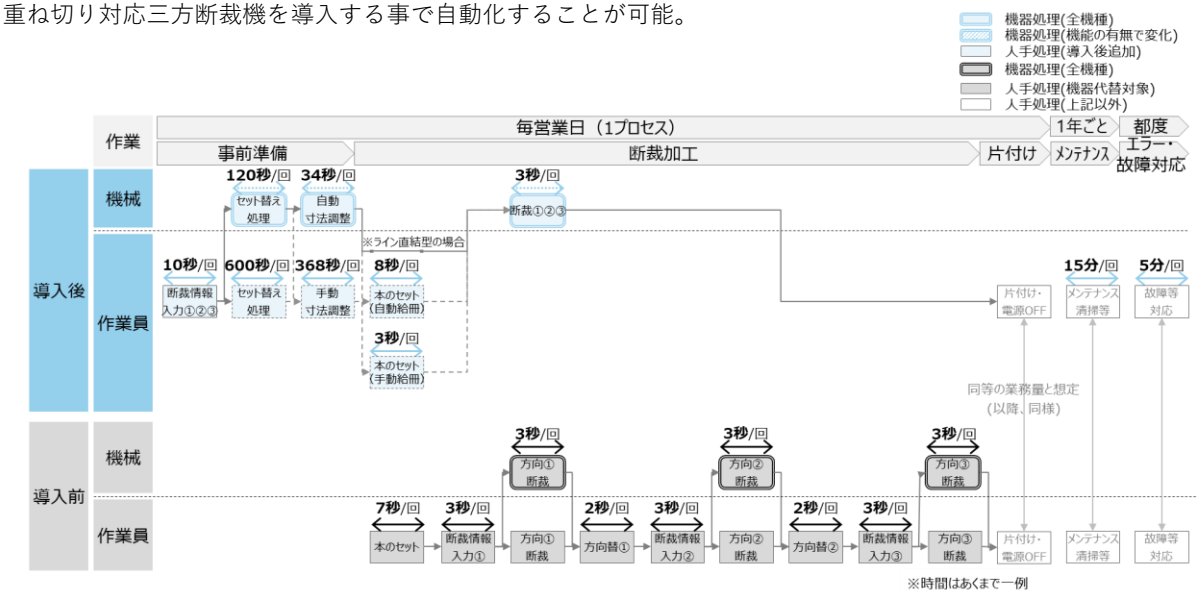
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

オペレーターが、平断裁機で天、地、小口の一辺ずつ断裁を行っている冊子の断裁作業が、重ね切り対応三方断裁機を導入する事で自動化することが可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-22	重ね切り対応三方断裁機	6件	印刷・同関連業	印刷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

製本の製造工程において、本の上下（天・地）、本を開く側（小口）の三方向を断裁する必要がある。一般的には、平断裁機を使用して、天地、小口の三辺を1回ごとに断裁を行っている、本カテゴリでは、自動で三辺を断裁する装置を対象とする。
ただし、一冊切り専用の三方断裁機は対象外とし、複数冊断裁可能な三方断裁機を対象とする。

主に利用が想定される中小企業

製本業、印刷事業者のうち製本に従事する事業者。

省力化効果

平断裁機を使用する場合、２回の方向替えを含む３回の断裁が必要となるが、本カテゴリの製品を導入することにより、三方の断裁を自動化することが可能となる。１０００冊を三方断裁する場合、平断裁では本のセット、断裁設定、断裁・方向替えに３０分程度を要するが、断裁設定、給冊のみで自動三方断裁が可能となり、省力化をはかることが出来る。

価格と導入費用（目安）

1,200万円～3,700万円（給冊方式の違い、断裁速度、断裁できる冊子のサイズ、１断裁当たりの断裁可能な厚み、装置本体のサイズ、セット替え簡略化機能の有無、等によって異なる）

活用事例・ポイント

「重ね切り対応三方断裁機」は、印刷物の仕上げ工程で複数冊を同時に断裁できるもので、製本後の本を一度に数冊重ねて三方（上・下・小口）を断裁できるため、生産スピードが大幅に向上。
特に文庫本・雑誌・カタログなど大量印刷物の仕上げに有効。
自動搬送ラインと連動し、人手を最小限に抑えた自動化ラインが構築可能となる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -23	製本冊子断裁寸法検査装置	3件	印刷・同関連業	検査

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

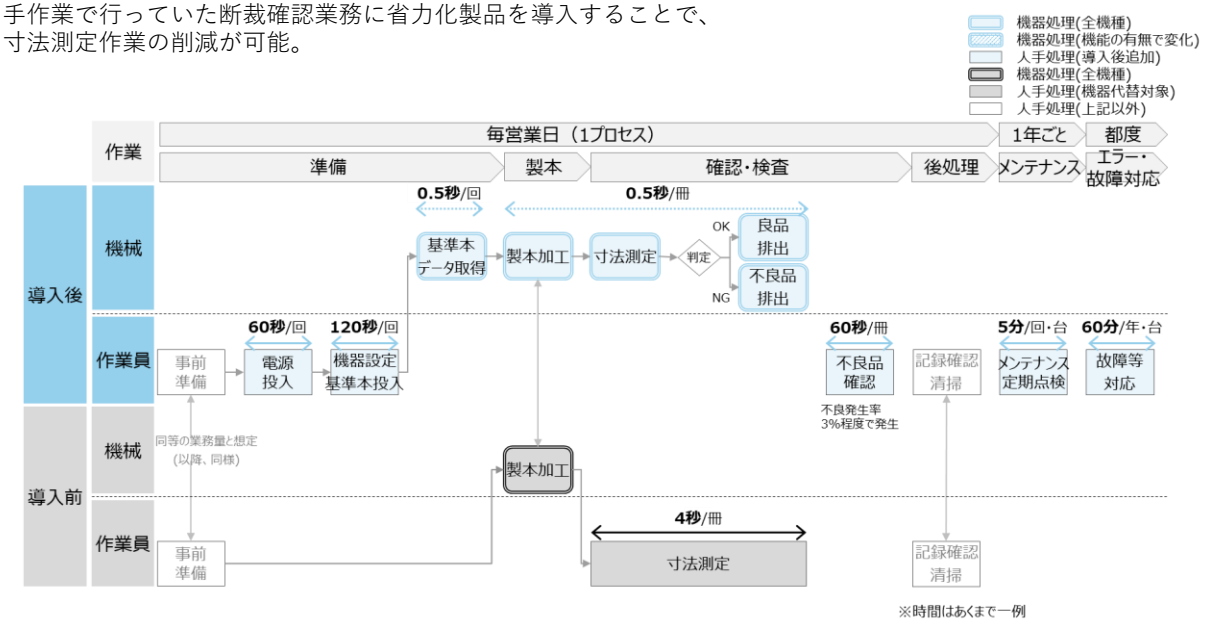
- 仕上がり検査（製本時の断裁の不良品検知）を人手で行う代わりに、自動検知を行う装置が製本冊子断裁寸法検査装置です。
- 生産ラインに接続し、高性能センサを用いてミリ単位で、厚み・天地左右裁断不良等の不良品自動判読を可能となります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた断裁確認業務に省力化製品を導入することで、
寸法測定作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-23	製本冊子断裁寸法検査装置	3件	印刷・同関連業	検査

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

製本業務では、常に発注者から品物の仕上りに高いクオリティが要求されており、仕上りの品質検査は、必須の業務となっている。この仕上がり検査（製本時の断裁の不良品検知）を人手で行う代わりに、自動検知を行う装置が製本冊子断裁寸法検査装置である。生産ラインに接続し、高性能センサを用いてミリ単位で、厚み・天地左右裁断不良等の不良品自動判読を可能としている。

主に利用が想定される中小企業

製本業、印刷加工業に従事する事業者。

省力化効果

冊子の計測検査を作業員が行う場合と比較して、計測時間が削減される。手作業による計測時間は約4秒/冊。1日当たり7200冊の検査を行う場合、480分（8時間）の作業時間削減が期待される。（製品導入による追加作業は、電源投入と機器設定・基準本投入の計3分程度である。）

価格と導入費用（目安）

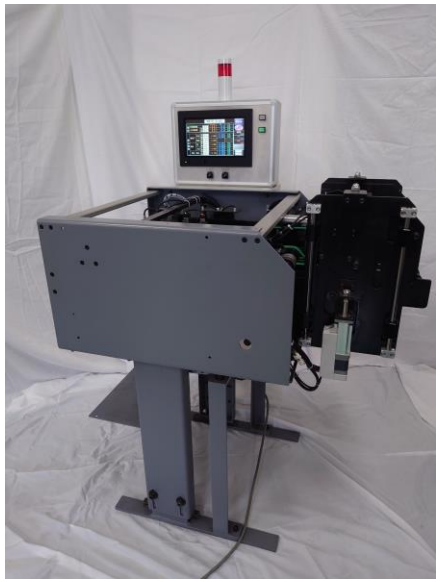
50万円～3,000万円（加工速度、工具搭載可能数、加工対象物のサイズ、装置本体のサイズ、一度に同時加工できる数により異なる）

活用事例・ポイント

「製本冊子断裁寸法検査装置」は、印刷・製本工程の最終品質検査工程で使われる高精度な断裁寸法自動測定装置。

冊子（書籍・パンフレットなど）の断裁後に、「三方の寸法（天地・小口）」や「厚み」「歪み」「角度」などを非接触で高速測定し、規格外品（不良品）を自動で判読する。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -24	ＤＴＦプリンターシステム	0件	印刷・同関連業、製造業	印刷、加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- アパレル・ファッション業界において、「Tシャツ」「パーカー」などへのプリント、撥水・ナイロン系ジャケットへのロゴ転写など、多岐にわたる用途で利用されています。
- スポーツチーム・クラブ向け（個人含む）においては、「ユニフォームの背番号・名前入れ」や、「チームＴシャツ、応援グッズ制作」にも利用されています。

置き換えが可能となる機能・性能

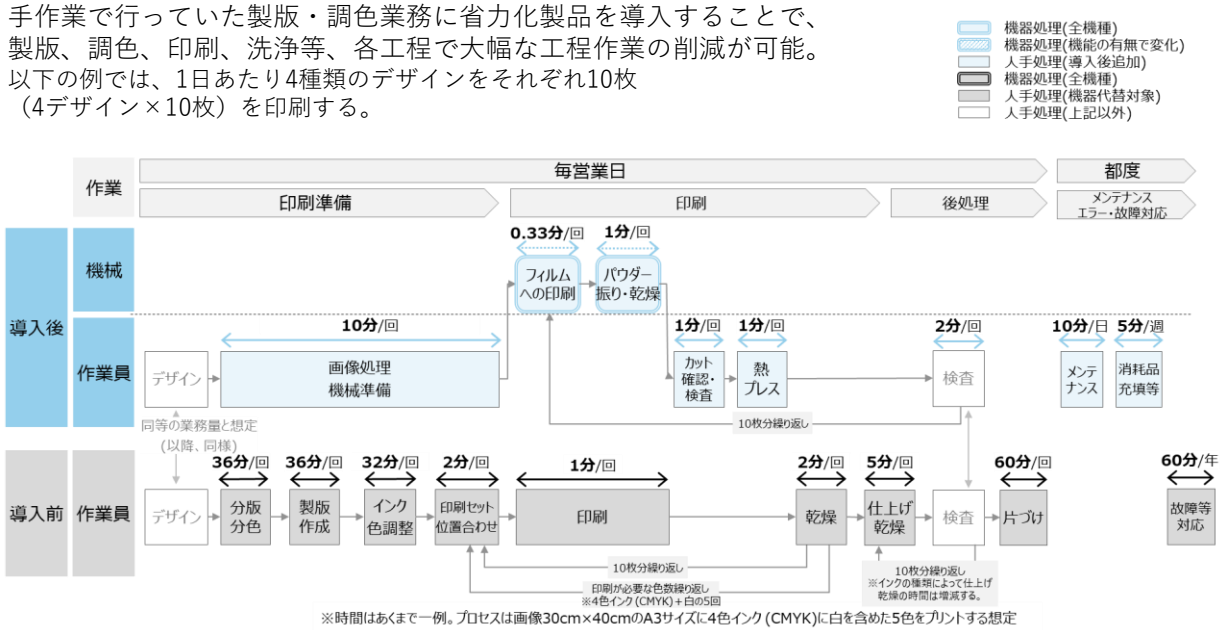
- 多列印刷機能
- 広幅印刷対応機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた製版・調色業務に省力化製品を導入することで、製版、調色、印刷、洗浄等、各工程で大幅な工程作業の削減が可能。
以下の例では、1日あたり4種類のデザインをそれぞれ10枚（4デザイン×10枚）を印刷する。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-24	ＤＴＦプリンターシステム	0件	印刷・同関連業、製造業	印刷、加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

DTFとは、Direct To Filmの略で、その出力を担うのが「DTFプリンター」であり、インクジェットプリント技術を使用して、デジタルデータからダイレクトに紙やフィルム等に印刷する技術を利用したプリンターとなる。具体的にはCMYKインクと白インクを搭載した水性インクジェットプリンターで、フィルム（ペットフィルム）に印刷して、ホットメルトの転写シートを製作するシステムである。この転写シートを生地（ウェア等）に熱プレスして、プリントが完成する。

主に利用が想定される中小企業

印刷･同関連業務・Tシャツやトートバッグ等へ、テキスタイル印刷業や転写プリント等を行う事業者等。

省力化効果

アパラレル印刷などにおいては、シルクスクリーン印刷を使用する事が主流となっており、製品導入前の人手による作業 ①分版データの作成（4色）②各原色原版の作成 ③インクの調整（4色）④印刷セット位置合わせ　約100分が、製品の導入により、①プリンターの設定②フィルム作成　約10分に省力化される。

価格と導入費用（目安）

300万円～600万円
（プリントヘッドの搭載数、躯体幅（30cm～60cm）による）

活用事例・ポイント

「小ロット・多品種」「短納期フルカラー」「複雑デザイン」「多素材対応」という特徴を活かして、アパレルから工業用途まで幅広く活用される。基本構成は、プリンターとバインダー定着機（シェーカー/オーブン）となるが、両者を「連結したセパレートタイプ」と「統合したインテグレートタイプ」に大別される。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -25	カッタークリーサー（多機能自動断裁筋押し加工機）	4件	印刷・同関連業、卸売業、小売業、広告業、生活関連サービス業、娯楽業、飲食サービス業	印刷、加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

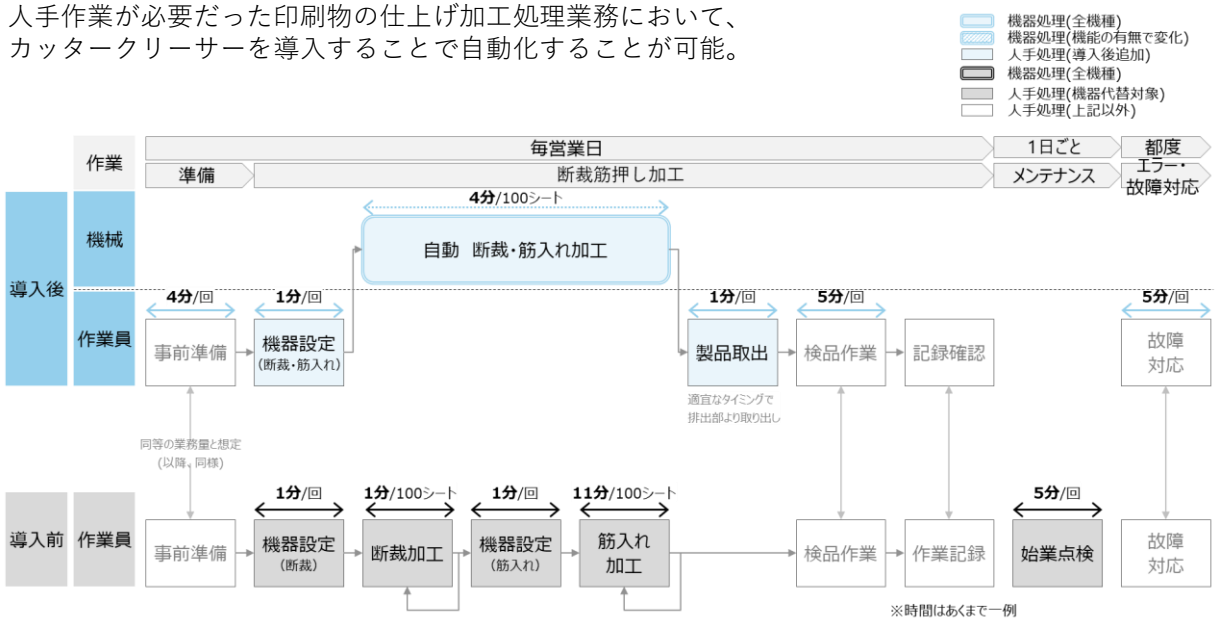
- 印刷会社で、チラシや封筒、カード類などを、多品種・小ロットで毎日大量に加工し、さらに、データを流し込むだけで、断裁＋筋押しを自動処理することで人手作業の削減／スピードと品質が安定します。
- 冊子・パンフレット制作の折り加工前処理において、パンフレットや会社案内の表紙に筋押しをして、折り目を正確に入れることで、仕上がり品質が向上し、さらに、手作業折りのムラを解消します。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

人手作業が必要だった印刷物の仕上げ加工処理業務において、カッタークリーサーを導入することで自動化することが可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -25	カッタークリーサー（多機能自動断裁筋押し加工機）	4件	印刷・同関連業、卸売業、小売業、広告業、生活関連サービス業、娯楽業、飲食サービス業	印刷、加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

１枚ずつ自動給紙されたシート状の用紙に、四方断ち・断裁・筋押し、ミシン目等の加工処理をする機械。加工回数や使用する刃物の数を選択することによって、様々なレイアウトに対応することが可能。

主に利用が想定される中小企業

印刷･同関連業務を行う事業者。
チラシやカード、メニュー表等、多品種小ロットの紙加工を行う事業者。

省力化効果

断裁機、筋押し機、ミシン目加工機等を使用する場合には、各加工が別工程となり、各々の作業を一人で順繰りに行うか、多人数で行うことが必要であったが、カッタークリーサー機の使用で省力化できる。A3サイズ100枚の加工において、断裁・筋押し加工では、12分程度を要するが、本カテゴリの製品では機器が自動で4分程度で可能が可能となる。ミシン目加工等の加工要素が増えると更に省力化効果が期待できる。

価格と導入費用（目安）

エントリーモデル　：150～350万円程度
ミドルレンジモデル：450～700万円程度
ハイエンドモデル　：700～1,000万円程度
（加工速度、工具搭載可能数、装置本体のサイズにより価格帯が異なる）

活用事例・ポイント

チラシやカードの断裁、冊子の筋押し、パッケージ試作、POP制作、クーポンのミシン目加工など、多品種小ロットの紙加工を高精度かつ高速に自動化する装置として活用される。また、種々の処理内容を機械に登録することで、Jobにあった処理内容を呼び出して動作すれば、加工完了まで自動で処理することができる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -26	組立函自動製函機	6件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、出荷

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

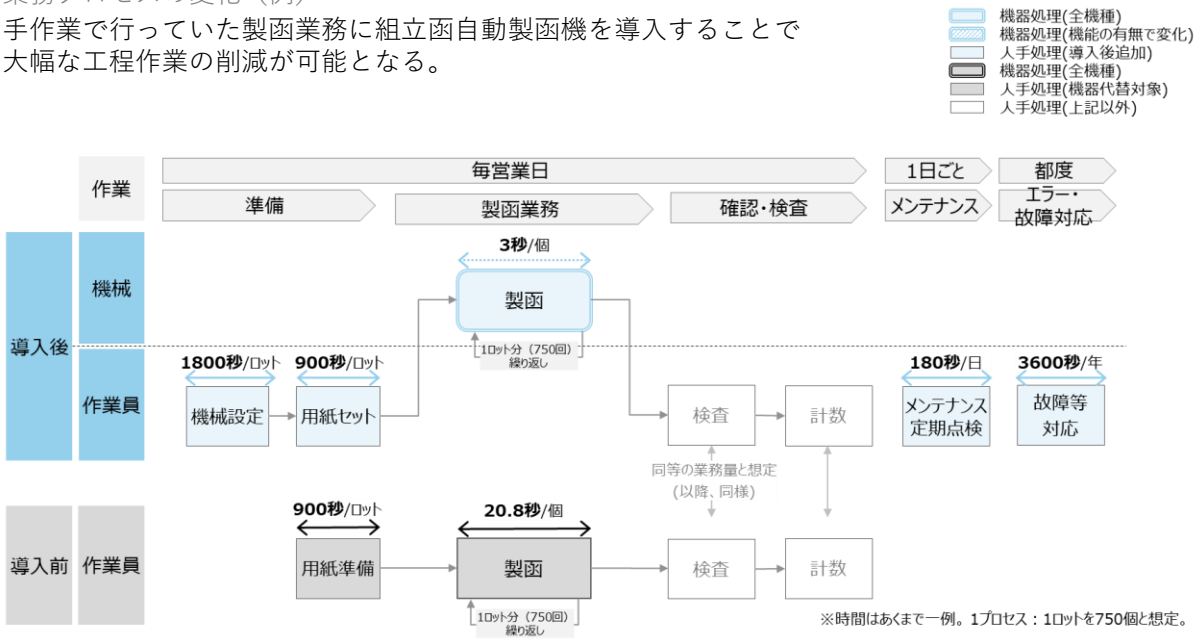
- 通販・EC倉庫で、段ボール箱を大量に起こし、底貼りまで自動化し、出荷スピードが向上します。
- 食品工場で、菓子箱・冷凍食品の外装箱を自動で成形し、生産ラインの安定化、品質ムラも解消します。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた製函業務に組立函自動製函機を導入することで
大幅な工程作業の削減が可能となる。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -26	組立函自動製函機	6件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、出荷

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

型抜きされた板紙及びマイクロ段ボールシートを罫線に沿って自動組立製函する設備。
板紙やマイクロ段ボールシートを組立函に加工するには、従来は型抜きされたシートの罫線に沿って人の手で折癖を付け、その後、折順に沿って人の手でシートを函の形状へ組み立てる必要があるが、それら一連の作業を連続して、自動で行うことができる。

主に利用が想定される中小企業

板紙及びマイクロ段ボールシートを組立函に加工する事業者の紙器製造業者や菓子製造業者での使用が想定される。

省力化効果

製品導入前は手作業で行っていた製函作業が、製品導入により自動化される。1,500個の製函作業を行う場合、製品導入前 ①用紙準備15分 ②手作業による製函作業520分掛かっていた作業が、製品の導入により、①機械点検 ②機械設定 ③用紙セットの手作業48分と、装置による ④自動製函処理75分に省力化される。

価格と導入費用（目安）

1,600万円～3,500万円（加工対象物のサイズ、使用シートの材質、給紙方式、安全カバー、プリセット機能の有無などによって異なる）

活用事例・ポイント

組立函自動製函機は、EC出荷箱、食品トレー、化粧品・医薬品の小箱、農産物用段ボールなどを自動で成形し、包装ラインの省力化・高速化・品質安定化を実現する装置として活用される。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

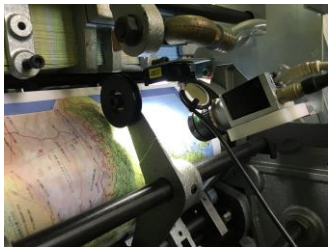
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -27	乱丁防止検査装置	4件	印刷・同関連業、倉庫業、小売業、製造業	検査

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 製本機（丁合機・中綴じ機など）に乱丁防止装置を組み込むことで、従来の目視による「 乱丁の有無 」のチェック・手作業による確認を減らし、製本効率と生産性向上が図れます。
- 折丁や丁合工程のあと、ページの順序が前後したり、別の冊子と混ざる「乱丁」を自動検査で防ぐことが出来ます。

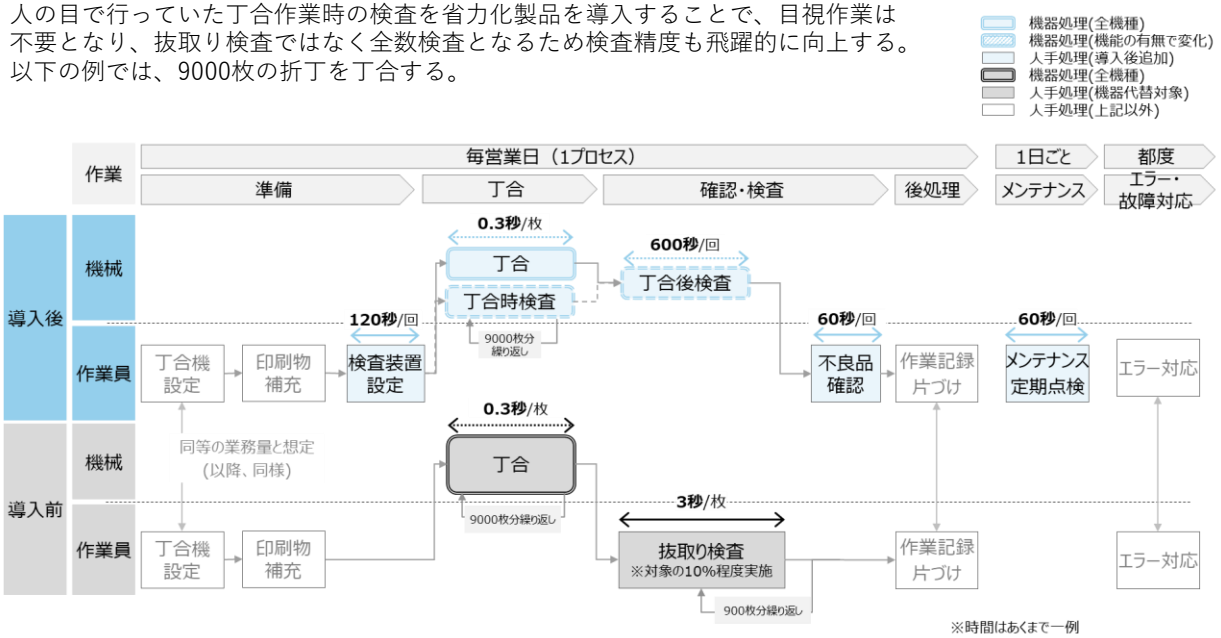
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

人の目で行っていた丁合作業時の検査を省力化製品を導入することで、目視作業は不要となり、抜取り検査ではなく全数検査となるため検査精度も飛躍的に向上する。
以下の例では、9000枚の折丁を丁合する。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -27	乱丁防止検査装置	4件	印刷・同関連業、倉庫業、小売業、製造業	検査

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

乱丁とは製本または印刷物の丁合もしくはカバーフィーダ（表紙を自動給紙する装置）からの給紙の際に、折丁の順番が乱れた状態、または折丁・表紙が上下左右逆さまな状態、または、増落丁（取り増し、取り落ち）が発生した状態を表す。乱丁防止のために製本所ではさまざまな方策が取られているが、機械のスピードの速さや数量の多さから、人の目で全てを検査するには限界がある。乱丁防止検査装置とは、丁合の各鞍（棚）やカバーフィーダ等にカメラ、または、厚みセンサー、またはその両方を設置し、①事前に登録した絵柄が正しく取られているか否かの検査、または、②増落丁の発生を検査、または、①②の両方の検査を行う装置。

主に利用が想定される中小企業

製本業、印刷加工業に従事する事業者。
丁合作業を行っている中小企業の使用が想定される。

省力化効果

製品導入前の丁合作業時の検査では全数を検査することは不可能で、全数の10％程度の抜き取り検査を目視により行うのが一般的である。当該製品を導入する事で、全数自動検査が可能となり、9000枚丁合する場合、900枚の検査時間45分（3秒/枚の想定）省力化が図られる。

価格と導入費用（目安）

4鞍～8鞍：300～800万程度、9鞍~16鞍：600～1,300万程度、
16鞍以上：1,100万以上（カメラを取り付ける鞍数に応じて変動）

活用事例・ポイント

乱丁防止検査装置は、書籍やカタログなど多ページ印刷物の製本工程で、折丁の順序違い・載せ間違い・抜け等を自動検出し、不良流出を防ぐ装置。

目視検査を省力化し、作業効率向上と品質安定に大きく貢献する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3 -28	段ボール用デジタルインクジェット印刷機	0件	印刷・同関連業、製造業	印刷、加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

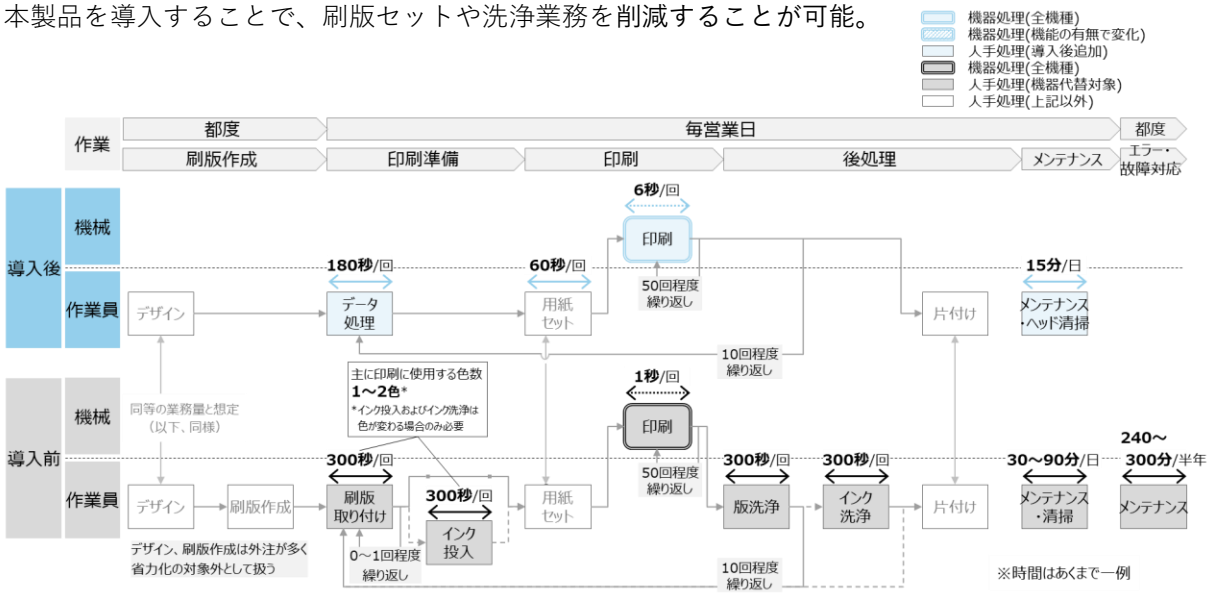
- 段ボール用デジタルインクジェット印刷機は、版作成や段取り替えが不要なため、印刷準備・切替作業において、大幅な省力化を実現できます。
- 無地段ボールへ必要情報を直接印字することで、ラベル貼付や手押しスタンプ作業を削減し、少人数でも多品種・短納期対応が可能となります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

従来のフレキソ印刷機を用いた段ボールへの印刷業務に対して、
本製品を導入することで、刷版セットや洗浄業務を削減することが可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-3-28	段ボール用デジタルインクジェット印刷機	0件	印刷・同関連業、製造業	印刷、加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

紙面データから「版」を作成して印刷するアナログ方式と違い、デジタル技術を活用して画像処理・出力を行うシステムで、インクジェット方式を用いた枚葉タイプの段ボール用デジタル印刷機である。
従来段ボールシートに印刷する場合に必要であったフレキソ印刷用樹脂版の作成や、印刷機へのセット・印刷テスト・本番印刷・印刷機の清掃という工程が不要又は短縮されるため、多品種・短納期で段ボール紙への印刷が可能となる。

主に利用が想定される中小企業

梱包・出荷作業を行っている製造業の中小企業や、段ボールへの印刷を行う印刷•同関連事業の事業者。

省力化効果

小ロット印刷を踏まえて、1job 50枚の段ボールをフルカラー印刷で、一日10回の印刷を行う場合を想定。段ボール印刷の場合は樹脂版作成を外部委託する場合が多いので、印刷工程の省力化効果について記載する。
【従来工程】448分程度：①版取り付け4色　②インク投入4色③用紙セット④印刷⑤終了時清掃
【機器導入後工程】105分程度：①データ処理（90％削減）②インク投入不要（100％削減）②用紙セット（同等作業）③印刷（印刷処理時間増加）④終了時清掃（50％削減）　1日当たり343分程度の工数削減が期待できる。

価格と導入費用（目安）

エントリーモデル　：　1,000万円～3,000万円
ミドルレンジモデル：　3,000万円～6,000万円
ハイエンドモデル　：　7,000万円以上
（印刷ヘッドの種類と数、速度やクオリティの違いにより価格帯が異なる）

活用事例・ポイント

段ボール用デジタルインクジェット印刷機は、印刷版や事前準備を必要とせず、データ変更だけで即時印字できるため作業負荷を軽減できる。ラベル貼りや手作業による表示工程を省き、現場の省力化と安定した生産性向上に貢献する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-4 -1	近赤外線センサ式 プラスチック材質選別機	1件	製造業、廃棄物処理業、卸売業	分別業務

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

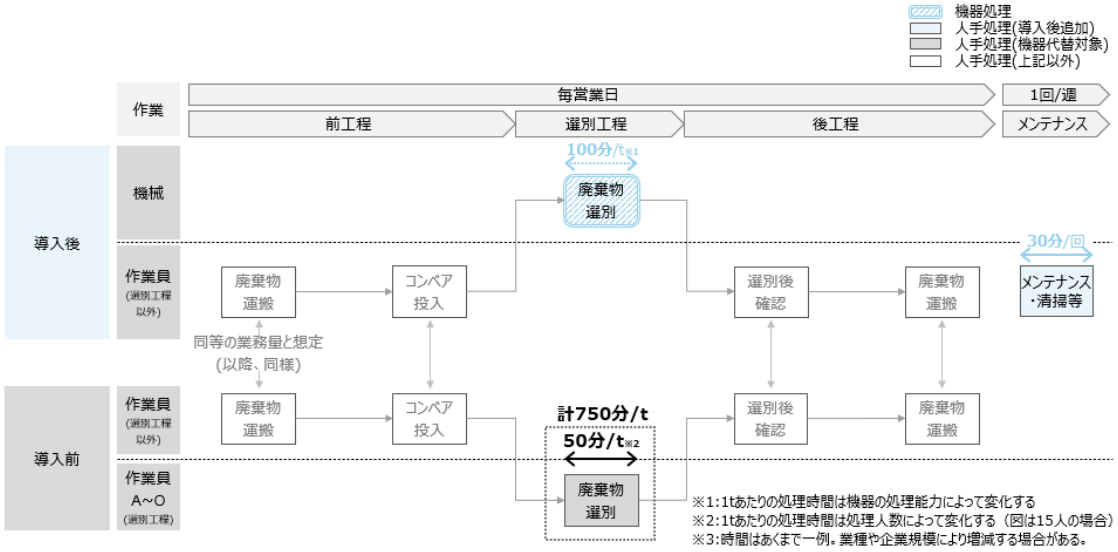
- 様々な材質が混合して排出されている廃プラスチックの中から近赤外線センサにより特定材質の破片を検知し、エアジェットで選別することで、プラスチックの検知・選別に掛かる人手・時間の大幅な短縮が見込めます。
- プラスチックの識別業務に加えて、従来手作業で分別していた廃棄物の分離・回収を機械が代替するため、大幅な省力化効果が見込めます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた廃棄物選別業務に機器を導入することで、業務量の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-4 -1	近赤外線センサ式 プラスチック材質選別機	1件	製造業、廃棄物処理業、卸売業	分別業務

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

主に廃プラスチックで構成される混合廃棄物のリサイクルを効率化する目的に使用する機械であり、従来熟練作業員の目視で行われていたプラスチックの識別を近赤外線を用いて吸収スペクトルの差により識別する機能および従来手作業で分別していた廃棄物の分離・回収をエアジェットにより代替する機能の両方を具備する機械。

主に利用が想定される中小企業

廃棄物の中間処理業務を行う事業者。

省力化効果

例えば、1.2t/h程度の廃棄物処理を行うために、従来までは15人程度の人員が必要とされてきたが、機種によっては、1台の機器で代替することができるようになる（投入や前後のチェックに数名程度必要な場合がある）。

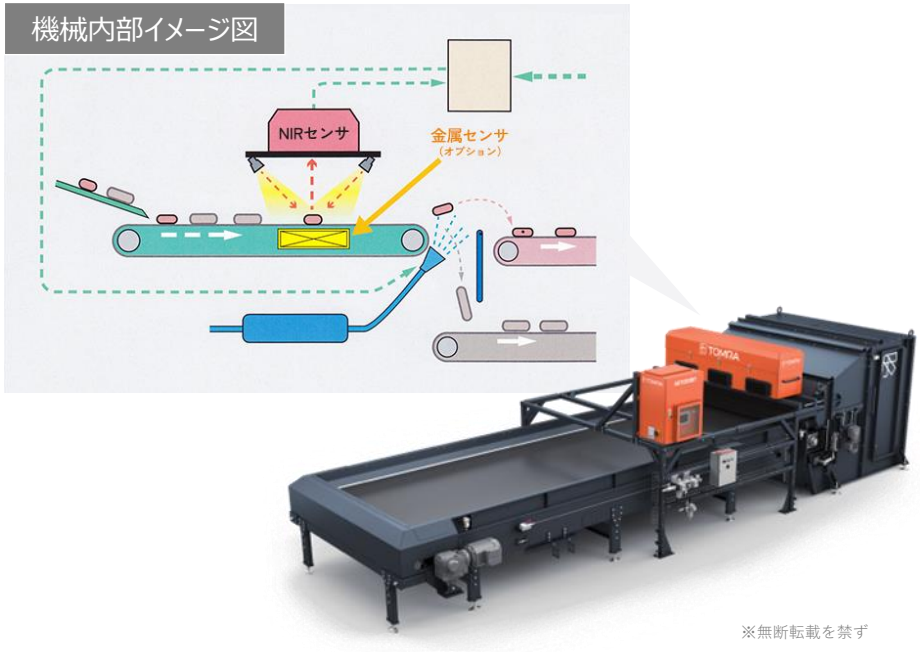
価格と導入費用（目安）

製品の規模により大きく異なるが、3,000万円程度から導入可能。導入にあたり機械の設置工事等が必要。

活用事例・ポイント

様々な材質が混合して排出されている廃プラスチックの中から近赤外線センサにより特定材質の破片を検知し、エアジェットで選別することで、特定材質のプラスチックの検知・選別に掛かる人手・時間を大幅に短縮できる。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-4-2	缶・ビン選別圧縮機	0件	廃棄物処理業、製造業、卸売業	分別業務

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

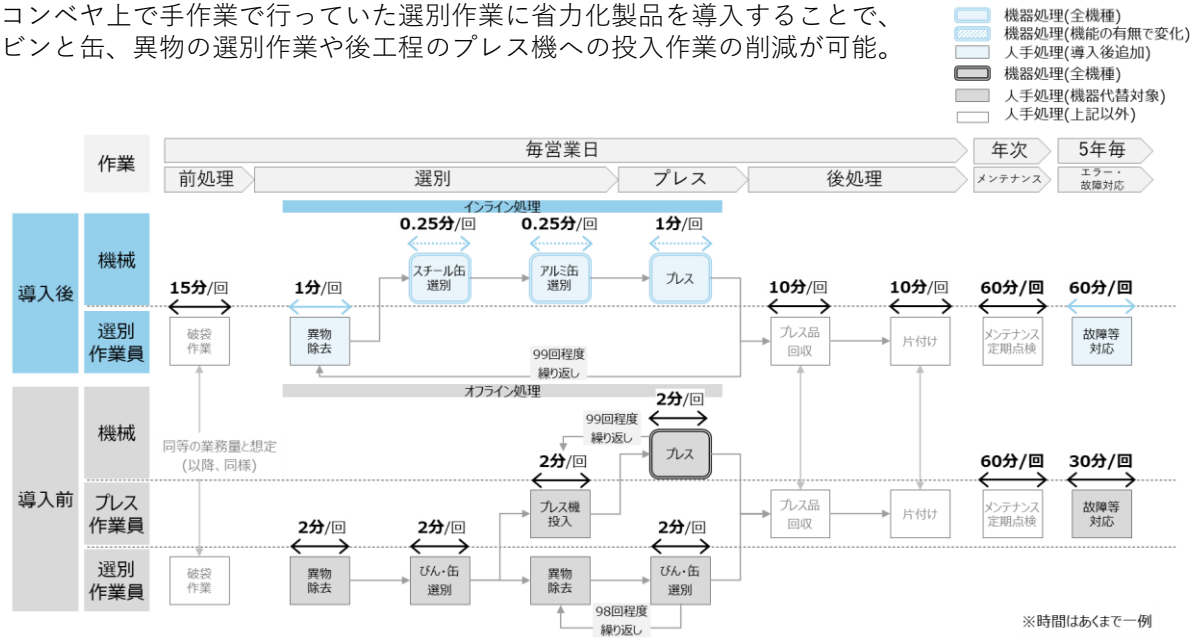
- 缶・ビンの選別処理施設で活用されます。
- 缶・ビンの選別処理施設では、破袋された収集物をコンベヤ上で人が手作業で選別作業を行い、次の工程に移していたものを、「缶・ビン選別圧縮機」を導入することで、コンベヤ上での選別作業から缶のプレスまで自動で行うことができ、作業者の負担が大きく軽減されます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

コンベヤ上で手作業で行っていた選別作業に省力化製品を導入することで、ビンと缶、異物の選別作業や後工程のプレス機への投入作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-4-2	缶・ビン選別圧縮機	0件	廃棄物処理業、製造業、卸売業	分別業務

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

主に空き缶・ビンの混合廃棄物を対象とするもので、選別台等にて異物を除去し、スチール缶・アルミ缶・異物を自動で選別し、缶をプレスし減容化することを目的とする設備である。

主に利用が想定される中小企業

廃棄物の中間処理業務を行う事業者。

省力化効果

缶・ビンの選別処理施設では、破袋された収集物をコンベヤ上で人が手作業で選別作業を行い、次の工程に移っている。そのため労力や時間がかかるため後工程に対して律速になることが多い。例えば一日20m3程度の飲料容器廃棄物を受け入れる処理施設で、ベテラン作業員が選別及びプレス機への缶の投入作業を行う場合に、3人程度が6時間対応する必要がある。
「缶・ビン選別圧縮機」を導入することで、コンベヤ上での選別作業から缶のプレスまで自動で行われる。
異物除去作業員を1名据えるだけで処理が2時間程度で作業完了可能となる。

価格と導入費用（目安）

2,000万円～4,000万円（処理量によって異なる）

活用事例・ポイント

「缶・ビン選別圧縮機」は、リサイクル・廃棄物処理・食品工場などで使われる。選別台等にて異物を除去し、缶やビンを自動的に選別・プレスして体積を減らす設備である。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

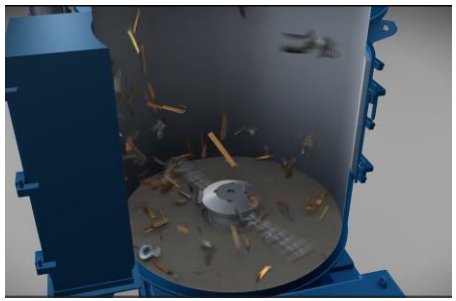
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-4 -3	異素材の 複合廃棄物破砕分離装置	0件	廃棄物処理業、卸売業、製造業	分別業務

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 廃タイヤやケーブル、電子基板など金属とプラスチックが複合した廃棄物を破砕し、磁力選別や比重選別により素材別に分離。ゴム、銅、鉄、樹脂をそれぞれ回収することで、埋立処分量を削減し、資源としての再利用価値を高めることが可能となります。
- 家電部品や金属部品同士が組み合わさった複合廃棄物を「基本的に前処理なし」で破砕分離装置に投入することで、人手による分別作業を不要とし、作業時間が短縮され、省力化を実現させます。

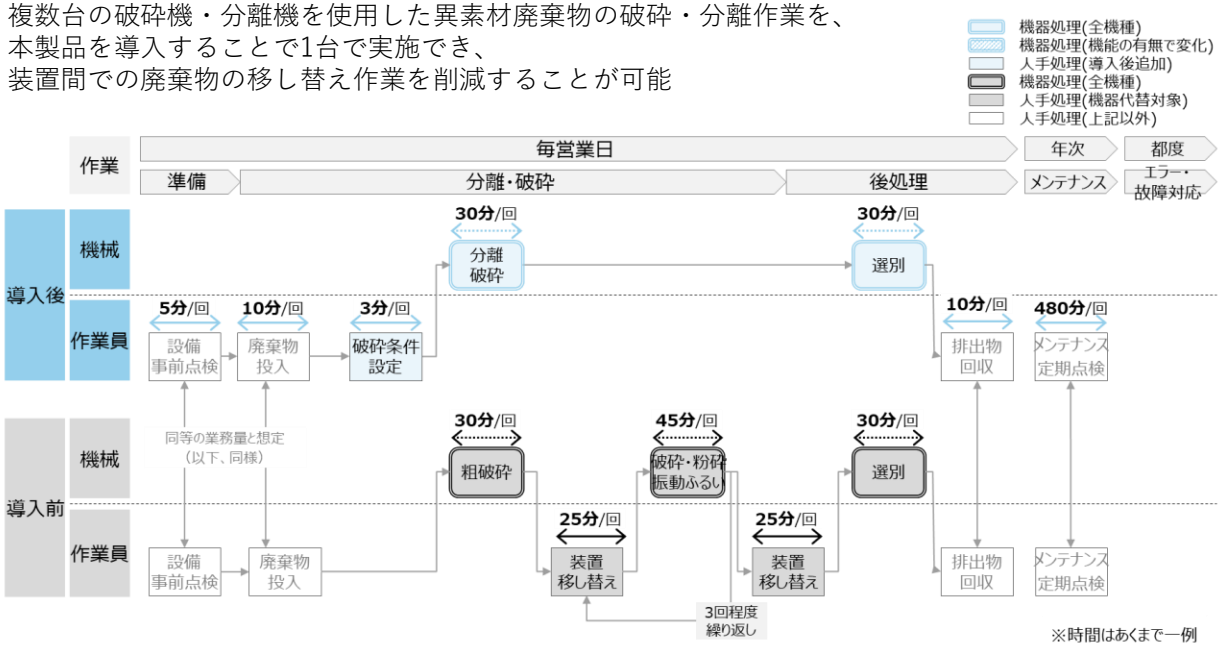
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

複数台の破砕機・分離機を使用した異素材廃棄物の破砕・分離作業を、
本製品を導入することで1台で実施でき、
装置間での廃棄物の移し替え作業を削減することが可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-4 -3	異素材の 複合廃棄物破砕分離装置	0件	廃棄物処理業、卸売業、製造業	分別業務

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

タイヤや電子基板、ケーブル等をはじめとした金属+プラスチック、金属部品+金属部品といった複数の異なる素材で構成される廃棄物を対象に含んだ破砕機であり、処理及び破砕時にそれらの素材同士が結合しておらず分離された状態で排出されることを特徴の一つとして有する設備である。

主に利用が想定される中小企業

廃棄物の中間処理業務を行う事業者。

省力化効果

タイヤや電子基板、ケーブル等をはじめとした金属+プラスチック、金属部品+金属部品といった複数の異なる素材で構成される異素材の混合物は再度原料として活用を行うマテリアルリサイクルを実施する際には、素材同士が結合しているという特徴からその結合を解除し原料ごとが分離している状態にする必要がある。
現状、それらには粗破砕・中破砕・小破砕…といった工程が必要であり、それぞれの工程につき設備を必要とした。
しかし本設備ではこれらの「原料ごとの分離」を1台で成しえることができることから、装置間での廃棄物の移し替え作業を削減することが可能となる。

価格と導入費用（目安）

2,000万円～6,000万円程度
（サイズ、処理能力によって異なる）

活用事例・ポイント

異素材が絡み合った廃棄物の「破砕」「分離」について、作業者に依存していた工程を機械化することで、人手不足対策（省力化）と処理コスト削減につながり、さらにマテリアルサイクルの実現も可能となる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-5-1	バランサ装置	38件	鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業、運輸業、倉庫業、卸売業、小売業 、物品賃貸業、廃棄物処理業	搬送業務、加工・生産、入出庫、梱包・加工、施工、施設管理、処理業務

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 重量物の搬送業務が多い現場においても、本機器を活用することで、ロボット搬送など自動化が困難な環境下での作業効率化が期待されます。さらに、人手不足の解消や作業員の負担軽減にも寄与します。
- 本機器は省スペースで設置可能で、クレーンやフォークリフトが使えない現場でも活用できます。容器の傾斜作業や袋詰め品の搬送、加工機械へのワーク取付など、多様な作業で高い省力化効果を発揮します。

活用イメージ

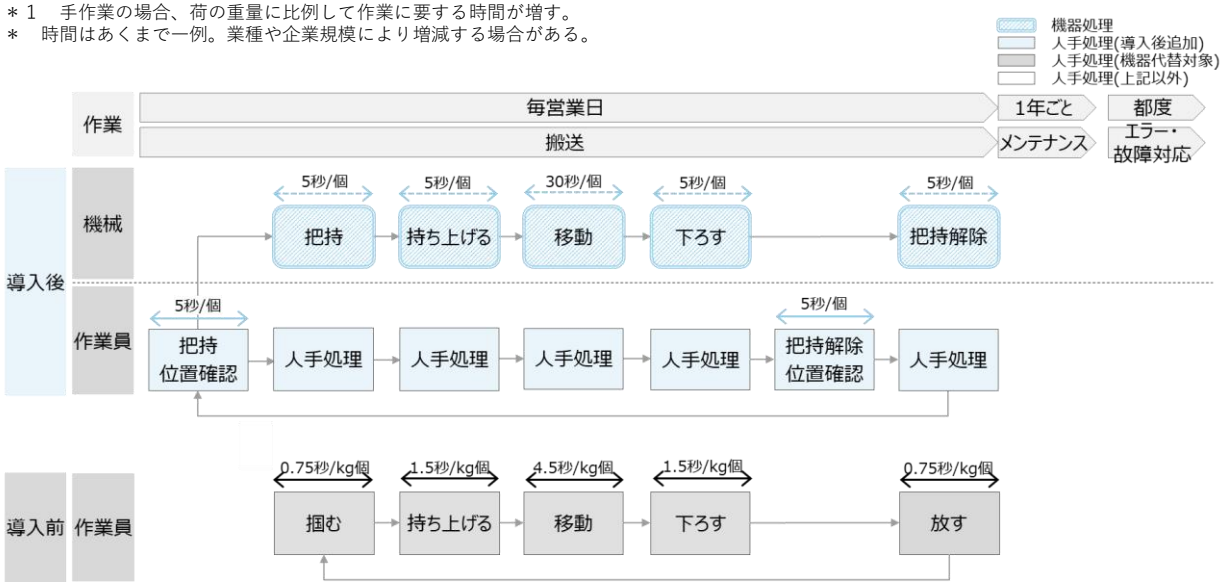
※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた搬送業務＊1に機器を導入することで、業務の削減が可能。

＊1　手作業の場合、荷の重量に比例して作業に要する時間が増す。

＊　時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。



＊　手作業の場合、荷の重量に比例して作業に要する時間が増す。

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-5-1	バランサ装置	38件	鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業、運輸業、倉庫業、卸売業、小売業 、物品賃貸業、廃棄物処理業	搬送業務、加工・生産、入出庫、梱包・加工、施工、施設管理、処理業務

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

バランサ装置は、荷を垂直方向に移動する時に動力を使って助力する装置である。基本機能としてスイッチ操作無しに直感的な昇降操作が行えるバランス機能を備え、同機能により荷の位置決めが容易に行える。荷を持ち上げるためのアームや索条体（リンクチェーンやワイヤーロープ等）を含む本体部分と、アームや索条体の先端に設けた荷を把持するための装置、および本体部分を支える台座・架台・クレーン装置等とで構成される。
本体部分と荷を把持するための装置には圧縮空気または電気などを用いる駆動および制御装置を有する場合もある。

主に利用が想定される中小企業

重量物の搬送業務を多く行う事業者。

省力化効果

本機器は、省スペースで設置可能であり、重量物の上げ下げや搬送、容器の傾斜作業、小ロット品の繰り返し搬送、加工機械へのワーク取付など、幅広い作業に高い省力化効果を発揮する装置である。バランサ装置以外に特別な機器を必要とせず、直感的な操作が可能であるため、作業効率が向上するとともに、作業者の負担軽減や腰痛などのリスク低減にも寄与する。また、力の弱い作業者の活躍を支援し、生産性向上も見込める。

価格と導入費用（目安）

200万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器を活用することで、クレーンやフォークリフトが使用できない狭い現場でも効率的な重量物の搬送が可能となり、省スペース環境での作業効率向上に寄与する。また、容器の傾斜作業による内容物の排出や、小ロット品の繰り返し搬送を迅速かつ正確に行えるため、作業時間の短縮や作業精度の向上が期待できる。
さらに、作業者の負担軽減や傷病リスクの低減といった安全性向上の効果も見込まれる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-5-2	バッテリー式階段運搬台車	1件	建設業、小売業、運輸業	施工、運送・運搬

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 建設・改修工事現場等において、エレベーターのない建物や仮設階段での資材搬入で活用されます。発電機や建材、設備機器など重量物をバッテリー駆動で安定して昇降でき、人力運搬による転倒・腰痛リスクを抑え、安全性と省力化に貢献します。
- 従来は複数人で抱え上げていたものが、バッテリー式台車なら1～2人で安全に運搬可能となります。

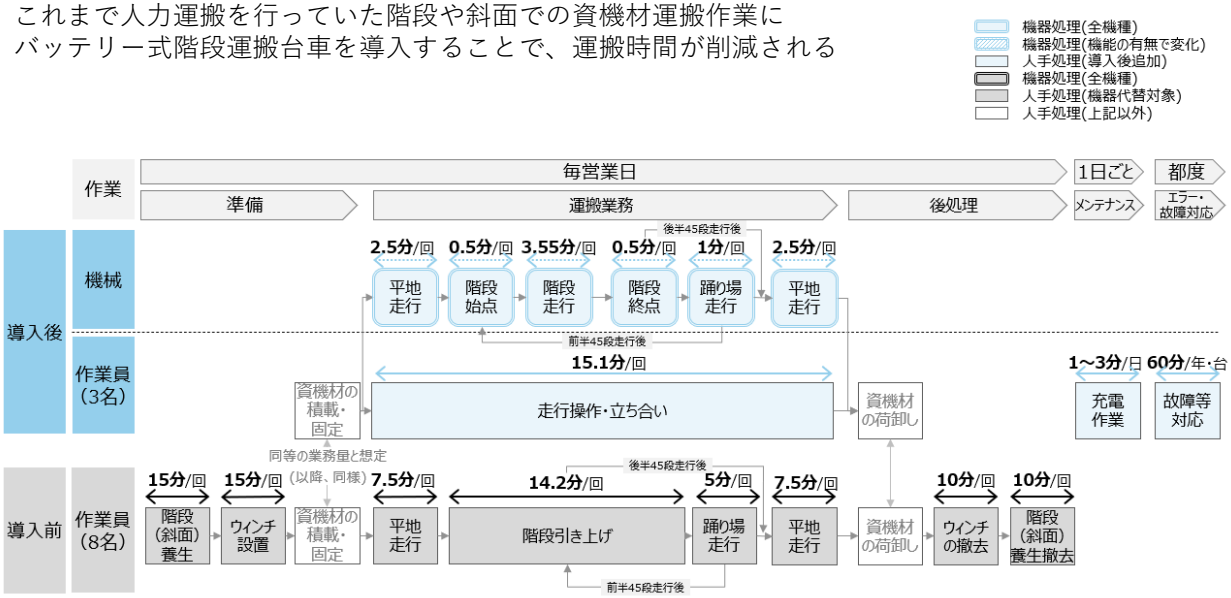
  ※例：鉄骨・配管材、重機部品などの運搬。改修工事現場での大型パネルや床材の昇降。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

これまで人力運搬を行っていた階段や斜面での資機材運搬作業に
バッテリー式階段運搬台車を導入することで、運搬時間が削減される



※時間・作業員数はあくまで一例。プロセスは鉄道用機械装置（質量500Kg寸法2000×1600×700mm） 1基を90段の階段（前半45段⇒踊り場⇒後半45段）で運搬する設定。

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-5-2	バッテリー式階段運搬台車	1件	建設業、小売業、運輸業	施工、運送・運搬

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

走行可能な最大斜度（階段及び斜面）が20°以上45°未満であり、80kg以上の重量物を運搬が可能なバッテリーを電源とするモータ駆動ゴム製クローラ装着の自走式階段運搬台車。
以下の工業分類に該当する製品を対象とする。
その他の建設機械・鉱山機械
（注）今後の精査により工業分類は追加があり得る。

主に利用が想定される中小企業

建設業、小売業、運輸業の業務を行う事業者。

省力化効果

人力運搬しかできなかった階段や斜面での資機材運搬を機械運搬に変える事により、運搬に要する人員や所要時間を削減でき、省力化、経済性の向上が図れる。
ゴム製クローラを装着したことにより、既設階段の養生が不要になるので、省力化、経済性の向上と工程の短縮が図れる。
バッテリー式モータ駆動を採用により、コードレス化が可能となり施工性の向上に伴う省力化効果も期待される。

価格と導入費用（目安）

55万円 ～ 810万円
（積載重量の違いによって価格帯が異なる）

活用事例・ポイント

バッテリー式階段運搬台車は、建設現場、小売店舗、配送業務など幅広い分野で活用される。エレベーターのない建物や仮設階段において、建材、什器、飲料ケース、家電、設備機器などの重量物を安全に昇降可能とする。電源不要で場所を選ばず使用でき、作業者1名でも安定した運搬を実現する。人力作業の削減により、作業時間短縮と人手不足対策、人力運搬による転倒・腰痛リスク低減に貢献し、現場全体の生産性向上を支える。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-6-1	オートラベラー	24件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、梱包・加工、保管・在庫管理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

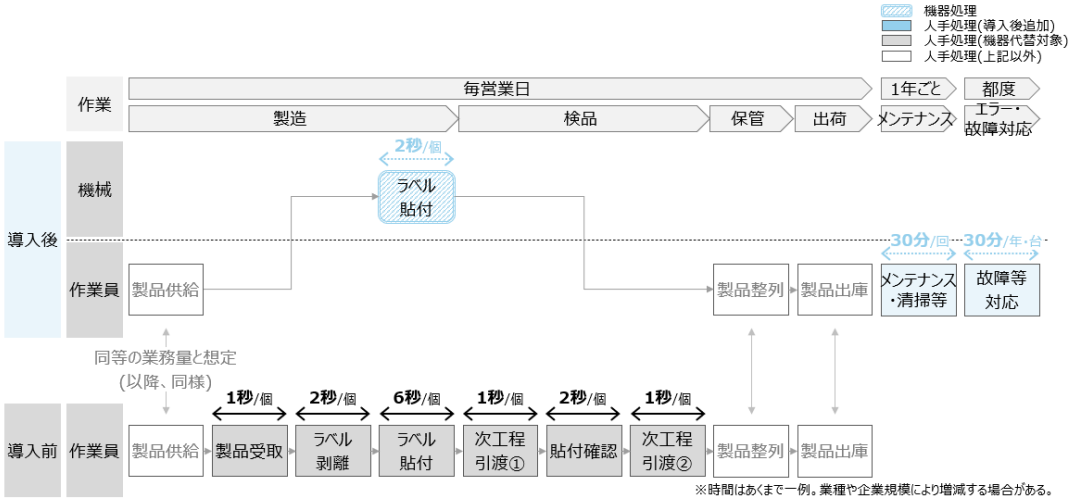
- 製品へのラベル貼付業務において、人による手貼り作業を機械による自動貼り作業にすることで、人員数の削減効果が得られます。さらに人員削減だけではなく、同一時間内での処理数向上効果も得られます。
- 機械による自動貼りおいては、貼付位置ズレや曲がり・皺が生じることもないので、貼付け品質不良は発生せず、再作業および確認行程も不要となります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていたラベル貼付業務に機器を導入することで、ラベル貼付や検品業務の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-6-1	オートラベラー	24件	製造業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、梱包・加工、保管・在庫管理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

製品、製品パッケージ、またはパッケージ資材に粘着ラベル（シール）を自動的に貼り付ける装置。

主に利用が想定される中小企業

製品（製品パッケージ、パッケージ資材を含む）へのラベル貼付け作業を行う事業者。

省力化効果

製品へのラベル貼付業務において、人による手貼り作業を機械による自動貼り作業にすることで、同一数を同一時間で処理するのに必要な人員数の削減効果が得られる。さらに人員削減だけではなく、同一時間内での処理数向上効果も得られる。
また、手貼り作業で発生してしまうラベル貼付品質のバラつきも、自動貼り作業においては発生せず、確認工程が不要となるため、確認用人員を省く効果が得られる。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

- 手貼り作業には10秒/枚程度の時間を要していたが、自動貼り機では完全自動となり、さらに機械による作業時間も2秒/枚程度に短縮される。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-7 -1	測量機（自動視準・自動追尾機能付き高機能トータルステーション）	35件	建設業、専門・技術サービス業	調査・測量、施工、検査

2026年3月23日時点

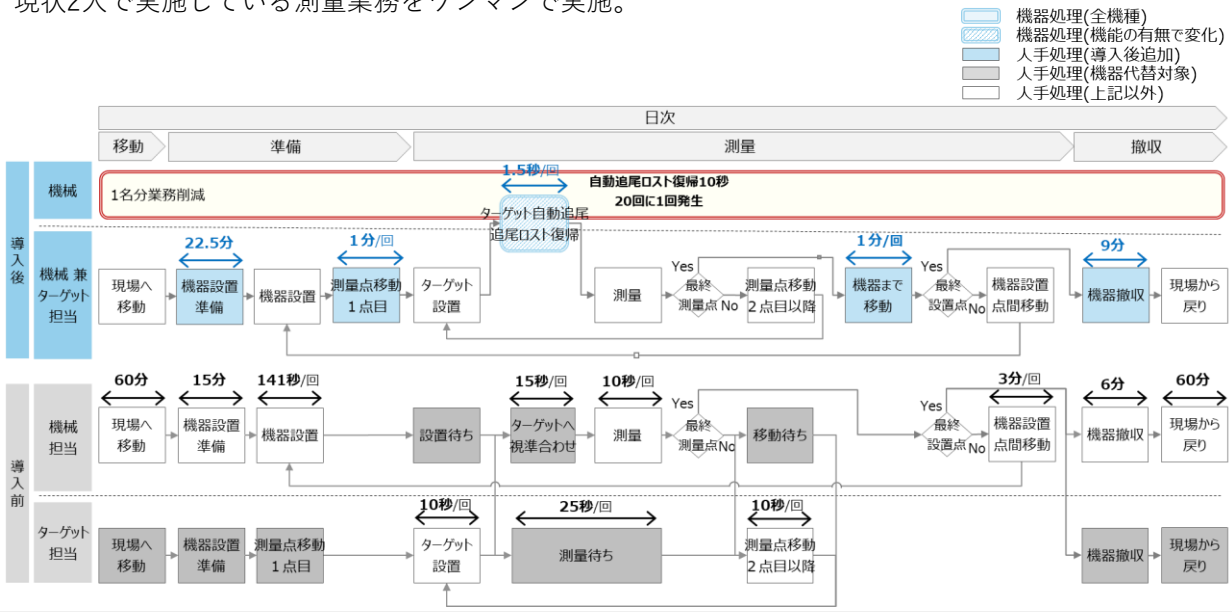
例えばこんな場面で、

- 測量業務において、作業者による遠隔操作、内蔵センサーによる追尾や視準が自動になり、ノンプリズム機能（ターゲットのプリズム不要）となるなど、省力化が見込めます。
- 従来まで2名以上で行っていた測量業務において、同製品の持つ機能により作業者が１名に削減され、自動的にターゲットを追尾・視準して測量することができるようになり、作業工数の削減が見込めます。

活用イメージ

業務プロセスの変化（例）

動視準、自動追尾、遠隔操作機能を有するトータルステーションを導入することで、
現状2人で実施している測量業務をワンマンで実施。



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-7-1	測量機（自動視準・自動追尾機能付き高機能トータルステーション）	35件	建設業、専門・技術サービス業	調査・測量、施工、検査

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

トータルステーション（水平角と鉛直角を計測する経緯儀に、測距機能が内蔵された測量機、以下TS）のうち、ノンプリズム、モータードライブ、遠隔操作、自動視準、自動追尾などの省力化を実現する機能を有している測量機。

主に利用が想定される中小企業

測量、建設、土木関連の事業者。

省力化効果

平均的な現場における1回の測量作業においては、本装置導入前は２名以上がTS側と測量したい点側に分かれて、ターゲットの設置、TSによる視準、測量、次の測量点へ移動を繰り返した後、TSの設置場所を移動して同じ作業を繰り返し、現場で必要な点をすべて測量することになるが、導入後はTSの持つ機能により作業者が１名に削減され、自動的にターゲットを追尾・視準して測量することができるようになる。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度で導入可能。

活用事例・ポイント

作業者による遠隔操作、内蔵センサーによる追尾や視準が自動になり、ノンプリズム機能（ターゲットのプリズム不要）となるなど、様々な省力化を実現する機能が織り込まれており、作業工数や時間の削減による省力化を実現している。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-7-2	地上型3Dレーザースキャナー	17件	建設業、専門・技術サービス業	調査・測量、施工、検査

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

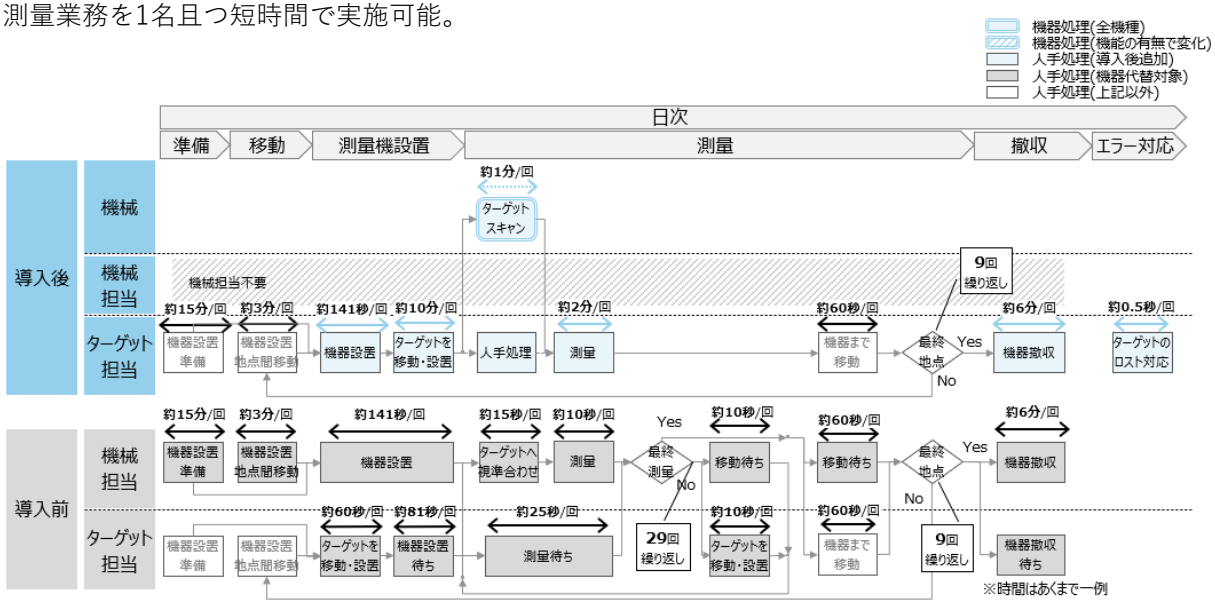
- 本機器を用いることで、視通可能な計測範囲全周の地物や構造物の形状を一度に詳細な点群データとして取得することができます。この装置は、従来のトータルステーション（TS）と比較して大幅な作業効率化を実現します。
- 複雑な地形や視界が限られた都市部の狭い空間でも正確なデータ取得が可能で、建設現場や災害復旧現場での計測作業を効率的かつ迅速に行えるため、大幅な省力化が見込めます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

地上型3Dレーザースキャナーを導入することで、現状2名で実施している測量業務を1名且つ短時間で実施可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-7-2	地上型3Dレーザースキャナー	17件	建設業、専門・技術サービス業	調査・測量、施工、検査

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

スキャナーから照射されたレーザーによって、離れた位置から非接触、ノンプリズムで大量点群データを取得し対象物の空間位置情報を取得するシステム。
本機を三脚等に固定して計測する地上型3Dレーザスキャナー（TLS）。

主に利用が想定される中小企業

測量及び検査業務等を行う事業者。

省力化効果

地上型3Dレーザースキャナーを用いた作業手法では、レーザーを利用して計測範囲全周の地物や構造物を一度に詳細な座標値として点群データで取得できる。計測効率の比較では、1haのエリアを対象とし、TLSと同数の測点を測定する場合、トータルステーション（TS）では約2,500点の計測に400分を要する。一方、地上型3Dレーザースキャナーを使用することで、同じ範囲を約100分で計測することが可能となる。

価格と導入費用（目安）

500万円程度からで導入可能。

活用事例・ポイント

地上型3Dレーザースキャナーは、広範囲の地物や構造物を高精度な点群データとして一度に取得できる装置である。
視通可能な範囲全周を効率的に計測できるため、複雑な地形や都市部の限られた空間でも正確なデータ収集が可能である。
本機器を活用することで、計測時間の短縮やデータ精度の向上が図られ、建設現場や災害復旧現場での作業効率化に寄与する。また、測点の漏れを防ぎつつ、作業者の負担軽減にも貢献するため、作業全体の生産性向上および省力化が期待される。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-7-3	GNSS測量機（RTK）	31件	建設業、専門・技術サービス業	調査・測量、施工、検査

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

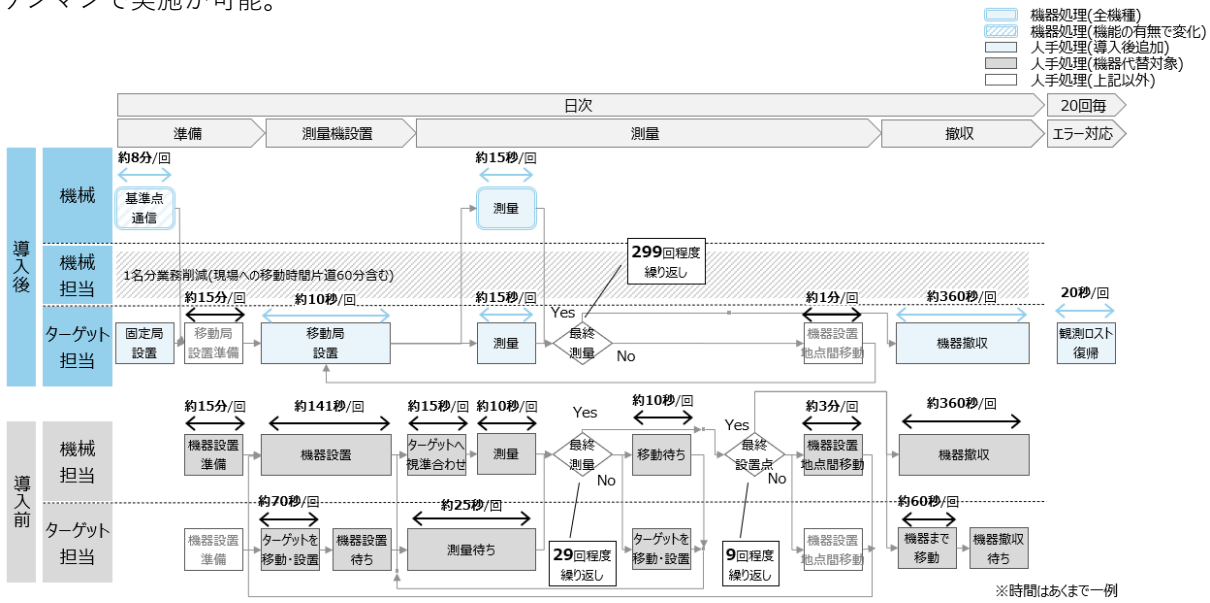
- 本機器は、視通が困難な現場でも効率的な測量が可能な装置です。例えば、広範囲の測量を行う建設現場や、複雑な地形で視通確保が難しい山間部の測量作業において活用できます。本機器を活用することで、移動局の位置を即時に求められるため、従来のトータルステーション（TS）と比較して作業時間を大幅に短縮できます。
- 1名の作業員で測量機を次々と移動させながら効率的に作業を進められるため、人手不足の解消や作業負担の軽減にも寄与することで、生産性向上および省力化効果が期待できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

RTK観測機能を有するGNSS測量機を導入することで、現状2人で実施している測量業務をワンマンで実施が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-7-3	GNSS測量機（RTK）	31件	建設業、専門・技術サービス業	調査・測量、施工、検査

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

GNSS衛星から送信される電波を受信し、衛星の位置や信号送信時刻などの情報から観測点の位置を計測する測量機で、公共測量用途として利用できる国土地理院に機種登録されたGNSS測量機。

主に利用が想定される中小企業

測量及び検査業務等を行う事業者。

省力化効果

RTK観測機能を備えた測量用GNSSは、従来のトータルステーション（TS）による観測とは異なり、視通が不要な環境でも即時に測量点の位置を求めることが可能である。
この装置では、移動局として設置されたGNSS測量機が衛星からの信号を受信し、固定局に設置されたGNSS測量機で受信した補正データを無線や携帯通信を通じて取り込むことでRTK観測を行う。また、ネットワーク型RTK観測では、位置情報サービス事業者が提供する電子基準点のデータや面補正パラメータをネットワーク経由で移動局に取り込み、リアルタイムで解析することが可能である。これにより、測量点間の視通が不要となり、作業員1名でGNSS測量機を次々と移動させながら効率的に測量作業を行うことができる。

価格と導入費用（目安）

数百万円程度からで導入可能。

活用事例・ポイント

GNSS測量機（RTK）は、視通が不要な環境で効率的かつ高精度な測量が可能な装置である。RTK観測を用いることで、移動局で受信した衛星信号を基に即時に位置を算出し、従来のトータルステーション（TS）と比較して作業時間を大幅に短縮できる。
建設現場や災害復旧現場では、広範囲の地形データを迅速に取得でき、視通が確保しにくい都市部や複雑な地形でも1名で効率的に測量が可能である。これにより、生産性向上や作業負担の軽減といった省力化効果が期待される。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-8 -1	マシンコントロール・マシンガイダンス機能付ショベル	21件	建設業	施工

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

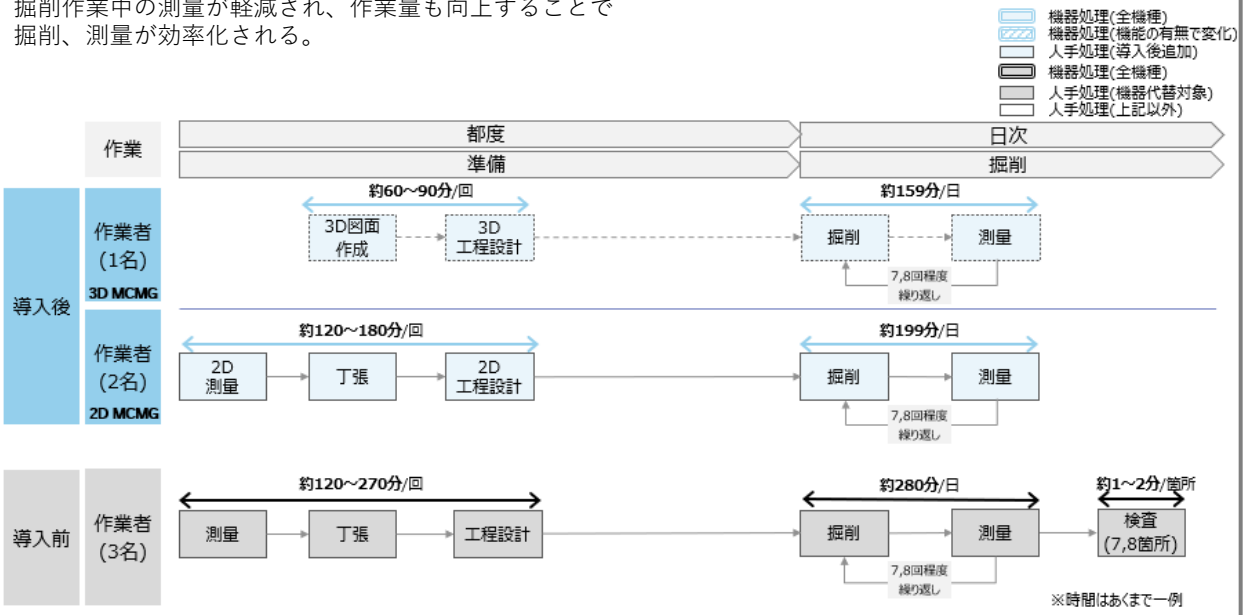
- 本機器は、効率的で精度の高い施工が求められる現場で活用できる装置です。広範囲の掘削が必要な土木工事や、複雑な地形で正確な作業が求められる施工現場に適しています。
- 測量作業が軽減されることで、少人数でも迅速に作業を進められるほか、設計データに基づき半自動制御で掘削を行うため、高精度な作業を実現します。これにより、施工時間の短縮や作業効率の向上が期待されます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

掘削作業中の測量が軽減され、作業量も向上することで
掘削、測量が効率化される。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-8 -1	マシンコントロール・マシンガイダンス機能付ショベル	21件	建設業	施工

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

オペレータをガイダンスでサポートするマシンガイダンス機能、または建設機械を半自動で操縦するマシンコントロール機能を備えたショベル。
※参考：マシンガイダンス機能とマシンコントロール機能の違い
マシンガイダンス機能とは、位置計測装置（測量機または人工衛星）を用いて建設機械の位置情報を計測し、施工箇所の設計データと現地盤データとの差分をオペレータに提供するシステムである。
マシンコントロール機能とは、上記の差分に基づき操作を半自動制御するシステムである。

主に利用が想定される中小企業

測量、建設、土木関連の事業者。

省力化効果

マシンコントロール・マシンガイダンス機能付ショベルは、施工現場での省力化と施工時間の短縮に大きく貢献する装置である。2Dおよび3D機能を搭載した建機はいずれも、以下の2つの側面で効果を発揮する。
1つ目は、掘削作業に必要な測量人数の削減である。位置計測技術により、従来複数人で行っていた測量作業を大幅に簡略化できる。2つ目は、掘削時間の短縮と効率化である。設計データを基に掘削精度が向上し、作業のやり直しが減少することで全体の効率が向上する。これらの機能により、作業負担の軽減と施工スピードの向上が同時に実現し、大幅な省力化効果が期待される。

価格と導入費用（目安）

2,000万円～3,000万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

マシンコントロール・マシンガイダンス機能付ショベルは、効率化と省力化が求められる土木工事や掘削作業で活用される装置である。特に、広範囲の掘削や複雑な地形での精密な施工が必要な現場で効果を発揮する。測量作業が大幅に簡略化されるため、少人数でも正確かつ迅速な作業が可能となる。
本機能のポイントは、設計データと現場状況をリアルタイムで比較し、最適な操作をサポートする点である。これにより、掘削精度が向上し、作業のやり直しや無駄を削減することができる。また、半自動制御によりオペレータの負担が軽減されるため、熟練者だけでなく初心者でも効率的に作業を進めることが可能である。これらの特長により、施工時間の短縮と安定した作業品質が期待される装置である。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-8 -2	チルトローテータ付ショベル	10件	建設業	施工

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

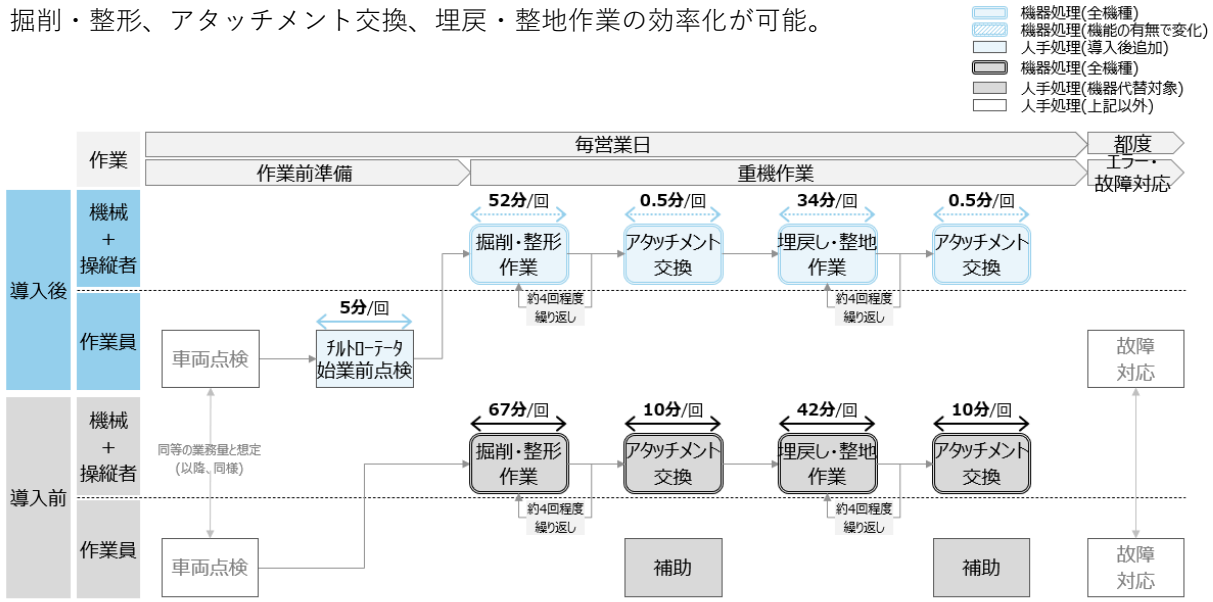
- 本機器は、多様な作業が求められる建設や土木工事の現場で活用できる装置です。構造物付近や狭小箇所での作業が容易になるため、効率的な施工が可能です。
- アタッチメントの迅速な交換や高精度な作業をサポートし、少人数でもスムーズに作業を進められるため、作業時間の短縮と省力化が期待されます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

チルトローテータ付ショベルを導入することで、
掘削・整形、アタッチメント交換、埋戻・整地作業の効率化が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-8-2	チルトローテータ付ショベル	10件	建設業	施工

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

【総括的定義】
バケットのチルト（左右の傾き）機能とローテート（回転）機能で掘削の自由度が大幅に向上するとともに、着脱が簡単で多種類のアタッチメントを使い多能工化が可能となる。
【具体的カテゴリ】
建設機械動向調査（国土交通省） ショベル系掘削機
（コード番号：041、042、043）

主に利用が想定される中小企業

建設、土木関連の事業者。

省力化効果

チルト機能とローテート機能を活用することで、掘削、整形、埋戻し、整地などの作業を効率化し、施工時間の短縮と省力化を実現できる。

具体的には、作業対象に正対する必要がなくなり、足場を整地して機械を移動する回数を削減できる、土砂の投入ポイントが正確になり、その後の整地作業が短縮できる、構造物付近や床掘側面など従来、人手に頼っていた細かな作業が機械で施工できる、などにより施工時間の短縮と省力化が可能になる。

また、手元作業が不要、運転席からの機械操作のみでアタッチメントを短時間で交換でき、省力化と作業時間の短縮が可能となる。

価格と導入費用（目安）

約3,000万円～4,500万円程度で導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、施工現場における作業の効率化と精度向上を実現する装置である。

従来は困難であった構造物周辺や狭小箇所での施工が正確かつ容易になるため、作業の柔軟性が向上する。

また、アタッチメントの交換を短時間で行えるため、多様な作業に迅速に対応、作業の切り替えが効率化され、現場全体の作業計画がスムーズに進む。

さらに、精密な土砂の投入や仕上げ作業が可能であり、高精度が求められる施工現場で特に効果を発揮する。

このように、本機器は、多品種少量の施工が求められる現場や、狭い作業スペースでの効率的な作業を支える重要なソリューションである。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-8 -3	ウォータージェットはつりロボット	0件	建設業	施工、解体・撤去

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

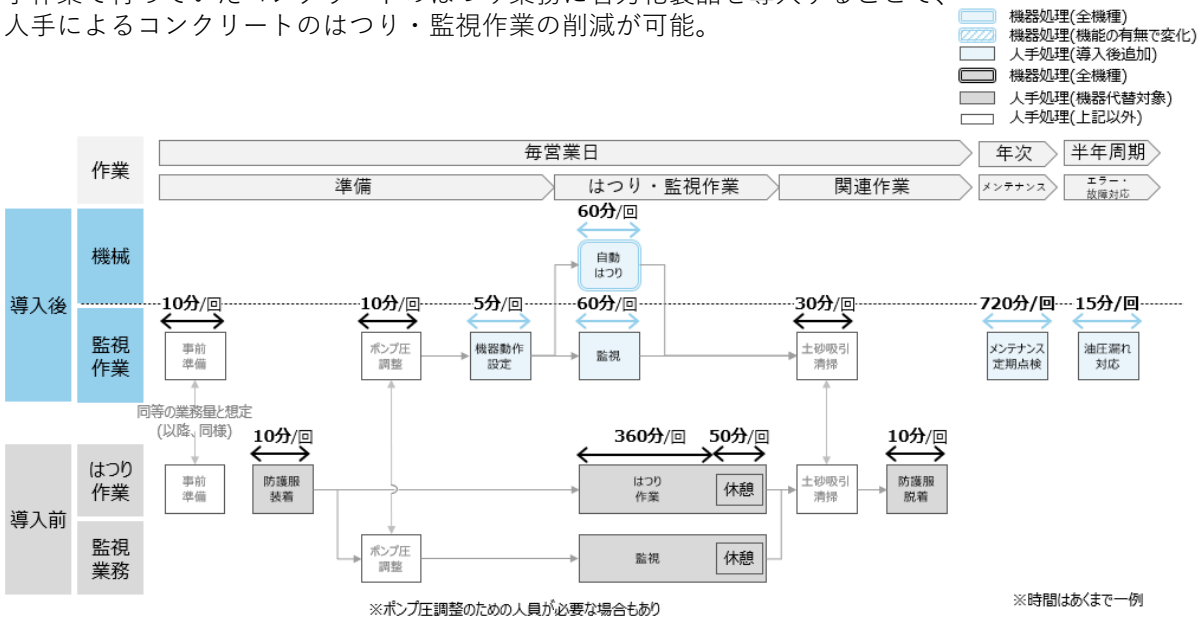
- 橋梁やトンネル、高架橋などの老朽化インフラの補修工事において、コンクリートのはつり作業を安全かつ効率的に進めたい場合に活用できます。
- 特に、天井面や高所の作業において、作業員が危険な姿勢で作業する必要がある現場では、リモコン操作で遠隔から作業ができるこの装置が効果を発揮します。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていたコンクリートのはつり業務に省力化製品を導入することで、人手によるコンクリートのはつり・監視作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-8-3	ウォータージェットはつりロボット	0件	建設業	施工、解体・撤去

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

リモコン操作により遠隔から超高圧水でコンクリート除去を安全、かつ自動で行うはつりロボット。長いリーチで床面（水平面）、壁面、天井面のはつりが可能。コンクリート内の鉄筋は壊さずに再利用。ディーゼルエンジン駆動、油圧システムによる制御。

主に利用が想定される中小企業

解体・土木・建設関連の事業者。

省力化効果

導入前は、作業員が手持ちのウォータージェット機器を用いてコンクリートを除去していたため、騒音・振動・粉じん・汚水にさらされるなど作業環境が過酷であり、また作業の安全性確保に多くの人員が必要とされていた。導入後は、遠隔操作によるロボット作業により、安全な場所から操作が可能となるため、従来の手作業よりも多くの面積を1人で担当することができるようになり、はつりや監視作業の効率化が期待できる。

価格と導入費用（目安）

フレーム型：1,000万円
自走型：1,500万円～5,000万円

活用事例・ポイント

従来の人力作業では困難であった高所・天井面などへの均質なはつり作業が可能である点が大きな強みである。鉄筋を傷つけずにコンクリートだけを選択的に除去できるため、補修後の構造強度確保にも寄与する。リモコン操作により、現場の危険箇所に人が立ち入らずに済むため、安全性が飛躍的に向上する。操作が直感的であることから、新人オペレーターでも短期間で戦力化が可能である。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

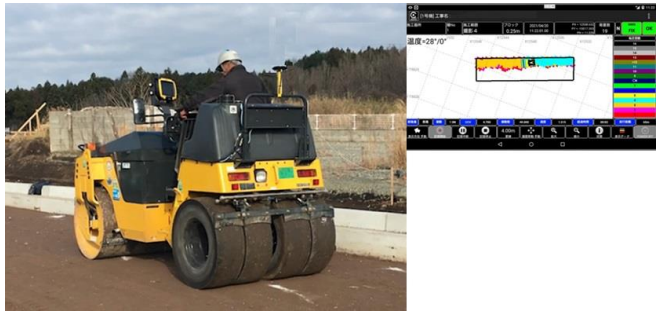
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-8 -4	ICT締固め管理機能付き道路機械	0件	建設業	施工

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 道路舗装工事の締固め作業の場面で活用し、 締固め回数・転圧状況をリアルタイムで可視化することで、施工品質の均一化と省力化が見込めます。
- 締固めデータを自動記録・活用することで、現場密度試験の省略が可能となり、管理業務の省力化が見込めます。

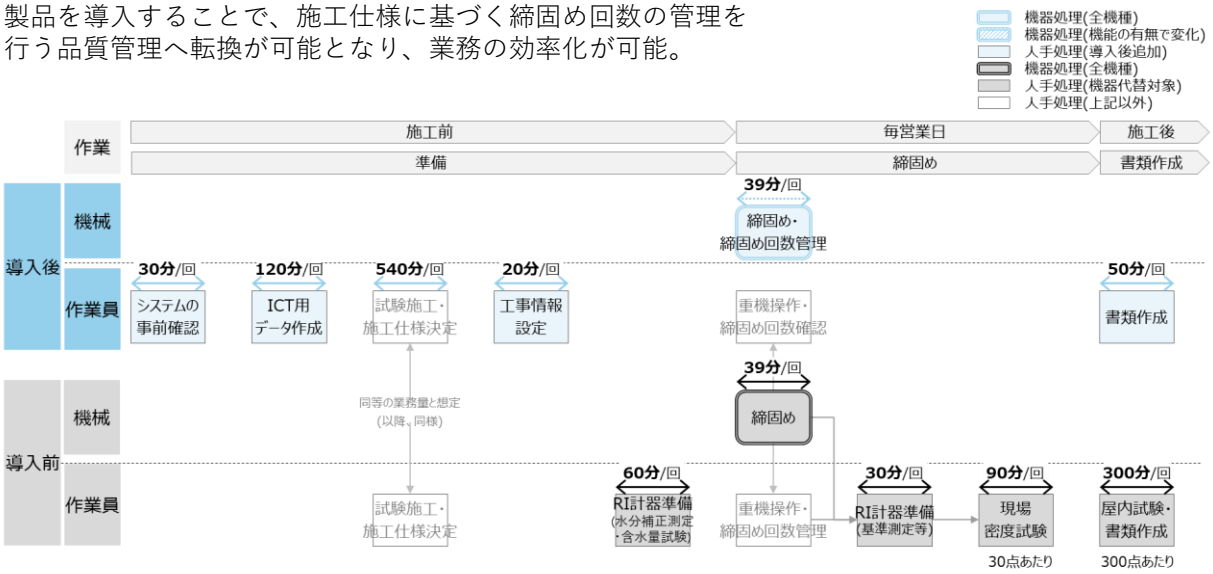
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

これまで人手で点的に測定していた締固めの品質管理に対して、製品を導入することで、施工仕様に基づく締固め回数の管理を行う品質管理へ転換が可能となり、業務の効率化が可能。



※時間はあくまで一例。施工規模 約10,000m3（層厚30cm：路体）で、導入前RI法で品質管理を実施している設定

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-8-4	ICT締固め管理機能付き道路機械	0件	建設業	施工

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

2D 施工データと GNSS アンテナで受信する位置情報により、所定の締固め回数を管理する装置を装着した道路機械(搭乗式のロードローラ、タイヤローラ、コンバインドローラを含む振動ローラ)。

主に利用が想定される中小企業

建設業、土木工事業関連の事業者。

省力化効果

手作業で行っていた締固め回数管理業務について、省力化製品を導入することで、締固め作業と同時に回数管理を行うことができるため、管理業務の省力化が可能。また、省力化製品で施工することで現場密度試験も省略可能となる。

価格と導入費用（目安）

約800万円～約4,500万円が主な製品の価格帯
（システムを装備（装着）する車両本体価格や測量機器価格による）

活用事例・ポイント

ICT締固め管理機能付き道路機械は、道路舗装や路盤・路床工事の締固め作業において、転圧回数や締固め状況をリアルタイムで可視化し、施工品質の均一化を実現する。熟練技能に依存せず安定した施工が可能となり、手戻りの削減や作業効率の向上に寄与する。また、締固めデータを自動記録・活用することで、一定条件下では現場密度試験の省略が可能となり、施工管理・検査・帳票作成業務の省力化が図られる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-9 -1	シンダーコンクリート解体機	4件	建設業	施工、解体・撤去

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

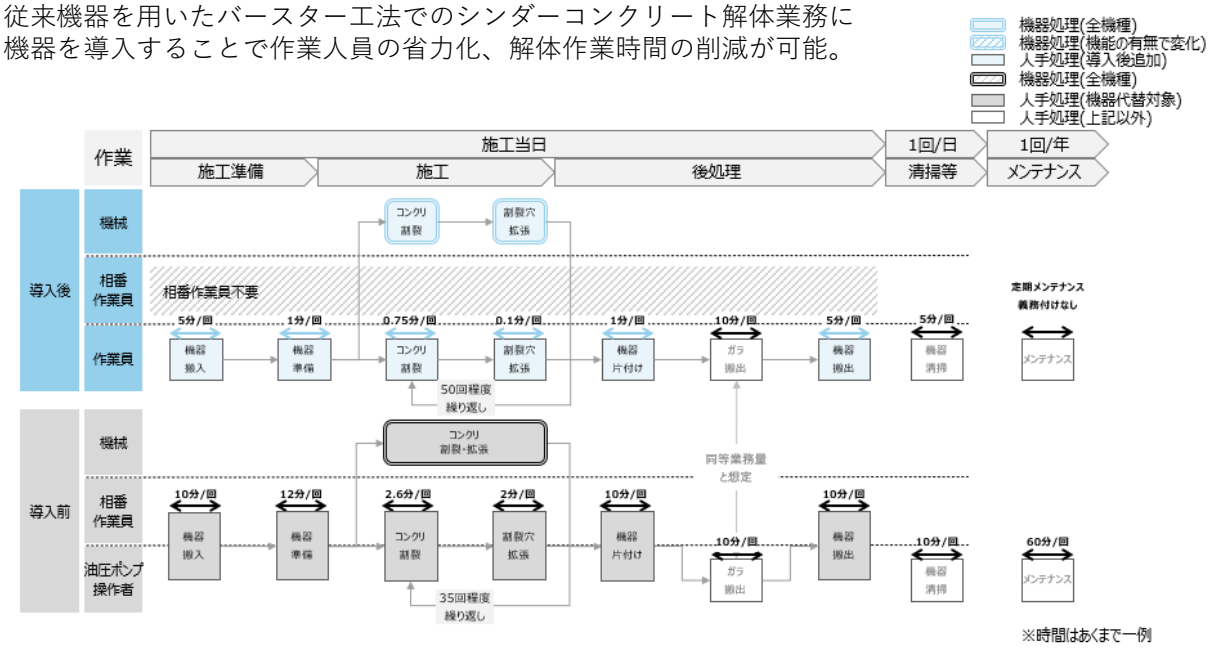
- 本機器は、狭いスペースや作業人数が限られる現場での解体作業に適しています。コア穴とシリンダーの間に鋼板を挟まずに割裂作業が可能で、作業工程を簡素化し、省力化と効率化を実現します。
- 作業時間の短縮や人手不足の解消が期待できるうえ、騒音や振動が少ないという特徴も持ち合わせています。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

従来機器を用いたバースター工法でのシンダーコンクリート解体業務に機器を導入することで作業人員の省力化、解体作業時間の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-9 -1	シンダーコンクリート解体機	4件	建設業	施工、解体・撤去

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

油圧の力を活用し騒音・振動を発生させずにシンダーコンクリートを割裂させることができる解体機。「ポンプ/シリンダー重量共に20kg以下」かつ「シリンダー形状が円形」であること。および「充電バッテリー2台、充電器1台を含む製品」も対象とする。

主に利用が想定される中小企業

建設業や解体工事を行う事業者。

省力化効果

シンダーコンクリート解体の作業工程は、①機器搬入、②準備、③シンダーコンクリート解体機による割裂、④拡張機による拡張、⑤機器片付け、⑥機器搬出である。このうち、③の割裂作業で、従来機器では楕円形シリンダーとコア穴の隙間を埋めるため厚さ6mmの鋼板を挟む必要があった。
この鋼板は割裂時に変形し、その抜き差しに手間がかかるため、作業は必ず2人で行う必要があった。また、シリンダーや油圧ポンプが大きく重いため、移動や設置にも多くの時間と労力を要していた。これに対し、本機器は円形シリンダーを採用しており、鋼板を使用せず1人で作業が完結する。これにより作業効率が向上し、移動や設置の負担も軽減され、従来工法と比較して大幅な省力化が実現している。

価格と導入費用（目安）

約870万円程度から導入可能。
（シリンダーの数によって異なる）

活用事例・ポイント

本機器は効率性と省力化の特性から、高層ビルの改修や狭いスペースでの部分解体など、多様な現場で活用されている。円形シリンダーの採用により、鋼板を使用せずに作業が完結し、工程が簡素化される点が大きな特徴である。また、軽量設計により、機器の設置や移動が容易であり、作業の負担を大幅に軽減する。さらに、騒音や振動が少ないため、住宅地や公共施設周辺での使用にも適している。本機器は、効率的かつ安全な解体作業を実現し、多様な現場で柔軟に対応可能な選択肢として評価されている。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-10-1	建設現場作業ロボット（鉄筋組立作業ロボット）	1件	建設業	施工

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

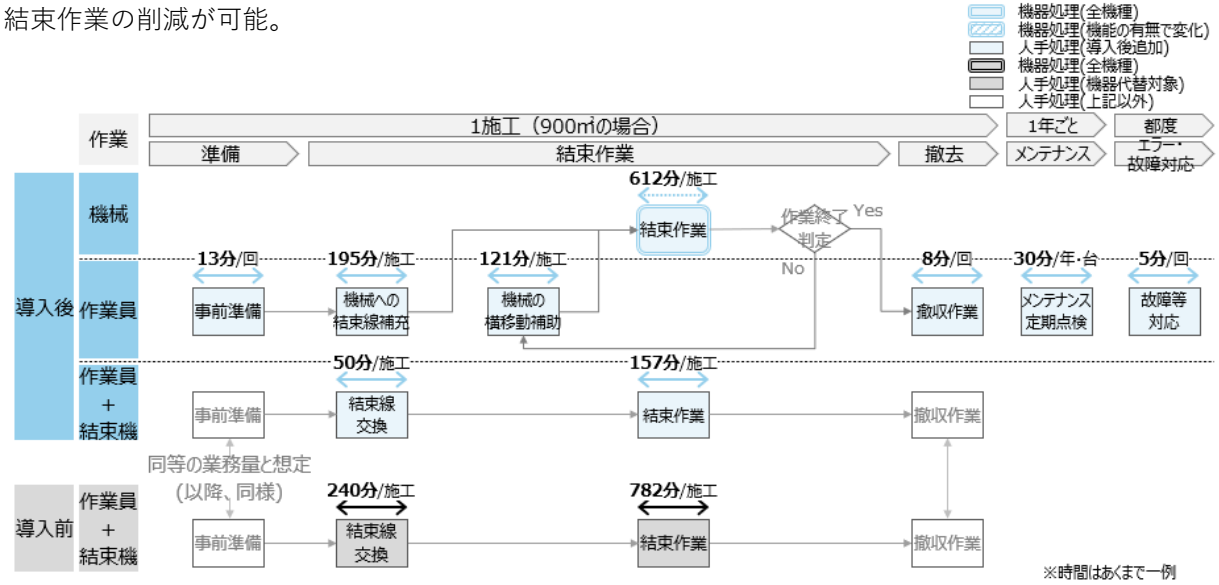
- 本機器は、配筋や結束などの鉄筋作業を自動化し、省力化を実現します。これにより、作業時間の短縮や人手不足の解消が期待できます。
- 重い鉄筋を扱う負担を大幅に軽減し、安全性を向上させるとともに、作業効率化も効果的にサポートします。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた建設現場での鉄筋結束作業に省力化製品を導入することで、結束作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-10-1	建設現場作業ロボット（鉄筋組立作業ロボット）	1件	建設業	施工

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

自動で走行し、配筋や結束などの鉄筋組立作業の一部を代わりに行う機能を有するロボット。

主に利用が想定される中小企業

建設業において工事管理を行う事業者、
または人手による建設作業を行っている事業者。

省力化効果

本機器は建設現場で行われる配筋や結束などの単純作業を自動化することで、省力化を実現する装置である。
本機器の導入により、人手作業にかかる工数を削減し、作業者をより付加価値の高い業務に集中させることが可能となる。これにより、生産性の向上に加えて人件費の削減にも寄与する。また、長時間の稼働が可能であるため、労働時間の制限規制に左右されることなく作業を継続でき、工期短縮にも大きく貢献する。

価格と導入費用（目安）

約280万円から310万円程度で導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、担い手不足が深刻な建設現場において、鉄筋の配筋や結束作業を効率化することで、作業全体の生産性を向上させる装置である。また、単純作業の自動化により、作業ミスが低減し、品質の安定化も期待できる。本機器の導入により、省力化による生産性向上はもちろん、作業者の労働負担軽減や安全性の向上も見込まれる。これにより、建設現場全体の効率化が見込める。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-10-2	鉄筋自動曲装置	1件	建設業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本装置は、建築や土木工事における鉄筋加工の効率化が求められる現場で活用できます。特に、ビルの柱・梁、橋梁などの鉄筋を用途に応じて正確に曲げる必要がある現場に適しています。
- 自動制御による加工機能を活用することで、熟練工でなくても精度の高い鉄筋加工が可能となり、作業者の負担軽減と作業時間の短縮が期待されます。

置き換えが可能となる機能・性能

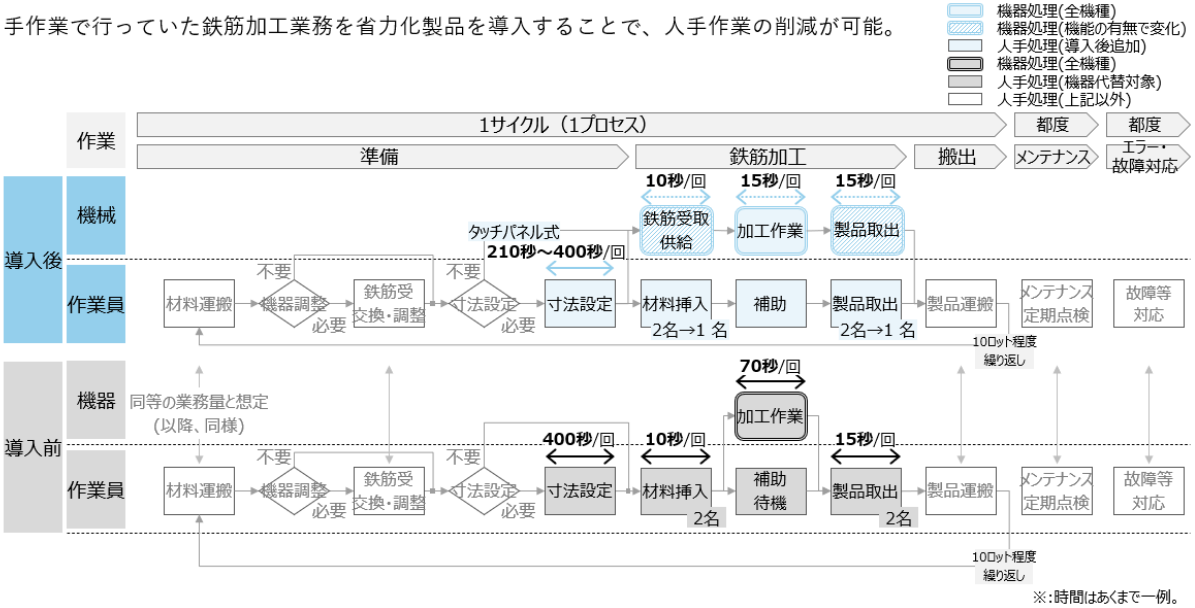
- 鉄筋受取・製品取出ロボット
- タッチパネル式設定・加工形状登録機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた鉄筋加工業務を省力化製品を導入することで、人手作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-10-2	鉄筋自動曲装置	1件	建設業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

本装置は建築や土木工事に使用される鉄筋を用途（ビルの柱・梁、橋梁など）に合わせた形に自動曲げ加工する機械

主に利用が想定される中小企業

建設業で鉄筋曲げ加工を行っている事業者。

省力化効果

本装置を導入することで、特に太物鉄筋の加工における労力が大幅に削減される。従来、複数名で行う必要があった鉄筋の曲げ加工を、鉄筋受取・製品取り出しロボットを活用することで1人での作業が可能となる。また、加工データはNC制御されており、タッチパネル搭載型の装置では寸法・角度の設定操作が容易に行えるため、初めて操作する作業員でもデータに基づいた、正確な鉄筋曲げ加工を実施できる。これにより、作業時間の短縮と省力化が進み、作業者の負担軽減と人員配置の最適化が実現する。

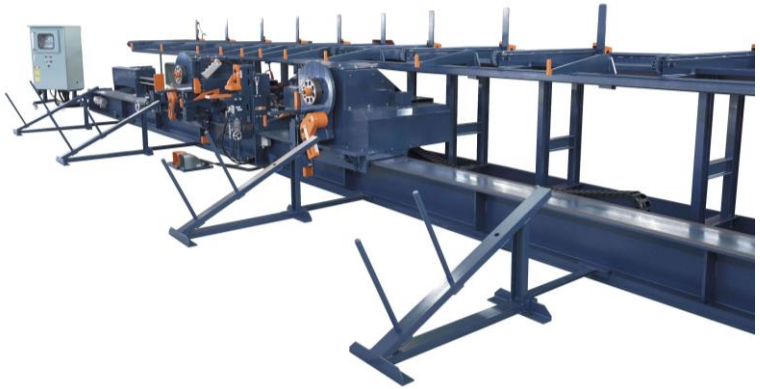
価格と導入費用（目安）

約880万円～2,600万円（曲げる鉄筋の硬さ・太さや曲げたい形状による）

活用事例・ポイント

本装置は、建築・土木工事における鉄筋加工業務の効率化を目的として活用される。特に、太物鉄筋の加工を行う現場では、作業者の負担が大きく、省力化が求められている。鉄筋自動曲装置を導入することで、手作業による鉄筋曲げの負担を軽減し、精度の高い加工が可能となる。また、NC制御によるデータ管理とタッチパネルによる簡単な操作性により、熟練工が不足する現場でも安定した品質の鉄筋加工が実現できる。これにより、労働力不足の解消と生産性向上に貢献する。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-11-1	物品貸出管理機	2件	製造業、卸売業、小売業	保管・在庫管理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

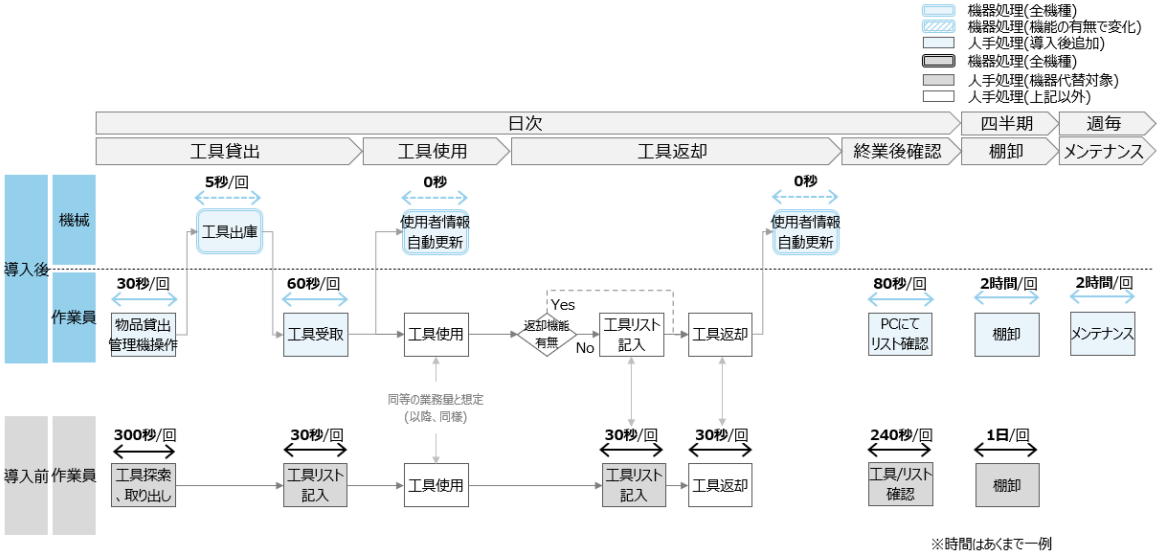
- 本機器は、製造業や整備業などで使用される工具や部品の貸出・在庫管理を自動化し、省力化が期待できます。
- 使用履歴を正確に記録することで、在庫状況をリアルタイムに把握し、不要な管理業務を削減できるため、効率的な運用が可能です。
- 手作業によるミスや貸出忘れを防ぎ、適正な在庫管理が求められる幅広い業種で活用されています。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

工具貸出と工具使用、工具返却のプロセスを作業者、終業後の確認を管理者が実施する想定。
作業者の工具受取までのプロセスや、管理者のリスト確認が効率化される。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-11-1	物品貸出管理機	2件	製造業、卸売業、小売業	保管・在庫管理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

工具や部品類をいつ・誰が・何を・どの程度貸し出したかを 自動的に把握し、在庫管理の省力化を図る製品をいう。 また、決済機能を有しない製品である。(保管物を販売する機器ではない。)

主に利用が想定される中小企業

主に工具、部品類を人手によって管理する製造業の事業者。

省力化効果

これまで人手で管理されていた工具や部品の在庫管理について、本製品を導入することで、材料・工具・備品の使用量や必要量を自動的に把握でき、業務の省力化を実現するとともに、工場の適正な運営に寄与する。具体的には、従来の在庫管理、棚卸、物品貸出業務が機器に完全に置き換わり、人手による作業が不要となるため、大幅な省力化効果が見込める。

価格と導入費用（目安）

数百万円～約1,000万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、工具や部品類の貸出・在庫管理を自動化することで、製造業や整備業における管理業務の省力化を実現する。
従来、手作業で行われていた貸出記録や棚卸業務をデジタル化することで、管理負担を大幅に軽減し、作業の効率化につながる。
特に、多くの従業員が工具を使用する現場では、業務時間の削減効果が大きく、適正な在庫管理による無駄削減も期待できる。
導入にあたっては、業務フローに適したシステム選定と運用ルールの整備が重要である。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-12-1	パワーアシストスーツ	2件	建設業、運輸業、製造業、倉庫業	運送・運搬、入出庫

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

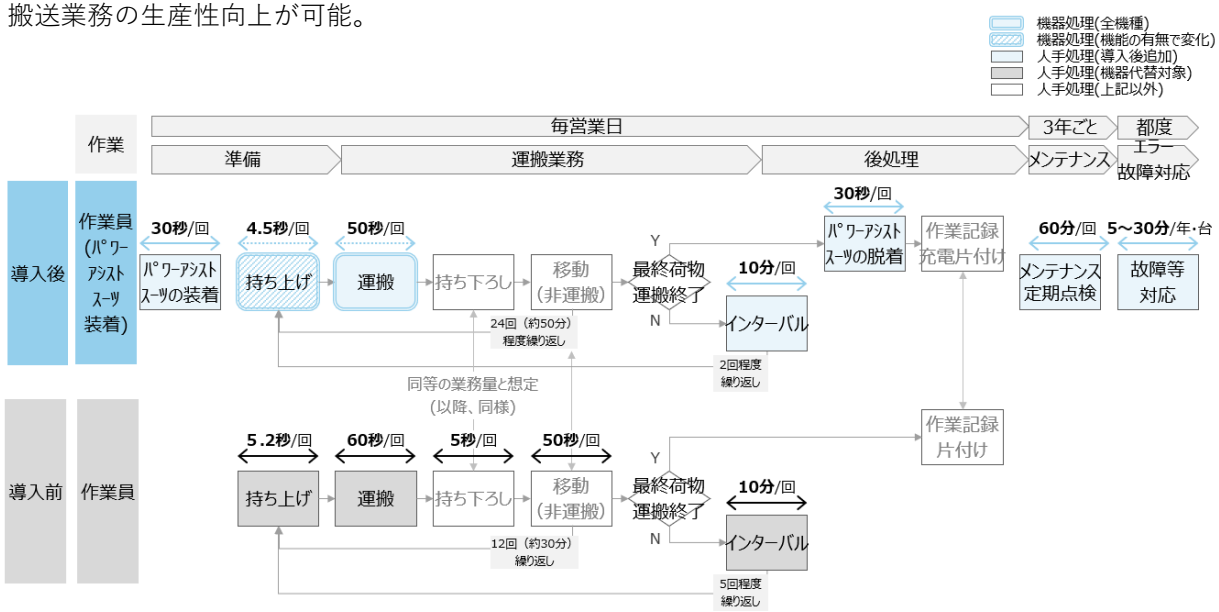
- 本装置は、重量物の持ち上げや運搬作業が発生する現場で活用できる装置です。
  特に、建設業、運輸業、製造業、倉庫業などで、荷物の上げ下ろしや搬入搬出作業の負担軽減に適しています。
- 本装置を装着することで、作業者の腰への負担を軽減し、持ち上げ作業の時間短縮や連続作業時間の延長が可能になります。
  これにより、作業効率の向上と労働負担の軽減が期待されます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

パワーアシストスーツの導入による作業負荷軽減により、
搬送業務の生産性向上が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-12-1	パワーアシストスーツ	2件	建設業、運輸業、製造業、倉庫業	運送・運搬、入出庫

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

パワーアシストスーツは、身体に装着して電動モーターなどの駆動装置の動力を用いて、人間の機能を拡張補助する装置。建設業、運輸業、製造業、倉庫業などで荷物の上げ下ろしや搬入搬出および運搬などの業務において、腰などの負担を軽減し生産効率の向上に寄与する。

主に利用が想定される中小企業

建設業、運輸業、製造業、倉庫業などの重量物を取り扱う事業者。

省力化効果

本装置を装着することで、1個あたりの持ち上げ作業の時間が短縮され、作業全体の効率が向上する。また、運搬作業や移動時間も短縮されるため、作業全体のスピードアップが可能となる。
さらに、装着時は作業インターバルが30分ごとから60分ごとに延長されるため、連続作業時間が長くなり、作業者の疲労軽減と生産性向上に寄与する。例えば、建設現場におけるセメント袋の積み下ろし作業では、1個あたりの作業時間の短縮が見られ、作業の効率化が見られた。

価格と導入費用（目安）

60万円～120万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本装置は、重量物を扱う現場での作業負担軽減と作業効率向上を目的として活用される。例えば、倉庫での荷物の積み下ろし作業や、建設現場での資材の運搬作業では、パワーアシストスーツを装着することで、作業者の腰への負担を軽減し、長時間の作業が可能となる。また、持ち上げ作業の際に必要な力をアシストする機能により、作業者の身体的負担を軽減しつつ、安全で安定した作業を実現する。これにより、作業環境の改善と労働力不足の解消に貢献する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-13-1	仕分検印機能付きシートリーダー	8件	製造業、運輸業、倉庫業、小売業、卸売業	文書・帳票管理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

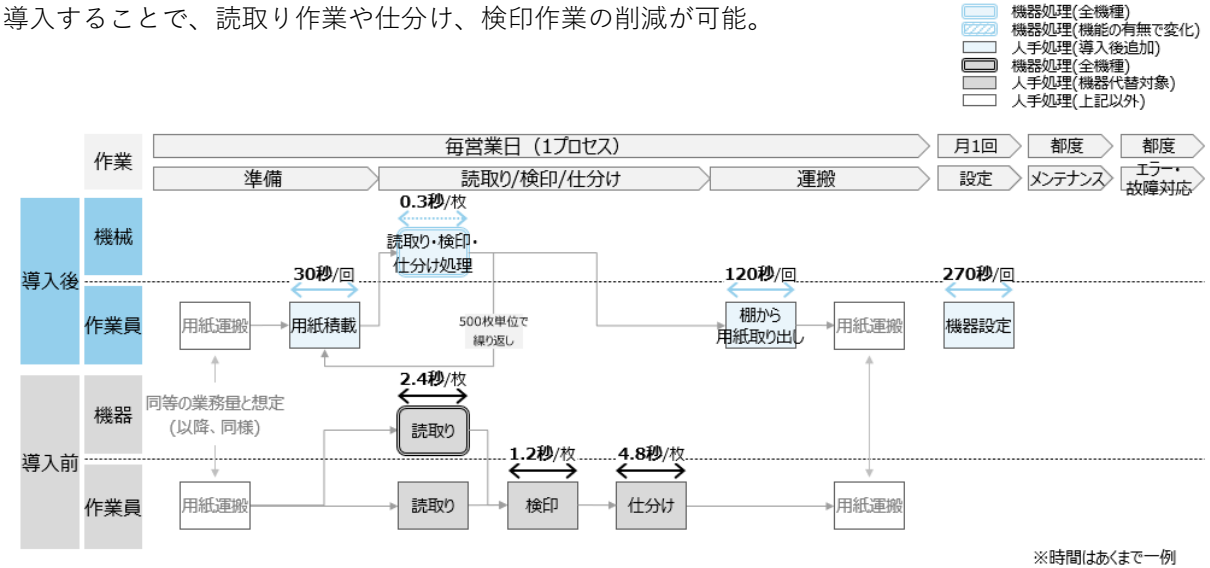
- 本装置は、納品書や手配・指示書など、大量の伝票を取り扱う業務で活用できます。例えば、自動車部品や機械部品の製造業や、物流倉庫での入荷検収・仕分け作業を行う現場に適しています。
- 紙伝票が主流の現場では、伝票の内容確認や仕分け、検印作業をすべて人手で行っているケースが多く、作業負担が大きい状況です。本装置を導入することで、バーコードや二次元コードを自動認識し、伝票の仕分けや検印作業を自動で行うことができるため、作業の効率化とミス防止が実現できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

入荷(入庫)作業、出荷(出庫)作業の両方の作業において、
手作業で行っていた伝票読取り・仕分け・検印業務に省力化製品を
導入することで、読取り作業や仕分け、検印作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-13-1	仕分検印機能付きシートリーダー	8件	製造業、運輸業、倉庫業、小売業、卸売業	文書・帳票管理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

大量の用紙、伝票等に印刷されたバーコード、二次元コードや文字等を自動認識する機能を有し、認識結果に応じて仕分や検印処理を行うシートリーダー。製品の構成は、シートリーダー本体と、認識結果に応じて、検印・仕分けを行う装置の設定を行うソフトウェア１つとする。

主に利用が想定される中小企業

納品書や伝票を多く取り扱う事業者。

省力化効果

本装置は、納品書や伝票に印字されたバーコードや二次元コード、文字情報を自動認識し、その結果に応じて伝票の仕分けや検印処理を自動化する装置である。従来、人手で行っていた伝票処理にかかる作業時間を大幅に短縮でき、特に部品調達伝票や受領書の処理時間を削減できる。また、入荷検収時のドライバー待機時間を短縮することで、作業効率の向上と現場全体の生産性改善に寄与する。加えて、人的ミスの防止や、作業者が単純業務に付きっきりになる状況を解消し、貴重な人材を他業務に充てられることも省力化効果のひとつである。

価格と導入費用（目安）

約80万円～400万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本装置は、自動車部品製造業をはじめとする製造業や物流業、卸売業など、紙伝票を多く取り扱う現場での活用が進んでいる。特に、受領書や納品書を活用した部品の仕分け・検印・検収作業において、人手による確認ミスや作業時間の長時間化が課題となっている企業では、省力化と作業品質の向上を同時に実現する設備として高い導入効果が期待される。また、伝票処理の自動化は、現場の作業標準化やデジタル化推進の一環としても重要な役割を果たす。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

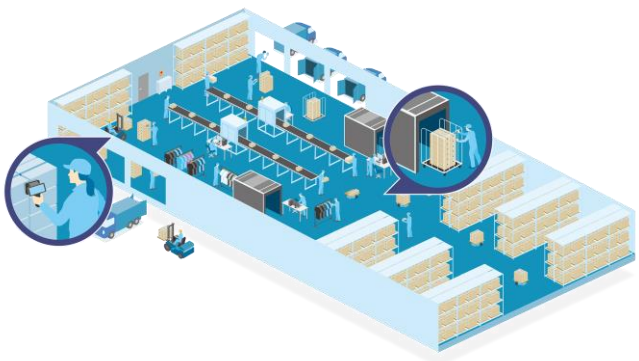
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-13-2	RFIDによる一括読み取りシステム	2件	倉庫業、製造業、小売業、建設業、物品賃貸業、生活関連サービス業	入出庫、保管・在庫管理

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本システムは、対象物に貼付されたRFタグを非接触かつ視認不要で一括読み取り可能とすることにより、従来のバーコードや二次元コードを用いた読み取り作業に比べて大幅な省力化を実現する。1点ずつスキャンを行う必要があった従来手法と比較して、作業時間の短縮効果は対象業務により異なるが、概ね2倍～10倍程度の作業効率向上が期待される。
- 人的ミスの軽減や作業負荷の平準化にもつながり、業務の標準化と生産性の向上に寄与する。

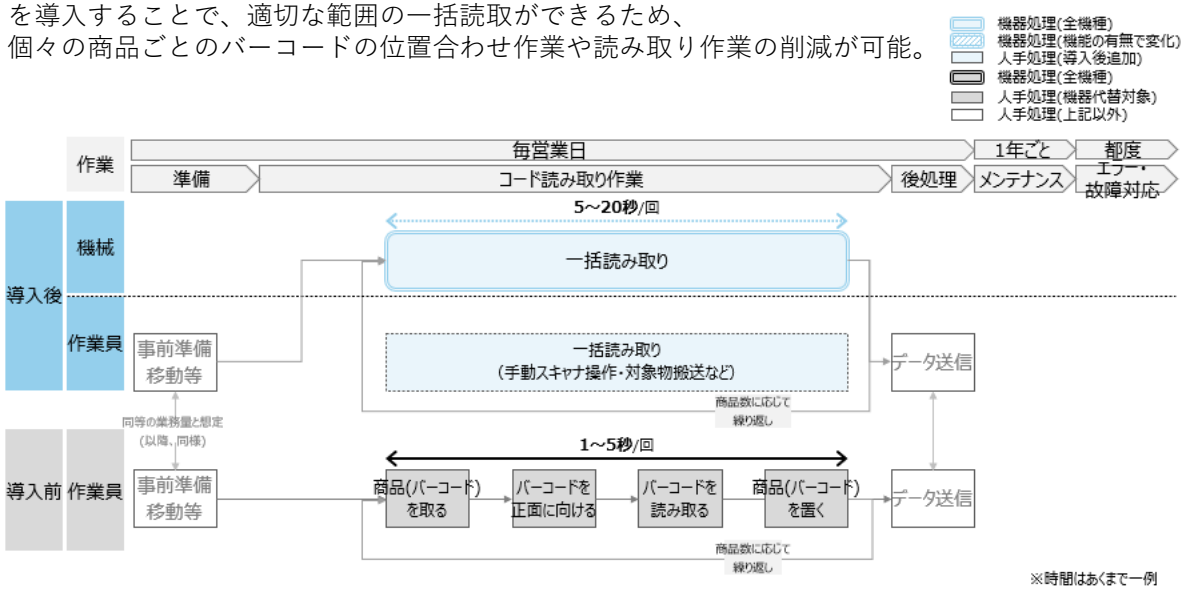
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

バーコード読み取りで行っていた物品管理業務や棚卸業務に省力化製品を導入することで、適切な範囲の一括読取ができるため、個々の商品ごとのバーコードの位置合わせ作業や読み取り作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-13-2	RFIDによる一括読み取りシステム	2件	倉庫業、製造業、小売業、建設業、物品賃貸業、生活関連サービス業	入出庫、保管・在庫管理

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

入出庫検品、売上管理、棚卸等の用途で、管理対象の物品につけられた、或いは人員が保持するRFタグを一括で読み取ることにより、業務の省力化を実現するRFIDリーダライタシステム。
ゲート型、据置型・定置型、ハンディ型があり、2つのタイプを組み合わせた物も対象とする。

主に利用が想定される中小企業

主に、倉庫業、製造業、小売業、建設業、レンタル業、サービス業など、物品の在庫や移動が発生する事業者。

省力化効果

本システムは、対象物に貼付されたRFタグを非接触かつ視認不要で一括読み取り可能とすることにより、従来のバーコードや二次元コードを用いた読み取り作業に比べて大幅な省力化を実現する。1点ずつスキャンを行う必要があった従来手法と比較して、作業時間の短縮効果は対象業務により異なるが、概ね2倍～10倍程度の作業効率向上が期待される。また、人的ミスの軽減や作業負荷の平準化にもつながり、業務の標準化と生産性の向上に寄与する。

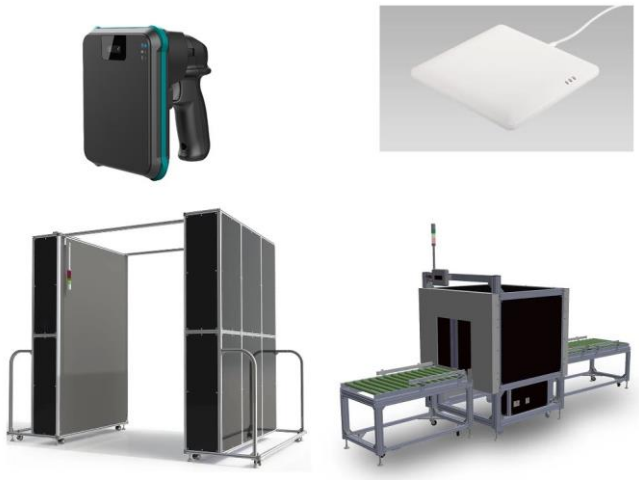
価格と導入費用（目安）

・トンネルゲート型　～700万円
・定置型　～800万円
・ハンディ型　～650万円
　程度で導入可能。

活用事例・ポイント

本システムは、特に在庫管理や入出庫処理の正確性とスピードが求められる現場で活用が進んでいる。たとえば、倉庫業では商品の棚卸作業に、製造業では資材のロット管理や部品トレーサビリティに、小売業では在庫精度の向上と作業負担の軽減に活用されている。ゲート型や定置型、ハンディ型といった多様なタイプを業務に合わせて使い分けられるため、用途に応じた柔軟な運用が可能である。さらに、システムと連携したデータ自動記録により、リアルタイムでの在庫状況の把握や異常検知も行いやすくなる点が強みである。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-14-1	シュリンクフィルム収縮装置	1件	製造業、運輸業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、梱包・加工

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

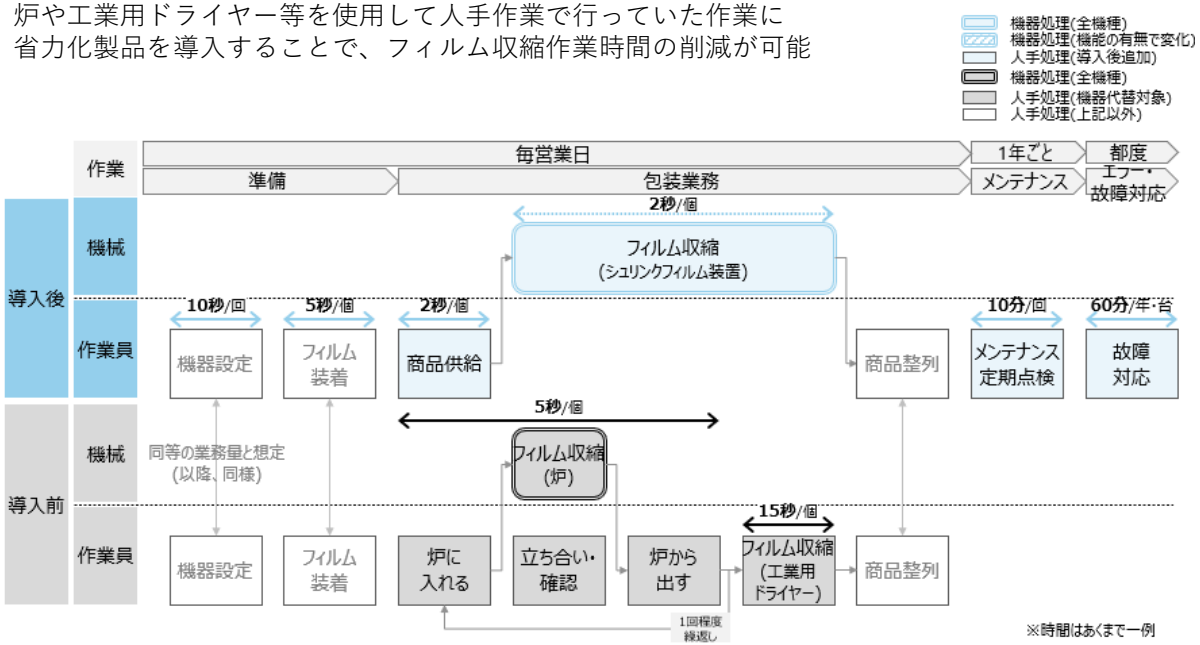
- 食品や化粧品などを製造している現場では、製品を個包装した後に外装の美観を整えたり、輸送中のズレや破損を防ぐためにフィルムで覆う作業が行われています。こうした工程において、熱風でフィルムを収縮させるシュリンクフィルム収縮装置を活用することで、作業のスピードと仕上がりの安定性を向上させることができます。
- また、出荷前の最終工程として、EC通販などでの梱包作業にも適しており、小ロット・多品種を扱う中小企業でも効率的に使用できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

炉や工業用ドライヤー等を使用して人手作業で行っていた作業に
省力化製品を導入することで、フィルム収縮作業時間の削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
2-14-1	シュリンクフィルム収縮装置	1件	製造業、運輸業、倉庫業、卸売業、小売業	加工・生産、梱包・加工

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

熱風によるシュリンク収縮炉で製品の包装を全自動で行う装置。

主に利用が想定される中小企業

主に食品・化粧品・日用品などを製造・梱包している中小の製造業者や、物流・倉庫業者などで、従業員が手作業で最終包装を行っていた事業者。

省力化効果

従来の手作業によるフィルム収縮作業では、作業員が炉に投入し、工業用ドライヤー等を用いて手動で熱収縮を行っていたため、作業に時間を要し、不良の発生や仕上がりのバラつきが避けられなかった。本装置を導入することで、フィルムの収縮工程が自動化され、投入から仕上げまでを一貫して処理することが可能となる。これにより、作業時間の大幅な削減とともに、不良率の低下、均質な包装品質の確保が実現し、省力化が図られる。

価格と導入費用（目安）

300万円～600万円（扱う材質、ワークサイズによって異なる）

活用事例・ポイント

製造ラインの終端に設置し、完成品を梱包後にそのまま自動でフィルム包装まで行う運用が可能である。作業員が一つひとつ手作業で収縮処理をしていた工程をライン化・装置化することで、少人数でも安定した梱包品質が維持されるという点から省力化効果が期待される。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

3

主に製造業を対象とした製品カテゴリ
（主に加工・生産・検査）

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-1	一本バー搬送ロボット	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

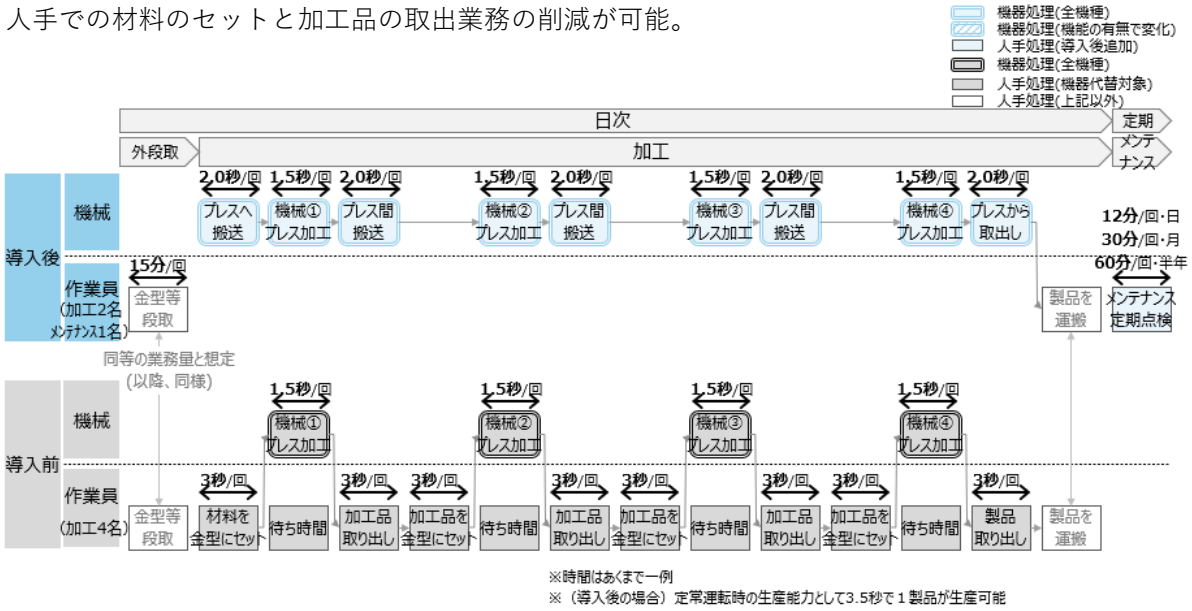
- 従来のプレス加工では、各工程に作業者を配置し、材料供給や製品取出しを行っていました。本機器の導入により、工程間を自動搬送することで、大幅な生産性向上が見込めます。
- 自動化により品質のばらつきを抑え、安定した製品精度が実現します。また、危険エリアでの手作業が不要となり、事故リスクの大幅な低減が期待できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

一本バー搬送ロボットの導入によりプレス機と連動した上で自動搬送することで、人手での材料のセットと加工品の取出業務の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-1	一本バー搬送ロボット	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

プレス加工作業における多工程加工の材料供給、各工程間移送、加工品取出しを製品把持機能を有した1本のバーを工程間に貫通させ、プレス機と連動し、製品を順次移送する自動化設備。

主に利用が想定される中小企業

プレス加工作業を行う事業者。

省力化効果

従来のプレス加工業務では、各工程に作業者を配置し、材料供給・プレス加工操作・製品取出しを手作業で行う必要があった。本機器の導入により、プレス機を並べて設置し、各工程間を自動搬送する仕組みを構築することができ、大幅な省力化効果が見込める。

価格と導入費用（目安）

3,850万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

自動化による省力化効果・生産性向上だけでなく、作業者による品質のばらつきを抑え、均一な条件での加工・搬送が実現できる。これにより、製品精度の安定性が向上するほか、作業者が危険エリアでの手作業を行う必要がなくなるため、事故リスクの大幅な低減も期待できる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1 -2	プレス用多関節ロボット	4件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

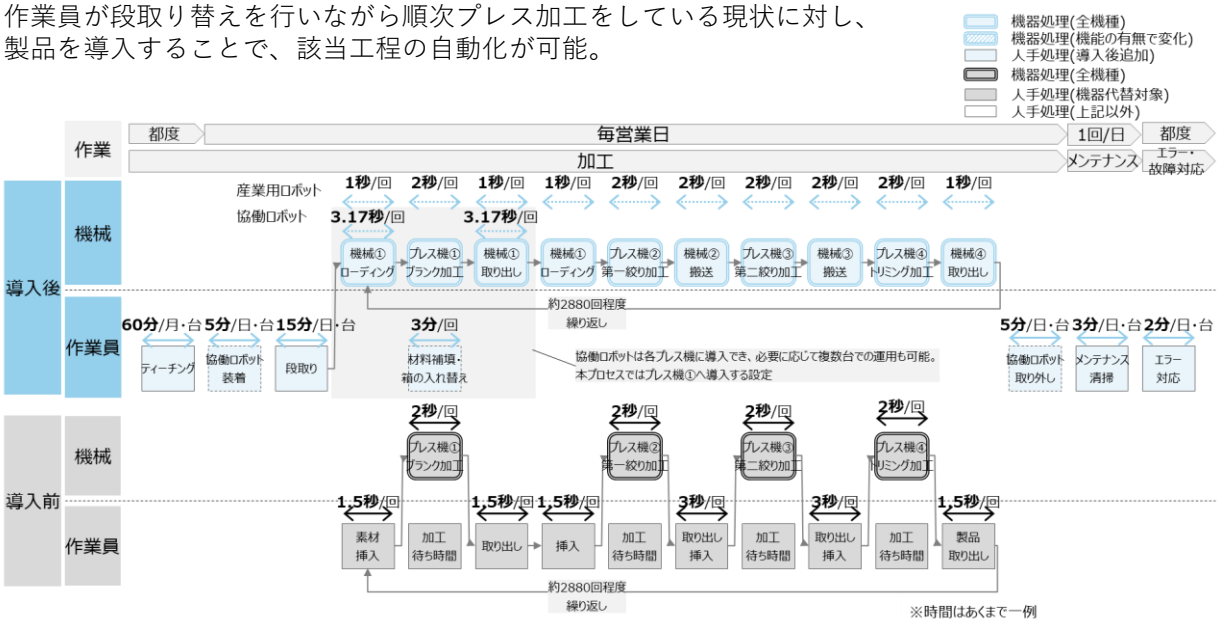
- プレス加工ラインでは、従来、作業者が材料の搬送や挿入、取り出しを手作業で行っていましたが、本機器の導入により、これらの業務が自動化され、大幅な生産性向上が期待できます。
- 少量多品種や多工程の生産ラインでも効率化が進み、安定した品質管理の実現が可能となります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

作業員が段取り替えを行いながら順次プレス加工をしている現状に対し、製品を導入することで、該当工程の自動化が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-2	プレス用多関節ロボット	4件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

プレス加工品をプレスへ投入、取出しして順次、自動的に次のプレスに移送するロボットシステム。
産業用ロボットと協働ロボットを対象とし、ロボット及び制御盤・制御装置で構成される。

主に利用が想定される中小企業

プレス加工作業を行う事業者。

省力化効果

プレス用多関節ロボットは、複数のプレス機や材料供給装置の間で製品を搬送し、各プレスの金型に自動で挿入・取り出しを行う装置である。この自動化により、製品の品質が安定し、不良品の削減が期待できるほか、大幅な省力化も見込める。

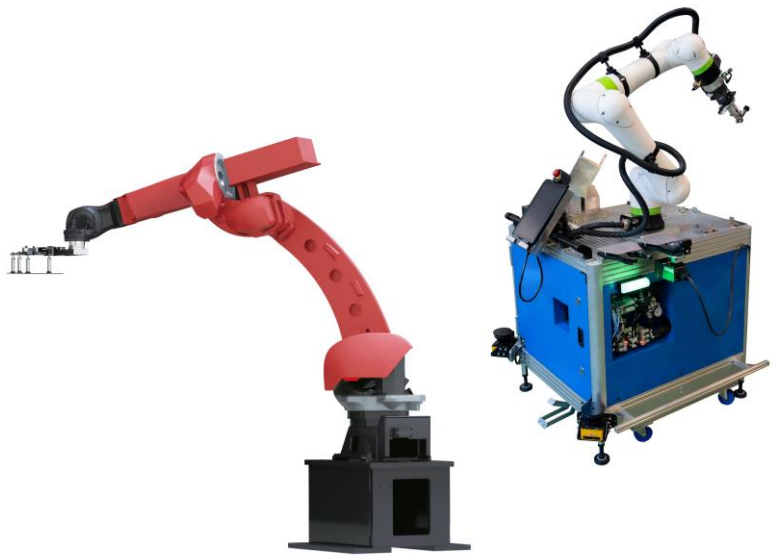
価格と導入費用（目安）

1,000万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

プレス用多関節ロボットの導入により、少量多品種や多工程の生産ラインにも柔軟に対応でき、多様な生産ニーズに適応可能である。また、多軸制御により、狭いスペースや複雑なレイアウトの現場でも設置が容易で、柔軟な動作によってさまざまな形状やサイズの部品に対応できることが特徴である。
これらの特徴から、生産性の大幅な向上に加え、安全性の向上や省力化の効果も期待できる。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-3	鍛圧・板金加工用バリ取り装置	40件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 部品表面のバリ取りやR面取りが必要な製造ラインにおいて、属人化を解消しながら安定した加工品質を実現します。これにより、再加工や手直しの削減と生産効率の向上が見込めます。
- 粉じんや騒音を抑制して作業環境を改善し、狭い作業スペースや多品種少量生産の現場でも省力化と作業効率化を効果的にサポートします。

置き換えが可能となる機能・性能

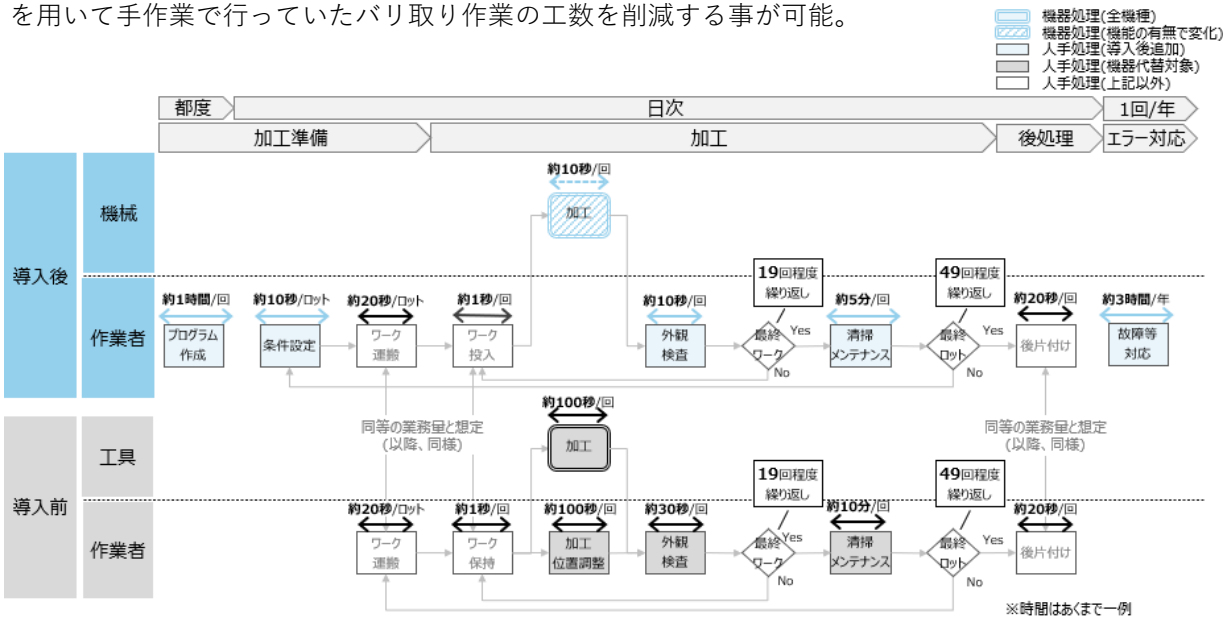
- 洗浄・乾燥機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

鍛圧・板金加工用バリ取り装置を導入する事で、これまでグラインダーを用いて手作業で行っていたバリ取り作業の工数を削減する事が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-3	鍛圧・板金加工用バリ取り装置	40件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

プレス（パンチプレス含む）・レーザー・プラズマ加工機で加工されたブランク材の外周部・穴部などのエッジ部に発生するバリ・ドロス・ノロを研磨ブラシ・研磨ホイール・研磨ディスク・研磨ベルトなどを用いてバリ・ドロス・ノロを除去する自動化装置。

主に利用が想定される中小企業

鍛圧・板金加工製造を行う事業者。

省力化効果

納品する製品は、客先の要求を満たすために高精度な加工が必要とされており、特にバリによる怪我防止や要求精度の達成が重要視されている。このような背景から、多くの部品で『バリ取り・R面取り』が必須となっている。鍛圧・板金加工用バリ取り装置を導入することで、加工時間や工程内検査時間の短縮が可能となるほか、加工の属人化を解消し、エッジ品質をはじめとした加工品質の向上が図られる。また、加工漏れの防止にも寄与し、粉じんや騒音といった作業環境を改善することで、作業者の安全性を高める効果も期待される。これにより、生産性の向上および省力化効果が見込める。

価格と導入費用（目安）

700万円～2,000万円程度で導入可能。

活用事例・ポイント

鍛圧・板金加工用バリ取り装置を活用することで、バリ取りやR面取りを効率化し、高品質な加工を安定的に実現できる。
加工時間の短縮や作業効率の向上に加え、エッジ品質の向上により製品の信頼性が向上し、加工漏れや再加工の削減も期待できる。また、作業環境の改善により、作業者の安全性向上も見込める。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

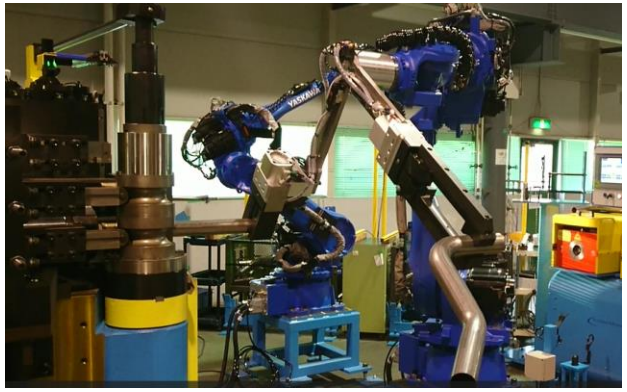
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1 -4	パイプベンダー用投入・排出ロボット	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本機器は重量物の搬送や取り扱いが多いパイプ加工現場で活用できます。従来、作業員が手作業で行っていた材料供給や排出の作業を自動化することで、作業効率を大幅に向上させることができます。また、人手不足の解消や作業員の負担軽減にもつながります。
- 本機器は省スペースで設置が可能で、狭い現場やクレーン、フォークリフトが使用できない環境でも対応できます。
  また、パイプの供給から整列、投入、曲げ加工後の排出まで、一連の作業を自動化し、安定した品質と生産性を実現します。
  これにより、加工機械への材料投入や排出といった作業における省力化効果が期待できます。

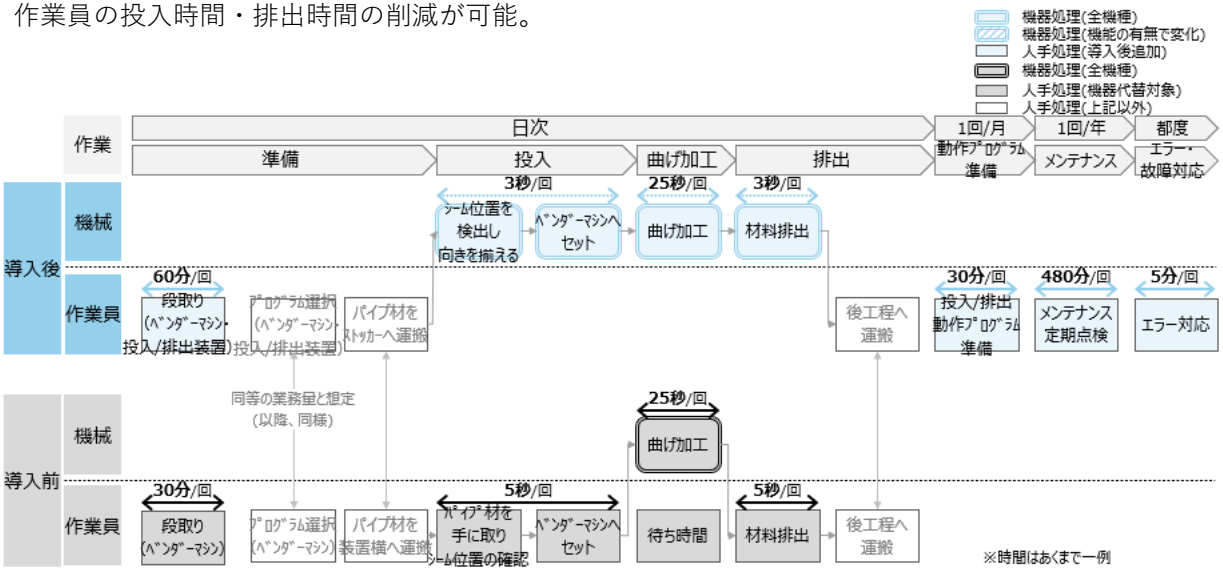
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業でのパイプベンダーへの材料供給、排出作業に機器を導入することで、
作業員の投入時間・排出時間の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-4	パイプベンダー用投入・排出ロボット	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

曲げ加工用に切断されたパイプをパイプベンダーのチャック部に投入し、　ベンダーを起動し曲げ加工を行う。加工し終わったパイプを排出し箱に入れて次工程に流すパイプベンダー投入用ロボット、パイプベンダー排出用ロボット。

主に利用が想定される中小企業

製造業、パイプ曲げ加工のパイプ供給、取出しを人力で行っている事業者。

省力化効果

従来、作業者が手作業でパイプベンダーへの材料供給および排出を行っていた。これを多関節型ロボットに置き換えることで、大幅な省力化を実現できる。
まず、パイプストッカーに100本から1,000本のパイプをストックする。ストックされたパイプにシーム（溶接線）がある場合は、それを検出して一定方向に整列させ、1本ずつ取り出す。
取り出したパイプは、投入用ロボットまたは専用の投入機によってパイプベンダーに投入される。パイプベンダーは材料の投入を確認した後、指定されたプログラムに従って曲げ加工を行う。加工が完了したパイプは排出用ロボットに引き渡され、次の工程へと運ばれる。

価格と導入費用（目安）

数百万円～2,500万円程度で導入可能。

活用事例・ポイント

本機器を活用することで、狭い現場やクレーン・フォークリフトが使用できない環境でも効率的なパイプ搬送が可能となり、省スペース環境での作業効率向上に寄与する。
また、ストックされたパイプの整列や繰り返し投入を迅速かつ正確に行うことで、加工工程の作業時間短縮と品質向上が期待できる。さらに、重量物の取り扱いを自動化することで、作業者の身体的負担を軽減し、傷病リスクを低減する安全性向上の効果が得られる。このように、本機器は作業効率化だけでなく、作業環境の改善にも大きく貢献する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

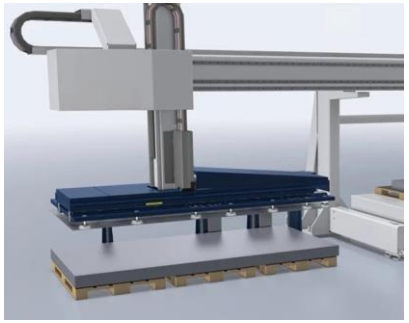
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1 -5	板金機械用材料シート自動搬入・搬出装置	14件	製造業	加工・生産

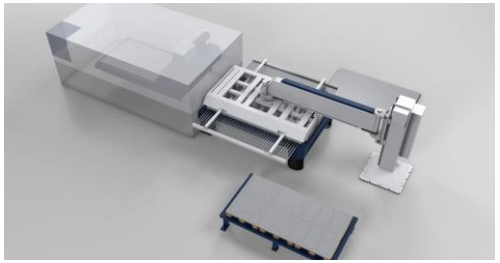
2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本機器は、効率的かつ安全な材料の搬入作業や、板金機械で加工された大型のシート材や製品の搬出作業を、迅速かつ正確に自動化する装置です。
- 多品種の材料や加工品を取り扱う工場・生産ラインでの活用が適しています。搬入・搬出作業に時間と人手を要する現場で特に効果を発揮し、作業時間の短縮と負担軽減に寄与します。
- 加工不良やマシン停止のリスクを低減でき、安定した生産稼働を実現したい現場に最適であり、省力化と生産性向上が期待できます。

活用イメージ

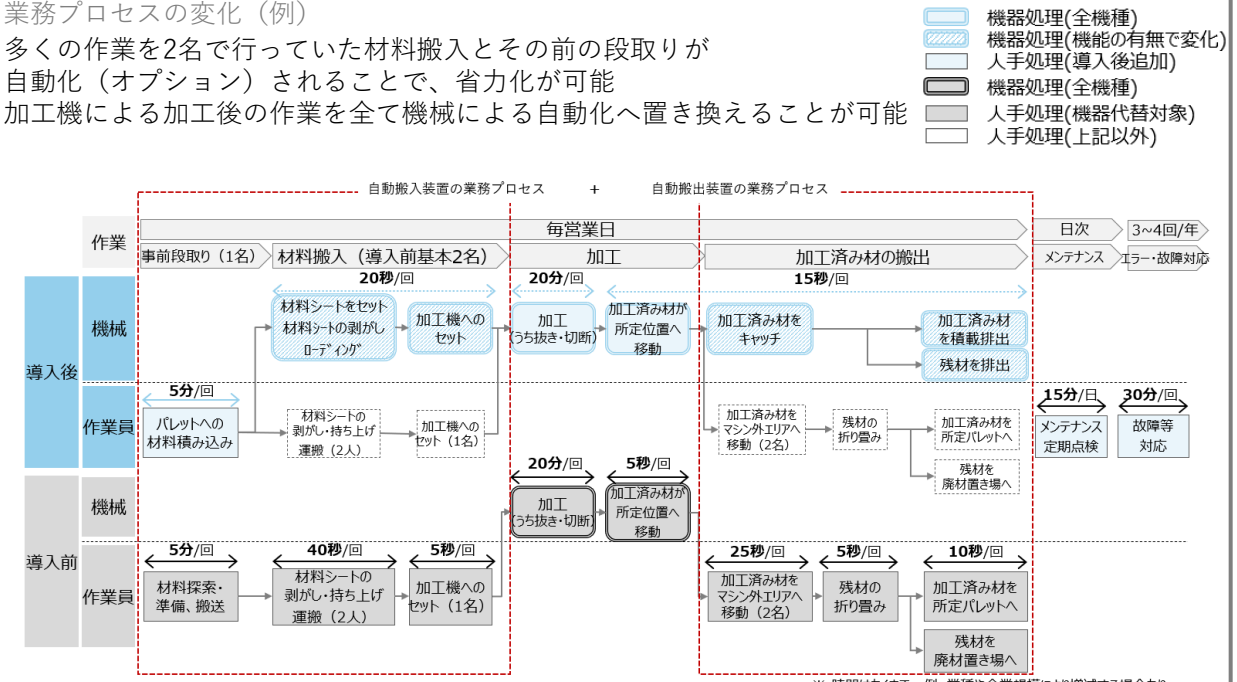




※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

多くの作業を2名で行っていた材料搬入とその前の段取りが
自動化（オプション）されることで、省力化が可能
加工機による加工後の作業を全て機械による自動化へ置き換えることが可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-5	板金機械用材料シート自動搬入・搬出装置	14件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

複数または梱包された板金用材料シートを自動で板金機械へ搬入搬送し、定められた位置にセットする自動化装置。
板金機械で加工されたシート材や製品を自動で所定位置へ搬出する装置。
上記、搬入と搬出の両方を行う自動化装置も含むものとする。

主に利用が想定される中小企業

板金加工や多品種少量生産を行う製造業の事業者。

省力化効果

板金用の大型シート材をマシンへ搬入する作業の自動化。また板金機械で加工された大型のシート材や製品をマシン外へ取り出し、所定の位置へ搬出する作業を自動化し、省力化に大きく貢献する装置である。

従来は人手で行っていた搬入・搬出作業が不要となり（段取り作業を除く）、作業者の負担を大幅に軽減することが可能である。

搬入と搬出の両方を行う装置については、両者を相乗した効果および付帯効果を有する。

価格と導入費用（目安）

2,000万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、効率的かつ安全な材料の搬入作業や、板金機械で加工された大型のシート材や製品の搬出作業を、迅速かつ正確に自動化する装置である。作業者の負担を軽減し、安定した搬入・搬出作業を可能にする点が特徴である。さらに、安全装置により作業環境の安全性を向上させるとともに、事故やケガのリスク低減に加え、2枚取り検知や材料剥離機能を備えることで、加工不良やマシン停止を未然に防ぎ、オプションストッカーを活用した材質ごとの自動分別機能を備えており、作業工程の効率化と生産精度の向上を実現する。これにより、省力化と生産効率の向上が求められる現場に最適な装置である。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1 -6	プレスブレーキ用金型自動交換装置	6件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

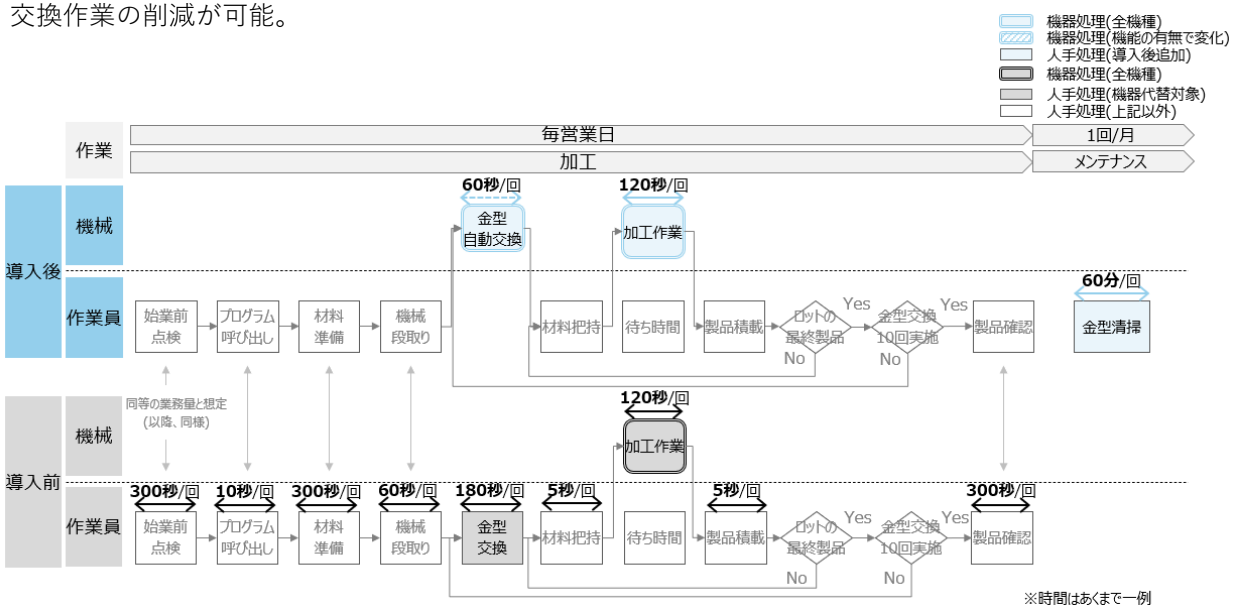
- 本機器は、多品種少量生産や頻繁な生産切り替えが必要な板金加工現場で、金型交換作業を自動化し、安定した加工精度と省力化を実現します。これにより、作業時間の短縮や人手不足の解消が期待できます。
- 重い金型を扱う際の負担を大幅に軽減し、安全性を向上させるとともに、省力化と作業効率化を効果的にサポートします。狭い作業スペースや高い生産性が求められる現場でも活用いただけます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

本機器の導入により、プレスブレーキ曲げ加工業務における金型の交換作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1 -6	プレスブレーキ用金型自動交換装置	6件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

板金加工の曲げ工程において、プレスブレーキ本体一体型を含む専用の金型交換装置の取り付いた設備システム。
金型交換装置とは、複数種類のパンチとダイを収納する金型収納部と金型を運ぶフィンガーによりNCに設定された金型配置データに従って、自動的に金型の交換（位置調整・搬送・収納）を行う装置。

主に利用が想定される中小企業

板金加工製造を行う事業者、特にプレスブレーキを複数台保有している事業者。

省力化効果

プレスブレーキ用金型自動交換装置は、板金加工の曲げ工程で金型交換を自動化する装置である。金型収納部とフィンガーを備え、NCデータに基づき金型の配置、搬送、収納を自動で行うことで効率化を実現する。従来の手作業に比べ、金型交換の負担が大幅に軽減され、労働環境が改善する。また、熟練作業者による手作業よりも高速かつ正確に金型交換が可能で、熟練者が作業に従事する必要がなくなるため、少ない人数で生産性の向上を図ることができる。本装置は、作業負担の軽減と生産効率の向上を通じて、省力化を支える有効なソリューションである。

価格と導入費用（目安）

約5,200万円～9,000万円程度で導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は板金加工の現場で効率化と省力化を実現する装置である。NCデータに基づき金型を自動交換することで、手作業に頼らず高速かつ正確な金型配置が可能となり、多品種少量生産や頻繁な生産切り替えに対応する。本装置は、金型収納部に多種多様な金型を格納できるため、柔軟な運用を支援し、作業の効率化をさらに促進する。また、作業者が直接金型を操作しないため、肉体的負担やミスのリスクが低減し、安全性の向上と省力化を同時に実現する点が特長である。
これにより、効率的かつ安定した生産運用が可能となる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1 -7	コイルライン	50件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

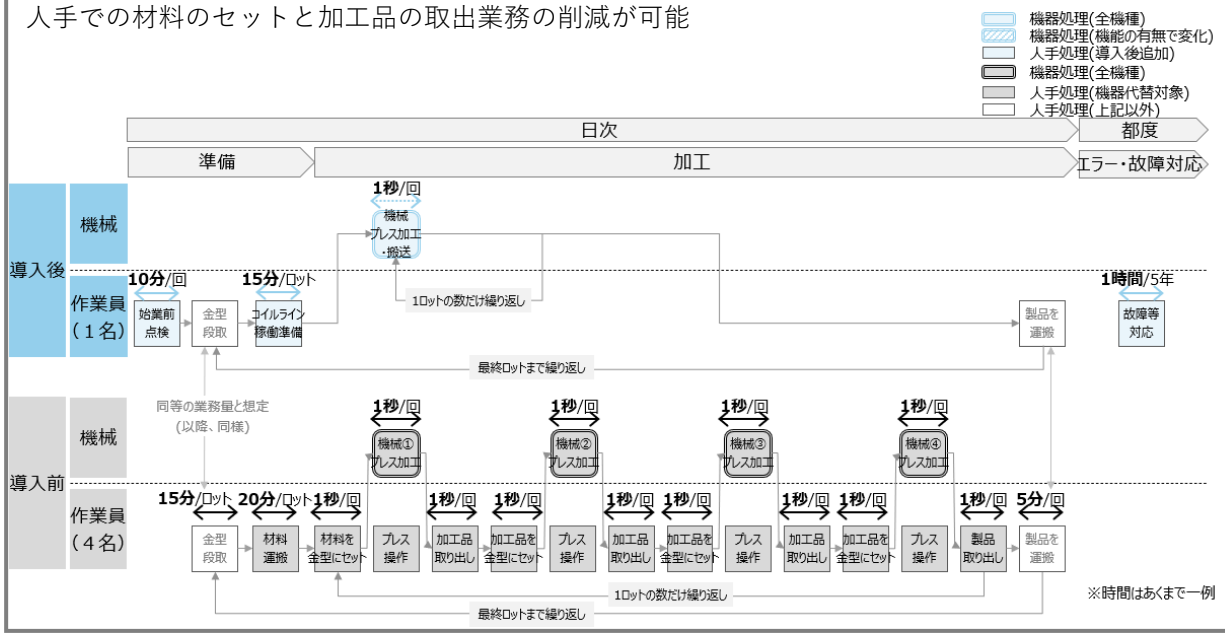
- 本システムは、自動車部品、家電製品、建築資材、精密機器などのプレス加工において、材料供給の自動化を実現し、省力化に貢献します。
- 安定した供給と加工精度の向上により、不良率の低減や作業効率の改善が期待でき、量産品から高精度製品まで幅広い製造業で活用されています。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

コイルラインと順送金型の導入により順送プレス加工をすることで、
人手での材料のセットと加工品の取出業務の削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-7	コイルライン	50件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

コイル材を鍛圧機械（一般にはプレス機）に平坦に矯正して自動的に供給するシステム（コイルライン）。
コイルラインは、主に以下の構成からなるシステムである。
①コイル材を保持する部位（アンコイラ）
②曲がりクセがついた素材を平に矯正する部位（素材の板厚や硬さによっては不要となる場合がある）（レベラ）
③プレスと同調して、プレス動作に対して決められたタイミングで素材を設定した定尺の長さ送り込む部位（フィーダ）

主に利用が想定される中小企業

自動車部品や家電製品、建築資材、精密機器などのプレス加工を行う事業者。

省力化効果

順送加工では、プレス機1台に4工程分の金型を等間隔で一直線上に配置し、1台のプレス機で集約して加工を行う。このプレス機には、材料を送り込むためのコイルラインを装備し、プレスと同調させることで自動化を実現する。これにより、基本的には人手を必要としない。ただし、実際の作業ではコイル材の準備や製品の整理が必要になるが、これらの作業は1名で対応できる。

価格と導入費用（目安）

約150万円～5,000万円（加工する材料の材質、板厚、板幅、送り長さなどによる）で導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、プレス加工の自動化により省力化と効率化を実現する。順送加工では、複数工程の金型をプレス機1台に集約し、本機器と連携することで材料供給を自動化できる。これにより作業者の負担軽減や不良削減が可能となる。導入時は、生産計画に適したシステム選定、コストバランスの検討、適切なメンテナンス計画が重要である。本機器を適切に活用することで、生産性向上と安定した品質確保が期待できる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-8	プレス間搬送ロボット	8件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

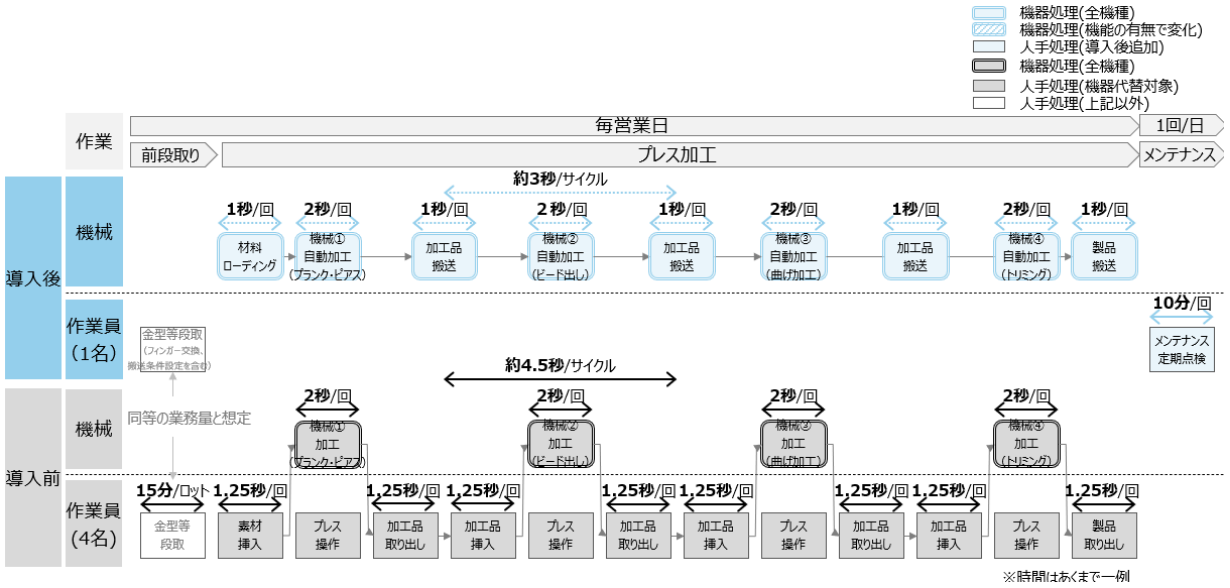
- 本システムは、自動車部品、精密機器、建築資材、金属加工品などの多工程プレス加工において、材料の搬送を自動化し、省力化が期待できます。
- 安定した搬送により生産効率が向上し、不良削減にも貢献するため、量産品から高精度製品まで幅広い製造業で活用されています。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

作業者が各プレス機で材料をセットし、プレス加工後に取り出すことを繰り返している
現状に対し、プレス間搬送ロボットにより自動搬送することで省力化が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-8	プレス間搬送ロボット	8件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

複数工程あるプレス加工品に対して、材料のプレスへの投入、取出しして順次、自動的に次のプレスに移送するシステム。

主に利用が想定される中小企業

自動車部品や精密機器、建築資材などのプレス加工を行う事業者

省力化効果

複数工程の単発加工を行う生産ラインに自動搬送ロボットを導入することで、材料の投入、搬送、排出業務を自動化し、省力化を実現できる。これにより、作業者1名で4人分以上の生産性を発揮することも可能となる。

価格と導入費用（目安）

約1,000万円から4,800万円程度で導入可能。
（ライン規模による）

活用事例・ポイント

本機器は、自動車部品や精密機器、建築資材などの多工程プレス加工において、材料の投入・取出し・移送を自動化し、省力化を実現する。作業者の負担を軽減しつつ、生産性の向上や不良削減にも寄与する。導入時には、生産工程に適したロボットの選定、搬送精度の確保、保守・メンテナンス計画が重要となる。適切に運用することで、省人化と品質向上を両立し、安定した生産体制を構築することが可能となる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-9	金属加工製品用洗浄装置	5件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本装置は、プレス加工やレーザー加工などで加工された金属部品に付着した鉄粉や油分、汚れを効率的に除去したい現場で活用できます。手作業による脱脂作業や穴内部の洗浄に時間がかかっている場合に効果的です。
- 環境負荷を抑えながら、脱溶剤化や安全対策を進めたい現場において、洗浄作業の効率化に貢献します。

置き換えが可能となる機能・性能

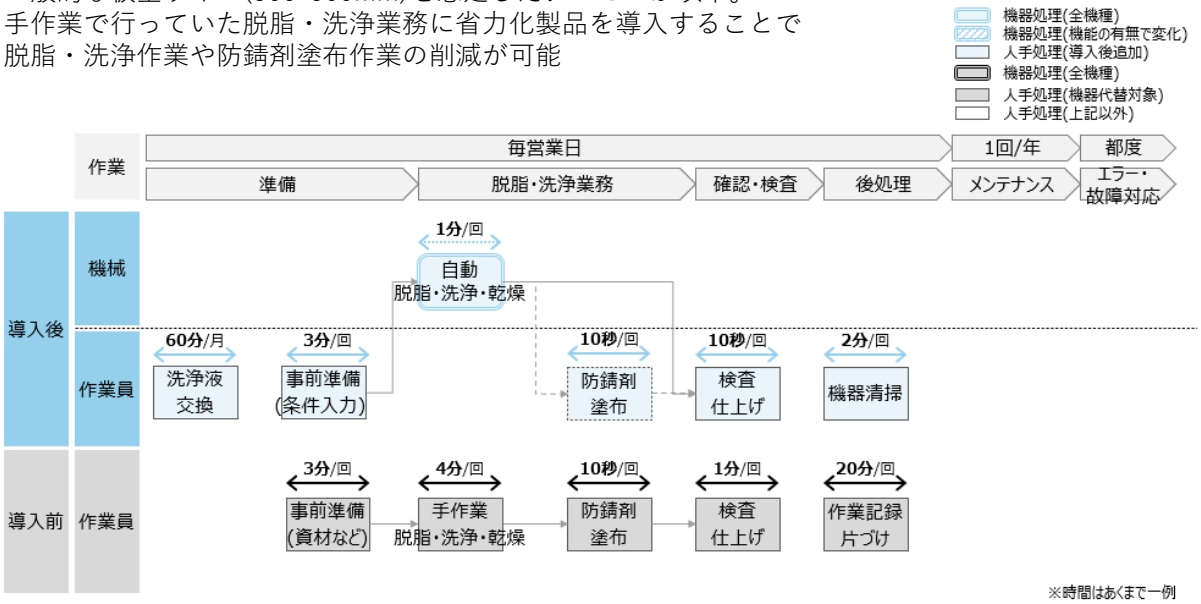
- 短期防錆効果

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

一般的な板金サイズ(500*500mm)を想定したプロセスが以下。
手作業で行っていた脱脂・洗浄業務に省力化製品を導入することで
脱脂・洗浄作業や防錆剤塗布作業の削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-9	金属加工製品用洗浄装置	5件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

プレス（パンチプレス含む）・レーザー・プラズマ加工機などで加工されたブランク材の表面・穴部などに付着する鉄粉・汚れ・加工油などを、シンナーなどの有機溶剤に代わり、水やアルカリ電解水等の洗浄液を貯留したタンクからポンプ・ノズルにより噴射をし、付着した汚れ・油を洗浄・脱脂を行う自動化装置。

主に利用が想定される中小企業

機械部品や金属加工製品の製造を行う事業者。

省力化効果

従来は有機溶剤を用いた手拭きや手洗いで行っていた洗浄工程を自動化することにより、作業時間を大幅に短縮できる。また、特に穴部の洗浄など時間と手間を要する作業の効率が飛躍的に向上する。環境負荷の高い有機溶剤の使用を避けられるほか、作業資格や安全対策にかかる負担も軽減され、全体として現場の業務効率化と安全性向上に寄与する装置である。

価格と導入費用（目安）

約1,000万円～2,000万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本装置は、鋼板やアルミ部品などの表面および穴部の洗浄・脱脂を自動で行えるため、手作業では困難だった細部の処理が可能となる。従来のシンナーなどを用いた作業と異なり、水やアルカリ電解水を使用することで、作業環境の改善や環境規制への対応がしやすくなる。小ロット多品種生産の現場でも、作業の標準化と品質安定に寄与する点が評価されている。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1 -10	プレス機械用トランスファ装置	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

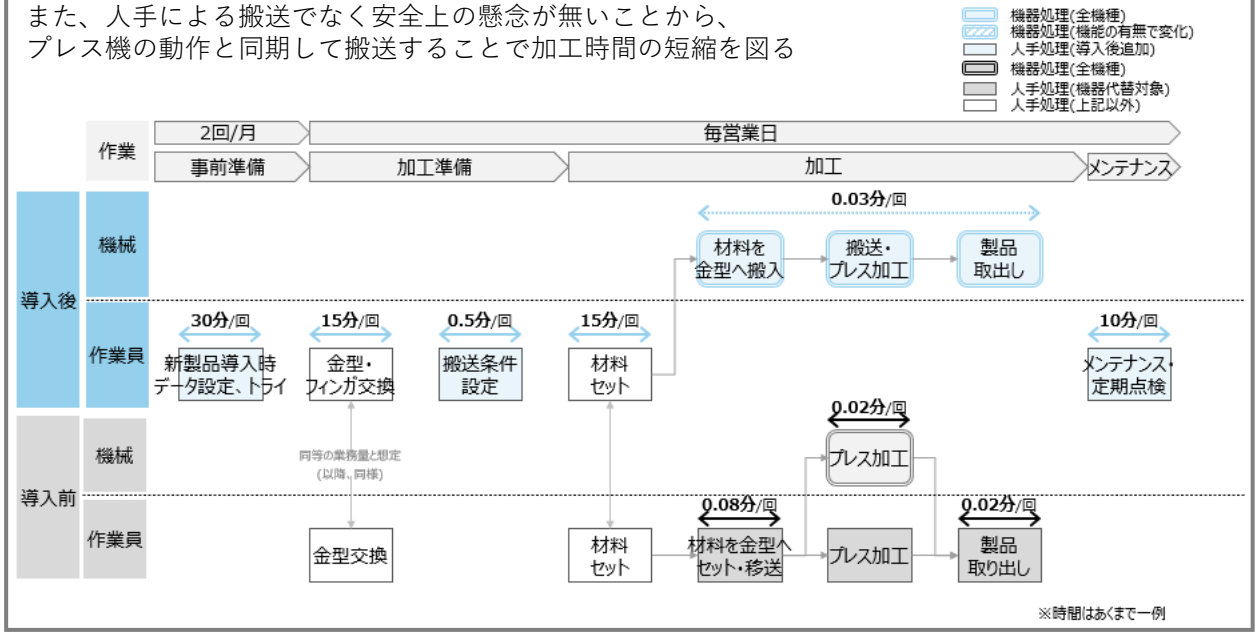
- プレス加工の現場で、1台のプレス機を使って複数工程の金型加工を行いたい場合に活用できます。
- 例えば、自動車部品や金属筐体などを複数ステップで成形する製造ラインにおいて、工程間のワーク搬送を自動化したい場面に適しています。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

製品導入により自動搬送することで省力化が可能。
また、人手による搬送でなく安全上の懸念が無いことから、
プレス機の動作と同期して搬送することで加工時間の短縮を図る



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-10	プレス機械用トランスファ装置	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

トランスファ装置は、１台のプレスで複数の金型を使用する場合に用いられ、各工程の製品をクランプ（掴み）、リフト（上昇）、フィード（横搬送）する事により次工程に搬送して、プレスで連続的に生産する装置で、プレスと同期運転を行う事により、プレスの動きに合わせた最適な動作をする事が可能となり、高速で生産が可能な自動化設備である。

主に利用が想定される中小企業

自動車部品や金属加工品の製造を行っており、プレス機を運用している事業者。

省力化効果

人手による工程間搬送が不要となるため、作業負担を大きく軽減できる装置である。プレス機と同期して動作するため、段取りの手間を減らしつつ高速・連続的な加工が可能となり、生産効率の向上に寄与する。特に工程数が多いラインにおいては、装置1台で複数作業を代替するため、大きな省力化効果を見込める。また、順送加工と比較して金型費用が抑えられるケースが多く、コストダウンにもつながる。

価格と導入費用（目安）

1,500～5,000万円程度（取り付けるプレス機のサイズによって異なる）。

活用事例・ポイント

複数の金型工程を1台のプレス機でこなす場合、従来は人手でワークを搬送していたが、本装置によりクランプ・リフト・フィードの一連動作が自動化される点がポイントである。
設備の省スペース化や安全性向上の観点からも導入が進められており、少人数でも安定的な生産体制を構築しやすくなる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1 -11	テーブル式スポット溶接機	12件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 板金部品を複数箇所でしっかりと接合したいときに活用できます。たとえば、自動車部品や金属製什器などの組立工程において、短時間かつ安定した溶接を行いたい場合に適しています。
- 従来は複数人でワークを保持しながら進めていた溶接作業も、テーブル上でワークを固定し、ガンを移動させるだけで作業が完了するため、少人数での対応が可能となります。

置き換えが可能となる機能・性能

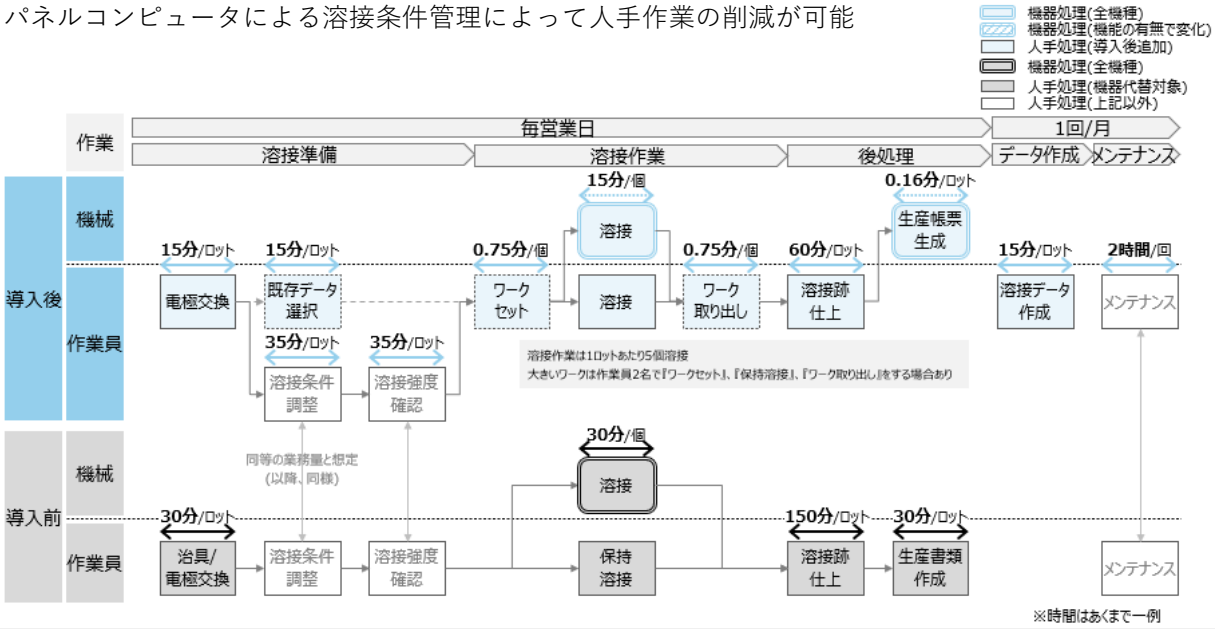
- 溶接条件管理機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

テーブル式電極でのワーク保持・位置決めと、
パネルコンピュータによる溶接条件管理によって人手作業の削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-11	テーブル式スポット溶接機	12件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

製品、部品を重ね合わせ加圧保持するためにテーブル式下電極とその電極上を自由に移動できる2個の各アームに配置された上電極を保持する水平ガンまたは垂直ガンで構成される溶接機。溶接条件の管理を容易とする機能を内蔵した製品も対象とする。製品のセット構成は、テーブル式スポット溶接機本体と溶接電源、冷却水循環装置を含む。また、大物ワークを加工する場合には、テーブルに大物ワークを載せる際にワーク搬送補助機能装置を導入することで、省力化効果を発揮できる場合がある。

主に利用が想定される中小企業

金属製の部品や筐体を扱う板金加工・製缶加工の事業者。

省力化効果

本装置では、テーブルそのものが下電極となっており、従来のようにワークを何度も動かす必要がない。作業者はガンを移動させるだけで次々とスポット溶接が可能となり、作業工程の短縮に繋がる。また、溶接条件データベースを使用し、最適な溶接条件を管理・活用することで、ひずみの発生が抑えられ、後工程の仕上げ作業の削減にも貢献する。

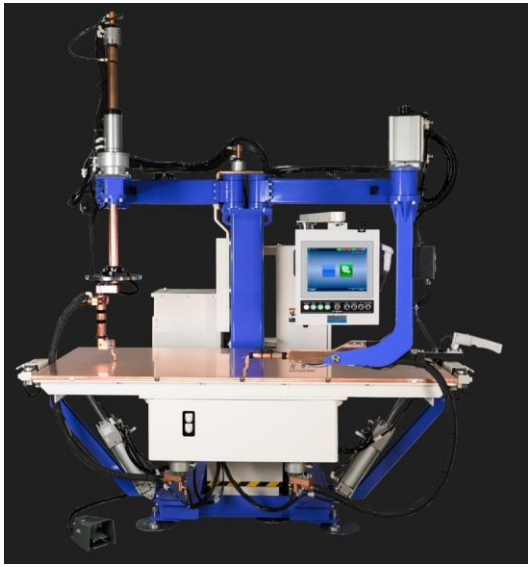
価格と導入費用（目安）

1,000～2,500万円程度（加工対象形状による機械仕様、機械本体のサイズにより価格帯が異なる）。

活用事例・ポイント

従来は複数人でワークを保持しながら行っていた工程も、テーブル式電極上で固定して作業ができるため、作業者の負担軽減と作業人数の見直しが期待される。
また、ガンの可動域が広く、大物ワークへの対応も可能であり、溶接個所が多い製品においても安定した品質を保ちながら作業時間を短縮できる点が特長である。溶接条件の記録や再現も容易であるため、類似製品の連続生産にも適している。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

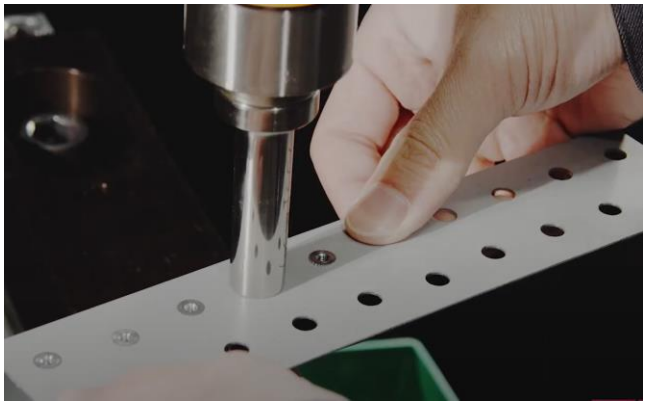
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1 -12	クリンチングファスナー圧入機	1件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 精密板金部品や自動車部品の製造現場で、ナットやスタッドを板金部材に圧入する作業に活用できます。
- 従来、汎用プレス機で治具を使って加工していた工程を、専用機に置き換えることで、段取りや加工品質の安定化が図れます。

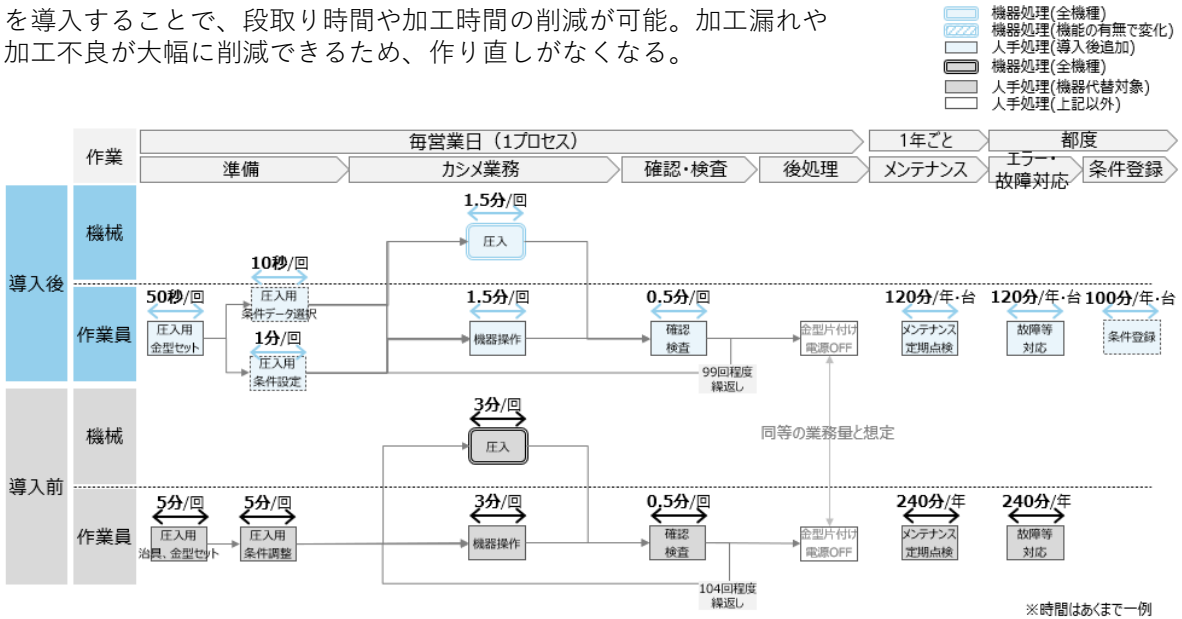
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

プレスブレーキや汎用プレス機で行っていたカシメ業務に省力化製品を導入することで、段取り時間や加工時間の削減が可能。加工漏れや加工不良が大幅に削減できるため、作り直しがなくなる。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1 -12	クリンチングファスナー圧入機	1件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

精密板金加工部品や自動車関連部品等において、クリンチングファスナーを板金部品の下穴に圧入するための専用プレス機です。クリンチングファスナーの品種に応じた適正な圧力を掛けて圧入することで脱落を防ぎ、やり直しの削減や品質の向上が見込める。また専用機を使用する事で段取り替えや条件設定を素早く行えるので、生産性の向上が見込める。

主に利用が想定される中小企業

精密板金加工や自動車部品製造を行う事業者。

省力化効果

製品導入前は、プレスブレーキ等の汎用機に専用の治具を取り付けて加工をしていて、専用の治具や金型のセット及び条件出し等の加工開始までの段取りに時間を要していた。また、加工では動作速度が専用機に比べ1/2程度遅く、板厚やナット等の厚みの違いで不良が発生する場合があった。しかし、製品導入により、段取り時間が低減でき、加工時の動作速度も2倍ほど速いため生産性が向上した。さらに専用機で適正な圧力を管理する事で加工不良が激減し、やり直し作業がほとんど発生しなくなった。

価格と導入費用（目安）

500～1,000万円程度。

活用事例・ポイント

圧入品質の安定化により、不良によるやり直し工数が削減され、品質保証が容易となる。特に多品種少量生産の現場では、段取り替えの迅速さが生産性に直結するため、専用機導入による効果が大きい。熟練工でなくても一定の品質で圧入作業が可能になる点もポイントである。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-13	精密板金向けTIG溶接協働ロボットシステム	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

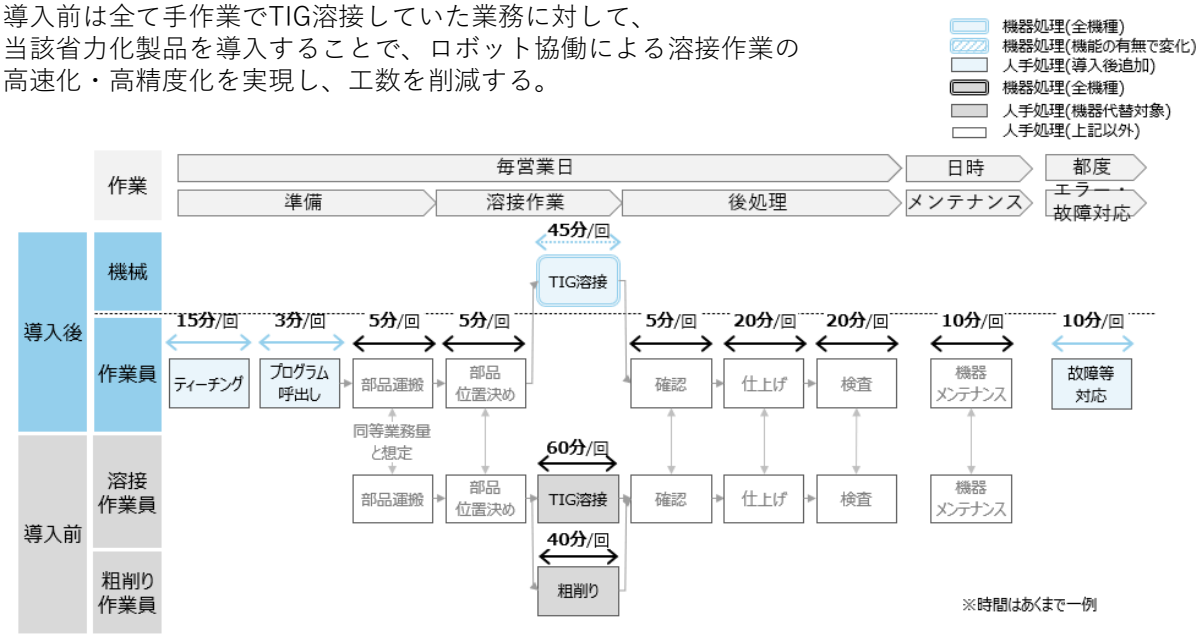
- 精密板金部品の少量多品種生産を行う町工場では、熟練作業者がTIG溶接を手作業で行っており、高い技術と時間を要します。
- そうした現場で本システムを導入することで、溶接経験の浅い作業者でも簡単にロボットを使った高品質なTIG溶接が行えるようになります。
- また、定盤上での溶接作業の繰り返し業務にも適しており、安定した品質を保ちながら作業者の負担を軽減できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

導入前は全て手作業でTIG溶接していた業務に対して、
当該省力化製品を導入することで、ロボット協働による溶接作業の
高速化・高精度化を実現し、工数を削減する。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-13	精密板金向けTIG溶接協働ロボットシステム	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

精密板金の加工品を溶接定盤に設置し、ダイレクトティーチングを特徴とする協働ロボットを用いて、ロボットや溶接未経験者でも簡単にTIG溶接を可能としたロボットシステム。

主に利用が想定される中小企業

主に金属製品や産業機械などの製造業で特にTIG溶接を人手で行ってきた事業者。

省力化効果

従来は熟練工2名によって行っていた精密TIG溶接作業を、本製品の導入によりロボットと作業者1名による作業に転換できる。これにより、もう1名の作業者は他工程へと従事できるため、現場全体の稼働率と生産性が向上し、省力化が実現される。また、協働ロボットによる均一な溶接品質の実現により、後工程の手直しや品質不良の発生も抑制される。さらに、ダイレクトティーチング機能により、溶接条件の設定や調整も簡略化され、準備時間も短縮可能となる。

価格と導入費用（目安）

約1,000万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本製品は、溶接定盤上に設置した精密板金部品に対し、作業者が直接ロボットに動作を教示できるため、CADや専門プログラミングが不要である。これにより、溶接未経験者や非専門人材でも運用が可能となり、属人的な溶接工程の標準化・平準化を図ることができる。また、導入後は作業者が溶接と並行して他作業を行うことが可能となるため、多能工化の推進や現場の省力化に寄与する。加えて、作業者はロボットとの協働を通じて自然とTIG溶接の知識や感覚を習得できるため、技能の継承や人材育成にも繋がる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

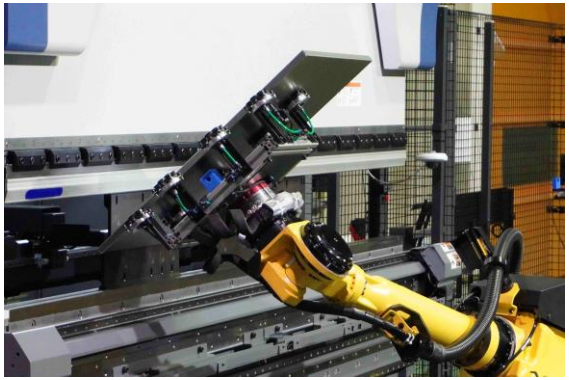
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-14	プレスブレーキ用ロボットシステム	1件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 金属製品の曲げ加工を行う町工場などでは、これまで熟練の作業員がプレスブレーキを操作し、1枚ずつ手作業で曲げ加工を行っていました。このような現場で、繰り返し加工が多く、作業の標準化が求められるケースにおいて、本システムは有効です。
- たとえば、同一形状の板金部品を大量に加工する場合、人手に頼ると疲労やばらつきが出やすいところを、ロボットによる安定した自動加工で対応することができます。

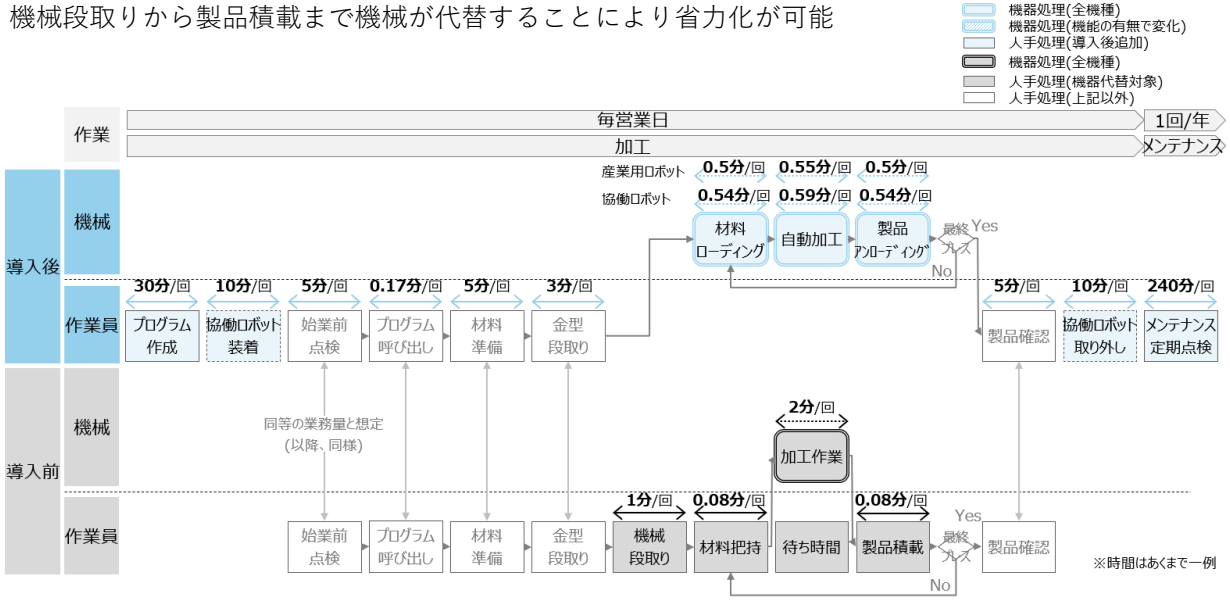
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

機械段取りから製品積載まで機械が代替することにより省力化が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-14	プレスブレーキ用ロボットシステム	1件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

プレスブレーキを用いた曲げ加工に必要な工程を、ロボットにより自動化するシステム。
産業用ロボットもしくは協働ロボットと、制御盤・制御装置で構成される。

主に利用が想定される中小企業

主に、複数のプレスブレーキを保有し、金属製品の曲げ加工を自社で行っている製造業の事業者。

省力化効果

プレスブレーキを用いて行っていた曲げ加工業務について、従来は機械の段取りから製品の積載まで一連の作業を人手により行っていたが、本システムを導入することで、材料のローディングから曲げ加工、製品のアンローディングまでの一連の作業を自動化することができる。

価格と導入費用（目安）

約500万～約800万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

曲げ加工が必要な中小型の板金部品を多品種小ロットで製造している工場に適しており、段取りやティーチング作業も簡素化されている点がポイントである。また、ロボットによる自動運転中に作業者が別のプレスブレーキを操作するなど並行作業が可能な点は、生産現場全体の効率向上に寄与する。さらに、バラつきのない加工品質が得られるため、後工程での修正作業が減少し、全体の工程負担軽減にもつながる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1 -15	金型・大型部材用反転機	20件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

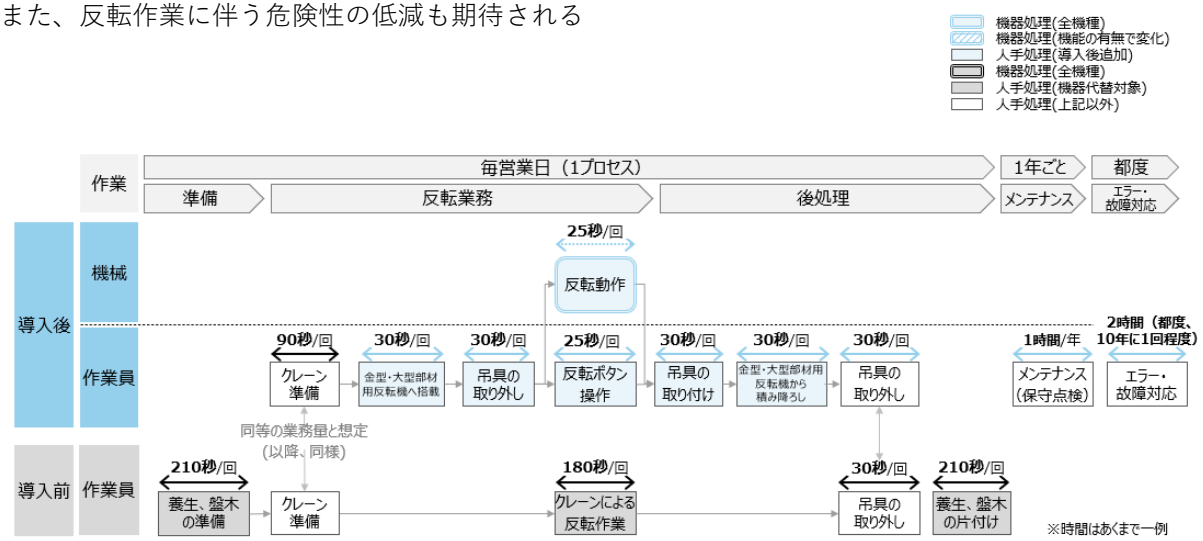
- 工場で金型や大型の部材を反転させる作業は、通常クレーンや複数人の作業者が必要となり、安全面でも配慮が求められます。
- この装置を使えば、反転作業を1人で行うことが可能になり、クレーン作業の待ち時間をなくしつつ、安全かつ効率的に作業を進めることができます。
- 特に、反転作業が頻繁に発生する金型のメンテナンスや部品加工の現場で有効です。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

金型や大型部材の反転作業に、金型・大型部材反転機を導入することで、
高い技術が必要となるクレーンによる反転作業を削減することができる。
また、反転作業に伴う危険性の低減も期待される



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1-15	金型・大型部材用反転機	20件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

金型や大型部材等の重量物を反転機に設置後、その反転作業をホイストやクレーンを使用しないで自動で安全、スピーディかつ資格不要で行えるようにした装置。反転機本体の他、操作盤で構成される。
定置型のもので、90°回転の製品を対象とする。

主に利用が想定される中小企業

主に、金型や大型部材の加工・保守を社内で行っている製造業の中小企業で、クレーン資格者が限られており、作業負担や安全面に課題を抱えている事業者。

省力化効果

本装置を導入することで、従来は天井クレーンによる金型反転作業に要していた準備・操作・後片付けといった複数工程が不要となる。操作盤による簡易な操作で反転が可能となるため、作業時間の短縮、作業員の拘束時間削減、安全性の向上が見込まれる。結果として、限られた人員でも継続的に反転作業を行えるようになり、省力化が実現される。

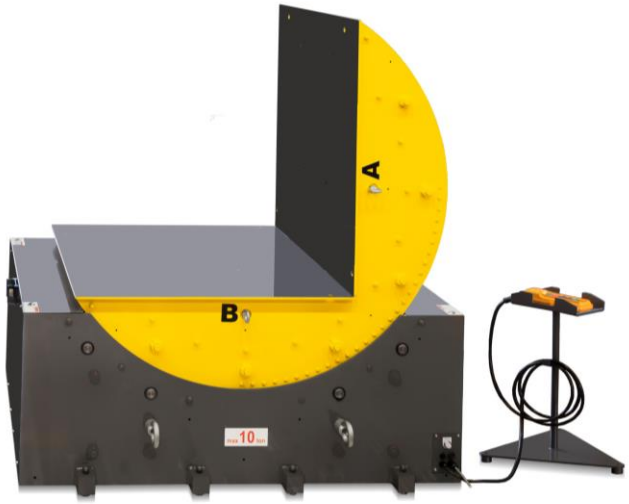
価格と導入費用（目安）

約160万円～410万（反転対象物の重量、サイズによって異なる）

活用事例・ポイント

従来の反転作業に必要だった有資格者（クレーン資格など）や熟練者の確保が不要となり、誰でも簡単に操作できる点が最大のポイントである。反転作業に特化した設計により、安全かつ均一な回転動作が可能であり、作業品質の安定化にも寄与する。90度固定式での反転を目的とした設計のため、部品検査やメンテナンス作業の工程にも組み込みやすく、他工程への応用展開がしやすい。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1 -16	プレスブレーキ用 金型交換サポート装置	3件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

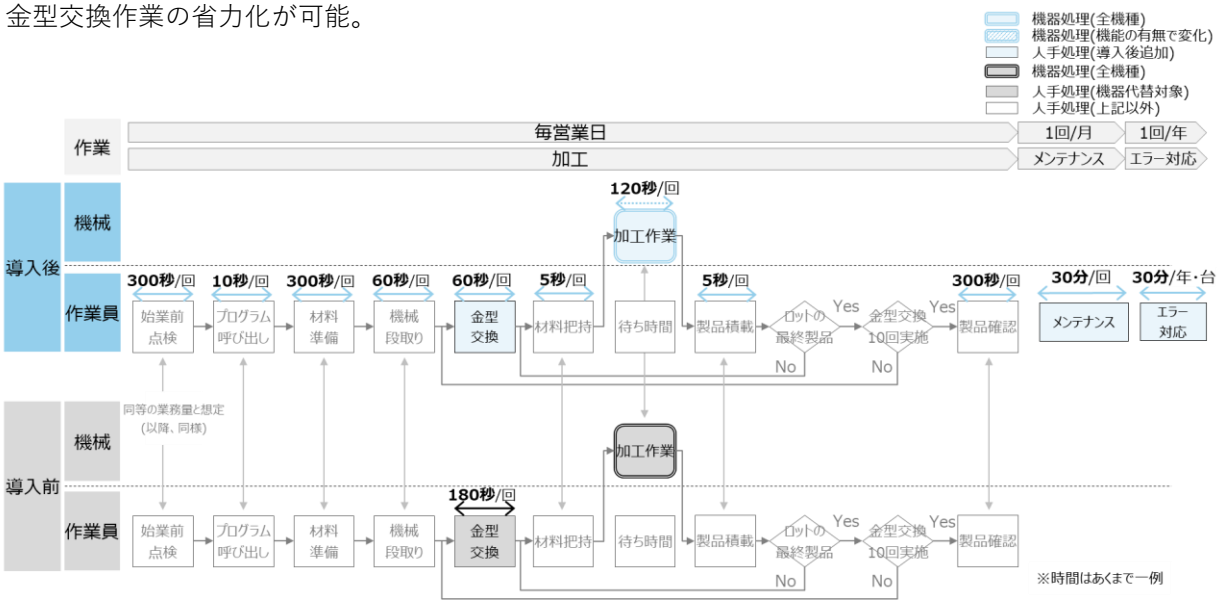
- 厚板や大きめの金属部品を曲げるために重量金型へ交換する際、作業者が持ち上げずに安全に段取りすることが可能となります。
- また、多品種少量の板金加工で、曲げ形状が頻繁に変わり金型交換が多発する現場で利用することで、段取り時間を短縮することが可能となります。
- 新人作業者が多い板金工場で、誰でも安全・確実に金型交換できる環境を整えたいときにも有効です。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

本機器の導入により、プレスブレーキ曲げ加工業務における金型交換作業の省力化が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-1 -16	プレスブレーキ用 金型交換サポート装置	3件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

板金加工の長尺製品曲げ工程において、プレスブレーキ本体近傍に設置した金型収納棚から重い金型をスライドさせて取出し、本体に装着する一連の人手で実施する作業をサポートし、加工終了後は、本体から取り出された金型を金型収納棚にスライドさせて移動、収納する作業のサポート装置である。この装置は、金型が重いと一人作業が困難で、従来二人作業で行っていた作業を老若男女問わず一人でできるようにサポートする装置である。構成は金型収納棚、金型支持・移動装置から成る。

主に利用が想定される中小企業

主に、板金加工事業者。

省力化効果

製品導入前は、保管されている重い金型交換の場合は二人作業で移動させ、プレスブレーキ本体への装着や取外し後の保管場所への移動を行っており、取付と取外しの交換作業に時間が掛かっていた。これに対し、本装置を導入することで重量金型の収納棚からの搬出・搬入とプレスブレーキ本体への装着・取外しを、金型を持ち上げることなく、横押しで滑らせて行うことが一人で短時間で作業可能となる。

価格と導入費用（目安）

450万円～

活用事例・ポイント

プレスブレーキ用金型交換サポート装置は、板金加工現場での金型交換作業を安全かつ効率的に行うために活用される。重量金型をアーム上でスライド移動でき、持ち上げ作業を大幅に削減。落下事故や腰への負担を防ぐ。長尺金型の安定保持や精密金型の保護にも有効で、多品種少量生産で頻繁な段取り替えが発生する現場でも、交換時間の短縮と作業者の負担軽減に貢献する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-2 -1	鋳物用自動バリ取り装置	18件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

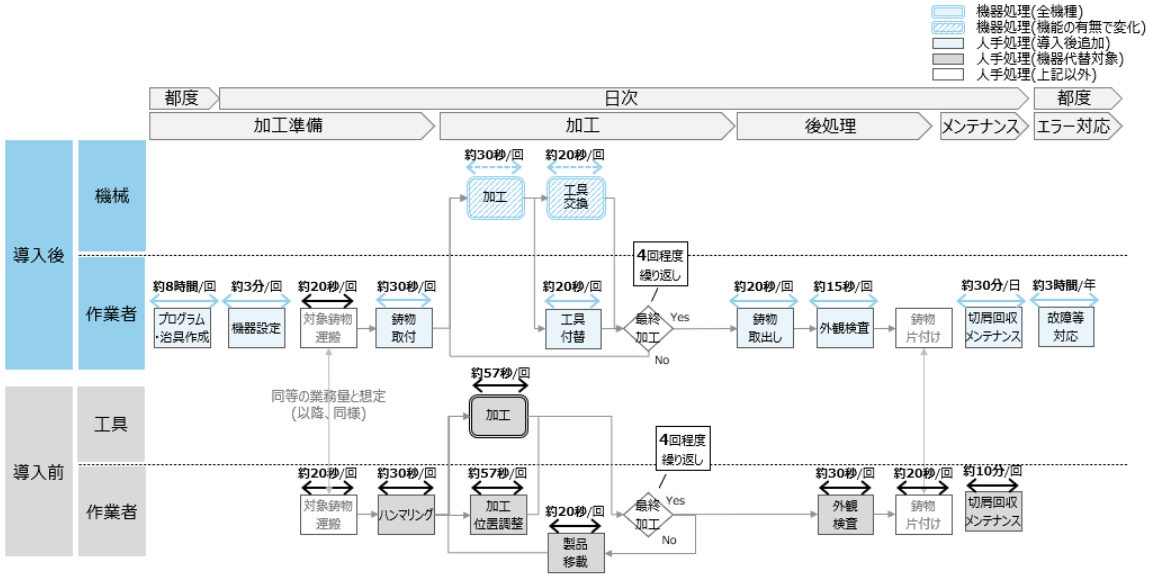
- 従来は熟練の技術による手作業で行っていたバリ取り作業を自動化することで、熟練者の技術に依存せず、機械による数値制御が可能になり、大幅な省力化が見込めます。
- 本機器を導入することで作業員ごとのバラつきがあった仕上がりの差や品質の安定にも貢献します。

活用イメージ

※無断転載を禁す

業務プロセスの変化（例）

鋳物用自動バリ取り装置を導入する事で、これまでグラインダーを用いて手作業で行っていたバリ取り作業の工数を削減する事が可能となる。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-2-1	鋳物用自動バリ取り装置	18件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

鋳造工程で発生する鋳物の突出部や製品に不要な部分（バリ）の除去等の作業を行うための自動化設備。

主に利用が想定される中小企業

鋳物製造業を行う事業者。

省力化効果

本機器の導入により、熟練者の経験則を機械による数値制御に切り替え、作業の自動化と省力化が実現します。バリ取り作業における、工具の切り替えや鋳物のセッティングも自動で行えるようになり、大幅な省力化が見込めます。

価格と導入費用（目安）

2,500万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

仕上がりが製品外観や部品の組み合わせに大きな影響を及ぼすため、高い精度が求められるバリ取り作業において、
本機器を導入し自動化することで、大幅な省力化が見込まれます。
また、作業員ごとにバラつきがあった仕上がりの差や品質の安定にも貢献します。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

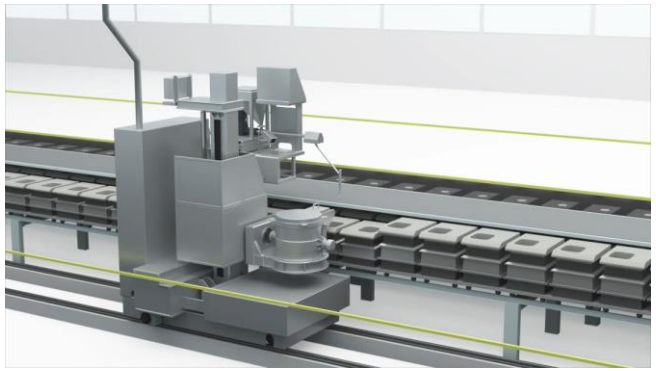
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-2-2	鋳造用自動注湯機	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 鋳造現場では、従来、作業者が手作業で溶湯を注ぐ工程を行っていましたが、鋳造用自動注湯機を導入することで、これらの作業が自動化され、大幅な生産性向上が期待できます。
- 安定した注湯精度により、不良品を削減し、品質の均一化と作業負担の軽減を実現します。

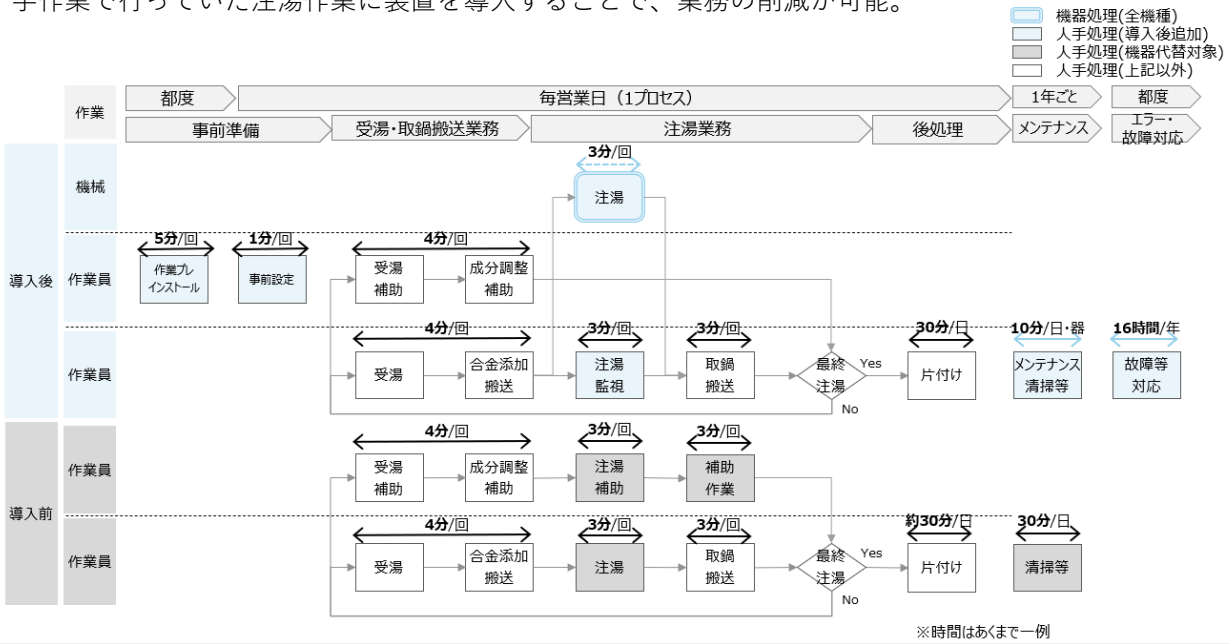
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた注湯作業に装置を導入することで、業務の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-2-2	鋳造用自動注湯機	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

鋳造品の製造工程のうち、溶かした金属を型に流し入れる作業を自動化するための装置。

主に利用が想定される中小企業

鋳物製造業を行う事業者。

省力化効果

一般的な鋳造工場では、溶湯を鋳型へ注ぐ作業において、取鍋の移動、注湯量や速度の調整、溶湯の温度管理など、多くの工程で熟練作業者の手作業が必要があった。鋳造用自動注湯機の導入により、これらの作業が自動化され、大幅な生産性向上と省力化効果が期待できる。

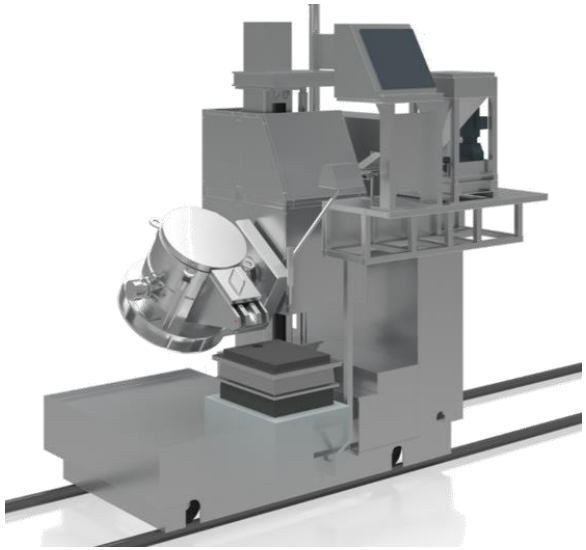
価格と導入費用（目安）

3,800万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器の導入により、危険性を伴う負担の大きい作業が自動化され、安全性が向上する。不純物の混入防止や温度管理機能により、不良品の発生を抑え、製品の品質が安定する。これにより、作業効率の向上、省力化、作業環境の改善が実現する。また、少量多品種生産や複雑な工場レイアウトにも対応でき、多様な生産ニーズを満たす。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-2-3	鋳造用ブラスト装置	5件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 鋳造現場では、従来、ブラスト処理の際に作業者が手作業で鋳物を機器に投入・取出をしていました。しかし、鋳造用ブラスト装置を導入することで、これらの作業が自動化・高速化され、生産性の大幅な向上が期待できます。
- マルチテーブル・インデックス型ブラスト装置は、鋳物の投入・取出を短時間の手作業で行う事が可能です。タンブラー型ブラスト装置は、投入・取出を自動化する事で作業負担を大きく削減する事が出来ます。これにより、作業の効率化、不良品削減、品質の均一化が実現し、大幅な省力化効果が見込めます。

置き換えが可能となる機能・性能

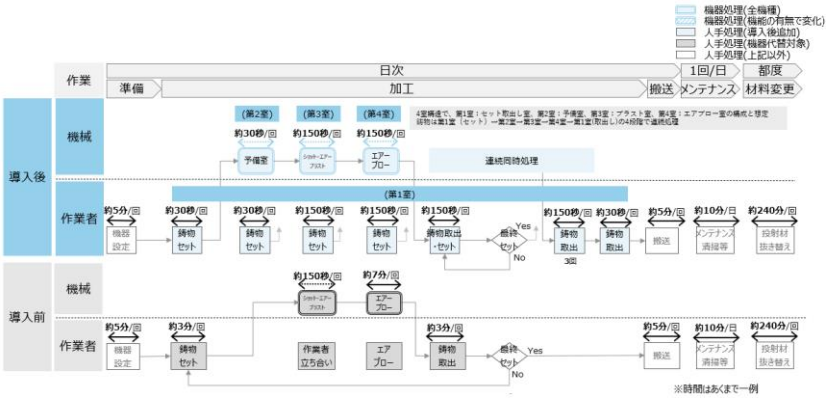
- トロンメルセパレーター（分離機）
- 投入排出位置でのテーブルまたはハンガー回転駆動解除
- ショットブラスト装置におけるエアーブロー機能（払落し機能）

活用イメージ

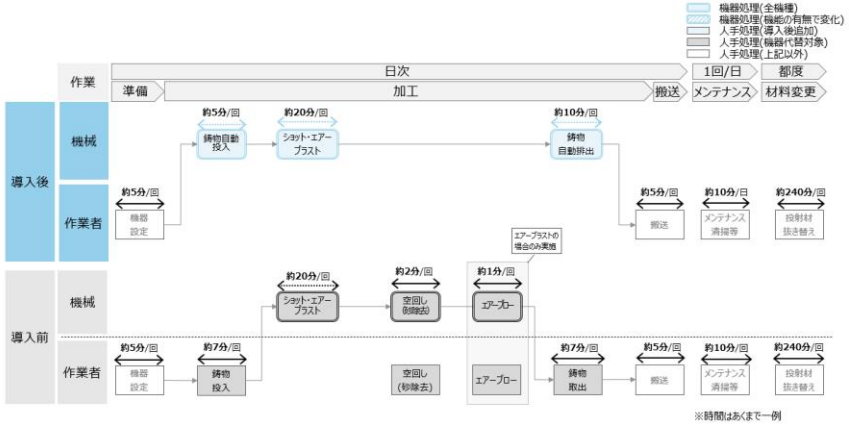
※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

鋳造用ブラスト装置（**マルチテーブル・インデックス型**）導入により装置への鋳物の投入・取り出し業務の工数を削減することが可能。



自動投入排出機能付き鋳造用ブラスト装置（**タンブラー型**）導入により装置への鋳物の投入・取り出し業務の工数を削減することが可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-2-3	鋳造用ブラスト装置	5件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

使用する投射材の種類によって「エアーブラスト」・「ショットブラスト」の両装置が存在し、遠心力や圧縮した空気を利用して投射材を製品に吹き付けることで、製品の表面の研磨、錆の除去、塗装の下地処理などを行う装置。本補助金では従来、作業者が手作業で行っていた鋳物の機器への投入・取出を自動化・高速化するタンブラー型（自動投入・自動排出が可能な装置）及びマルチテーブル・インデックス型のブラスト装置を対象とする。

主に利用が想定される中小企業

鋳物製造や金属加工を行う事業者。

省力化効果

鋳造工程を経て型から取り出された銑鉄等の鋳物は、表面に酸化物や砂が付着しており、そのままでは機械加工ができず、塗装の定着も難しいという課題があるためエアーブラスト、ショットブラストで表面処理を行う。マルチテーブル・インデックス型ブラスト装置では、鋳物の投入・取出を短時間の手作業で行う事が可能とし、タンブラー型ブラスト装置では、投入・取出を自動化する事で作業負担を大きく削減する事を可能とする。
これにより、作業の効率化、不良品削減、品質の均一化が実現し、大幅な省力化効果が見込める。

価格と導入費用（目安）

500万円～2,500万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、鋳物製造や金属加工の現場で効率化と省力化に活用される。特に重量物の鋳物の表面処理や大量生産工程で効果を発揮し、投入・排出の自動化により少人数で負担の少ない作業が可能となる。自動投入・排出機構で無人化を実現し、作業時間の短縮と作業者負担の軽減が図れる。
また、ショットブラスト装置は、鋳物の表面から酸化物や砂を効率的に除去し、機械加工や塗装に適した状態に仕上げ、エアーブラスト装置は材質に応じた投射材を用いた多用な表面処理が可能であり、製品品質の向上もまた期待できる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-2 -4	鋳造用自動駆動ミキサー（グリッド造型システム）	1件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

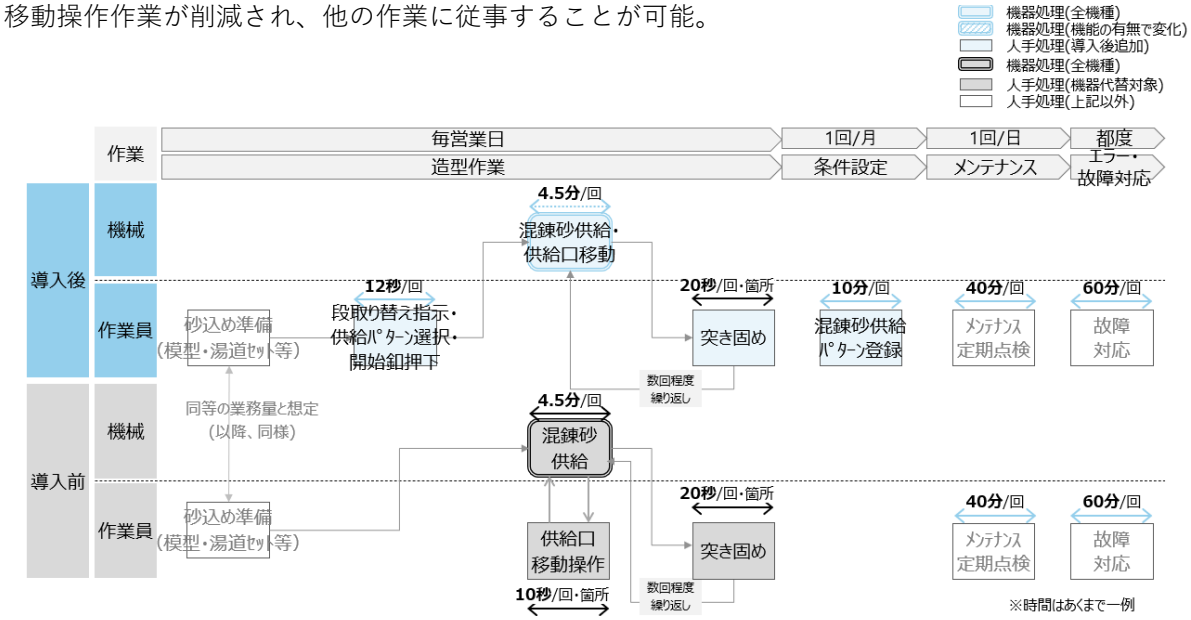
- 本機器は、効率的な造型作業が求められる鋳造工場で活用できる装置です。特に、大型模型を扱う現場や、多品種少量生産が求められる工場に適しています。
- 自動駆動機能により、ミキサーの移動操作が不要となるため、少人数でも安定した造型作業を行うことができます。これにより、作業時間の短縮と省力化が期待されます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

鋳造用自動駆動ミキサーを使用することにより、模型に応じた混錬砂供給口の移動操作作業が削減され、他の作業に従事することが可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-2-4	鋳造用自動駆動ミキサー（グリッド造型システム）	1件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

鋳造工場における砂型作成の付帯作業を自動補助する装置で砂供給部、駆動モーター、ミキサー、制御盤・操作盤で構成されたシステム。旋回タイプ、スライドタイプを対象とする。
なお、金枠フレーム自体がスライドするタイプは対象外とする。

主に利用が想定される中小企業

銑鉄鋳物製造業

省力化効果

本機器の導入により、造型作業における付帯作業の省力化が図れる。従来、造型作業では、模型の各ポイントに適切に混練砂を供給するため、作業者が手動でミキサーの砂排出口を移動させる必要があった。特に大型模型の場合は、造型作業者とは別にミキサーの移動専任者を配置しなければならず、作業負担が大きかった。自動駆動ミキサーを導入することで、模型情報をデジタル管理し、適切な供給ポイントへ砂排出口を自動で移動できるようになる。これにより、作業者が手動でミキサーを操作する必要がなくなり、造型作業の負担軽減と省力化が実現する。

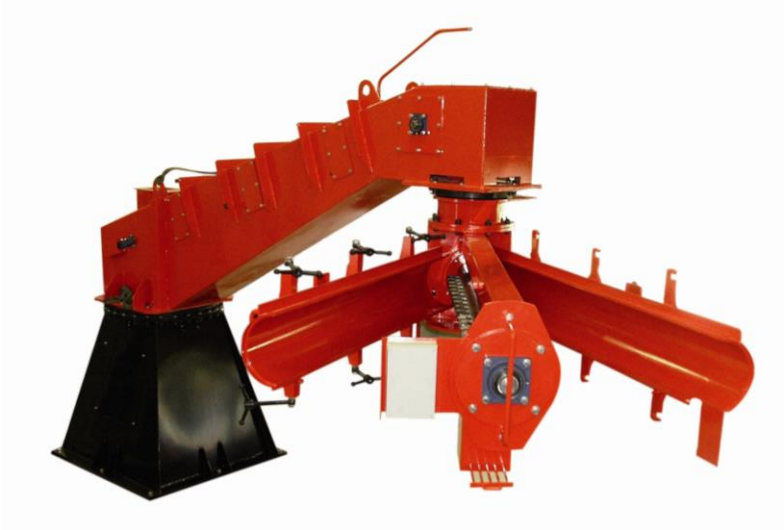
価格と導入費用（目安）

1,000万～4,000万円程度（作成する砂型のサイズにより異なる）

活用事例・ポイント

本機器は、鋳造工場における造型作業の省力化を実現する装置である。自動駆動ミキサーの導入により、ミキサーの移動操作を自動化し、造型作業者が本来の業務に集中できる環境を提供する。
また、本機器は模型情報をデジタル管理し、適切な供給ポイントへ砂排出口を自動で移動させる機能を備えているため、作業負担の軽減と生産性の向上に貢献する。これにより、熟練工の減少や人手不足が課題となっている鋳造工場での活用が期待される。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

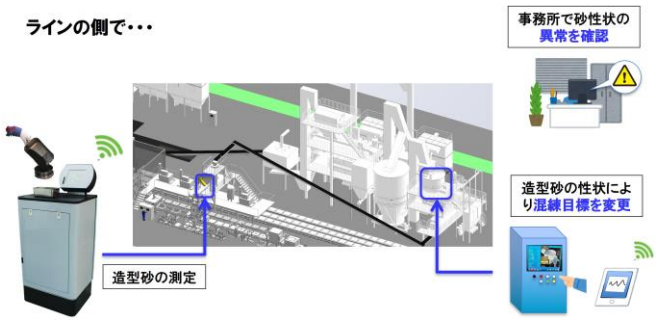
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-2-5	鋳造用砂性状自動測定装置	3件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本装置は、鋳造工場において、生型造型に使用する混練砂の性状管理が求められる現場で活用できます。例えば、製品の品質を左右する鋳型の精度を安定的に維持したい工場や、熟練作業者の減少により砂性状の測定作業を自動化したい現場に適しています。
- これまで作業者が手動で行っていた水分量や圧縮強度、通気度などの砂性状測定を自動で行うことで、測定結果のバラつきを防ぎ、安定した品質管理が可能となります。また、砂の投入後は、測定からデーター表示までを一括で自動化することで、作業者の負担軽減と作業時間の短縮が期待できます。

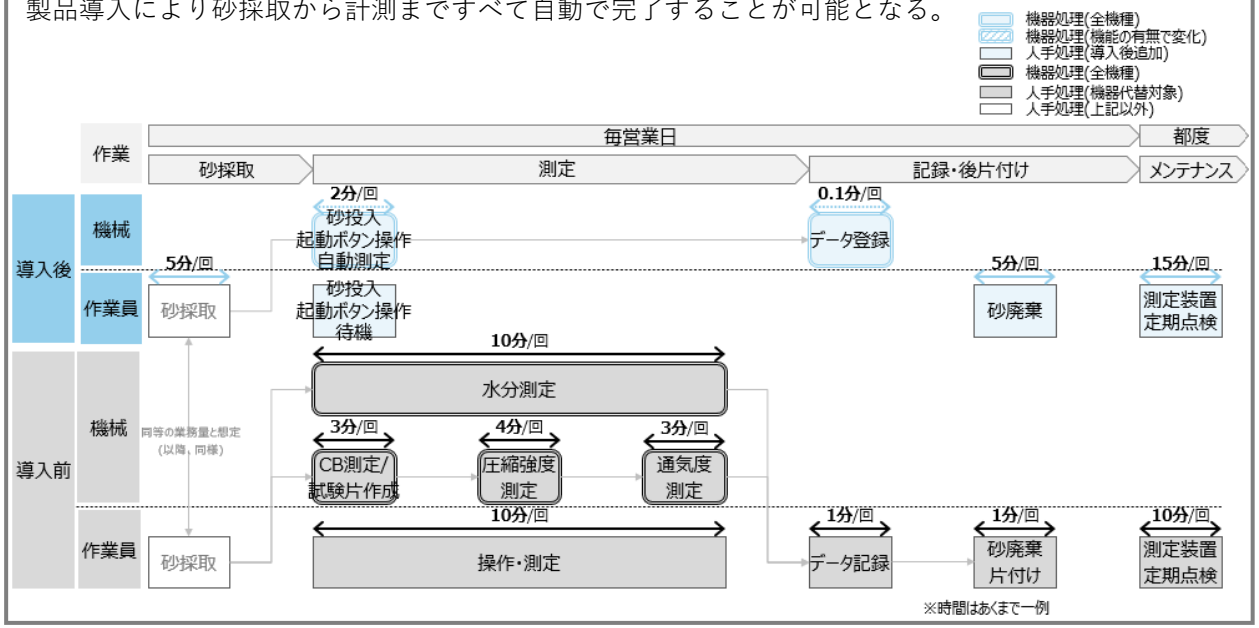
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業でサンプルの砂を採取し各試験機で計測しているところ、
製品導入により砂採取から計測まですべて自動で完了することが可能となる。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-2-5	鋳造用砂性状自動測定装置	3件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

鋳造工場において使用される生型用混練砂の性状を自動測定する装置。
砂採取機能を有する装置も対象とする。

主に利用が想定される中小企業

銑鉄鋳物製造業

省力化効果

本装置の導入により、生型造型に用いる混練砂の水分量、CB値、通気度、圧縮強度などの性状測定が自動化され、従来の手動測定に比べて作業工数の削減と測定品質の安定化が実現する。特に、鋳物製造現場では砂性状が鋳型の精度や鋳物製品の品質に直結する重要工程であり、砂性状を安定させることで製品不良の低減が期待できる。これまで作業者の経験や勘に頼って行っていた測定作業が不要となることで、熟練者に依存しない品質管理が可能となり、省力化とともに技術伝承の課題解決にも寄与する。

価格と導入費用（目安）

約450万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本装置は、鋳物製造業における生型造型工程での品質管理と省力化に大きく貢献する装置である。従来、各種測定器具を用いて手作業で実施していた砂性状の検査工程を自動化することで、作業時間の短縮と人的負担の軽減が可能となる。特に、中小鋳造工場では熟練作業者の高齢化と人手不足が深刻化しており、本装置を活用することで作業標準化と品質安定化が実現できる。また、自動測定により測定データの蓄積や管理が容易になり、品質改善活動や製造条件の最適化に役立てることができる点も重要なポイントである。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

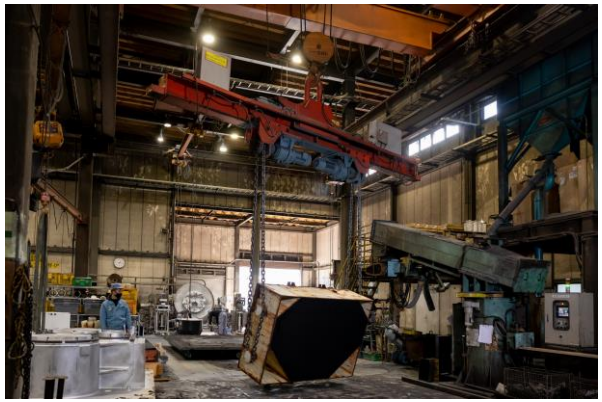
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-2-6	鋳造用反転装置	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 鋳造工場で鋳型の抜き取りや型合わせなど、上下反転や回転を伴う作業を行う際に活用できます。
- 重たい鋳型を安全かつスムーズに反転できるため、作業者の負担を軽減しながら効率的に作業を進めることができます。

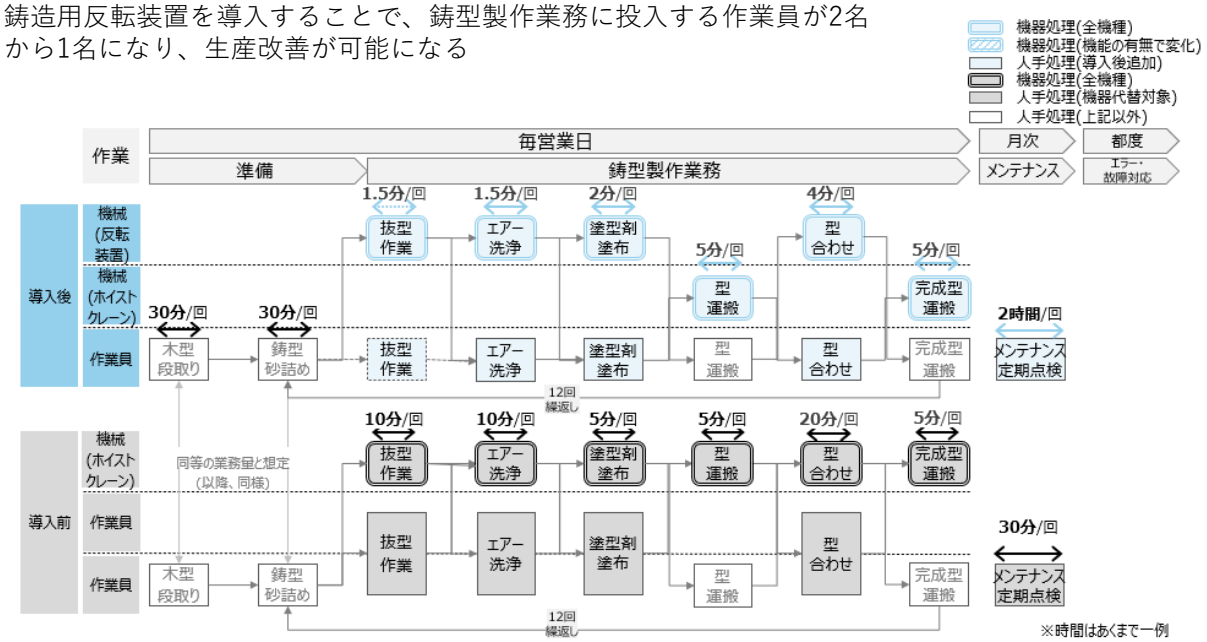
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

鋳造用反転装置を導入することで、鋳型製作業務に投入する作業員が2名から1名になり、生産改善が可能になる



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-2-6	鋳造用反転装置	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

鋳造工場において型などの重量物を自在に回転させ、型の分離・一体化作業や塗型作業等を補助する装置。
・「吊り下げ式」「定置型」タイプを対象とする。
・90°回転の製品は対象外。
・耐荷重50Kg以上の製品を本カテゴリの対象とする。

主に利用が想定される中小企業

鋳物製造を行う事業者。

省力化効果

鋳型の抜き取りや型合わせの工程は、重量物を人力で反転・操作する必要があり、作業者にとって大きな負担となっていた。
本装置を導入することで、型の姿勢変更や反転を機械的に行うことが可能となり、作業時間の短縮とともに、作業負担を大幅に軽減できる装置である。また、作業の安定性が向上することで、不良発生の抑制にもつながる。

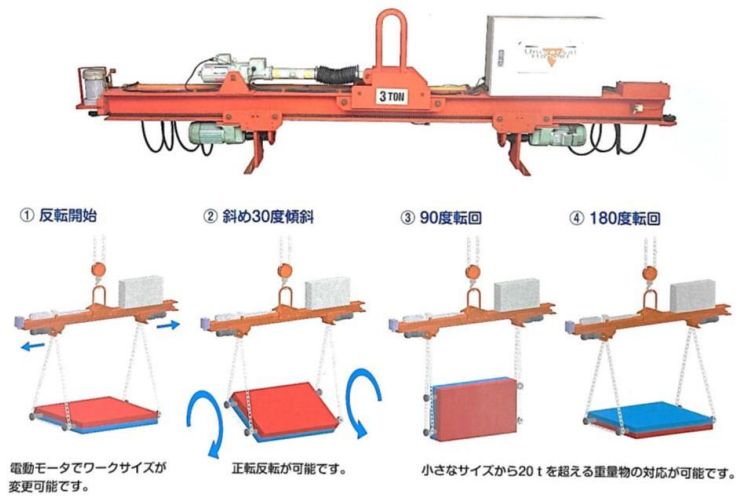
価格と導入費用（目安）

小型機（0.1㌧用～）　：130万円～
中型機（１㌧用～５㌧用）：530万円～700万円
大型機（10㌧用～）　：～1,700万円

活用事例・ポイント

鋳型の抜き取りや型合わせの場面で、従来は複数名による人力作業が必要であったが、本装置により安全かつ確実な反転操作が可能となった。特に吊り下げ式タイプは既存のクレーン設備と組み合わせて導入しやすく、小規模な現場でも柔軟に対応できる点がポイントである。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-3-1	インライン非破壊検査装置（内部不良検査）	4件	製造業、卸売業	検査

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

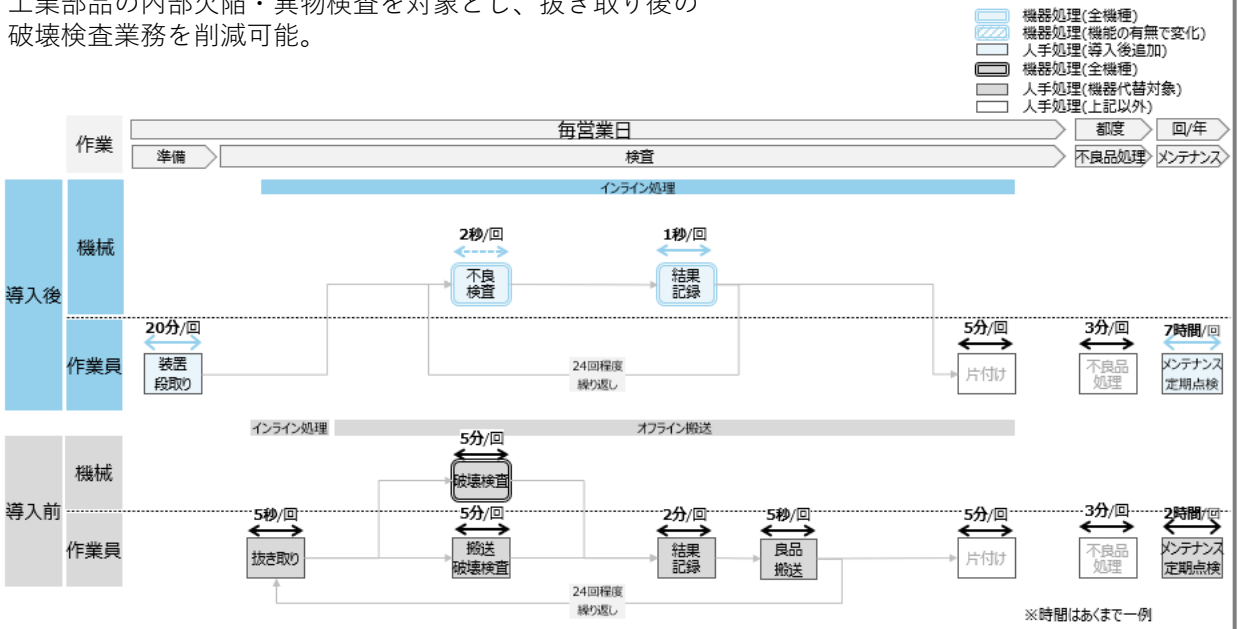
- 本機器は、自動車部品や電子機器、食品容器、金属加工品などの内部品質を迅速かつ正確に検査でき、省力化が期待できます。
- 製品を破壊せずに全数検査が可能なため、品質管理や不良品の早期発見に役立ち、幅広い製造業で活用されています。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

工業部品の内部欠陥・異物検査を対象とし、抜き取り後の破壊検査業務を削減可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-3-1	インライン非破壊検査装置（内部不良検査）	4件	製造業、卸売業	検査

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

エックス線・超音波・電磁波・磁場を用いて、製品の内部を検査する装置。

主に利用が想定される中小企業

自動車部品や電子機器、食品容器、金属加工など、
内部品質の検査を行う事業者。

省力化効果

これまでの品質管理は抜き取り検査や破壊検査が主であった。製品を破壊（分解）して内部を検査していたため、多くの人員、労力、時間が必要となり、破壊された検査物は廃棄されることで無駄が発生していた。また、検査対象は全数検査ではなく抜き取り検査であったため、出荷される製品自体の品質保証が十分に行われていないという課題もあった。
本機器を導入することで、省力化が可能となり、人員や労力を削減しながら、生産効率の向上と無駄の削減が実現する。また、全数検査による品質向上が可能であり、自動化を進めることで検査時間を大幅に短縮できる。
非破壊検査の手法は、X線、超音波、電磁波、磁場などが主に用いられ、あらゆる製造業に広く応用されている。

価格と導入費用（目安）

検査装置の種類によるが、約300万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、製造ラインでの全数検査を可能にし、生産現場の効率化と品質向上を同時に実現する装置である。自動化された検査プロセスにより、生産ラインを停止せずに内部不良をリアルタイムで検出できる点が特長である。
エックス線、超音波、電磁波、磁場といった多様な手法を用いて、自動車部品や電子機器など幅広い製造業で活用が期待される。また、早期に不良品を検出することで、後工程での無駄や再加工を削減し、品質の均一化と生産効率の向上を支援する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-3 -2	インライン非破壊検査装置（外部不良検査）	4件	製造業、卸売業	検査

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

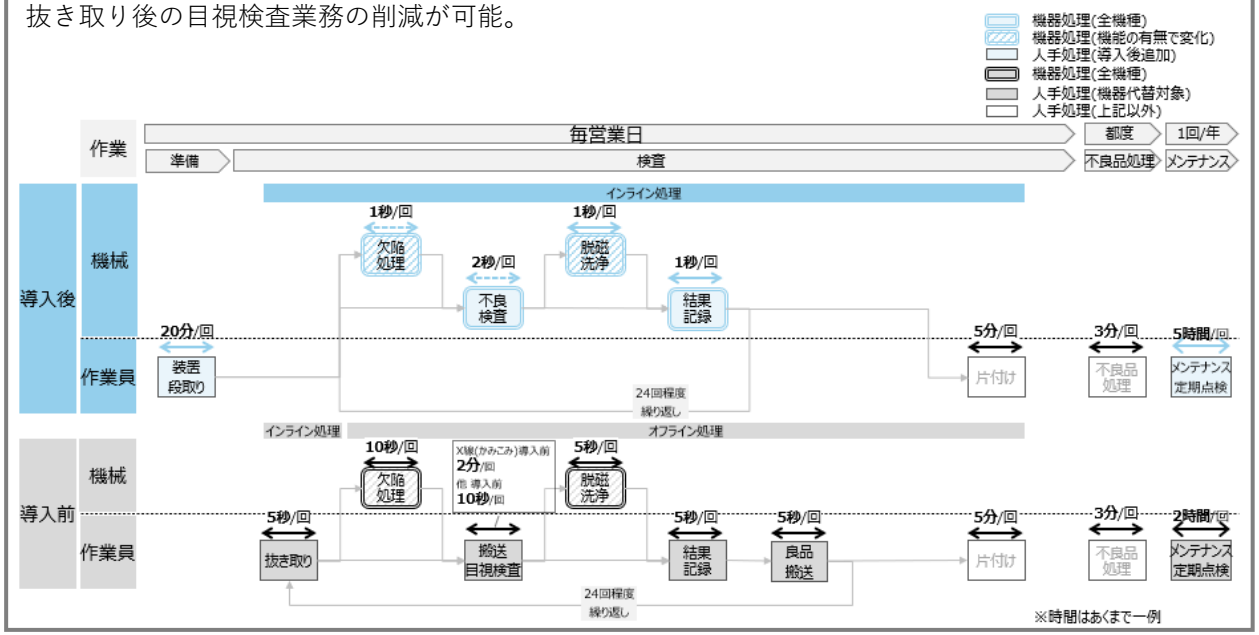
- 本機器は、自動車部品や電子機器、食品容器、金属加工品などの外観不良を迅速かつ正確に検査でき、省力化が期待できます。
- 非接触で全数検査が可能なため、製品を損傷することなく品質管理や不良品の早期発見に役立ち、幅広い製造業で活用されています。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

製造業の製品全般の外部欠陥・形状・外観検査を対象とし、
抜き取り後の目視検査業務の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-3-2	インライン非破壊検査装置（外部不良検査）	4件	製造業、卸売業	検査

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

エックス線・磁粉探傷・浸透探傷・渦電流・画像認識を用いて、製品の外部（かみこみ含む）を検査する装置。

主に利用が想定される中小企業

自動車部品や電子機器、食品容器、金属加工など、
外観不良の検査を行う事業者。

省力化効果

これまでの品質管理は抜き取り検査や破壊検査が主であり、製品を破壊（分解）して外部の不良を検査していたため、多くの人員、労力、時間を要していた。また、破壊された検査物は廃棄されることで無駄が発生していた。
さらに、抜き取り検査では出荷される製品の全数検査が行われておらず、品質保証に課題があった。非破壊検査装置を導入することで、人員と労力の削減、検査物の無駄の削減、生産効率の向上が実現するとともに、全数検査による品質向上が可能となる。
さらに、自動化を進めることで検査時間を大幅に短縮することもできる。
非破壊検査の手法は、X線、磁粉探傷、浸透探傷、渦電流、画像認識方式などが主に用いられ、あらゆる製造業に幅広く適用されている。

価格と導入費用（目安）

検査装置の種類によるが、約300万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、製造ラインでの全数検査を可能にし、生産現場の効率化と品質向上を同時に実現する装置である。自動化された検査プロセスにより、生産ラインを停止せずに外観上の不良をリアルタイムで検出できる点が特長である。
本機器は、磁粉探傷や浸透探傷、渦電流といった多様な検査手法に対応し、自動車部品や電子機器、食品容器、金属加工品など、幅広い製造業において活用が期待される。また、早期に不良品を検出することで、後工程での無駄や再加工を削減し、品質の均一化と生産効率の向上を支援する。 さらに、外部不良の検査においては、非接触での検査が可能であるため、製品を損傷することなく高精度な品質管理が実現する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

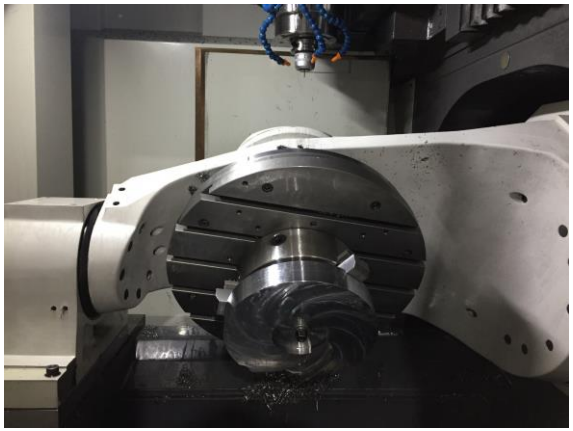
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -1	5軸制御マシニングセンタ	38件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- これまで複数台で段取り替えをしながら加工していた複雑形状の加工を1台で完結できるため、オペレーターが管理する機械の台数を減らすことができ、大幅な省力化が見込めます。
- 段取り替えが不要な為、時間のかかる加工に関して、夜間の連続運転などの運用も可能となり生産性の向上にもつながります。

活用イメージ

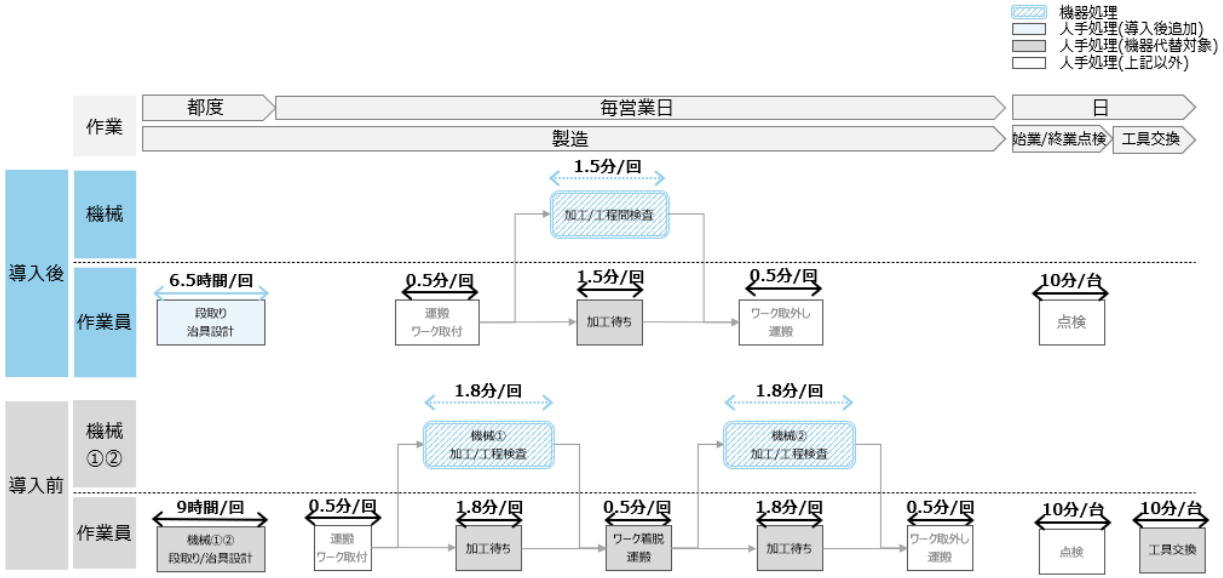


※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

マシン複数台で行っていた加工を1台に集約できるため、段取り時間が大幅に減る。

※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -1	5軸制御マシニングセンタ	38件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

直交3軸及び旋回2軸をもち、同時に5軸を制御できるマシニングセンタ。2つの旋回軸が、テーブル側にあるテーブル旋回形、主軸側にある主軸頭旋回形及び旋回軸がテーブル側と主軸側とにそれぞれある主軸頭テーブル旋回形（混合形ともいう。）がある。

主に利用が想定される中小企業

複雑な形状の加工を行うための高精度な工作を行う事業者。

省力化効果

これまで複数台で段取り替えをしながら加工していた複雑形状の加工を1台で完結できるため、オペレーターが管理する機械の台数を減らすことができる他、工程毎の段取り変えが不要になり、人による作業を削減できる。
また、工場環境、加工物などによって異なるが、連続使用による工具交換時間の削減や、精度向上による工程間検査の削減、台数減による定期点検作業の削減効果もある。
さらに、段取り替えが不要な為、時間のかかる加工に関して、夜間の連続運転などの運用も可能となる。

価格と導入費用（目安）

2,500万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えばすぐに使用可能。

活用事例・ポイント

これまで複数台で段取り替えをしながら加工していた複雑形状の加工を1台で完結できるため、オペレーターが管理する機械の台数を減らすことができ、大幅な省力化が見込める。
また、段取り替えが不要な為、時間のかかる加工に関して、夜間の連続運転などの運用も可能となる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -2	複合加工機	68件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

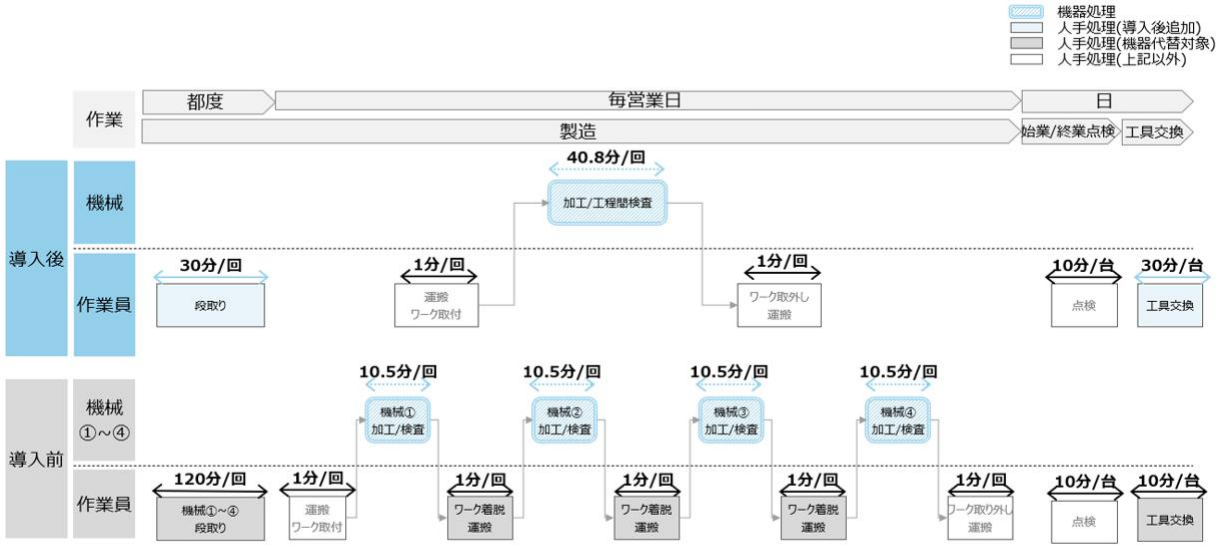
- 従来、複数種類の金属加工を行う場合は複数台の工作機械を併用していましたが、本機器の導入により機械1台で加工を完結出来る様になり複数台の工作機械の段取り替え時間が削減、大幅な生産性向上が見込めます。
- 夜間の連続運転や、ワークの取付誤差に起因する精度のバラつき抑制、歩留率の改善、加工精度の向上、加工時間の削減といった生産性向上の効果が期待できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

マシン複数台で行っていた加工を１台に集約できるため、段取り時間が大幅に減る。



※:時間はあくまで一例

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -2	複合加工機	68件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

回転工具主軸、連続割出し可能な工作主軸、及び工具マガジンを備え、工具を自動的に交換する機能をもち、工作物の段取り替えなしに、旋削、フライス削り、中ぐり、穴明け、ねじ切り、ホブ加工等の複数の加工が行える数値制御工作機械。
なお、対向主軸と2つ以上の刃物台を備え、工具を自動的に交換する機能をもつ、マルチタレット型複合加工機も本カテゴリの対象製品とする。

主に利用が想定される中小企業

金属部品を製造する機械加工業者。

省力化効果

従来の金属加工業務において複数種類の加工を行う場合では、複数台の工作機械を段取り替えしながら加工する必要があった。
本機器の導入により、複数種類の加工を1台で完結出来る様になり、工程毎の段取り替えが不要となるため、大幅な省力化効果が期待できる。

価格と導入費用（目安）

2,500万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

段取り替えが不要なため、時間のかかる加工でも夜間の連続運転が可能となり、生産効率の向上に寄与する。また、ワークの取付誤差に起因する精度のバラつき抑制や、自由角度からの加工による、歩留率の改善、加工精度の向上、加工時間の削減といった生産性向上の効果も期待できる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -3	ツールプリセッター	29件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

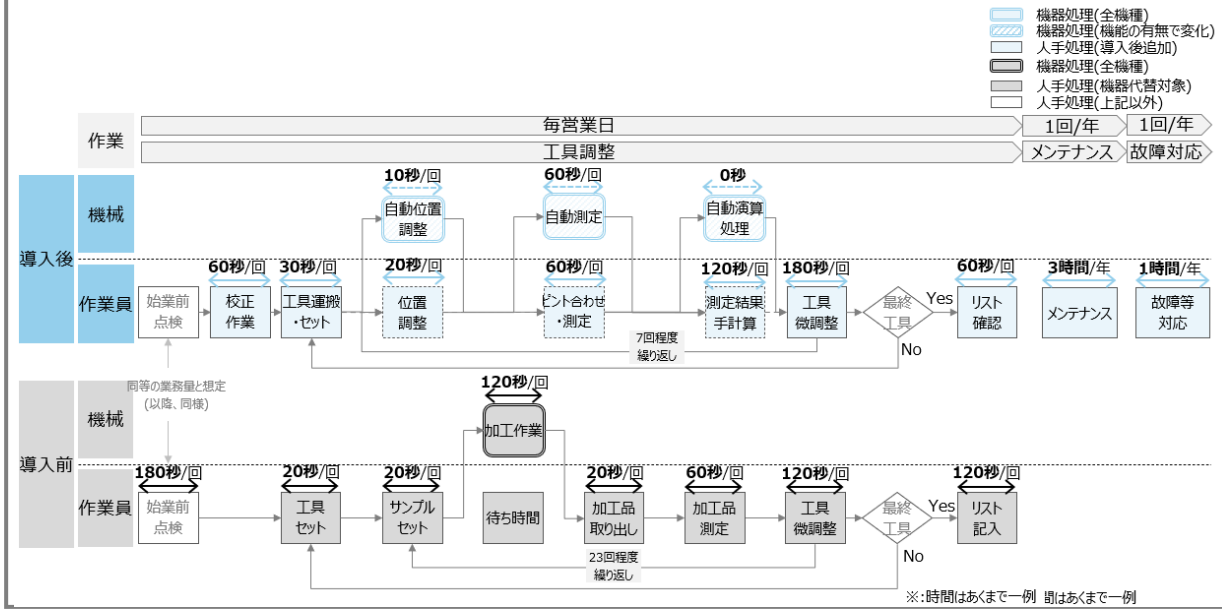
- 本機器は、金属加工を行う製造業の現場で、工具の測定や調整を効率化し、省力化が期待できます。機外で工具長や工具径を正確に測定できるため、機内測定時の加工停止を防ぎ、稼働率向上に貢献します。
- オペレーターが空いた時間に測定作業を行えるため、生産効率の改善やコスト削減にも役立ちます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

工具の調整作業において、今まで繰り返し実施していた作業が1回で済むようになり効率化が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -3	ツールプリセッター	29件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

2軸のスケールを持ち、工作機械の加工に必要な工具長・工具径といった情報を測定し、許容値の確認や調整を外段取りで行う装置。

主に利用が想定される中小企業

工作機械を使用し、工具の測定・調整が必要な事業者。

省力化効果

機内測定を行う場合、加工を停止する必要があり、稼働率向上の妨げとなる。また、チップのばらつきなどの詳細な測定ができないため、不良率の上昇につながる。これに対し、機外で測定を行うことで、機内測定よりも素早く正確に工具の測定が可能となり、オペレーターが空いた時間に測定作業を行えるため、作業効率の向上が期待できる。

価格と導入費用（目安）

約400万円～1,100万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、製造業における工具測定を外段取りで行い、加工機の稼働率向上や不良削減を実現する。機内測定では加工を一時停止する必要があり、チップのばらつきも測定できないため、不良率の増加や生産効率の低下につながる。本機器を導入することで、機外で正確に工具測定ができ、測定作業の効率化と品質向上が可能となる。また、一台で複数の工具測定ができるため、機械ごとに測定装置を設置する必要がなく、コスト削減にも貢献する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

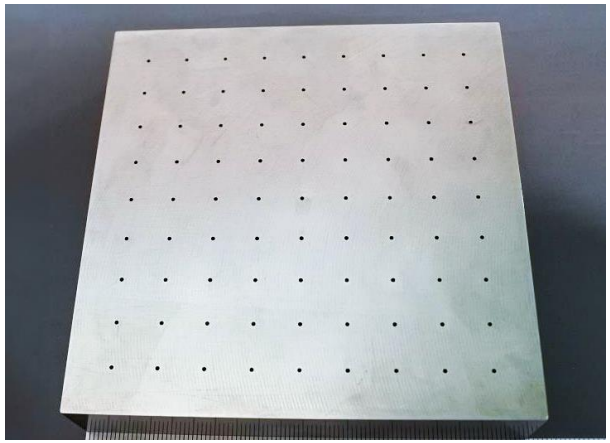
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4-4	NC細穴放電加工機	5件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本機器は、プレス金型製造や部品加工業において、ドリルでは加工が難しい難削材（チタン・ニッケル・アルミなど）の細穴加工を行う際に活用できます。特に、順送プレス金型のスタートホール加工や、曲面部・バリを嫌う部品への穴加工に適しています。
- 従来の汎用機（非NC機）による手作業では時間がかかる細穴加工を、NC制御により無人で精度高く加工できるため、作業の効率化と品質向上が期待されます。

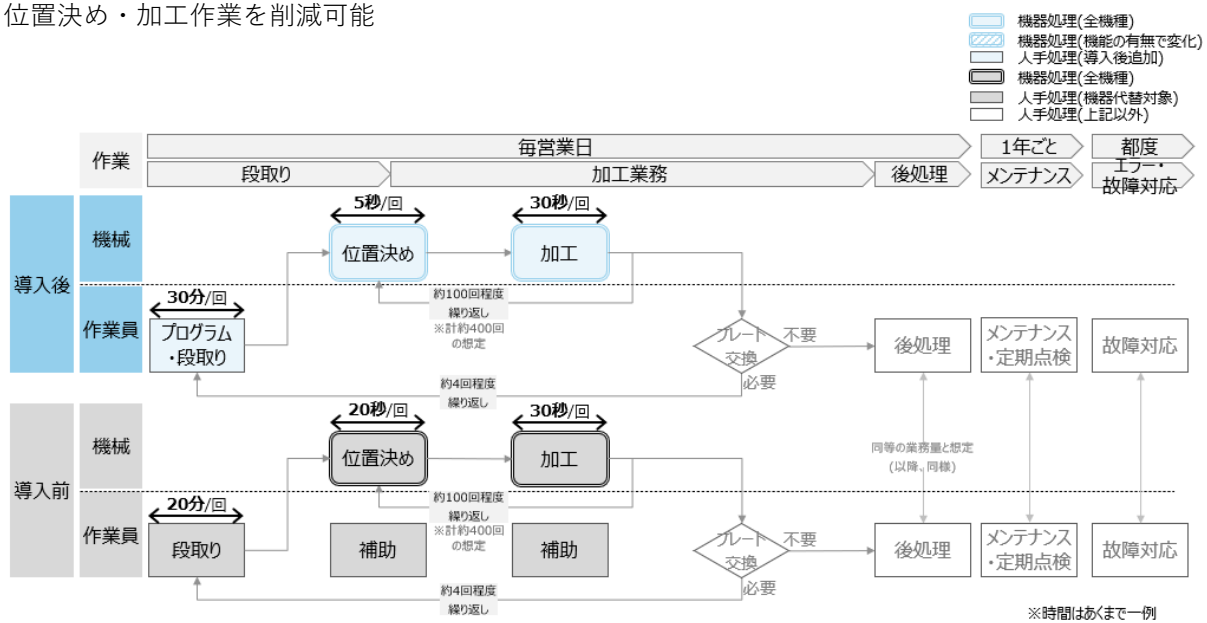
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

NC細穴放電加工機の導入により、加工業務時における手作業での位置決め・加工作業を削減可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4-4	NC細穴放電加工機	5件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

工作物と電極との間の放電現象を利用して、細穴の穴あけを行う放電加工機のうち、数値制御により運転するもの。

主に利用が想定される中小企業

プレス金型製造業や一般部品加工業を行う事業者。

省力化効果

本カテゴリに該当する機器の導入により、従来の汎用機（非NC機）での有人加工が無人加工へと移行し、作業時間の短縮と人的負担の軽減が実現する。3枚のプレートへの穴加工では、汎用機では約5時間を要していたが、NC機では段取り時間のみで1時間以内に短縮できる。作業者が1つずつ手作業で加工する必要があった工程も、NC機では機械テーブル上に多数個をセットして連続加工が可能となるため、加工中は人手が不要となる。これにより、不良加工の低減につながり、ヒューマンエラーを排除することで安定した品質を維持できる。さらに、無人加工が可能となることで、作業者は別の機械の担当や、他の業務に集中することができ、生産性の向上に寄与する。

価格と導入費用（目安）

1,000万～1,800万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本カテゴリに該当する機器は、プレス金型の製作現場や部品加工工場において、細穴加工の自動化と高精度化を実現する。プレス金型製作におけるスタートホール加工では、多数の穴を短時間で加工する必要があるが、NC機を導入することで生産効率を大幅に向上させることが可能である。特に、順送プレス金型では1プレートあたり50～100穴の加工が必要となるが、NC機を活用することで短時間で高精度な加工が実現できる。また、曲面部やバリを嫌う部品の穴加工では、従来のドリル加工では対応が難しいが、放電加工であれば精度を保ちながら安定した品質での加工が可能となる。さらに、量産対応が求められる現場では、機械テーブル上に複数の部品をセットし、無人で連続加工を行うことで、作業者の負担軽減と生産性の向上が期待できる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -5	木材加工用5軸マシニングセンタ	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

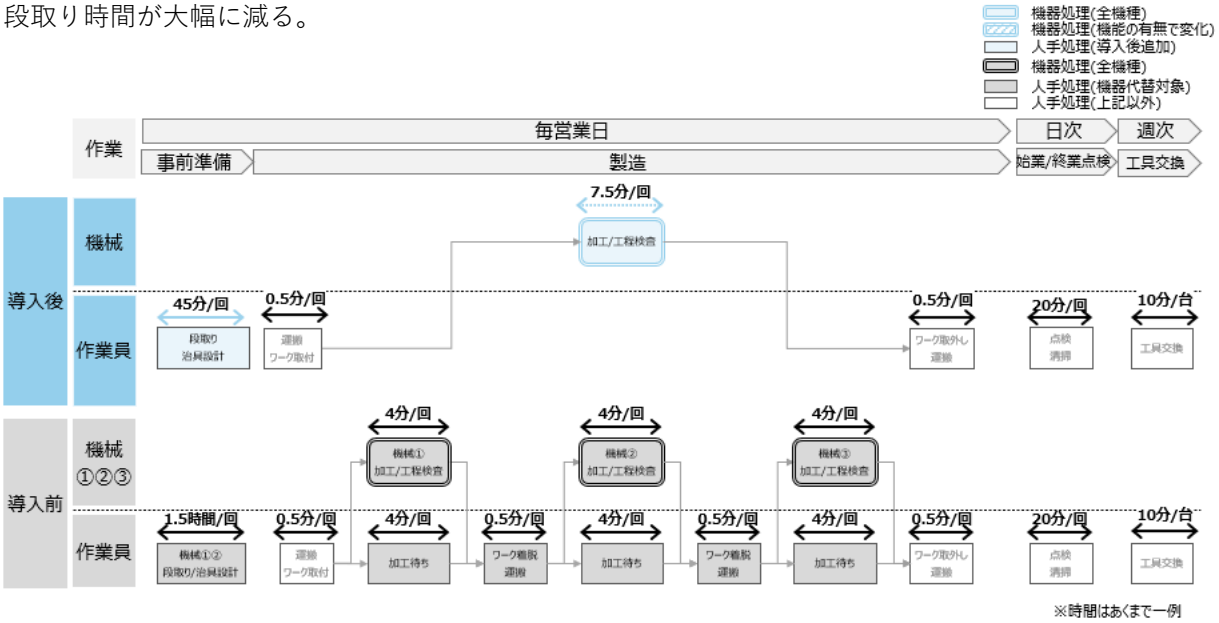
- 本装置は、木材を使用した高精度な加工や複雑形状の部材製作が求められる現場で活用できます。例えば、建築用の造作材やオーダー家具、内装部材の製造を行う工場に適しています。
- 従来は複数の加工機を使い分け、段取り替えや加工工程ごとに人手をかけていた作業も、本装置を導入することで、1台で一貫した加工が可能となります。これにより、少人数体制でも安定した品質と効率的な生産が実現できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

マシン複数台で行っていた加工を1台に集約できるため、
段取り時間が大幅に減る。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4-5	木材加工用5軸マシニングセンタ	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

木材加工に用いられる5軸マシニングセンタ。直行３軸及び旋回２軸をもち同時に５軸を制御できるNCルータ。２つの旋回軸が主軸側にある主軸頭旋回型。

主に利用が想定される中小企業

主に、木材加工を行う事業者。

省力化効果

本装置は、直行3軸と旋回2軸による同時5軸制御により、複雑な加工形状を高精度かつ短時間で実現する設備である。従来、複数の加工機を用いた段取り替えや治具設計、ワークの運搬・取り付けといった手間が発生していた工程が、本装置の導入により大幅に削減される。さらに、1台で加工を完結できるため、オペレーター1人あたりが管理する機械の台数を減らすことができ、労働負担の軽減と人員最適化による省力化が図られる。工具交換も最小限に抑えられることで、作業効率と生産性の向上に寄与する。

価格と導入費用（目安）

約1,800万円～3,000万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本装置は、建築内装業、家具製造業、木工製品製造業などでの活用が進んでいる。これまで段取り替えや加工機の使い分けが課題となっていた現場において、1台で複雑形状の加工を完了できることで、生産効率の大幅な向上が実現できる。特にオーダーメイド製品や多品種少量生産に対応する企業では、高精度かつ短納期対応が求められるため、本装置の導入による省力化効果と生産性向上のメリットが大きい。また、加工データの管理やNC制御による加工精度の均一化により、熟練者に頼らない生産体制の構築にも寄与する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

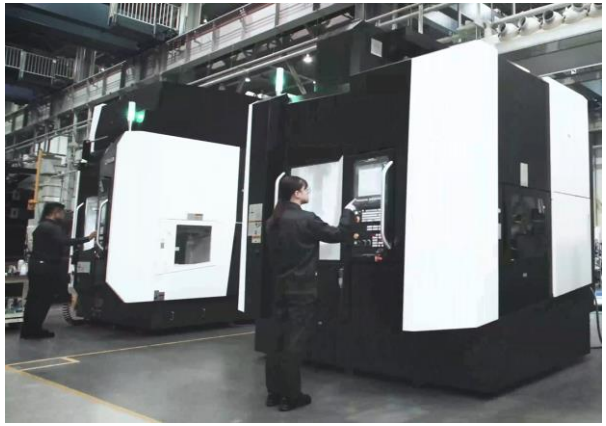
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -6	CNC複合研削盤	4件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本装置は、精度の高い仕上げ加工が求められる現場で活用できます。たとえば、航空機部品やベアリング、金型などの精密部品を製造する工場で、内径・外径・端面などの複数工程を効率よく行いたい場合に適しています。
- 従来は複数台の機械で段取り替えをしながら加工していた工程も、本装置を導入することで1台で完結できるため、工程の短縮と作業負担の軽減が期待されます。

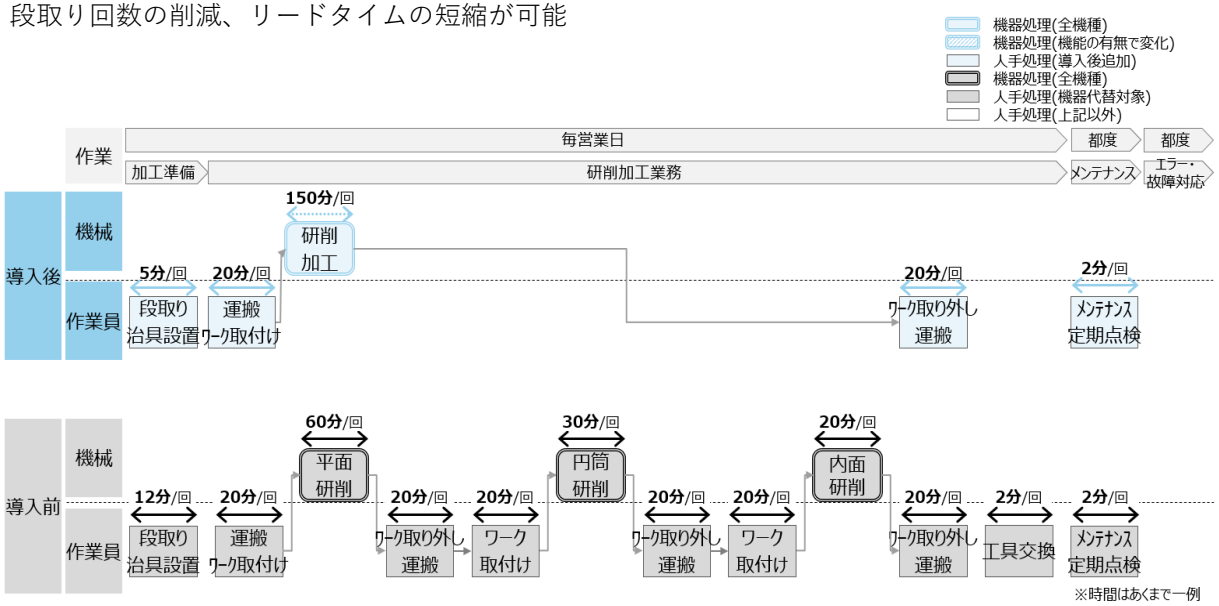
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

内径・外径・端面研削加工などの複数工程を1台かつワンチャックで加工することで、
段取り回数の削減、リードタイムの短縮が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -6	CNC複合研削盤	4件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

2つ以上の砥石軸又はオートツールチェンジャーを有し、
工作物の段取り替えなしに内径・外径・端面研削などの
複数の研削加工が行える数値制御工作機械。
重力に逆らわない立形構造により、段取時間短縮・高精度芯出し作業・作業の安全性向上を図るものや、旋削や切削機能を備えるものもある。

主に利用が想定される中小企業

主に、航空・自動車・精密機器などの部品加工を行う事業者。

省力化効果

本装置は、複数の加工工程を1台かつワンチャックで実行できるため、省力化に大きく貢献する装置である。段取り替えや機械間の移動が不要となることで、オペレーターの作業負担を軽減でき、管理すべき機械の台数も削減できる。

価格と導入費用（目安）

約2,700万円～4,000万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本装置は、ベアリング加工や航空宇宙部品、金型製造など、高硬度かつ高精度な加工が求められる業種での導入が進んでいる。立形構造により重力の影響を受けにくく、高精度な芯出しが可能となることに加え、安全性にも優れている点が特徴である。複数工程を一括で処理できるため、生産の平準化や夜間無人運転による生産性向上を図る企業において、省力化と品質安定の両面で有効な設備である。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -7	4軸制御マシニングセンタ	25件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

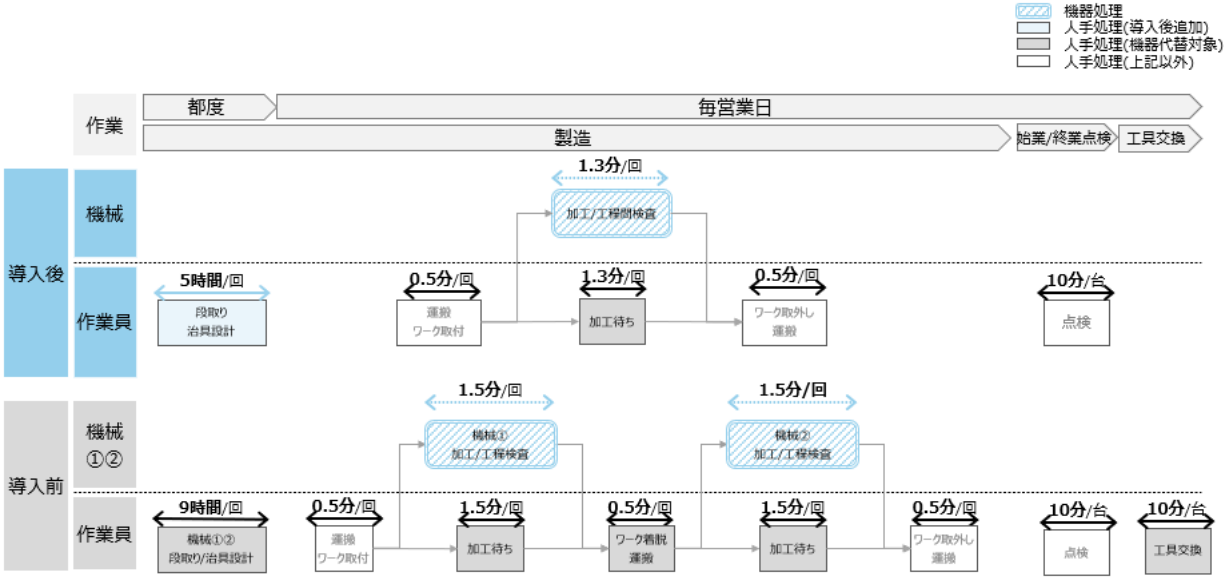
- これまで複数台で段取り替えをしながら加工していた複雑形状の加工を1台で完結できるため、オペレーターが管理する機械の台数を減らすことができ、大幅な省力化が見込めます。
- 段取り替えが不要な為、時間のかかる加工に関して、夜間の連続運転などの運用も可能となり生産性の向上にもつながります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

複数工程で行っていた加工を1工程に集約できるため、ワーク脱着等の段取り時間が大幅に減る



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4-7	4軸制御マシニングセンタ	25件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

直交3軸および旋回1軸をもつマシニングセンタ。
１つの旋回軸が、テーブル側にあるテーブル旋回形、主軸側にある主軸頭旋回形がある。

主に利用が想定される中小企業

複雑な形状の加工を行うための高精度な工作を行う事業者。

省力化効果

本装置は、直交3軸に加えて旋回1軸を制御することで、1度の段取りで多面加工を可能とし、省力化を実現する装置である。加工治具が1工程分で済むため、治具費用を抑えられるほか、ワークの掴み替え作業が減ることで加工不良のリスクも低下し、歩留まりの向上や作業時間の短縮が図れる。また、段取り時間の短縮により、機械の稼働率が向上し、全体としての生産性改善につながる。

価格と導入費用（目安）

約800～7,000万円程度から導入可能。
（加工精度や対応ワークサイズ等により価格帯が異なる）

活用事例・ポイント

これまで複数台で段取り替えをしながら加工していた複雑形状の加工を、本装置を用いることで1台で完結できるため、機械の台数を減らしながら作業効率を向上させることが可能である。段取り替えの回数が少なくなることで、工具交換の頻度や治具交換にかかる工数も削減できる。また、工程間のずれやミスも減るため、精度の安定化や検査工程の省力化にもつながる。夜間の連続加工や無人運転といった運用にも対応しやすく、生産現場の柔軟性を高めることができる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4-8	ワイヤ自動供給付ワイヤ放電加工機	47件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

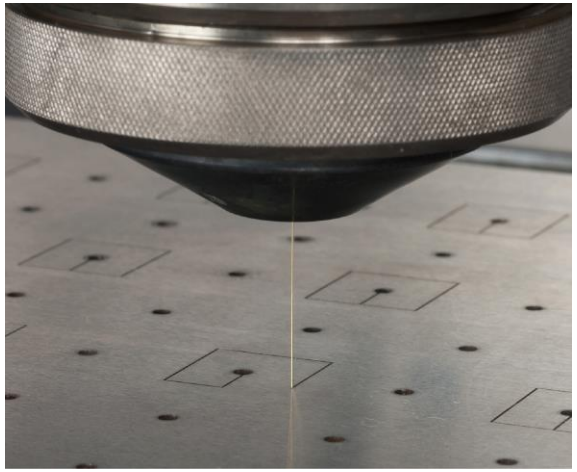
例えばこんな場面で、

- 本装置は、金型製造や精密部品加工を行う現場で活用できます。例えば、長時間の連続加工や夜間無人運転を行いたい工場や、熟練技術者が少ない現場に適しています。
- 従来はワイヤ断線時に作業者が現場対応しなければならない工程もありましたが、本装置を導入することで、ワイヤの自動供給・自動結線機能により、断線時でも自動復旧が可能となり、作業者の常時監視が不要となります。これにより、夜間や人手不足時でも安定的な加工が行える環境を実現します。

置き換えが可能となる機能・性能

- スケジューラ機能
- 上下ガイド自動洗浄機能
- トラブル対応ガイダンス機能

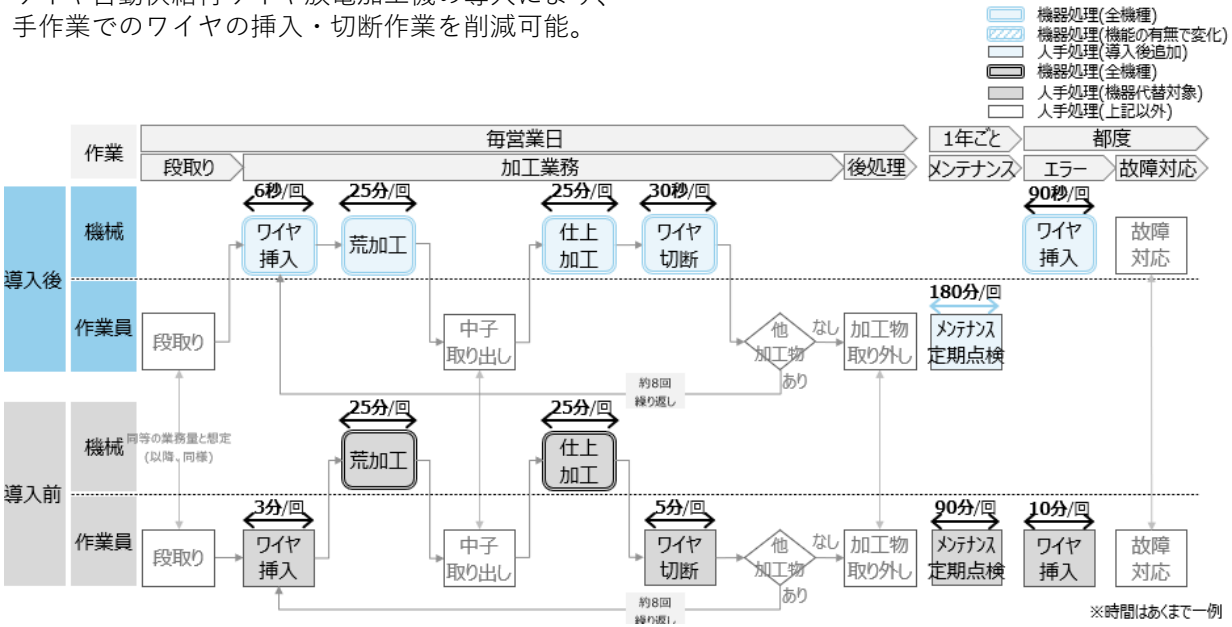
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

ワイヤ自動供給付ワイヤ放電加工機の導入により、
手作業でのワイヤの挿入・切断作業を削減可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4-8	ワイヤ自動供給付ワイヤ放電加工機	47件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

工作物と走行するワイヤ電極との間の放電現象を利用して、加工を行う放電加工機のうち、指定した任意の位置でワイヤ線を自動的に挿入・切断したり、ワイヤが断線した際にワイヤを自動的につなぎ直す機能を有しているもの。

主に利用が想定される中小企業

主に、金型製造業や精密部品加工を行う事業者。

省力化効果

本装置は、加工中に発生するワイヤ断線時の対応を自動化することにより、加工停止時間の削減と機械稼働率の向上を実現する装置である。従来はワイヤ断線時に作業者が現場に駆けつけ対応する必要があったが、本装置では任意の位置でワイヤ線の自動挿入・切断が可能であり、断線時にも自動でワイヤを繋ぎ直す機能を備えている。これにより、無人運転が可能な時間が大幅に増加し、生産効率の向上とともに、必要最低限の有人対応で加工が完了するため、省力化に大きく寄与する。

価格と導入費用（目安）

約1,500万円～6,000万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本装置は、特に金型製造や精密部品加工を行う中小製造業での活用が進んでいる。夜間や休日の無人運転による生産性向上や、熟練作業者の常時配置が困難な現場での省力化に効果を発揮する。また、長時間加工や複数箇所の加工を行う際も、ワイヤ自動供給機能により、作業者の負担を大幅に軽減できる。機械稼働率の向上と生産効率の改善が図れるほか、人手不足や技術者の高齢化といった課題解決にもつながる装置である。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -9	木材用高周波接着機	10件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本装置は、木材や木製部材の接着工程で作業時間を短縮したい現場で活用できます。たとえば、家具や建具、窓枠、内装部材などを製造する中小規模の木材加工業者において、接着作業の効率を高めたい場合に適しています。
- 従来、接着剤の自然硬化に数時間～1日を要していた工程を、数秒～数分で完了できるため、作業時間の短縮とスペースの有効活用が実現します。

置き換えが可能となる機能・性能

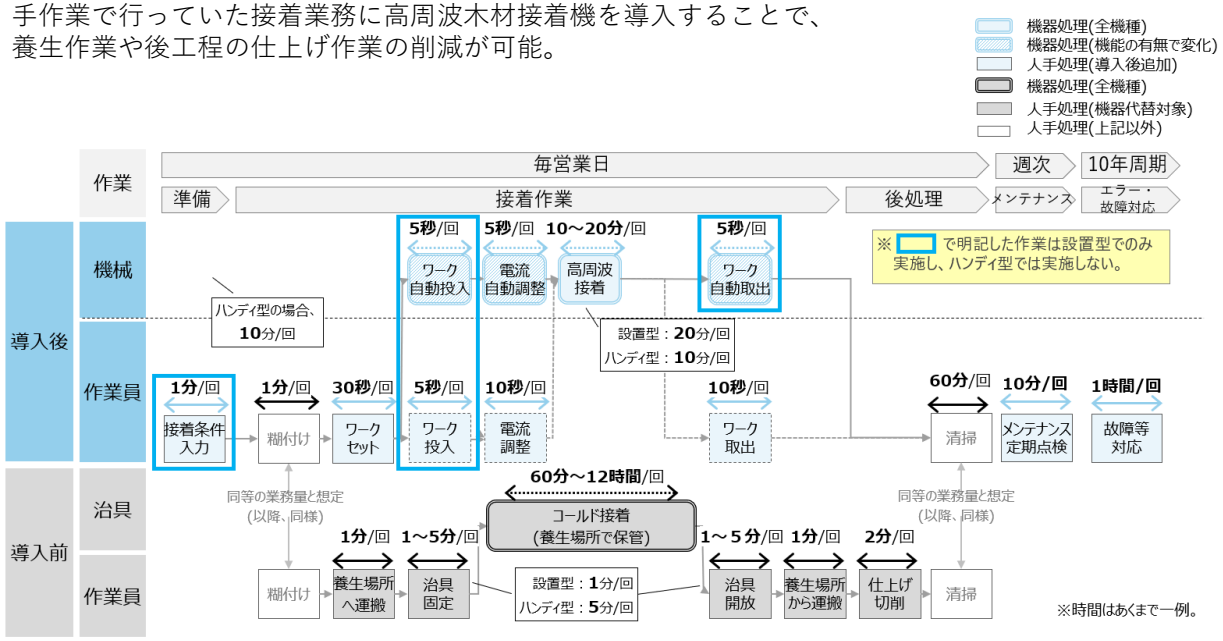
- ２段階加熱機能
- タッチパネル式接着条件ワンタッチ呼び出し機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた接着業務に高周波木材接着機を導入することで、養生作業や後工程の仕上げ作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -9	木材用高周波接着機	10件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

木材や窯業系材料の加工に用いられる高周波接着機。高周波発振器と加圧部と電極部を持つ接着装置。対応する業務は木材の加工生産であり、構成要素は、製品本体は高周波接着機、コンプレッサー１台。

主に利用が想定される中小企業

主に、家具、建具、内装部材などを製造する木材加工を行う事業者

省力化効果

木材用高周波接着機は、高周波による加熱技術を活用し、接着剤中の水分を急速に加熱・蒸発させることで硬化を促進する装置である。これにより、従来数時間～1日かかっていた接着工程を、数秒～数分に短縮できるため、省力化と生産性の向上に寄与する。さらに、 高周波接着機を使用することで、長時間養生による接着と比較して目地のズレや反りが抑えられ、後工程の切削や仕上げ作業の負担も軽減される。

価格と導入費用（目安）

約500万円～4,000万円程度から導入可能。
（出力周波数、プレス定盤サイズにより異なる）

活用事例・ポイント

本装置は、建具や家具のパネル接着、窓枠や額縁などの枠組み接着、棚板やテーブルなどの板ハギ接着、住宅の構造用集成材接着など、さまざまな木材加工現場で導入されている。従来の自然硬化やクランプによる圧締では時間とスペースが必要だったが、高周波接着により工程の短縮と品質の安定化が図れるため、多品種少量生産にも適している。熟練作業者の経験に依存せず、安定した品質を短時間で確保できる点が評価されている。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

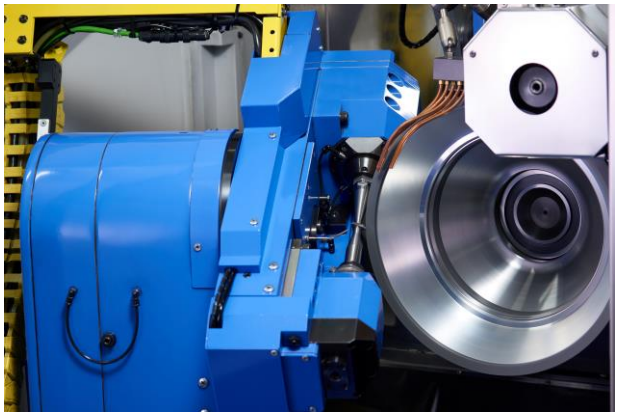
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -10	全自動CNC工具研削盤	9件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本装置は、切削工具の再研磨や新規製作を高精度かつ効率的に行いたい現場で活用できます。複雑な形状のエンドミル・ドリルなどを扱う精密部品メーカーに適しています。
- 従来、工程ごとに複数台の手動研削盤を使用していた現場でも、ワンチャッキングで全行程を自動加工できるため、作業時間の短縮と品質の安定化が実現できます。

活用イメージ

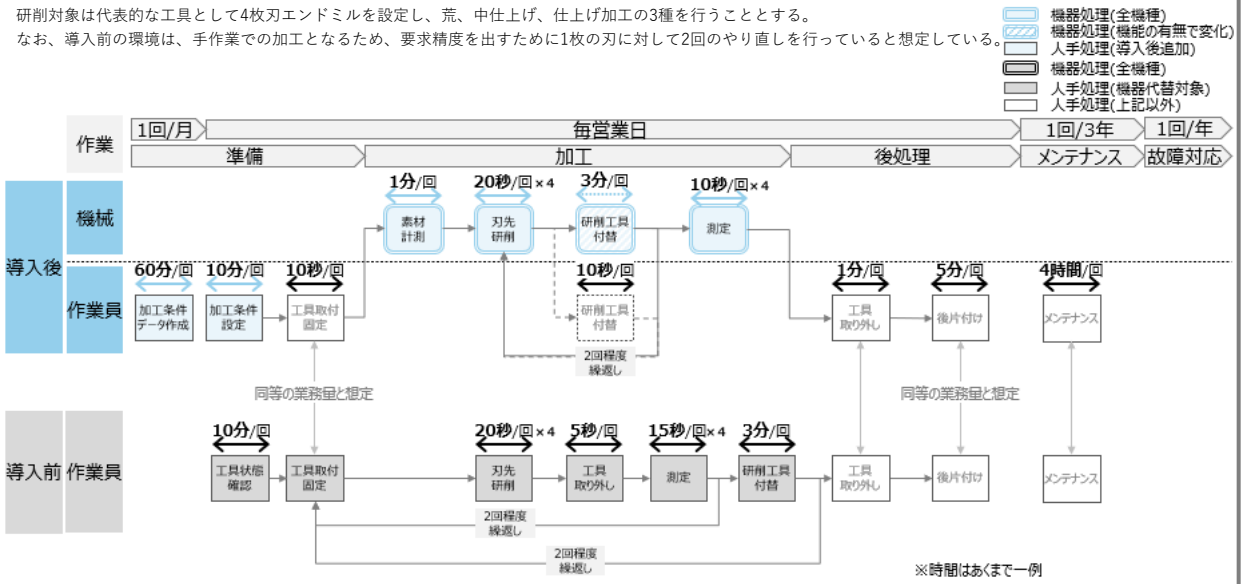


※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた都度の工具研削・刃先測定作業とそれに伴う工具の付外し作業を全自動CNC工具研削盤を導入することで削減する。

研削対象は代表的な工具として4枚刃エンドミルを設定し、荒、中仕上げ、仕上げ加工の3種を行うこととする。
なお、導入前の環境は、手作業での加工となるため、要求精度を出すために1枚の刃に対して2回のやり直しを行っていると想定している。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -10	全自動CNC工具研削盤	9件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

工具の刃先又はホルダ部を専用に研削する研削盤のうち、直線軸と回転軸で5軸以上の制御軸数を持つ数値制御工具研削盤。切削工具素材をワンチャッキングで製品完成まで加工可能。

主に利用が想定される中小企業

主に、工具の再研磨や新規製作を行う事業者。

省力化効果

本装置は、切削工具を1回のチャッキングで仕上げまで自動加工できる装置であり、従来の汎用機における段取り替えや手動操作を不要とすることにより、省力化を実現する。加工工程が統合されることで、段取り時間が削減され、精度のばらつきも軽減される。また、自動ワーク交換装置を併用することで、長時間の無人連続加工が可能となり、少人数体制でも安定した工具研削作業が実現できる。結果として、加工効率の向上と人手不足への対応が可能となる。

価格と導入費用（目安）

約2,000万円～7,000万円程度から導入可能。
（加工精度や自動化装置の搭載有無によって異なる）

活用事例・ポイント

本装置は、エンドミルやドリル、リーマなどの再研磨や新規製作を必要とする金属加工業や工具メーカーでの導入が進んでいる。とくに、熟練工の高齢化や後継者不足により、従来の手動による高精度な研削が難しくなっている現場において、操作スキルの平準化と品質の安定を実現できる点が評価されている。また、自動化仕様では無人運転による大量処理が可能であり、夜間運転や多品種対応にも柔軟に対応できるため、生産体制の強化に貢献している。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

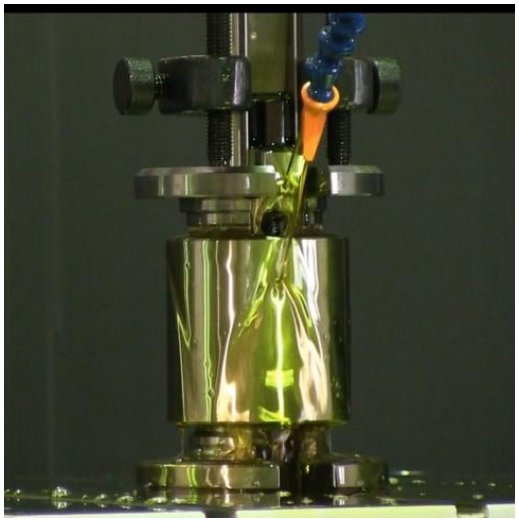
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -11	キー溝加工機	14件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本装置は、ギヤや軸などの部品にキー溝を加工する必要がある現場で活用できます。たとえば、回転体の部品を多く扱う金属加工業者や部品製造業者に適しており、特に専用機によって段取りを簡素化し、効率よくキー溝加工を行いたい場合に効果を発揮します
- 従来はフライス盤やワイヤーカットで対応していた作業を、本装置によって簡易にかつ短時間で完了させることができます。

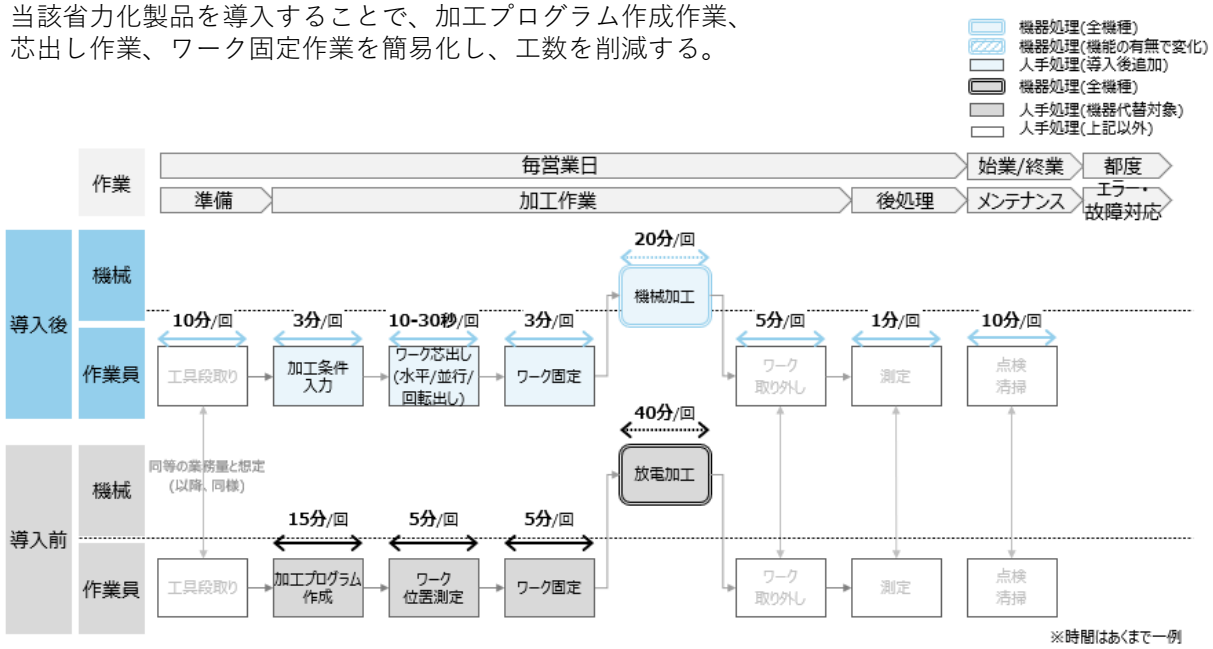
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

当該省力化製品を導入することで、加工プログラム作成作業、芯出し作業、ワーク固定作業を簡易化し、工数を削減する。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -11	キー溝加工機	14件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

ギヤ等の回転体の内径もしくは軸の外径に、回り止めのためのキー溝を加工する機械。対象となる加工物又は、刃物を稼働させキー溝加工を行う。キー溝の幅は刃物又は工具を交換することで、任意に指定できる構造となる。本カテゴリでは、自動で軸制御を行い、簡易条件設定機能を有する製品を対象とする。

主に利用が想定される中小企業

主に、部品加工や機械組立を行う金属加工系の事業者。

省力化効果

本装置は、従来フライス盤やワイヤーカットによって行われていたキー溝加工に比べ、段取りや芯出しの作業負担を軽減し、省力化を実現する装置である。専用機による簡易な加工条件入力や、専用工具の活用により加工物の芯出しが迅速に行えるため、加工前の準備時間を大幅に短縮できる。これにより、オペレーターの作業時間を削減しつつ、生産効率の向上が可能となる。

価格と導入費用（目安）

約800万円～3,060万円程度から導入可能。
（機種のサイズによって異なる）

活用事例・ポイント

本装置は、量産だけでなく多品種少量の部品加工においても段取り替えの負荷が小さく、スピーディに対応できる点が特長である。加工条件の設定が容易であるため、熟練者に頼らずとも安定した品質でキー溝加工が可能となり、人手不足の中小企業においても有用性が高い。特に、複雑なプログラム作成や時間のかかる芯出し作業を軽減できる点で、現場の生産性改善に大きく貢献する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -12	機上計測装置付平面研削盤	1件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

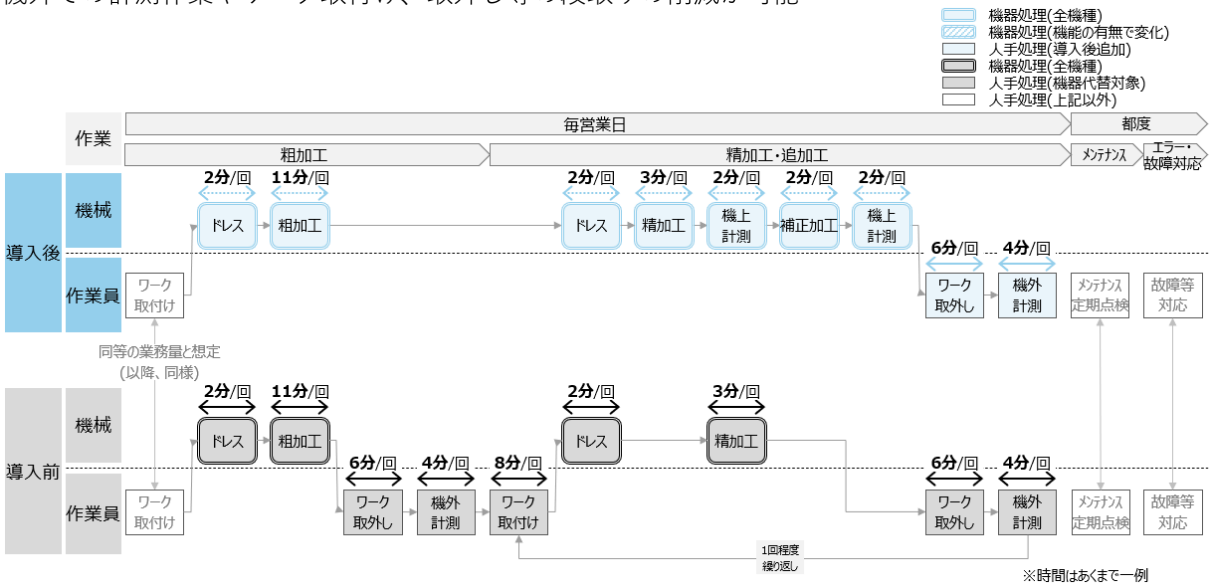
- 高精度な平面仕上げが必要な部品を製造する現場で活用できます。たとえば、自動車部品や金型・治工具などで、一定の平坦度や寸法精度を保ったまま効率的に仕上げ加工を行いたいときに適しています。
- 寸法計測をその場で行いたい事業者において、再加工の手間を省きながら品質を担保する手段として導入されています。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた機外での計測業務に省力化製品を導入することで、
機外での計測作業やワーク取付け、取外し等の段取りの削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -12	機上計測装置付平面研削盤	1件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

回転する研削砥石を用いてテーブルを左右前後に駆動又は回転させてワークピースの表面を削り、精密で平坦な仕上がりを実現する工作機械のうち、工作機械の上で加工物（ワーク）を測定することができる機能を有したもの。

主に利用が想定される中小企業

自動車部品、金型、治工具、などの高精度部品を製造を行う事業者。一部脆性材ワークの加工にも対応。

省力化効果

従来は加工後にワークを電磁チャックから取り外し、機外で寸法計測、必要に応じて再度取り付け、再度加工を行う必要があった。本装置では加工後のワーク寸法を、機上で計測することが可能、補正加工を含む一連の工程を装置内で完結できる。その結果、作業者の段取り時間、移動や操作の時間が削減され、加工時間の短縮と作業負担の軽減が実現する。

価格と導入費用（目安）

約1,000万円～2,300万円程度で導入可能。
（加工対象物、機械本体のサイズによって異なる）

活用事例・ポイント

本装置は、寸法計測をワークの取り外しなしで行える点が最大の特長。これにより、寸法精度を機上で計測することが可能。また、仕上げ寸法に入っていない場合でも、再度、ワークをセッティングする必要がなく、それによる加工精度への悪影響を軽減。また、計測寸法を基準とすることにより、当て込みの自動化ができ、熟練作業の工程も省くことができる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

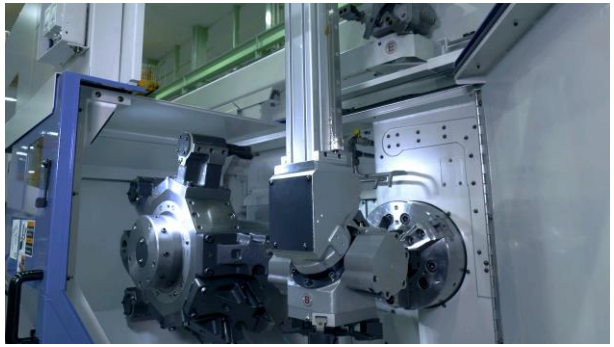
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -13	ローダ付きNC旋盤	50件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 部品の量産加工を行っている町工場などでは、加工対象のワークを手作業で取り付け・取り外しする必要があり、作業者の負担が大きくなりがちです。
- ローダ付きNC旋盤を導入することで、作業者はワークの一括準備をするだけで済み、あとはローダが自動で部品を着脱しながら加工してくれるため、加工以外の時間を大幅に削減することができます。これにより、別の作業との並行対応も可能になります。

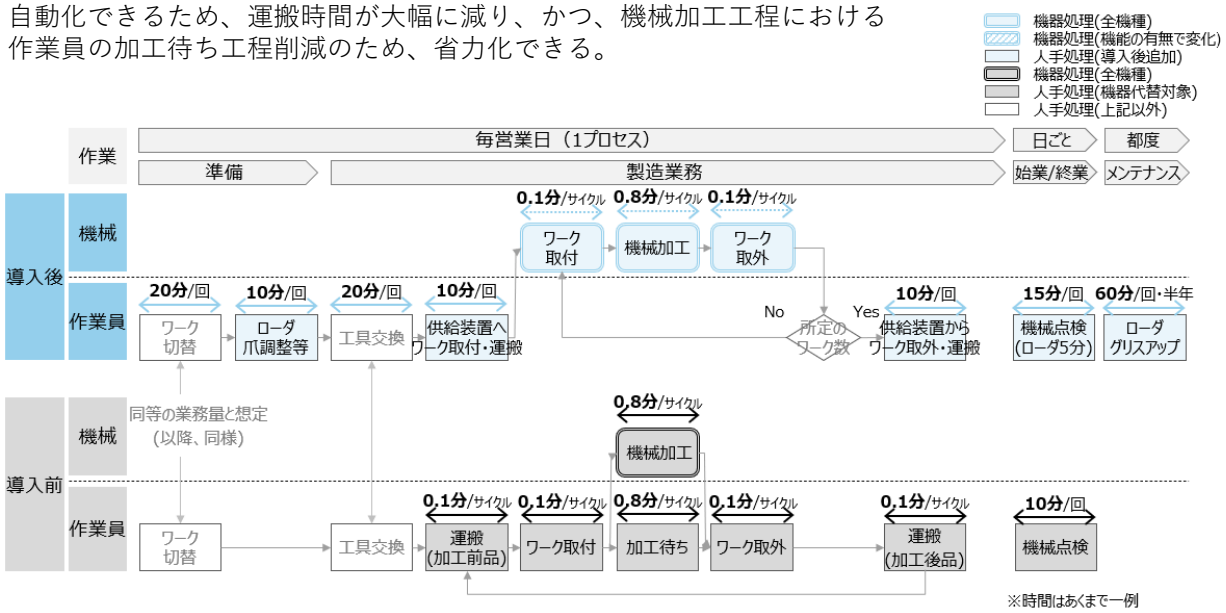
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っているワークの運搬・着脱作業をローダ付きNC旋盤1台で自動化できるため、運搬時間が大幅に減り、かつ、機械加工工程における作業員の加工待ち工程削減のため、省力化できる。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -13	ローダ付きNC旋盤	50件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

本体にローダを搭載し、加工対象物を自動で着脱できるNC旋盤（ターニングセンタを含む）。 1台に主軸を2つ備えた機種もある。

主に利用が想定される中小企業

部品の切削加工を行う事業者。

省力化効果

従来の手付けによる旋盤では、加工ワークの設置・脱着を含め、作業全体をオペレーターが行う必要があり、多くの作業時間と労力を要していた。本製品を導入することで、ワークの搬送・着脱工程の自動化に加え、機械加工工程における作業員の加工待ち工数も削減可能。

価格と導入費用（目安）

6インチ以下　1,000～1,500万円前後
10インチ以下　1,500～2,000万円前後
10インチ以上　2,000～3,000万円前後
（チャックサイズのインチ数の違いによって異なる）

活用事例・ポイント

従業員数が10名以下の小規模な金属加工業者において、夜間無人運転や複数工程の並列処理の実現により、生産性が大きく向上した事例がある。オペレーター1人で複数台の工作機械を管理する体制が可能となり、限られた人員でも効率的な生産が実現できた。また、初心者やパート従業員でもローダを活用した作業工程が標準化されており、作業熟練度によるばらつきが少ない点も導入のメリットである。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

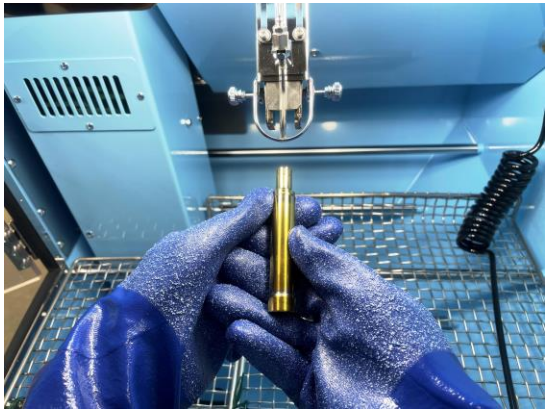
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -14	鏡面仕上げ加工機	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 金型の製作や、切削工具・精密部品の製造などにおいて、高精度な表面仕上げが求められる工程で活用できます。
- 特に、従来は熟練作業者が手作業で時間をかけていた鏡面仕上げや微細なバリ取り作業を、安定的かつ短時間で行いたい場面において有効です。

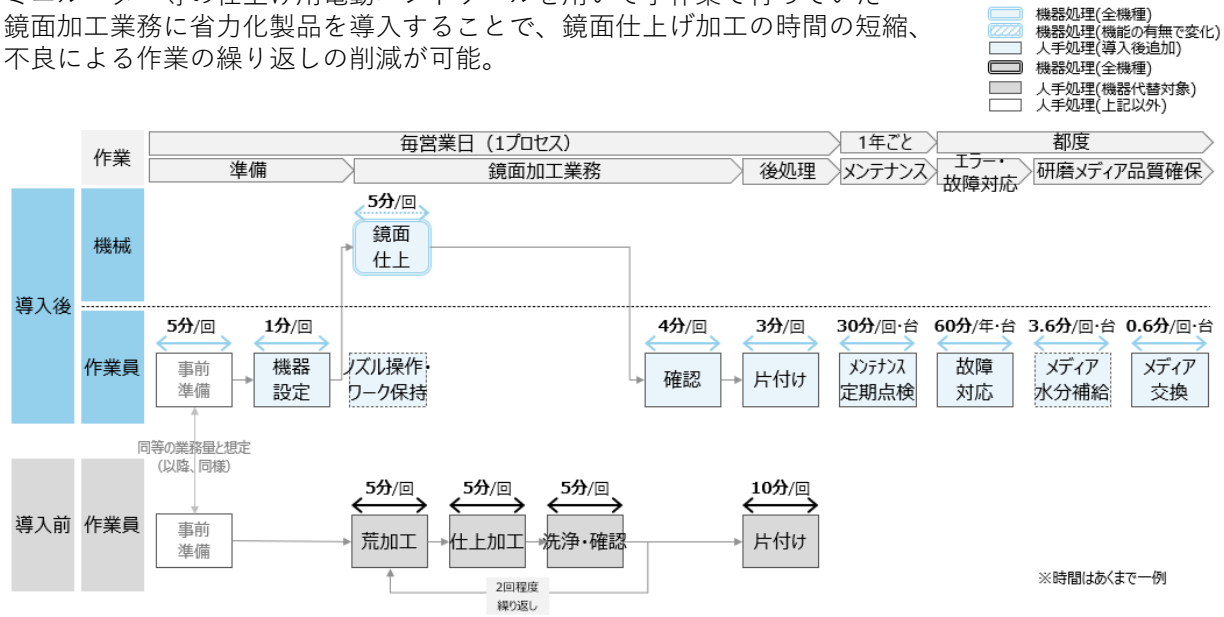
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

ミニルーター等の仕上げ用電動ハンドツールを用いて手作業で行っていた鏡面加工業務に省力化製品を導入することで、鏡面仕上げ加工の時間の短縮、不良による作業の繰り返しの削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -14	鏡面仕上げ加工機	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

研磨材を投射して金属表面を鏡面仕上げまたは微細バリの除去ができる加工機。

主に利用が想定される中小企業

金型や切削工具、精密機械部品などの表面仕上げを必要とする加工を行っている事業者。

省力化効果

従来は複数の工程（粗仕上げ・中仕上げ・鏡面仕上げ）を経る必要があったが、本製品の導入により一台で完結可能となり工程短縮が実現可能。また、ハンドツールでは対応が難しい微細・高精度な研磨加工を容易に行うことができ、作業時間の削減につながる。さらに、投射量や加工時間などの加工条件をデータとして数値管理できるため、加工品質のバラつきを抑え、不良による作業の繰り返しの削減が可能。

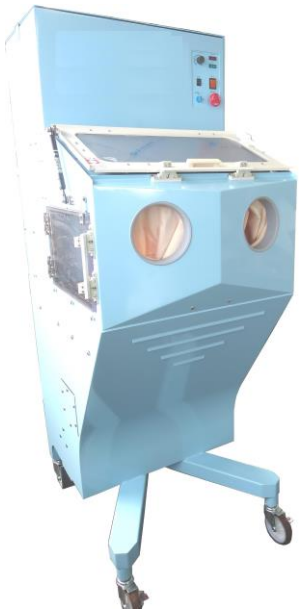
価格と導入費用（目安）

400万円～1,000万円（投射スピードの違い、適用ワークの大きさや長さの違いによって異なる）

活用事例・ポイント

金型メーカーにおいて、従来は熟練工が数時間かけて仕上げていた工程を、同機器の導入により作業時間の削減ができる。
作業履歴や加工条件を記録・共有できることから、技能継承の補助ツールとしても機能している。従業員の経験値に依存せず、誰が使っても一定レベルの品質が確保される点も強み。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -15	電極自動交換装置付き形彫放電加工機	12件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

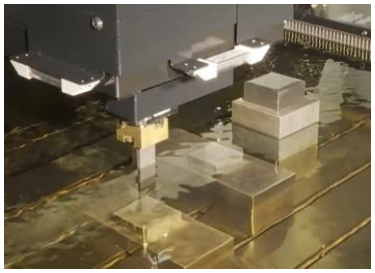
例えばこんな場面で、

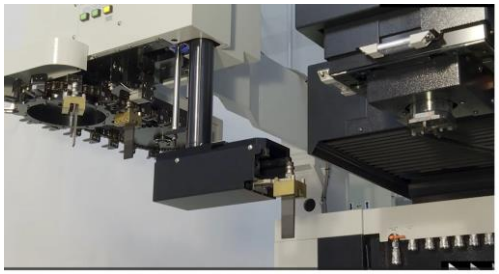
- 金型や精密部品を加工する現場では、1つの製品に対して複数本の電極を使い分ける必要があり、その都度、手作業で電極交換を行うと時間がかかってしまいます。
- このような場面で、本機器を導入すると、夜間や無人時間帯にも連続して加工を進めることができ、効率的な生産が可能になります。

置き換えが可能となる機能・性能

- スケジューラ機能
- 手動軸送り速度高速化機能
- 手元操作箱の画面カスタマイズ機能

活用イメージ

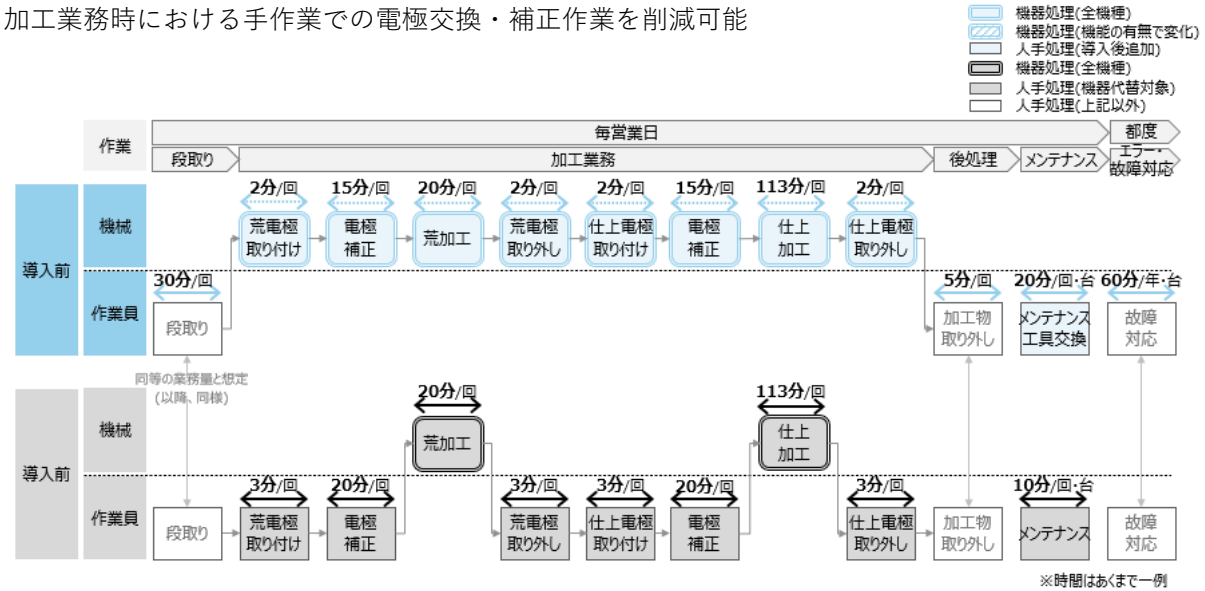




※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

電極自動交換装置付き形彫放電加工機の導入により、
加工業務時における手作業での電極交換・補正作業を削減可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -15	電極自動交換装置付き形彫放電加工機	12件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

工作物と総形又は棒状の工具電極との間の放電現象を利用して、加工を行う形彫放電加工機のうち、ATC（自動電極交換装置）により複数本の電極交換が自動でできる機能を有しているもの。

主に利用が想定される中小企業

主に精密金型や電子部品向けの加工を行っている製造業者。

省力化効果

従来、放電による電極消耗による加工精度の悪化を修正するために、複数本の電極を使用し、都度オペレータによる電極交換が必須であったが、ATC（自動電極交換装置）を装着した形彫放電加工機を導入することで、電極交換の自動化により、オペレータによる電極交換作業の削減が可能。

価格と導入費用（目安）

1,500万円～4,500万円（形状精度、ピッチ精度、面粗さ、電極消耗量によって異なる）

活用事例・ポイント

複雑な形状の金型加工や、面粗さの異なる多段階加工を必要とする製品において、本機は有効である。従来は加工のたびに作業者が介入し、電極を交換していたが、本機の導入により、複数の電極を自動で切り替えながら加工を進められる。その結果、精度の安定と工程の短縮、さらには夜間の連続加工が可能となり、生産性向上に寄与する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

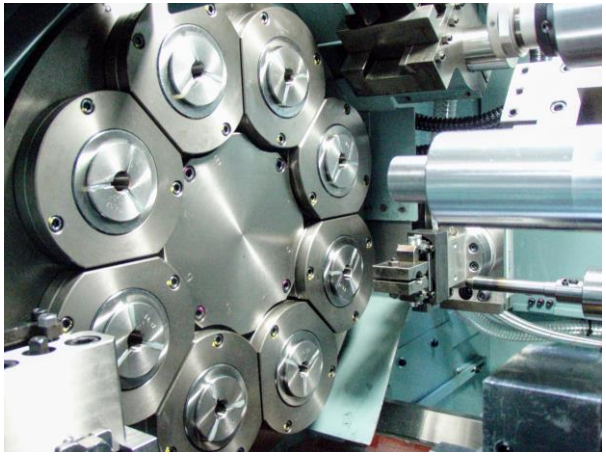
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -16	多軸自動旋盤	4件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 複数のステーション（加工位置）で、それぞれで、中ぐり・旋削・面取り・ねじ切り・溝切り・孔あけ・ワーク着脱の加工等を行うことが出来ます。
- 3分割から8分割など複数に分割した工程を同時に行う多工程機であり、ロボットやローダなど搬送装置を組み合わせた自動化とも相性が良いです。

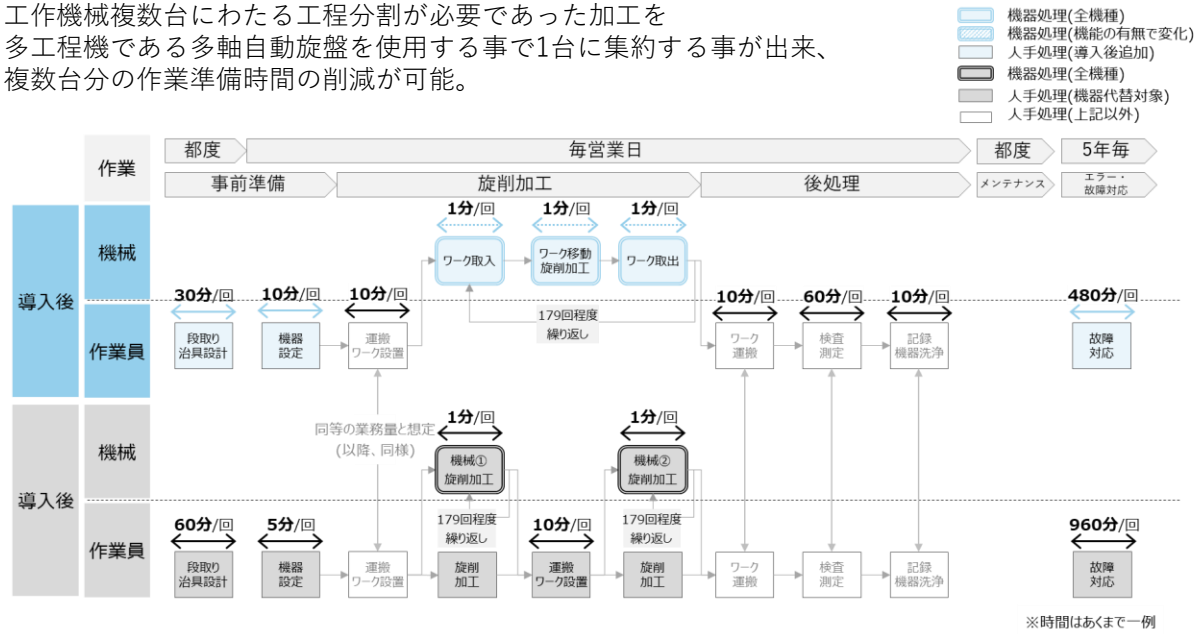
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

工作機械複数台にわたる工程分割が必要であった加工を
多工程機である多軸自動旋盤を使用する事で1台に集約する事が出来、
複数台分の作業準備時間の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -16	多軸自動旋盤	4件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

多数の工作主軸（多軸：3軸以上）に設置された工作物が複数のステーション（加工位置）で、それぞれで中ぐり・旋削・面取り・ねじ切り・溝切り・孔あけ・ワーク着脱の加工等を行う工作機械。3分割から8分割など複数に分割した工程を同時に行う多工程機であり、ロボットやローダなど搬送装置を組み合わせた自動化とも相性が良い。

主に利用が想定される中小企業

金属加工を主とする事業者。

省力化効果

工作機械、旋盤において、従来2台～5台など複数台にわたった工程分割が必要であった加工物（裏・表反転加工　異品番ミックス加工等も可）を、多工程機である多軸自動旋盤が複数台分の工程を1台に集約し行うことができるようになるため、今まで複数台の管理をしていた機械担当者の人員、負担を大幅に省力化することができる。またロボットなど搬送装置を組み合わせて無人化に対応することによる省力化にも効果がある。検査装置を取付け、加工不良を判別させるなどして、不良品低減を図ることも可能。

価格と導入費用（目安）

1,000万円～6,000万円　※2,000万円が主流
（軸数とそれに付随するスピンドル、ベアリング、ギア等によって異なる）

活用事例・ポイント

「多軸自動旋盤」は、複数の主軸が同時に異なる加工を行う高能率な旋盤機で、金属加工分野では“生産性を飛躍的に高める装置”として知られている。

主軸が同時並行で異なる切削工程を実施したり、多軸同時制御により片側加工→反転→裏加工を自動化する等、活用効果は多岐にわたる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -17	カメラ位置決め機能付き 板金レーザ加工機	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

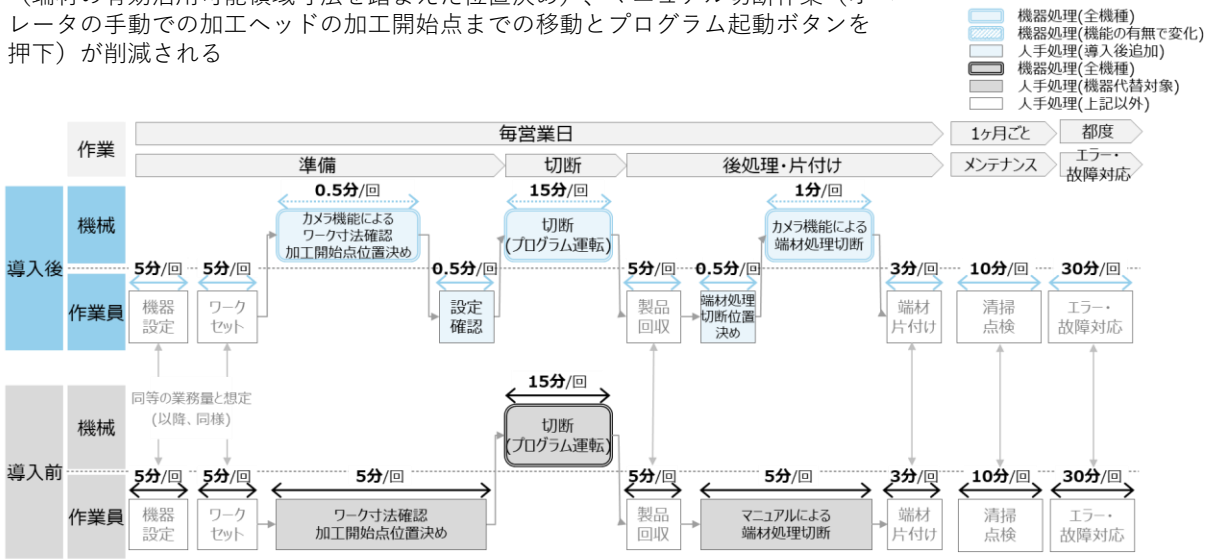
- 不揃いな形の端材に対して、カメラでワーク画像を読み取り最適配置で端材を活用して追加加工するときなど有効です。（機械オペレータの段取り作業時間が短縮されます。）
- 突発的な追加工が必要になった際に、カメラでワーク位置を把握し、NC上で加工開始位置決めが可能となり、プログラムの作成や手作業でのワーク測定や開始位置決めが不要となります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

本カテゴリの製品導入により、端材を活用したレーザ加工で発生する切断位置決め（端材の有効活用可能領域寸法を踏まえた位置決め）、マニュアル切断作業（オペレータの手動での加工ヘッドの加工開始点までの移動とプログラム起動ボタンを押下）が削減される



※時間はあくまで一例。1プロセス当たり4尺×4尺サイズの板金から10ピース程度取り出す設定。

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -17	カメラ位置決め機能付き板金レーザ加工機	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

発振器により生成されるレーザー光の入熱によって加工対象物を溶解させ、加工ガスで溶融物を除去しながら切断を行う工作機械です。主に軟鋼やステンレス鋼、アルミ、銅といった板金を加工するのに用いられます。このような工作機械の中でも、端材を有効活用する加工においてカメラ位置決め機能を用いて、機械オペレータの段取り作業時間を短縮する仕様を有するもの。

主に利用が想定される中小企業

金属（板金）加工を主とする事業者。

省力化効果

カメラ位置決め機能付き板金レーザ加工機では端材を活用したレーザー加工が用いられる事が多く、その際には以下の作業が発生します。
・活用する端材の内、有効活用可能な領域の寸法をメジャー等で測定（マニュアル作業）
・測定した寸法と加工するプログラムの外寸を照らし、加工形状が端材の有効活用領域内に収まるかを判断
・オペレータがハンドルボックスを用いて手動で加工ヘッドを端材の加工開始点まで移動させてプログラム起動のボタンを押す
当該カテゴリーの製品を用いる事により、上記作業の省力化が可能。

価格と導入費用（目安）

3,500万円～4,000万円～6,500万円
（加工機のサイズや発振器の大きさによって異なる）

活用事例・ポイント

カメラ位置決め機能付き板金レーザ加工機は、ワーク形状を画像で確認しながら最適配置で加工でき、端材活用や後加工、多品種小ロットに有効。

加工ミス防止や歩留まり向上に加えて、機械オペレータの段取り作業時間の大幅な短縮にも寄与する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -18	帯鋸用自動歪み取り機	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

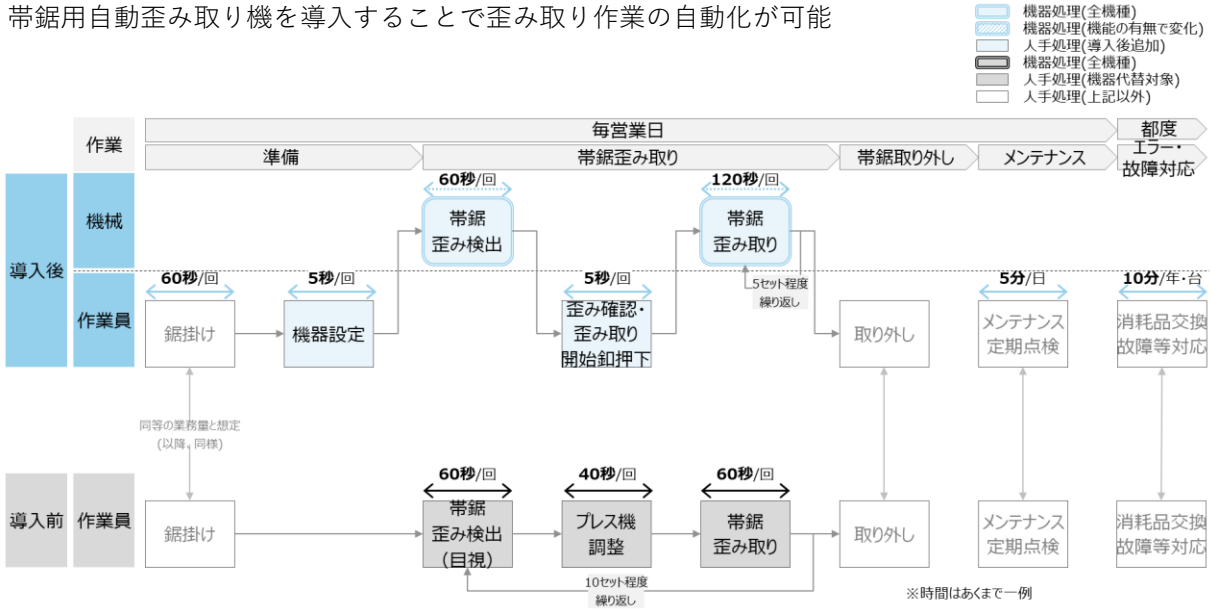
- 鋸身の歪みを自動で均一に矯正し、製材精度が大幅に安定します。
- 熟練作業者に依存していた「歪み取り作業」を標準化し、品質のばらつきを解消します。
- メンテナンス時間を短縮し、ライン停止の減少による生産性向上の達成、および手作業による危険作業を減らし、安全性を強化します。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

導入前は人手でメンテナンスしていた帯鋸の歪み取り作業に対し、
帯鋸用自動歪み取り機を導入することで歪み取り作業の自動化が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -18	帯鋸用自動歪み取り機	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

原木から木材製品を切り出す際に「帯鋸」という刃物を高速回転させ、製材する。その際、「帯鋸」に発生する“歪み”を検出、除去する機械。使い終わった「帯鋸」は再利用するためにメンテナンスを行う。
使用済みの「帯鋸」の表面を高精度センサーで測定し、歪みを検出。数値データとしてモニター上に表示し、熟練の技術者でなくとも帯鋸の微細な歪みを認識できる点が特徴。 また、検出した歪みを取るための「歪み取り」と呼ばれる作業も自動で行い、技術者の負担を軽減する。

主に利用が想定される中小企業

製材業を主とする中小事業者。

省力化効果

熟練の技術者が、つきっきりで作業していた「歪取」の作業を自動化し、機械の稼働中、技術者は他の作業が可能になり省力化が期待できる。熟練の技術者でなくても安定した「歪取」が可能になり、人材不足の課題解決にも役立つ。時間の短縮だけではなく、数値化されたデータにより、帯鋸の品質が安定し、より理想的な製材が可能になる。

価格と導入費用（目安）

1,000万～1,500万円
（加工対象物のサイズにより異なる）

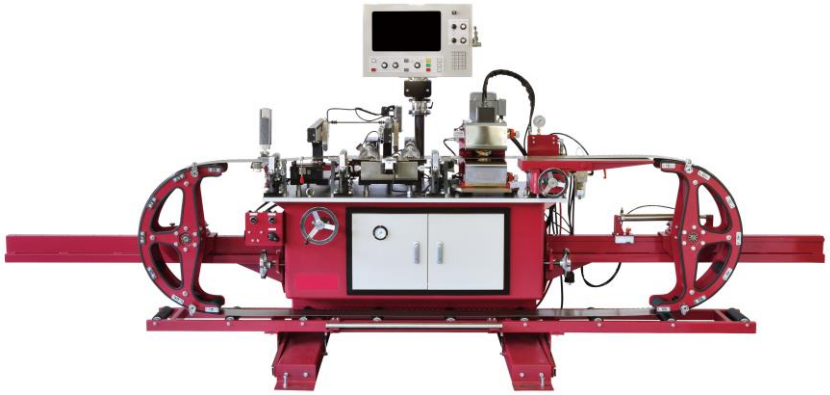
活用事例・ポイント

帯鋸用自動歪み取り機は、使用によって生じる帯鋸刃の歪みを自動で精密に矯正し、切断精度と品質を安定させる機器。

熟練者に依存していた作業を標準化し、メンテナンス時間の短縮やライン停止の減少に貢献。

刃の寿命延長と安全性向上にもつながります。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

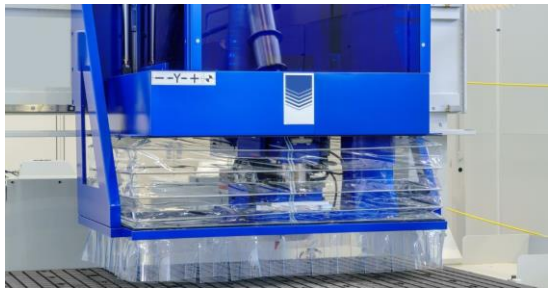
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -19	切削粉塵飛散防止機能付き NCルータ	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 集塵カバーや負圧吸引により切削粉塵の飛散を抑制し、作業環境を清潔に保ちながら木材切削加工等が可能となり、清掃時間が削減され、連続運転による生産性向上に寄与します。
- 切削粉塵飛散防止機能により、切削粉塵の機械内部への侵入を抑制し、センサーや駆動部の汚損・故障発生を低減させます。結果、突発的な停止や修理回数が減少し、保守点検や清掃にかかる工数を削減できるため、安定稼働と生産性向上につながります。

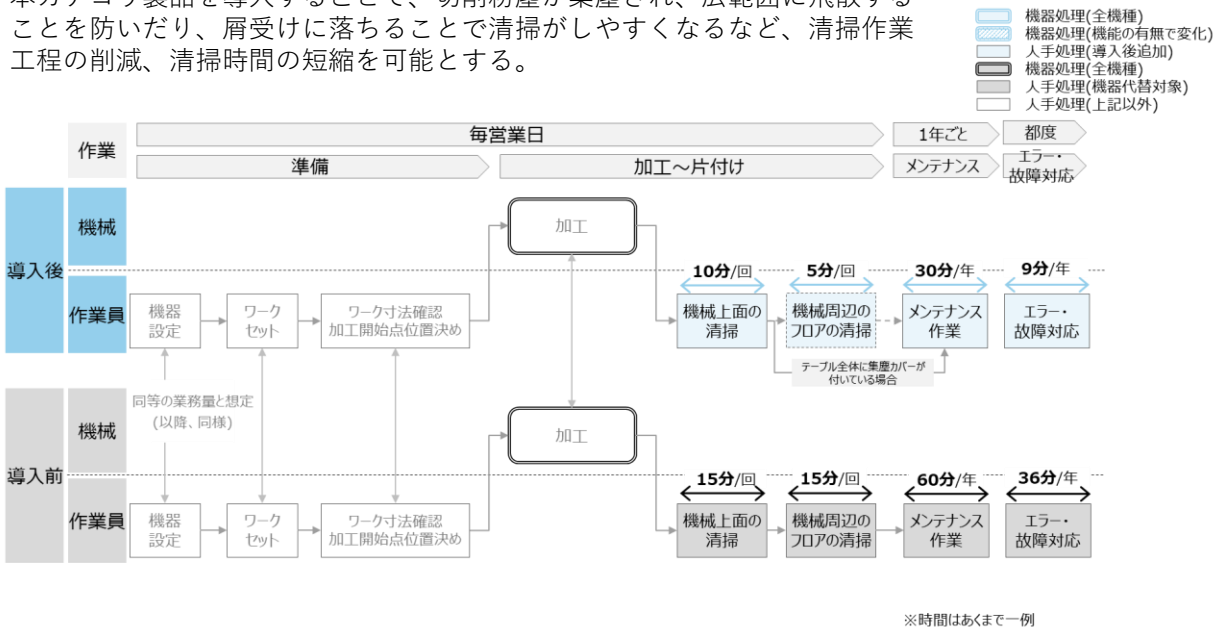
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

本カテゴリ製品を導入することで、切削粉塵が集塵され、広範囲に飛散することを防いだり、屑受けに落ちることで清掃がしやすくなるなど、清掃作業工程の削減、清掃時間の短縮を可能とする。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -19	切削粉塵飛散防止機能付き NCルータ	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

集塵機能や切削粉塵を飛散させないカバー、屑受けが付いているNC ル ータ。主軸部分や後方ダクトにて集塵をすることができるNC ルータ、全 体カバーやテーブル周りに屑受けが付いている3軸または 4 軸 NC ルータを対象とする。 対応する業務は木材や樹脂等の加工・生産であり、加工により切削粉塵が発生する現場にて使用される。

主に利用が想定される中小企業

木材切削加工を主とする中小規模の製造業者。

省力化効果

従来は、加工時に切削粉塵が広範囲に飛散する為、清掃にある程度の時間が割かれていた。しかし当該製品を導入することで、切削粉塵が集塵され、広範囲に飛散することを防いだり、屑受けに落ちることで清掃がしやすくなるなど、清掃作業工程の削減、清掃時間の短縮を可能とする。さらに粉塵による機械故障の回数が減少し、メンテナンス作業の負担軽減にもつながる。

価格と導入費用（目安）

3,000万程度
（加工できる内容、加工物の大きさによって異なる）

活用事例・ポイント

木材切削加工において、切削粉塵飛散防止機能付きNCルータを導入することで、

・清掃作業工程の削減、清掃時間の短縮を可能とする。
・加工時に発生する木粉拡散や機械内部への侵入を抑制でき、故障や、部品交換の頻度が低下し、保守負担を軽減できる。
・作業者が切削粉塵を吸引することによる健康被害の防止ができる。

結果、安定稼働を確保しつつ作業環境改善と生産性向上を同時に実現する。中小事業者の省力化にも寄与する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -20	自動ダボ穴加工機	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- キャビネット、収納棚、テーブルなどの部材に対し、接合用ダボ穴を自動で高精度加工することで、穴位置・深さ・ピッチが均一になり、組立精度が安定し、ガタつきや歪みを防止できます。（品質のばらつき低減・再加工削減を実現します。）
- 熟練作業者が行っていた位置決め・穴あけ作業を自動化します。作業者は材料供給と取り出しに集中でき、教育期間も短縮され、結果、省力化を可能にします。

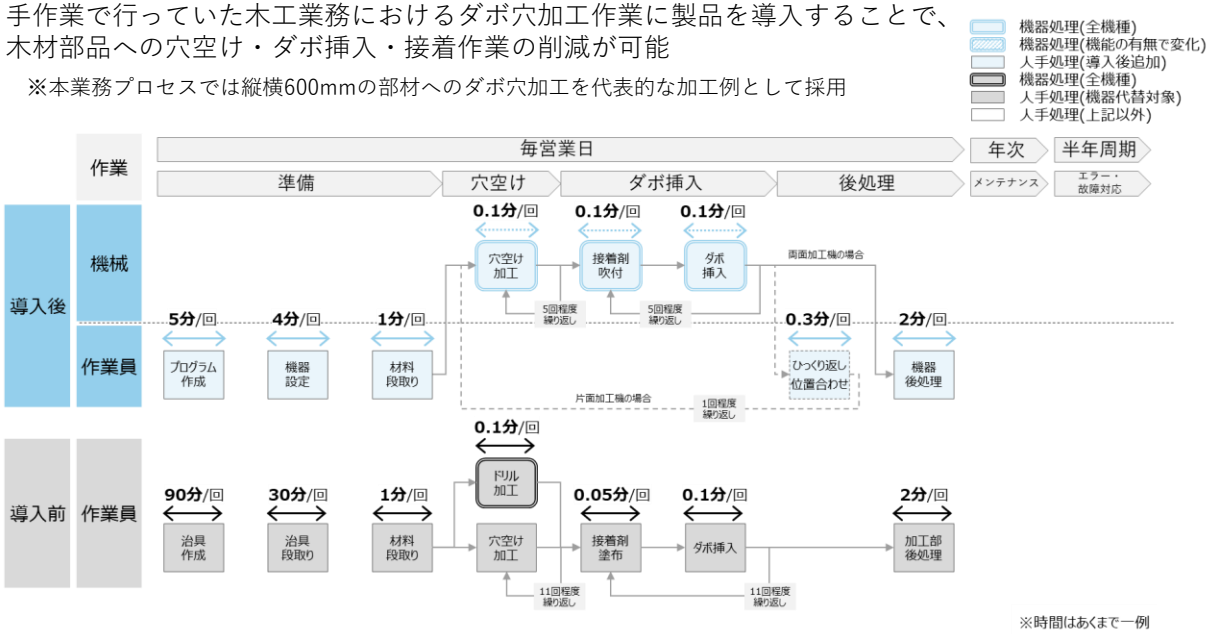
活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた木工業務におけるダボ穴加工作業に製品を導入することで、木材部品への穴空け・ダボ挿入・接着作業の削減が可能

※本業務プロセスでは縦横600mmの部材へのダボ穴加工を代表的な加工例として採用



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -20	自動ダボ穴加工機	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

木材加工において、ダボ穴の穿孔、接着剤注入、ダボ挿入を自動化する専用機械。従来の手作業による段取り替え作業を大幅に省力化し、2軸制御システムにより高精度な加工を実現する設備。
対応する業務は木材製品（家具、建具等）の接合加工。
本カテゴリにおいて、両面加工機も対象とする。

主に利用が想定される中小企業

木材加工を主とする中小規模の製造業者。

省力化効果

自動ダボ穴加工機は、木材加工業における複雑なダボ接合工程を大幅に自動化する革新的な設備であり、従来の手作業による段取り替え作業を1台で完結することにより、作業効率向上と省力化を実現する。
【想定作業基準】
•加工対象：キャビネット1箱（扉2枚、側板2枚、棚板3枚）
•ダボ穴総数：30箇所　•ダボサイズ：直径8mm、長さ30mm
•材料：合板厚18mm　•加工精度要求：穴位置±0.5mm以内、深度±1mm
【省力化効果】
・事前準備、段取り（90%削減）　・材料運搬、位置決め（80%削減）
・ダボ穴あけ、接着剤塗布、タボ挿入（自動化）
・後処理（80%削減）
【その他の効果】1～2日の基礎研修で操作可能となり、±0.1mm精度の加工が可能。（従来は3～6か月の技能習得期間が必要）

価格と導入費用（目安）

エントリーモデル：1,000～1,200万円程度
ハイエンドモデル：1,200～2,600万円程度
（扱うダボの太さや種類、片面・両面対応かによって価格帯が異なる）

活用事例・ポイント

家具や建具製造において、部材の接合用ダボ穴を自動で高精度に加工。穴位置・深さ・ピッチが均一化され、組立時のズレや手直しを削減できる。熟練作業に頼らず安定した品質を確保でき、省力化・多品種少量生産にも対応可能。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

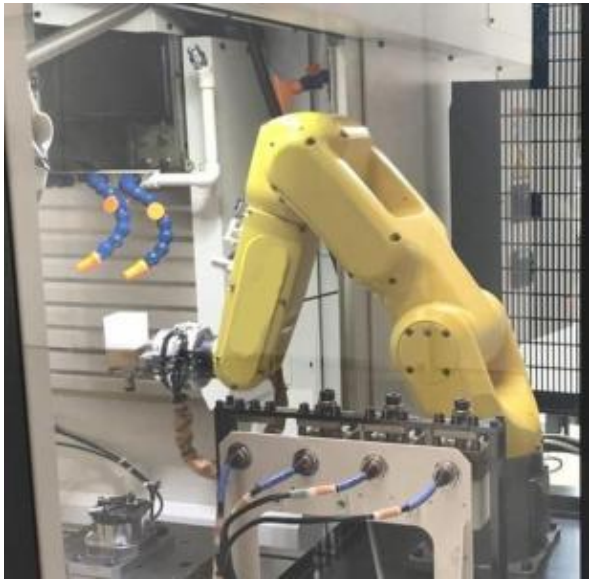
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -21	自動ワーク交換装置付3軸マシニングセンタ	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- ワークストッカにセットされた未加工ワークを加工完了と同時に自動交換することで、長時間の無人運転による大幅な省力化を実現します。
- 日中にワークストッカにワークを仕込み、夜間も無人運転を行うことで設備稼働時間が大幅に伸び、生産性向上を達成します。作業者の違いによるワーク取り付け精度を一定に保つことで品質のばらつきも抑え、安定した量産体制の構築につながります。

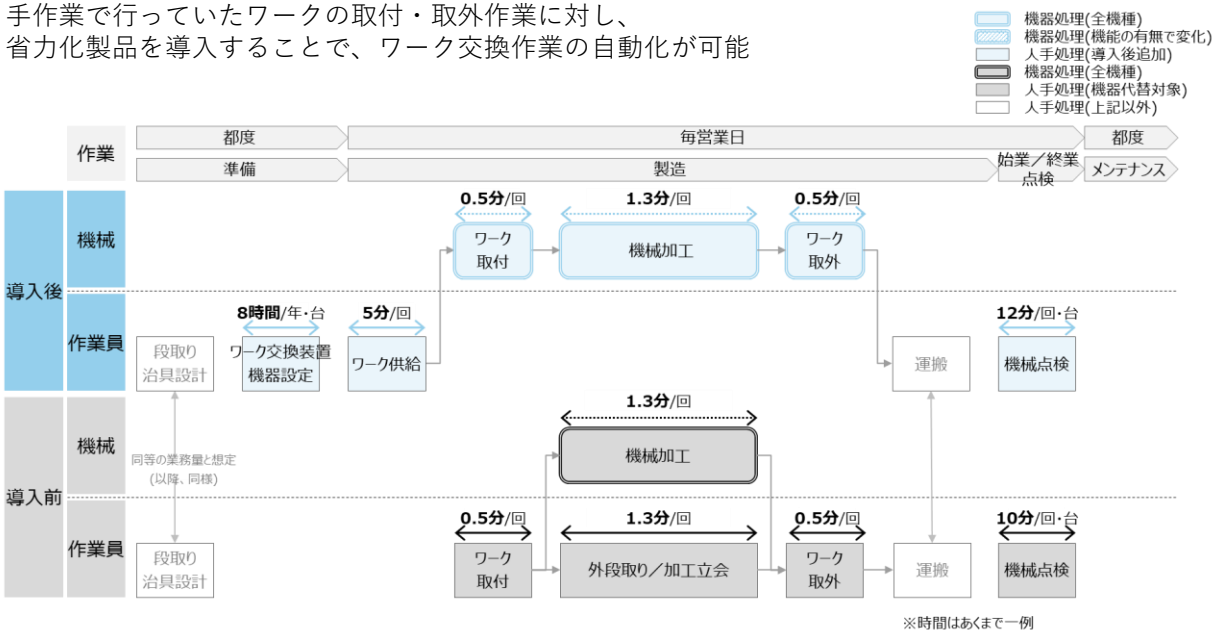
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていたワークの取付・取外作業に対し、
省力化製品を導入することで、ワーク交換作業の自動化が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -21	自動ワーク交換装置付3軸マシニングセンタ	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

ロボット等による自動ワーク交換装置（ワーク搬送形式は問わない、通称：AWC）を備えた直交3軸を持つマシニングセンタ。

主に利用が想定される中小企業

部品の切削加工を行う事業者。

省力化効果

・ワーク交換の自動化により、作業者の工数を削減することができる。
・ストッカ上でワークを一括入れ替えすることで、作業効率が大幅に向上する。また、長時間の無人運転が可能になり、作業者の就労時間を削減できる。
・機械がワーク交換待ちで停止することが無くなり、機械の稼働率が向上し、生産性が向上する。

価格と導入費用（目安）

1,000万円～5,000万円
※主軸のサイズや性能、機械の対応ワークサイズ、精度等によって異なる

活用事例・ポイント

自動ワーク交換装置付3軸マシニングセンタは、ワークストッカにセットされたワークを自動交換することで長時間の無人運転を実現する。段取りと加工の分離により省力化を実現し、さらに夜間無人運転によって稼働時間を拡張する。これにより、生産性向上・コスト削減・品質安定を同時に達成できる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -22	合板積込装置	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

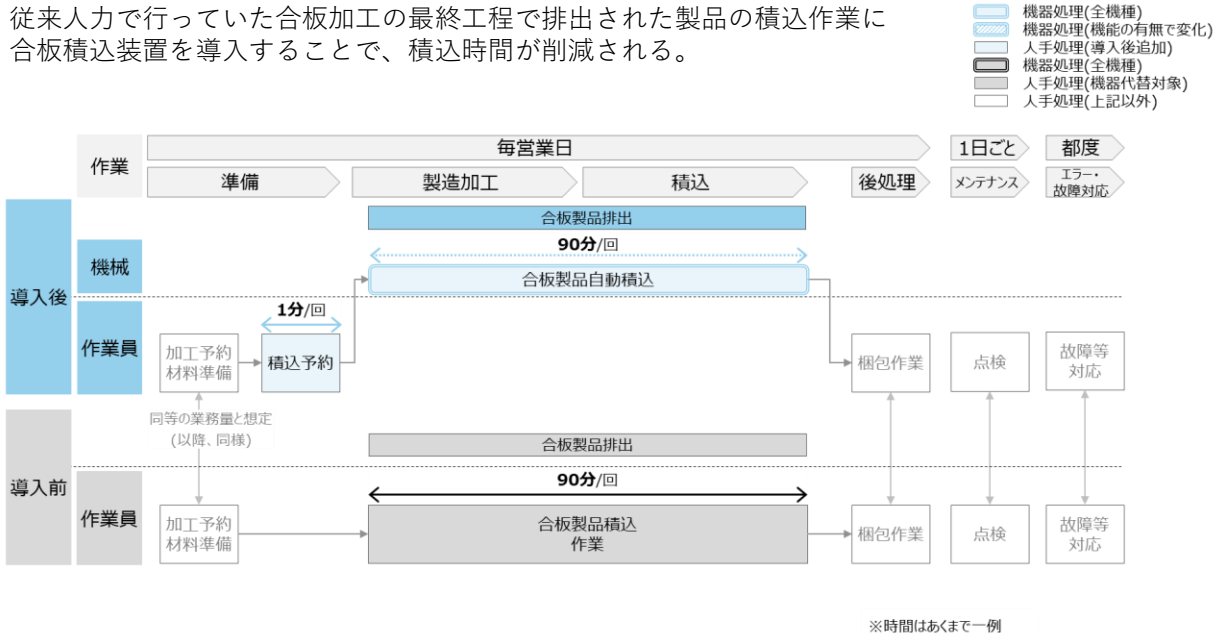
- サイズや材質ごとに積替えが発生し「人手負担」と「待ち時間」が発生します。合板積込装置により次材料を自動積込することで、作業の手離れを実現し加工機の停止を防き、結果、省力化を達成します。
- 材料の手投入が供給遅れや人手不足の原因となります。合板積込装置により一定ピッチで安定した自動積込を行うことで連続運転と夜間無人化を実現し、生産性を向上させます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

従来人力で行っていた合板加工の最終工程で排出された製品の積込作業に合板積込装置を導入することで、積込時間が削減される。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -22	合板積込装置	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

プレカット工場において、合板加工の最終工程で排出された製品の積み込み作業を自動で行う機械。

主に利用が想定される中小企業

板材を扱い、積み替え・搬送が多い加工業者（木材を中心とした板材業者全般）

省力化効果

合板積込装置は、合板加工ラインにおいて排出された合板の積み込みを自動化し、効率と安全性を高める先進的システム。
従来は、ラインアウトされた合板製品の積み込みを１ラインあたり１名の作業者が行っていたが、本機では、ロボットアーム型のガントリーローダーにより合板を吸着して自動で積み込みを行うため、作業者が不要となる。

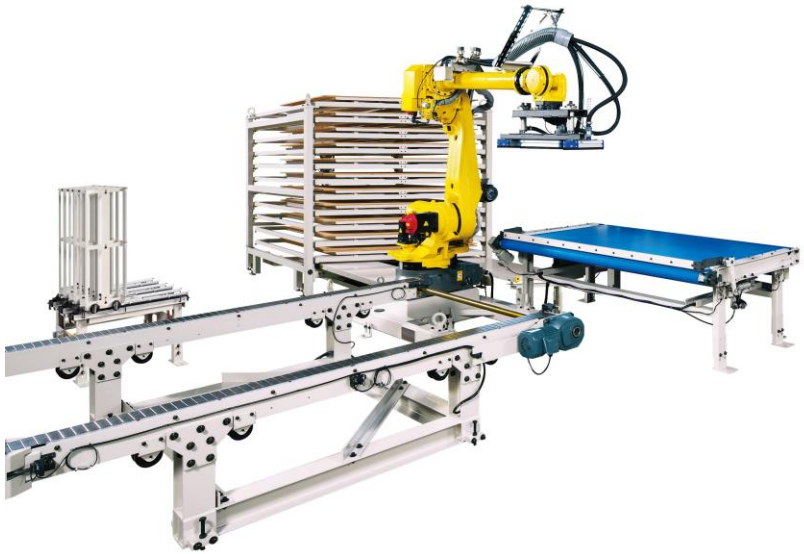
価格と導入費用（目安）

約6,300万～

活用事例・ポイント

合板積込装置は、板材の自動積込により人手による搬送・段取り作業を削減し、加工機の停止時間を最小化する。一定ピッチで安定供給することで連続運転や夜間無人運転を可能とし、稼働率向上・省力化を実現する。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -23	木材加工用 自動四面かんな盤	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

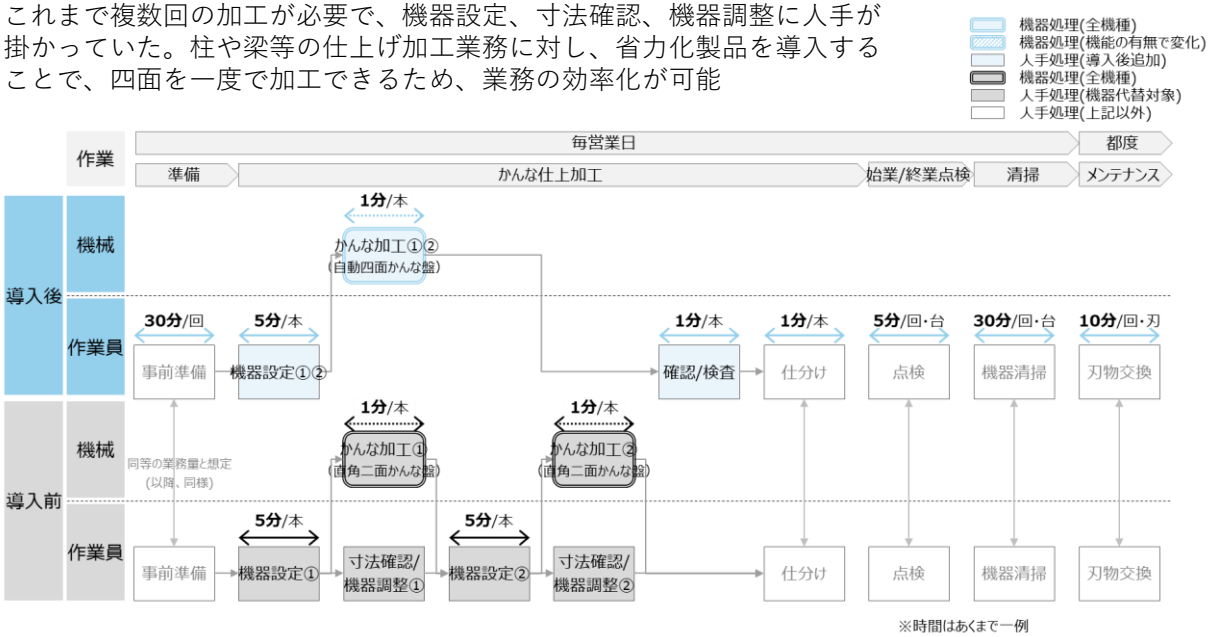
- 製材工場において、自動四面かんな盤を導入し、荒挽き材を一度の通過で四面仕上げすることで加工工程を集約します。寸法精度と表面品質を安定させつつ、手作業による調整を削減し、作業時間短縮と生産性向上を実現します。（結果として省力化に寄与します。）
- 住宅部材のプレカット工場で、自動四面かんな盤を前工程に配置し、柱や梁材の寸法を均一化します。後工程の加工精度が向上し、不良率低減と段取り時間短縮を達成します。（結果として安定供給とコスト削減、省力化に寄与します。）

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

これまで複数回の加工が必要で、機器設定、寸法確認、機器調整に人手が掛かっていた。柱や梁等の仕上げ加工業務に対し、省力化製品を導入することで、四面を一度で加工できるため、業務の効率化が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -23	木材加工用 自動四面かんな盤	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

木材加工に用いられる、自動かんな盤。4 軸同時加工で、自動でかんな仕上げができる機械。
対応する業務は木材の柱、梁等の仕上げ加工。

主に利用が想定される中小企業

主に、木材加工を行う事業者。

省力化効果

木材仕上げ加工用自動四面かんな盤は4 軸あり、仕事内容によって何面削るか選定できる。最大4 面を一度で加工できるため、一人作業で済み、移動も少なく仕上げ加工ができ省力化が期待できる。
具体的には、以下のような省力化効果が見込まれる。
・段取り時間の短縮：加工厚自動位置決めにより、段取り時間の短縮
・加工時間の短縮：軸数に応じて加工回数が違ってくるので、
　軸数が 4軸だと、1/4 の加工時間短縮となる。
・省力化：4 面同時に加工できるので、複数回の加工作業時にならず、
出口側に人が必要なく、一人作業で対応でき省力化になる。
※これまで複数回の加工が必要で、機器設定、寸法確認、機器調整に人手が掛かっていた柱や梁等の仕上げ加工業務に対し、本カテゴリの製品を導入することで、四面を一度で加工できるため、業務の省力化が可能となる。

価格と導入費用（目安）

1,000～2,000万円※対象ワークの大きさによって異なる

活用事例・ポイント

自動四面かんな盤は、材料を一度の通過で四面同時に加工できるため、工程集約による大幅な効率化が可能となる。寸法精度と表面品質を安定させることで後工程の加工精度も向上し、不良率を低減。さらに段取り時間や手作業を削減し、生産性向上、安定供給とコスト削減を同時に実現でき、省力化に寄与する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

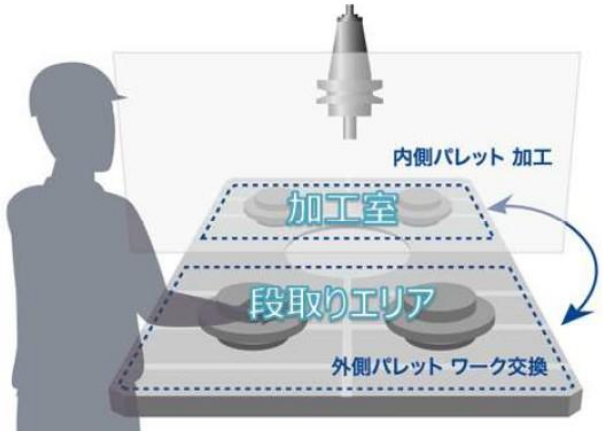
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -24	パレットチェンジャー付 3軸マシニングセンタ	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- パレットチェンジャーにより、加工中に次工程の段取りを実施できるため、段取り替え時間を大幅に削減できます。試作や小ロット部品の頻繁な切替にも柔軟に対応でき、短納期案件でも高い生産性を維持できます。
- 複数パレットにワークをセットし、夜間の無人運転を実現します。作業者不在でも連続加工が可能となり、設備稼働率が向上します。人手不足の解消とコスト削減を同時に達成できます。

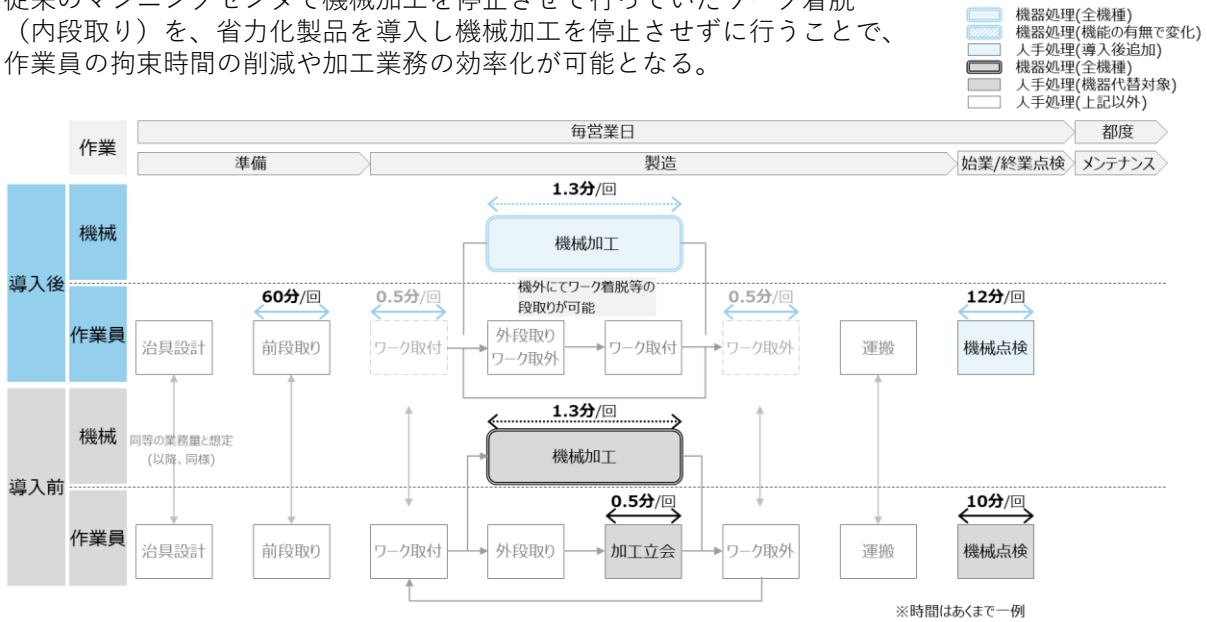
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

従来のマシニングセンタで機械加工を停止させて行っていたワーク着脱（内段取り）を、省力化製品を導入し機械加工を停止させずに行うことで、作業員の拘束時間の削減や加工業務の効率化が可能となる。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-4 -24	パレットチェンジャー付 3軸マシニングセンタ	0件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

ワークを搭載するパレット（ホルダーを含む）を2面以上持ち、製品本体に搭載されたパレットチェンジャー機能（パレット移動形式は問わない）により、それらを入れ替えられることのできる、直交3軸を持つマシニングセンタ。

主に利用が想定される中小企業

複雑な形状の加工を行うための高精度な工作を行う事業者。

省力化効果

テーブルが1面のマシニングセンタでは、段取りの際に加工を止める必要があるが、テーブルが2面あることにより、1面で加工中に、もう1面でオペレーターによる加工ワークの機械間移動や取り付け作業が可能になる。また、これによりロボットによる段取りの自動化も容易になる。
加工の効率化に加えて、余裕を持った段取りによる不良品の低減や一人が担当する機械を増やすことが可能となるなどの副次的効果も期待される。

価格と導入費用（目安）

1,000万円～　※対応ワークサイズ、精度等によって異なる

活用事例・ポイント

パレットチェンジャー付3軸マシニングセンタは、加工中に次工程の段取りを並行して行うことで段取り時間を削減し、多品種少量生産でも高い生産性を実現する。また、複数パレットの活用により夜間無人運転が可能となり、稼働率を最大化する。結果として、短納期対応、コスト削減、品質の安定化を同時に達成できる。（省力化に寄与する。）

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

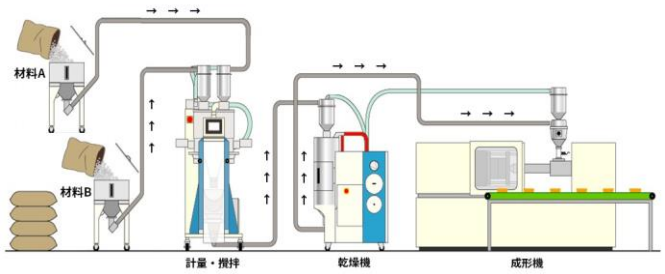
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-5 -1	原材料自動計量混合搬送装置	22件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- プラスチックの着色成形品を生産する業務において、着色剤や添加剤の計量作業や攪拌作業、成形機までの運搬業務が自動化され、大幅な省力化が見込めます。
- 従来まで手作業で行っていた計量作業を自動化することで、手作業による計量のバラつきが排除され、混合比率が安定することで生産性の向上も見込めます。

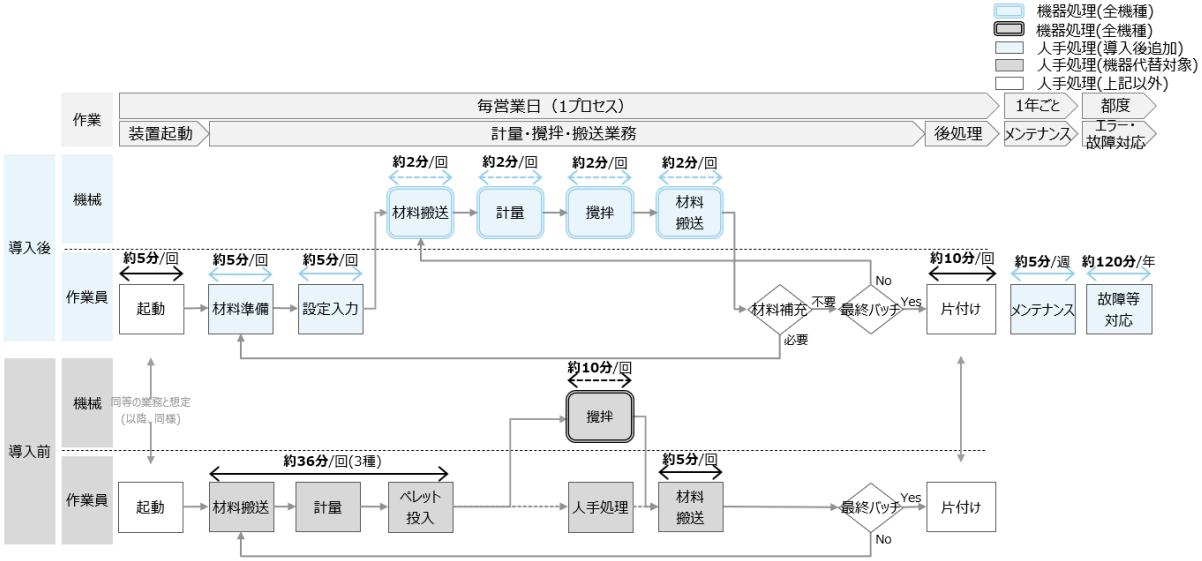
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

目視・手作業で行っていた計量・攪拌・搬送作業に機器を導入することで、業務の削減が可能。
※時間はあくまで一例。業種や企業規模により増減する場合がある。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-5-1	原材料自動計量混合搬送装置	22件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

プラスチック製品製造工場において、成形材料（ペレット）に着色材ならびに添加剤を加える際に、自動で規定の配合比率にあわせ混合し、成形機まで自動搬送するシステム。

主に利用が想定される中小企業

プラスチック製品および色付き容器などの装飾品を生産する事業者。

省力化効果

プラスチックの着色成形品を生み出すための作業工程において、本機器を導入することで、材料を貯蔵しておく装置に補充する人員だけ確保すれば、自動搬送システムにより、自動で作業が行われる 。投入後の材料の搬送作業、規定量を追加するための計量作業、複数の材料を混合する作業を省力することが可能

価格と導入費用（目安）

200万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えば
すぐに使用可能。

活用事例・ポイント

手作業で行っていた原材料の計量を自動化することで、
経験の浅い社員でも正確な計量および材料の混合が行えるようになる。また、計量・混合・搬送の各工程が自動化されるため、
大幅な省力化が見込める。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-5 -2	プラスチック成形機部品洗浄装置（洗浄液式）	5件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

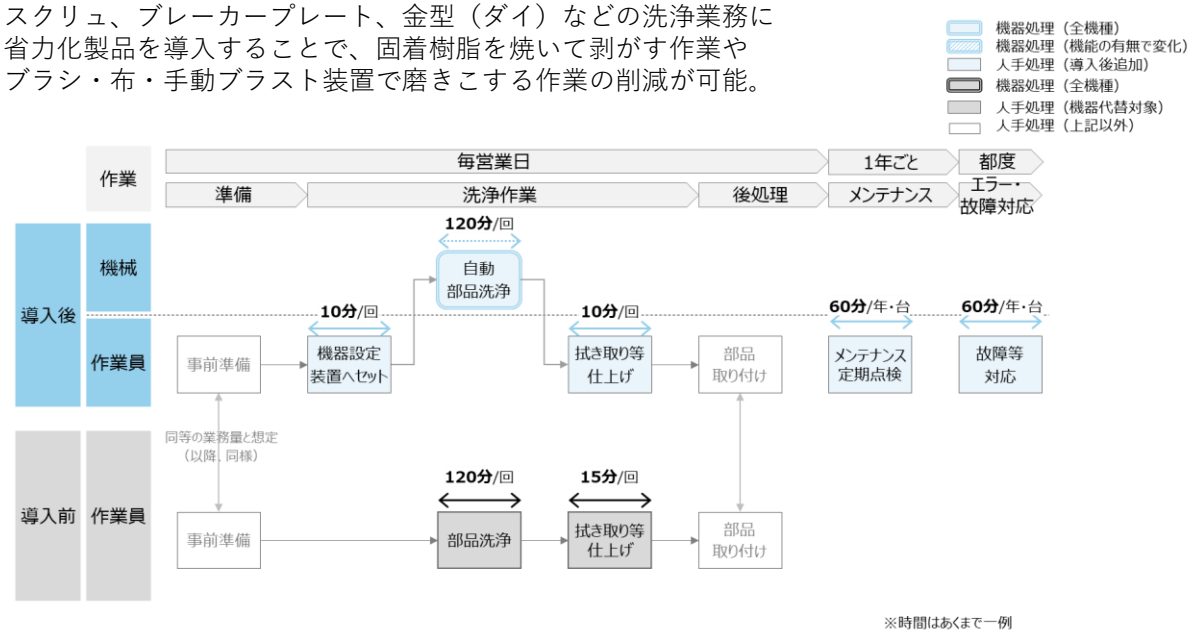
- プラスチック製品製造工場においては、各種成形機（射出・押出・ブロー成形機など）が使用され、成形機の構成部品である可塑化スクリュ、ブレーカープレート、金型（ダイ）などには樹脂が固着したり、溶融樹脂から発生するガスが付着したりするなど汚れが蓄積します。そうした汚れは「成形不良の原因」となるので定期的な洗浄が必要となります。
- 超音波洗浄装置や圧力洗浄装置を使うこと、洗浄液などの効果で「こびりついた汚れ」も比較的簡単に落とすことが可能となります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

スクリュ、ブレーカープレート、金型（ダイ）などの洗浄業務に省力化製品を導入することで、固着樹脂を焼いて剥がす作業やブラシ・布・手動ブラスト装置で磨きこする作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-5 -2	プラスチック成形機部品洗浄装置（洗浄液式）	5件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

プラスチック成形機部品洗浄装置とは、射出成形機・押出成形機・ブロー成形機などの「スクリュ」「シリンダー」「ノズル」「金型部品」などに付着した「樹脂・炭化物・添加剤残渣」を、薬液・超音波・高圧水などで除去する装置。

主に利用が想定される中小企業

プラスチック製品を製造する事業者。
（プラスチック製品を製造するほぼすべての事業所で成形機の部品のメンテナンスとして洗浄作業が必要）

省力化効果

成形機部品の洗浄工程は次のように表すことができる。
①成形機からスクリュ、金型などの部品を取り外す
②ブラシや布、洗浄剤、研磨機などを用いて手作業で洗浄を行う
③洗浄が終了した部品を磨いてふき取る
④成形機に取り付ける
本装置を導入した場合、上記②の作業がほぼ全自動で行われ、③の作業時間も短縮。結果、以下の工程となり、作業時間が短縮。
①洗浄機のセッティング（洗浄液の補充など）を行い、部品を洗浄機に入れる
②洗浄完了後に拭き取る

価格と導入費用（目安）

120万円～1,200万円程度　※500万円前後が主流（機器のサイズ（洗浄対象物のサイズ）や特殊仕様により価格が異なる）

活用事例・ポイント

射出成形機・押出成形機・ブロー成形機などの「スクリュ」「シリンダー」「ノズル」「金型部品」などに付着した「樹脂・炭化物・添加剤残渣」の「洗浄」について、手作業では「以下２工程」が発生していた。
・ブラシや布、洗浄剤、研磨機などを用いての洗浄
・洗浄が終了した部品を磨いてふき取る
本装置を活用することで、上記２工程が自動で行われ、大幅な省力化が可能となる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

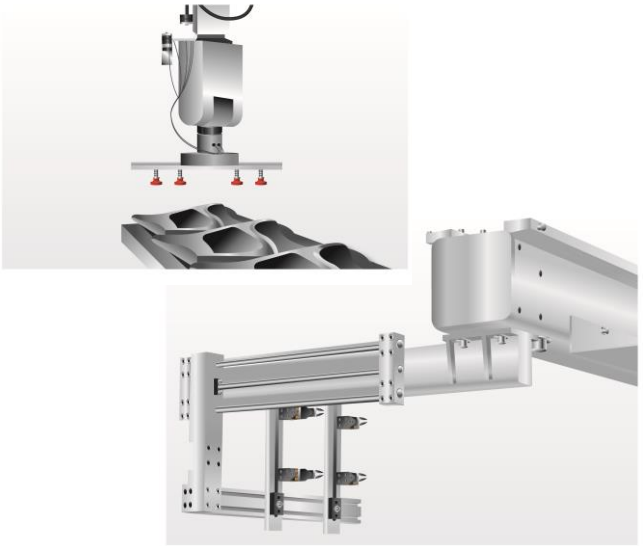
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-5 -3	後工程自動化機能付 成形品取出しロボット	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- ヒータを内蔵し「高温」となる成形機周辺の過酷な環境において、人手処理が必要な成形品の成形後工程作業を本ロボットの導入により、生産性の向上と効率的な運用、省力化が可能となります。
- 取出し後の後工程作業（ゲート処理、仕分・整列）で省力化が見込めます。

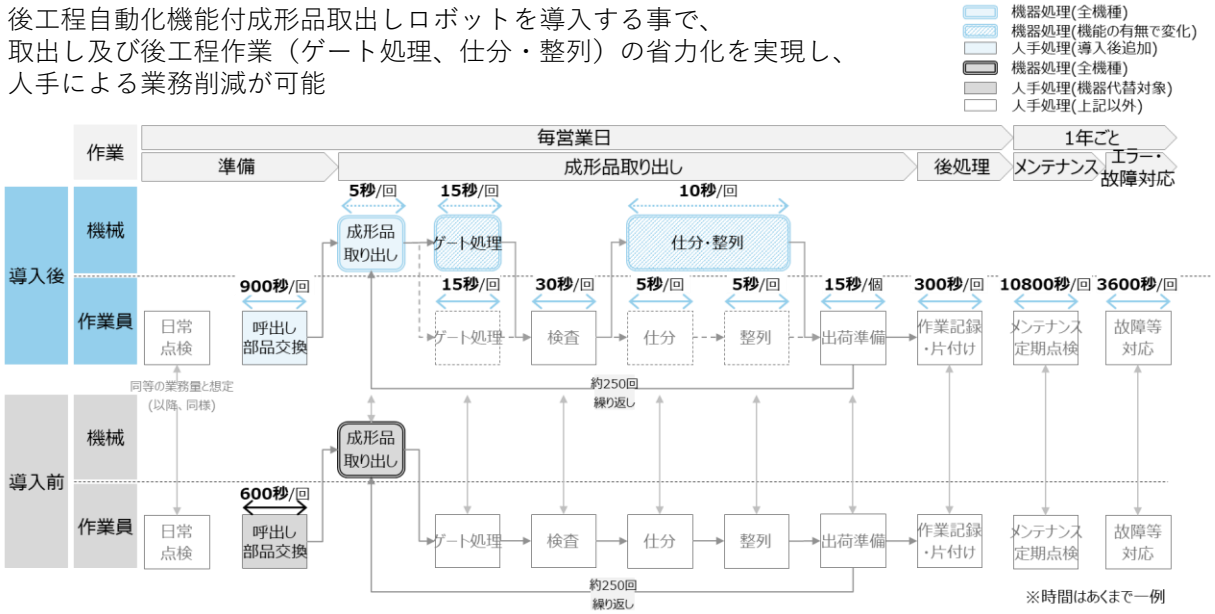
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

射出成形機からの製品取出しプロセスにおける人手作業に、
後工程自動化機能付成形品取出しロボットを導入する事で、
取出し及び後工程作業（ゲート処理、仕分・整列）の省力化を実現し、
人手による業務削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-5 -3	後工程自動化機能付 成形品取出しロボット	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

射出成形機での成形後の金型からプラスチック成形品を取出す専用ロボット。成形品取出し後の次工程までの搬送及び搬送途中の加工・検査・梱包等の追加工程も含む工程のうち、取出し及び後工程作業（ゲート処理、仕分・整列）の機能を有するロボットを対象とする。成形品取出しロボットは、通常、成形機の型締力(トン数)に基づき、一般的に小型（100t未満）、中型（100～500t未満）、大型（500t～2000 t 未満）、超大型（2000t以上）に分類される。

主に利用が想定される中小企業

プラスチック製品を製造する事業者。

省力化効果

特に夏場、ヒータを内蔵し高温となる成形機周辺の過酷な環境において、人手処理が必要な成形品の成形後工程作業をロボット導入で省力化できる。また、成形後工程とは、ゲート処理、組付、供給（インサート/アウトサート等）、検査、仕分け、整列、箱詰め等の作業が対象となり通常、成形機横に作業員1名が常駐対応。本成形品取出しロボットの導入により、 ①成形後工程の省力化に加え、②製造プロセスの効率化、③生産数及び良品率の向上、④作業の安全性向上等が図られる。

価格と導入費用（目安）

小型：250～500万、中型：300～700万、大型400～1,500万
（上記は取り出しロボット本体価格。自動化機能の種類に応じて70～120万程度上乗せされる。）

活用事例・ポイント

射出成形後の金型から成形品を自動で取出し、ゲート処理、仕分・整列までを一貫して自動化するロボット。
人手作業を削減し、成形サイクルの短縮や品質の安定化、安全性向上を実現することで、生産性の向上と効率的な運用、省力化が可能となる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-5-4	金型・温調機器水管洗浄機	1件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

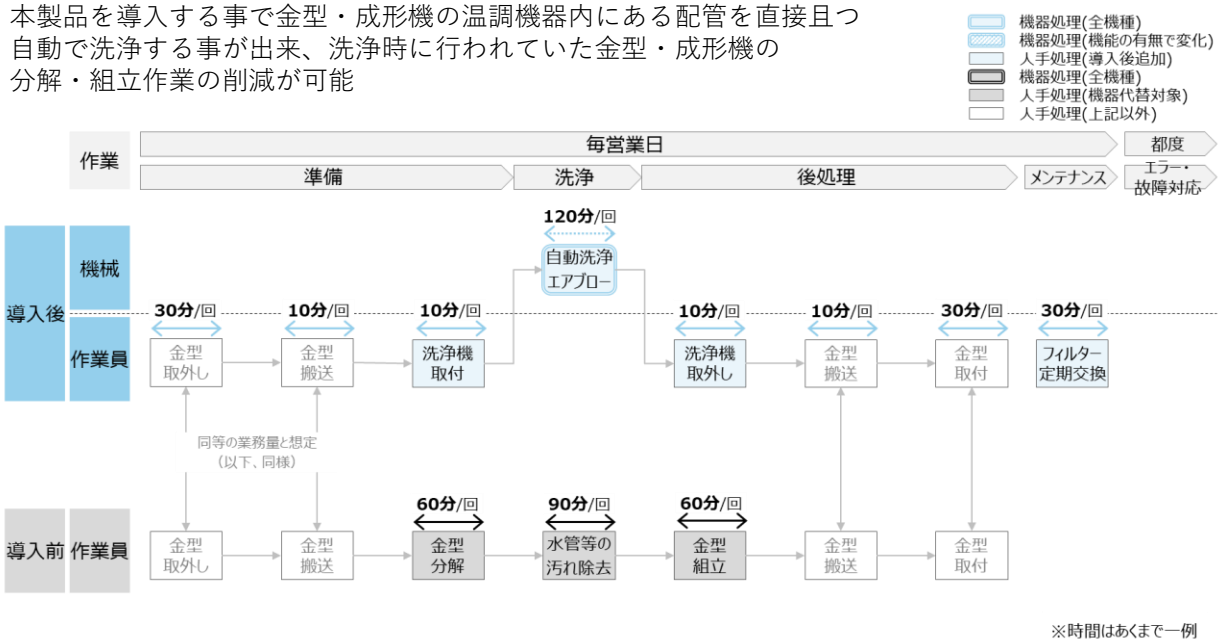
- 金型・温調機器水管洗浄機を導入することで、作業者による金型内部水管の洗浄作業を削減できます。
- 洗浄時間の短縮と作業負担の軽減により、保全工数を省力化しつつ、安定した冷却性能を維持できます。
- さらに、突発的な冷却不良対応も減り、保全業務の平準化に貢献します。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

本製品を導入する事で金型・成形機の温調機器内にある配管を直接且つ自動で洗浄する事が出来、洗浄時に行われていた金型・成形機の分解・組立作業の削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-5-4	金型・温調機器水管洗浄機	1件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

プラスチック製品製造工場においては、金型などの温度を調整するために金型内部の水管に水を循環させるが、水管にはカルシウムなどのスケールや錆が堆積するため定期的な洗浄が必要となる。洗浄する際には、金型を分解して棒やドリル、ブラシ等で削り取るなどの作業が必要となる。一方、水管洗浄装置を使うことで金型や温調機器を分解しての作業が不要となるので大幅な省力化につながる。

主に利用が想定される中小企業

プラスチック製品を製造する事業者

省力化効果

水管洗浄工程は次のように表すことができる。
（射出成形工場の例）
①金型を成形機から取り外す。
②金型をメンテナンス場に運搬する。
③清掃作業をし易くするために金型を分解する。
④冷却水管内部の汚れ（スケールや錆）を棒やドリル、ブラシ等で削り取る。
⑤清掃した金型の再組立てを行う。
⑥金型をメンテナンス場から成形機の元へ運搬する。
⑦金型を成形機に再装着する。
本装置を導入した場合は、上記④の作業が全自動で行われる。
また成形機に取り付けたままでの作業も可能なので、上記①から⑦の作業を全て省略することもできる。

価格と導入費用（目安）

250万円～450万～1,000万円程度
（必要水量によるサイズ違いによって異なる）

活用事例・ポイント

金型・温調機器水管洗浄機を活用することで、金型を分解せずに水管内部のスケールや錆を自動洗浄でき、手作業による清掃工数を大幅に削減。洗浄時間の短縮により保全作業を省力化し、冷却性能の安定化と突発トラブルの低減を同時に実現。生産停止リスクを抑え、現場負担の軽減と設備稼働率向上に貢献する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

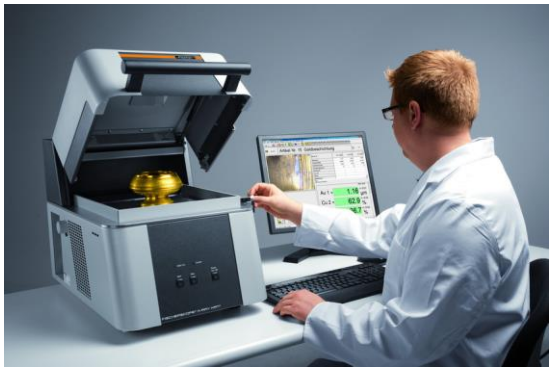
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-6 -1	蛍光X線膜厚測定器	11件	製造業	検査

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 基材（金属、プラスチック、セラミックス等）の表面に被覆された金属の付着量を迅速かつ正確に測定することができ、省力化が見込めます。
- 金属はめっき層等の膜厚を非破壊で測定することができるため、品質管理や材料分析に広く活用することができます。

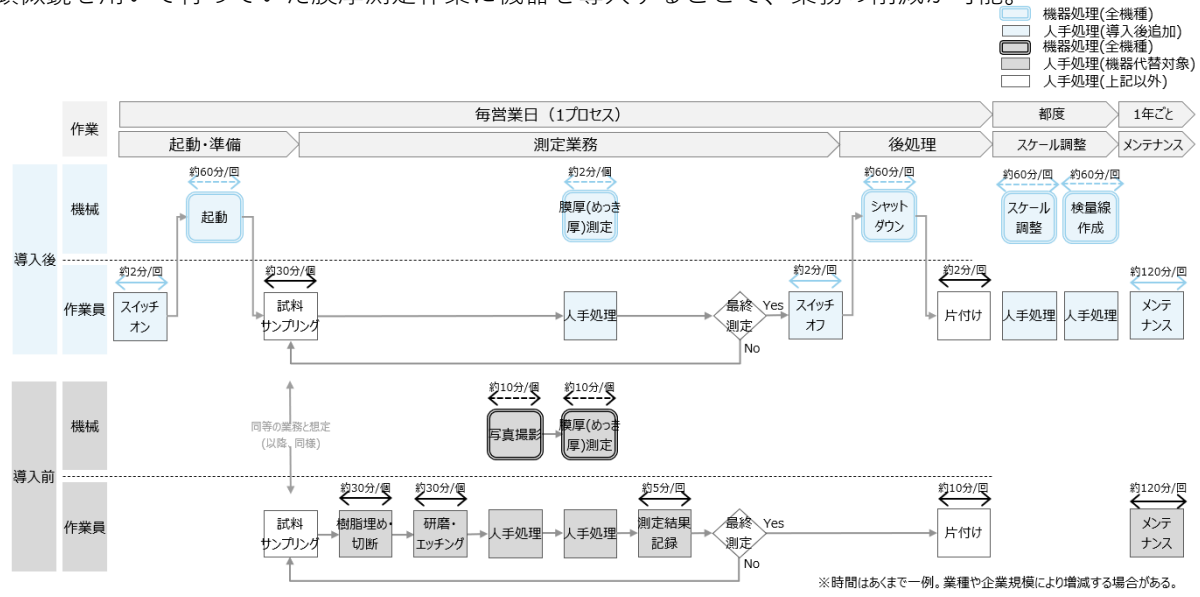
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

顕微鏡を用いて行っていた膜厚測定作業に機器を導入することで、業務の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-6-1	蛍光X線膜厚測定器	11件	製造業	検査

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

本測定器は、基材（金属、プラスチック、セラミックス等）の表面に被覆された金属の付着量を測定するもので、検体に一次Ｘ線を照射して発生した各金属に固有の波長を有する蛍光Ｘ線の強度を測定することにより、予め作成された検量線と照合させることにより、物質の量（付着量）を求めるものである。測定器は、一次Ｘ線発生装置、蛍光X線検出装置、測定試料の設置部、検出強度を検量線により膜厚あるいは付着量に換算する演算部（外付け電子計算機の場合もある）からなる。

主に利用が想定される中小企業

電気めっき業に携わる事業者。

省力化効果

従来の顕微鏡断面式と比較して、検体の切断、研磨、エッチングなどの作業時間が不要となるため、測定業務が省力化される。

価格と導入費用（目安）

700万円程度から導入可能。基本的に導入後の設定を行えば
すぐに使用可能。

活用事例・ポイント

本機器を活用することで、基材（金属、プラスチック、セラミックス等）の表面に被覆された金属の付着量を測定し、検体に一次Ｘ線を照射して発生した各金属に固有の波長を有する蛍光Ｘ線の強度を測定することにより、予め作成された検量線と照合させることにより、物質の量（付着量）を求めることができる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-7-1	自動裁断機	67件	製造業	加工、生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

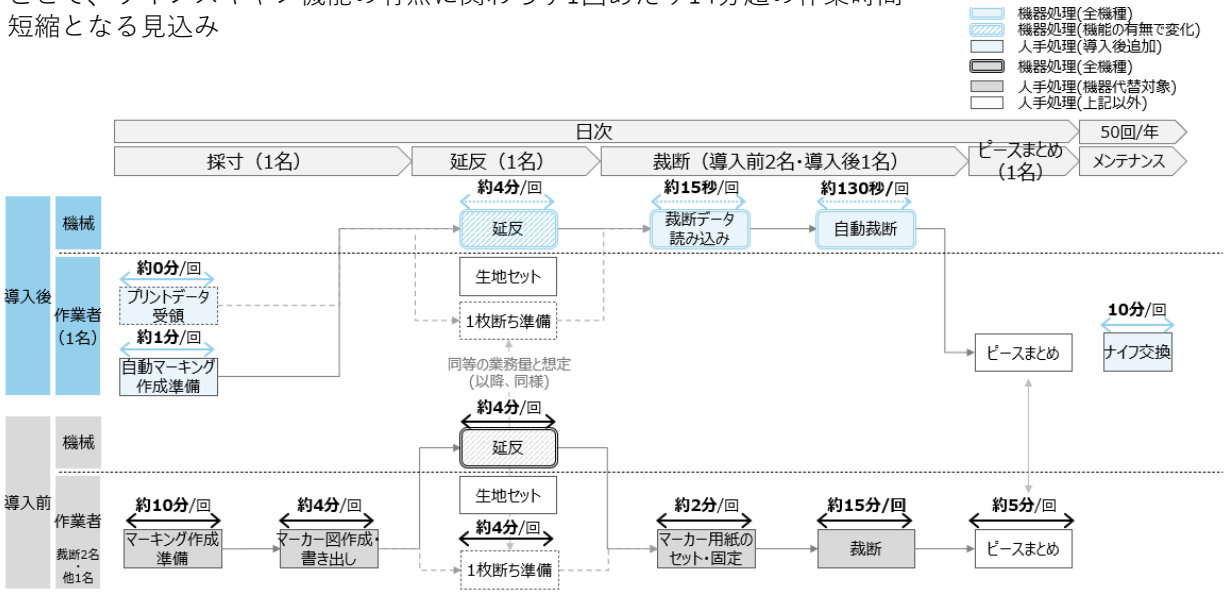
- 従来まで、熟練技術者の手作業により行っていた、生地を設計されたピース状のパーツに裁断する作業を、本機器を導入することで自動化し、大幅な省力化を見込めます。
- 裁断前の必須作業である延反作業においても手作業では2名による協同作業が必要であったが、本機器を導入することで１名での作業が可能なり、生産性の向上が見込めます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

1枚断裁機、積層裁断機いずれもマーカー関連作業と裁断が自動化されることで、ラインスキャン機能の有無に関わらず1回あたり14分超の作業時間短縮となる見込み



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-7-1	自動裁断機	67件	製造業	加工、生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

縫製工程前作業として、生地を設計されたピース状のパーツ又は寸法に裁断する作業を自動化する機器（延反機能付きも含む）。

主に利用が想定される中小企業

紡織・衣服・繊維製品製造に携わる事業者。

省力化効果

手動裁断と自動裁断の業務量を比較すると、マーカー関連作業と裁断が自動化されるため、1回あたりの作業が大幅に短縮される。また、裁断前の必須作業である延反作業においても手作業では2名による協同作業が必要であったが、本機器を導入することで1名での作業が可能なり、生産性の向上が見込める。

価格と導入費用（目安）

1,300万円程度から導入可能。導入にあたり機械の設置工事等が必要。

活用事例・ポイント

アパレルCADから得た設計情報をもとに、布地を製品のパーツごとに自動で裁断することで、手作業に比べて大幅な時間短縮が可能となる。これにより、納期の短縮と生産効率の向上が図れる。また、本機器によりすべてのパーツが正確な寸法で裁断されるため、製品の品質が均一となる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

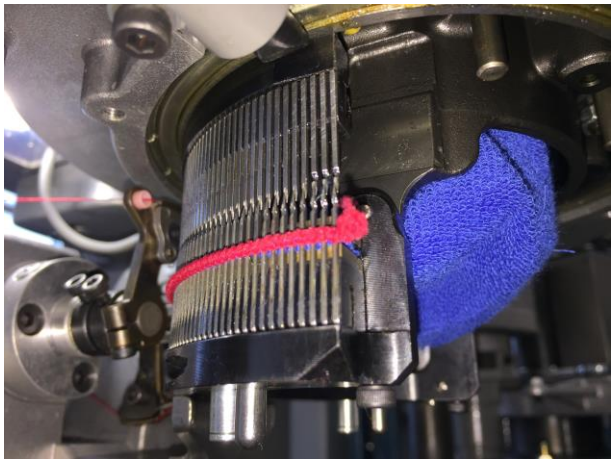
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-7 -2	自動つま先縫製機能付き丸編み靴下編機	7件	製造業	加工、生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本装置は、靴下やタイツなどの製造において、つま先縫製を含む一連の工程を自動化したい現場で活用できます。たとえば、少人数で生産を行っている中小の靴下製造業者において、つま先の縫製作業を省き、生産効率を高めたい場合に適しています。
- 従来、半製品を別工程に移し、専用ミシンで縫製する必要がありましたが、本装置を導入することで、つま先縫製を編機内で自動的に完結でき、工程の簡略化と作業時間の削減が可能になります。

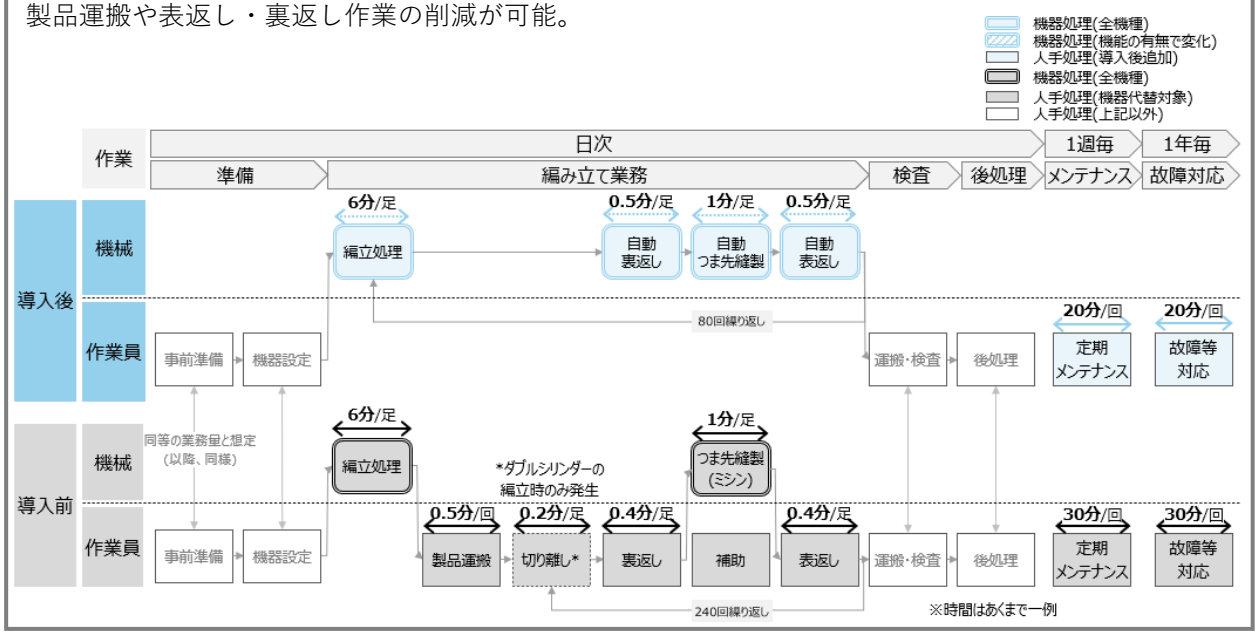
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていたつま先の縫製業務に省力化製品を導入することで、
製品運搬や表返し・裏返し作業の削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-7 -2	自動つま先縫製機能付き丸編み靴下編機	7件	製造業	加工、生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

編組機械のうち、各種の糸を材料として靴下、タイツおよびパンティストッキングを編成する機械であり、つま先縫製機能があるもの。

主に利用が想定される中小企業

靴下・タイツ・ストッキング等の製造を行う事業者。

省力化効果

本装置は、靴下編立後に自動でつま先縫製を完了させる機構を備えており、工程間の半製品の移動や裏返し作業の削減、つま先縫製作業の自動化により大幅な省力化を実現する装置である。縫製用ミシンは1台ごとに作業員1名を配置する必要があるが、本装置の導入によりつま先縫製作業が自動化になることで、人手不足の現場においても安定した生産体制の構築が可能となる。

価格と導入費用（目安）

500万円～700万円程度から導入可能。
（特殊なモデルは1,000万円程度）

活用事例・ポイント

本装置は、特にスポーツソックスや着圧機能付きソックスなど、機能性を求められる製品を取り扱う中小の靴下メーカーでの導入が進んでいる。従来の編　機では編立と縫製が別工程であったため、工程間の手作業が多く、人材の確保や技術継承が課題となっていた。本装置を導入することで、工程集約による効率化が図れ、作業者1人あたりの生産性が向上する。生産量の変動にも柔軟に対応できる体制が構築でき、ボトルネックであったつま先縫製工程の負担を軽減することができる。

（製品イメージ）（例）

断転載を禁ず

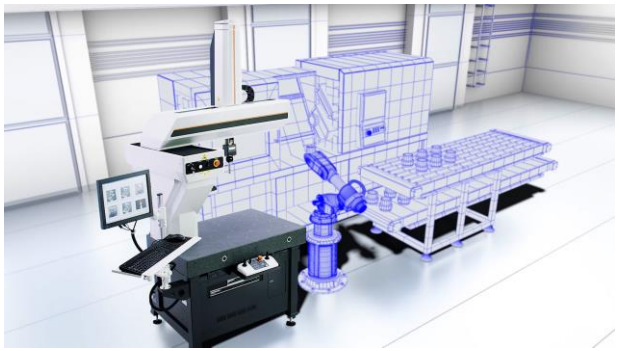
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-8 -1	CNC三次元測定機	51件	製造業	検査

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本装置は、高精度な寸法測定が求められる製造業の品質管理や検査業務で活用できます。特に、輸送用機器、化学工業、生産用機械器具、電気機械器具などの製造業で、製品の最終検査や品質管理に適しています。
- 測定工具を用いた手作業による検査から、本装置による自動測定へ移行することで、作業者の負担を軽減し、測定精度を向上させることができます。また、大物対象物の測定や複雑な形状の部品測定にも対応できるため、従来の手作業では困難だった精密測定を効率的に行うことが可能になります。

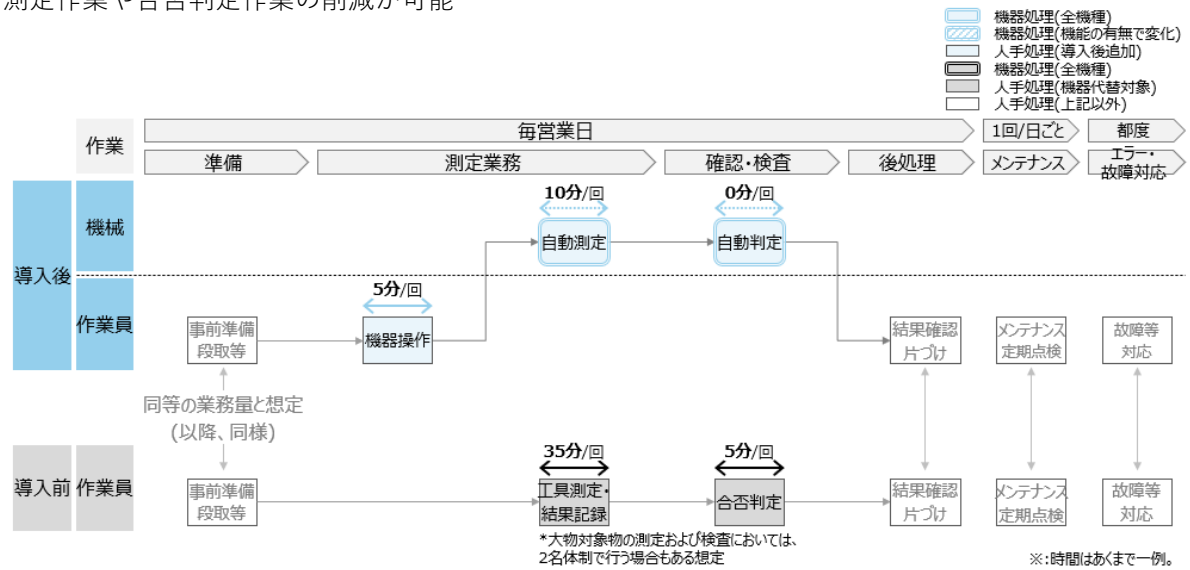
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

測定工具等を用いて手作業で行っていた検査業務に省力化製品を導入することで、
測定作業や合否判定作業の削減が可能



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-8 -1	CNC三次元測定機	51件	製造業	検査

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

CNC三次元測定機は、コンピュータ数値制御機能（CNC）により、測定子を直接製品に接触させて座標値（XYZ）を読み取り、その製品の寸法を測定する装置。高精度な測定が可能で、最終製品の検査や自社の品質管理に使用される。

主に利用が想定される中小企業

輸送用機器、化学工業、生産用機械器具、電気機械器具などの製造業に携わる事業者。

省力化効果

本機器の導入により、製品や部品の測定作業の効率化が図れる。従来、測定工具を用いた手作業による検査では1個あたり約30分を要していたが、本装置の導入により、自動測定で約10分に短縮できる。合否判定にかかる約5分の作業時間も、自動判定機能により削減可能であり、全体の測定プロセスが大幅に効率化される。・大物対象物の測定では2名体制で作業を行うことが一般的であったが、CNC三次元測定機の導入により、1名でも対応可能となり、さらなる省力化が期待できる。機器の設定や操作には約5分の準備時間を要するが、測定後の結果確認作業は従来と変わらず、トータルの作業時間削減につながる。

価格と導入費用（目安）

1,600万～2,500万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本機器は、精密な寸法測定が求められる製造業の品質管理業務を自動化し、測定作業の精度向上と作業負担の軽減を実現する。・特に、輸送機器や機械部品の加工業では、高い測定精度が求められるため、本装置の導入により品質基準を安定的に満たすことが可能となる。・手作業による測定では、作業者の技量によって測定結果にばらつきが生じるが、自動測定を行うことで、誰が作業しても一貫した測定精度が確保できる。・大物対象物の測定では、従来2名体制で行っていた作業を1名で実施できるようになり、人的リソースの最適化と労働負担の軽減に貢献する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

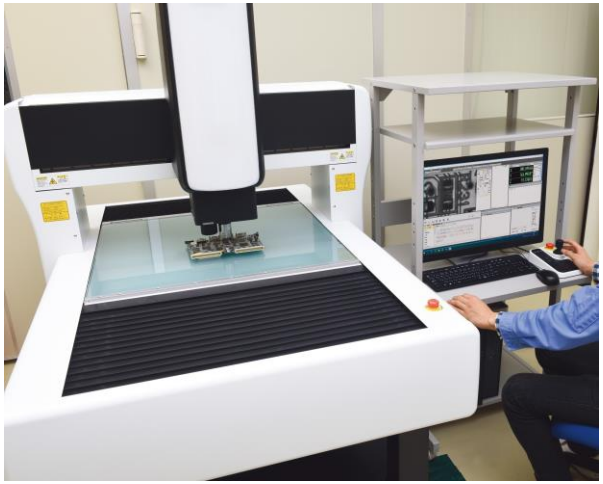
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-8 -2	自動画像測定機	20件	製造業	検査

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 本装置は、精密部品や電子部品などの寸法・形状測定を行う現場で活用できます。例えば、電子部品や自動車部品の製造工場、金属加工や樹脂成形などの製品検査工程に適しています。
- 従来は測定投影機や測定顕微鏡などを使用し、作業者が一つ一つ手作業で測定していた工程を、自動画像測定機を導入することで、事前に登録したレシピに基づいて自動で高精度に測定を行うことができます。これにより、誰でも簡単に短時間で安定した測定ができるようになります。

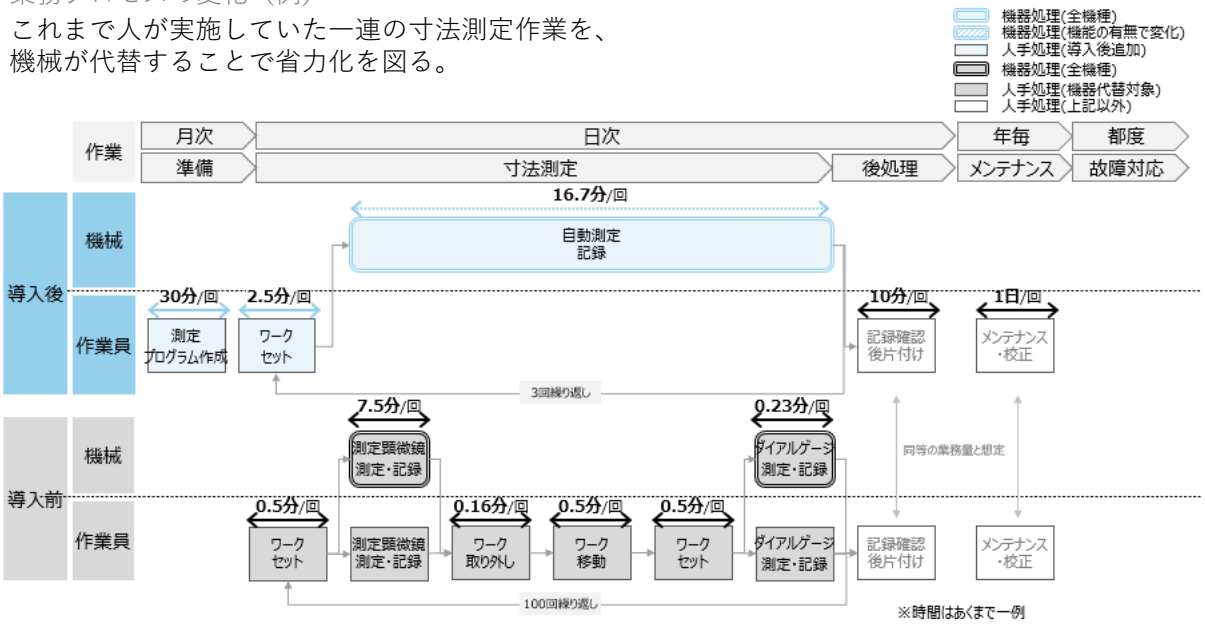
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

これまで人が実施していた一連の寸法測定作業を、
機械が代替することで省力化を図る。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-8 -2	自動画像測定機	20件	製造業	検査

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

・カメラで撮像された映像から画像処理技術を用いて、測定対象部位のエッジを自動的に検出し、非接触でその寸法や形状を高精度に計測できる装置である。
・測定対象部位のエッジの映像を鮮明に撮像するための撮像光学系、照明光学系、ならびに自動焦点機能を有する装置である。
・測定対象物を載物台に設置した後は、専用のソフトウエアにて予め作成されたレシピに則り、計画された寸法あるいは形状測定の手順をすべて自動で完結できる装置である。なお、カメラの視野に収まらない測定部位を対象にする場合は、エンコーダが内蔵されたプログラミング可能な電動載物台を有する構成となる。

主に利用が想定される中小企業

主に、電子部品製造業、自動車部品製造業、金属加工業、樹脂成形業など、精密部品や製品の寸法測定が必要な製造業に携わる事業者

省力化効果

本装置は、カメラと画像処理技術を活用し、非接触で寸法や形状を高精度に自動測定できる装置である。従来の測定投影機や測定顕微鏡などを用いた作業に比べ、測定作業によっては測定時間を約8割削減することが可能である。また、作業者による測定値のバラつきが発生しないため、品質管理の標準化が図れる。これにより、作業者の技能や経験に依存することなく、安定した測定結果を得られるため、省力化と品質の安定化に大きく寄与する。

価格と導入費用（目安）

約600万円～3,000万円程度から導入可能。

活用事例・ポイント

本装置は、電子部品製造業、自動車部品製造業、金属加工業、樹脂成形業など、精密な寸法管理が求められる製造現場での活用が進んでいる。測定作業の自動化により、作業者は測定対象物を載物台にセットするだけで、事前に設定したレシピに従い自動で測定を完了できる。これにより、検査工程における作業時間の短縮と負担軽減が実現できるほか、測定結果のバラつきがなくなり、品質管理の精度向上にもつながる。特に、同品種を多数生産する現場や人手不足が課題となっている企業においては、その省力化効果と品質安定化のメリットが大きい。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

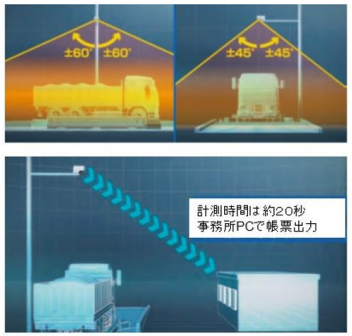
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-8 -3	トラック積載容量計測システム	1件	廃棄物処理業、建設業、製造業、倉庫業、卸売業	計測・分析

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 産業廃棄物を運搬する事業者が、荷下ろし前に積載容量を確認したい場面で活用できます。これまでは作業員が目視で確認していた容量も、計測機器を遠隔操作することで、荷台の積載状況を正確かつ迅速に把握することができます。
- たとえば、複数台のトラックが出入りする中での検収作業を効率化したい現場に適しています。

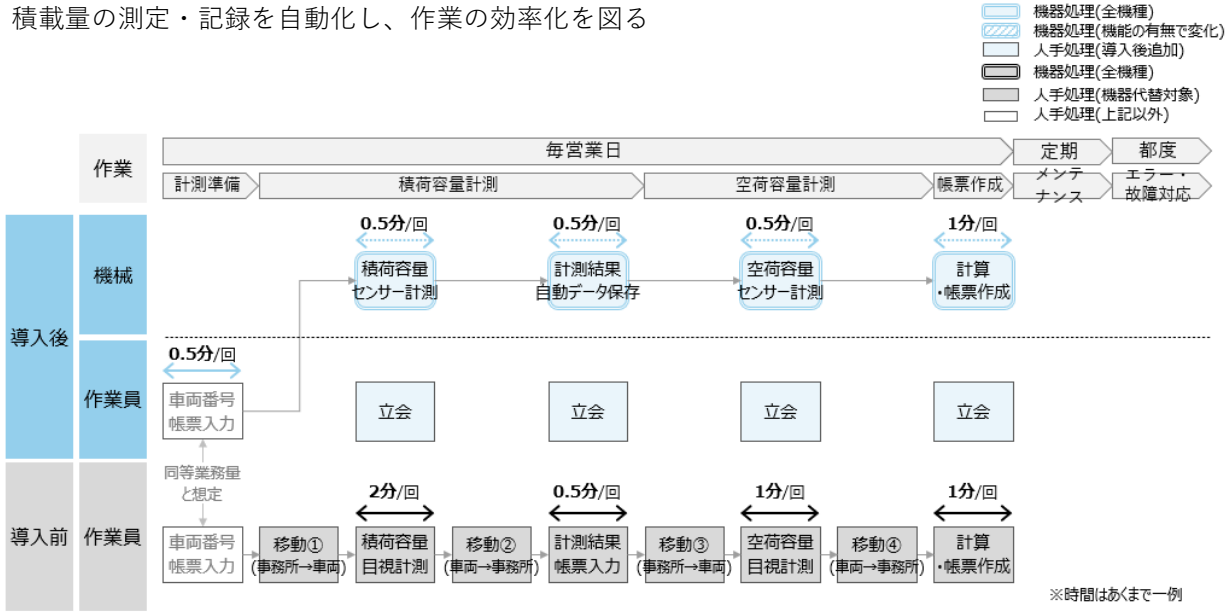
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

積載量の測定・記録を自動化し、作業の効率化を図る



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-8-3	トラック積載容量計測システム	1件	廃棄物処理業、建設業、製造業、倉庫業、卸売業	計測・分析

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

トラック荷台に積載されている産廃物、材料、製品他の体積を遠隔操作で自動計測する計測機器。

主に利用が想定される中小企業

日常的にトラックでの搬出入を伴うが、計測作業を限られた人員でこなしていた事業者。

省力化効果

導入前は、積載物の体積を目視で確認し帳簿に記録する作業が必要であったが、導入後は、荷台の積載量をセンサーで自動計測することで、検収業務の省力化を図ることが出来る。さらに、計測結果は体積・車番・画像データとして蓄積されるため、記録業務や帳票作成も効率化される。

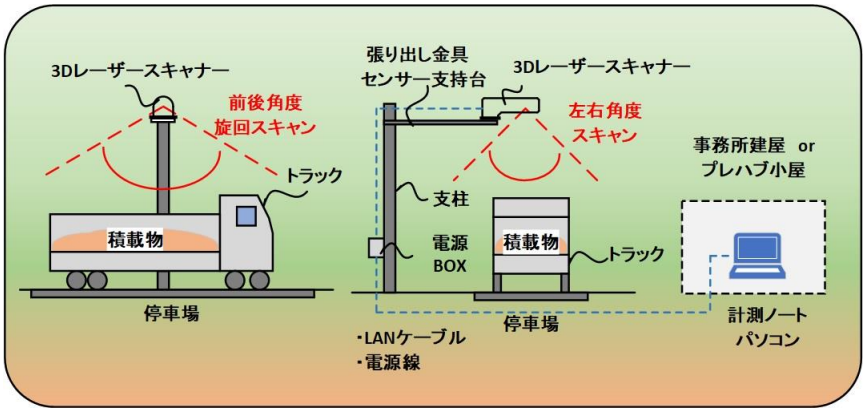
価格と導入費用（目安）

1,000万円～1,550万円（車番読取機能、積載物撮影機能、伝票出力機能等の有無、各機能の調整費等の有無によって異なる）

活用事例・ポイント

本製品は、従来の目視計測に依存した検収業務を見直すきっかけとなる。例えば、複数の運搬車両が頻繁に出入りする廃棄物処理場において、事務所から各車両の積載量をリアルタイムで確認できるため、現場に出向く回数を減らすことができる。加えて、収集データを用いた月次・年次レポートの自動化や、顧客への積載証明の電子化にも応用可能である。積載量を正確に把握できることで、過積載防止にも繋がり、法令順守の面でも利点がある。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-9-1	ハンディファイバーレーザ溶接機用協働ロボットシステム	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

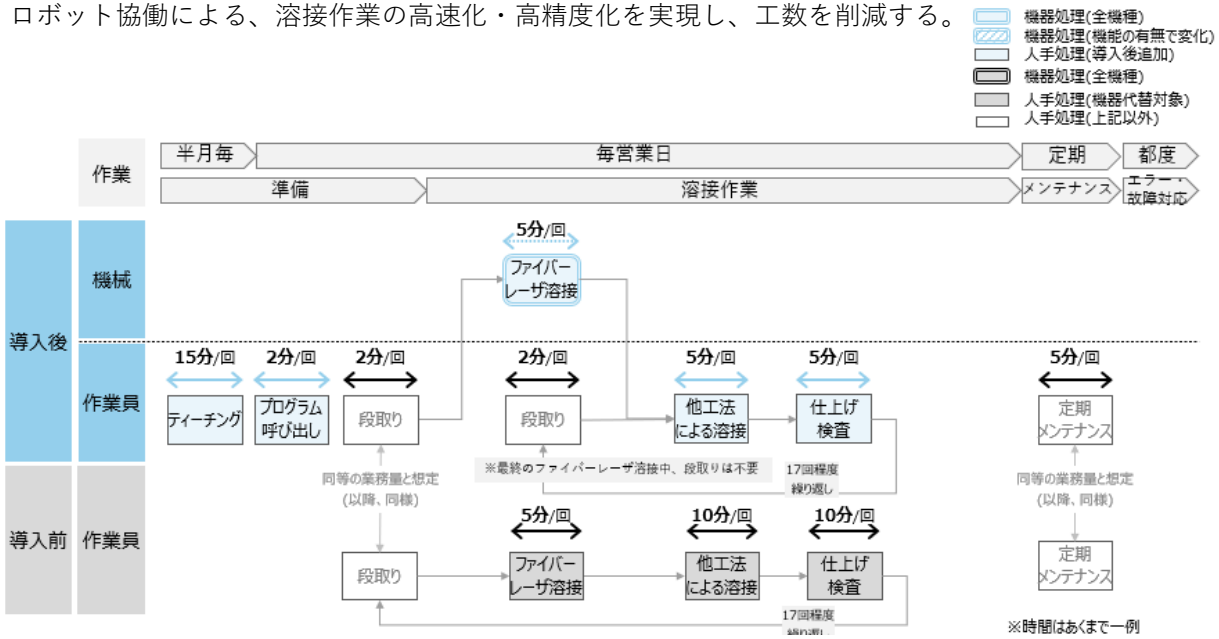
- 製造現場において、従来は熟練の溶接作業者が手作業で対応していた金属製品の接合工程において、本システムが活躍します。
- 例えば、小ロット・多品種の製品を扱う中小企業では、段取りや位置合わせなどを含めた溶接工程が作業者の負担となっていましたが、本装置を導入することで、ロボットが一定の作業を代替し、作業者は段取りや品質確認などに集中することができます。
- 協働ロボットの特性を活かし、人と機械が安全に同一空間で並行作業を行える点も、限られたスペースを有効活用したい現場に適しています。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

ロボット協働による、溶接作業の高速化・高精度化を実現し、工数を削減する。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-9-1	ハンディファイバーレーザ溶接機用協働ロボットシステム	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

金属加工品に協働ロボットを用いたファイバーレーザ溶接を自動で行うシステム。レーザ光を熱源とする溶接で、局所的にレーザ光が当たることで、熱影響を減らし溶接品質を向上させられることが特長。協働ロボットとの並行作業により労働生産性の向上が見込める。溶接トーチの付け外しを行うことで、手動でも自動でも溶接可能。製品構成としては、協働ロボット、発振器（溶接トーチ含む）、制御装置で構成される。

主に利用が想定される中小企業

主に金属製品や産業機械などの製造業で特にアーク溶接などの手溶接を中心に行ってきた事業者。

省力化効果

本システムの導入により、従来は作業者が一貫して行っていた溶接作業が自動化される。ロボットによる自動溶接の活用により、作業時間の短縮と品質の安定化が実現され、結果として仕上げ工程の工数削減にも寄与する。また、レーザ溶接は局所的な加熱により熱変形が少なく、後工程での手直し作業も削減される点も省力化に貢献する。さらに、協働ロボットであるため、作業空間を囲いで区切る必要がなく、人とロボットが同時に別の作業を並行して行うことも可能。

価格と導入費用（目安）

1,500～3,500万円程度（加工対象物のサイズ、溶け込み深さ、単体仕様か量産仕様の違いなどによって異なる）

活用事例・ポイント

例えば、少人数体制で精密板金を手掛ける中小企業では、熟練者の溶接負担が大きく、作業の属人化が課題となっていた。協働ロボットによるレーザ溶接システムの導入により、新人や非熟練者でも一定の品質で溶接作業が可能となり、工程の安定化と負担軽減が図られた。また、トーチの付け外しにより手動・自動の切り替えが可能なため、製品形状やロットに応じて柔軟に運用できる点も中小企業にとって導入しやすいポイントである。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-9 -2	アーク溶接ロボット	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

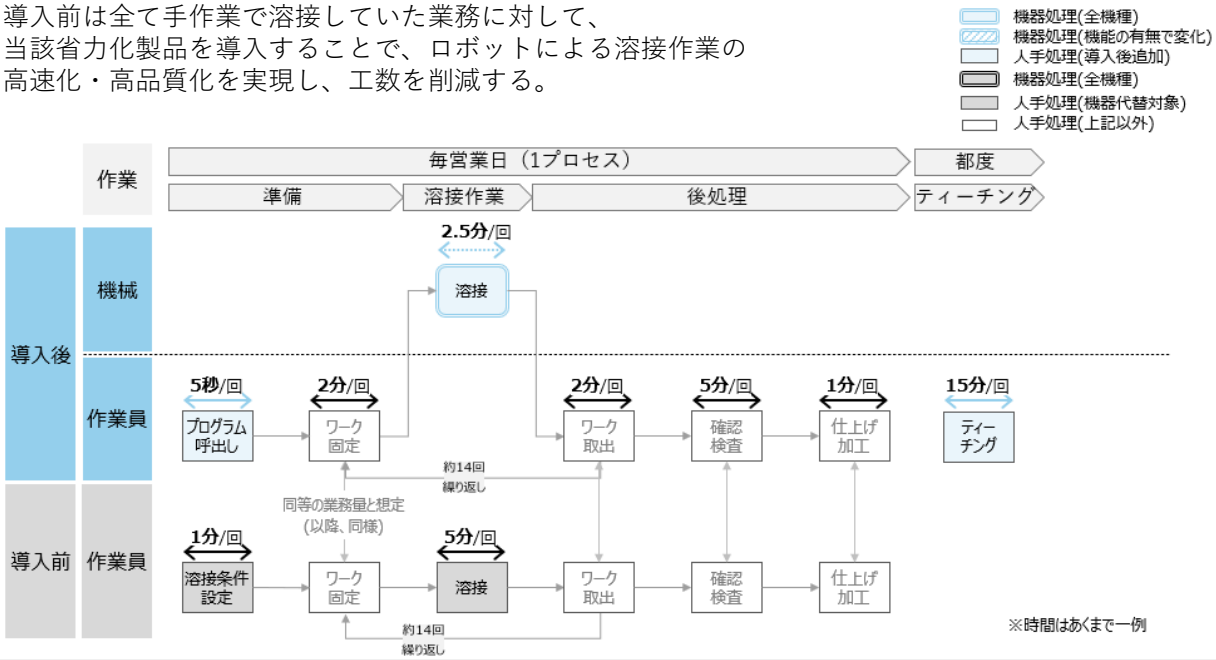
- 特に人手不足の製造現場においては溶接作業の属人性が高く、生産性や品質の安定が課題となります。
- こうした場面でアーク溶接ロボットを活用することで、技能者の経験に依存せず、常に一定の品質で安定した溶接作業を行うことができます。
- また、少人数での現場運営や、技能実習生が定着しづらい現場においても、溶接工程の自動化が有効です。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

導入前は全て手作業で溶接していた業務に対して、
当該省力化製品を導入することで、ロボットによる溶接作業の
高速化・高品質化を実現し、工数を削減する。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-9 -2	アーク溶接ロボット	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

アーク溶接作業を溶接技能者に代わり自動で行うロボット。
事前に実機操作（オプションのオフライン教示ソフトでも作成可）で作成したプログラムを選択、起動することで溶接作業を行います。製品は、垂直多関節式（６～7軸）の産業用ロボット(必要により外部軸ポジショナーを選択追加）と溶接機（内蔵式含）、付帯機器（ワイヤ送給装置、溶接トーチ等）で主に構成されます。協働用ロボットは対象外。

活用事例・ポイント

中小製造業において、ロット単位で繰り返し行われるフレーム部品や筐体部品の溶接作業において、工程時間が半分になり、1人で複数のロボットを管理可能となった事例がある。治具や段取りを工夫することで、1日の中で複数の品種に対応できるようになり、ロボットの稼働率も向上している。オフライン教示ソフトを活用することで、プログラム作成時間も短縮され、品種切替への対応もスムーズに行える。

主に利用が想定される中小企業

主に、金属製品や生産用機械器具などを扱い、一定ロットで溶接作業を日常的に行っている事業者。

省力化効果

本機器を導入することで、従来の溶接技能者がワークを作業治具にセットし、自ら溶接を行っていた作業を、作業者がワークをセットしてロボットを起動するだけの簡易な工程に置き換えることが可能となる。これにより、溶接作業の自動化が可能となり、工程全体の省力化が実現される。

価格と導入費用（目安）

400万円～1,200万円（アーク溶接の安定性、溶接時間、溶接品質の高さによって異なる）

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-9 -3	デジタルアーク溶接機	6件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

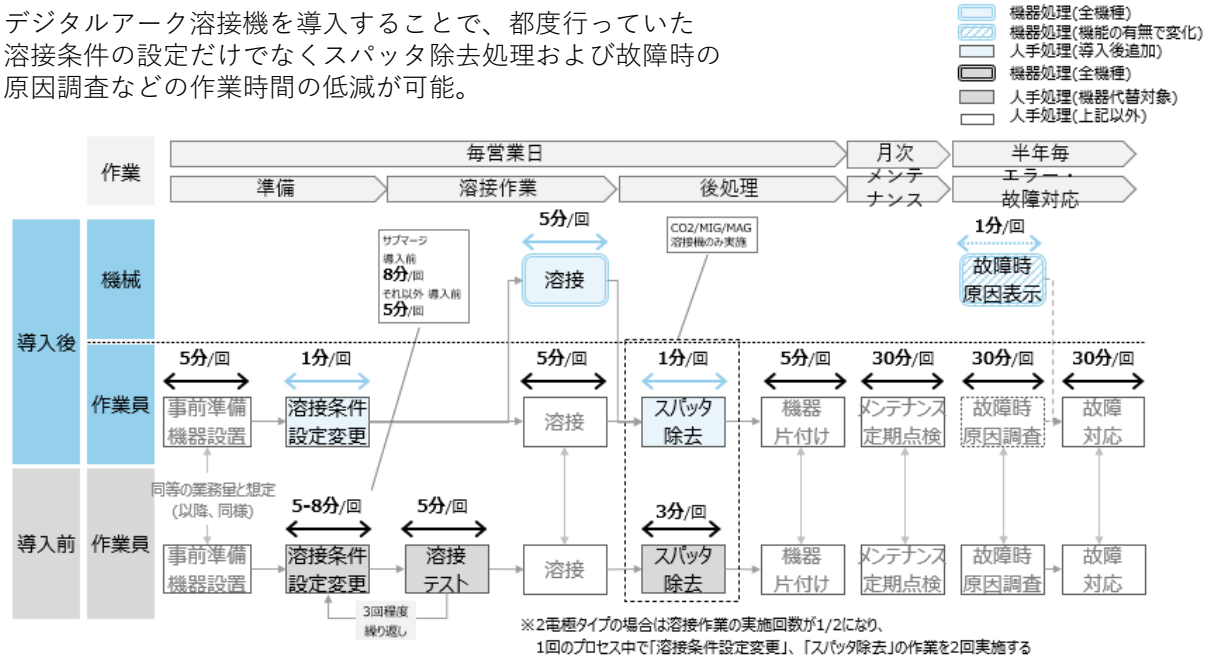
- 金属部品の溶接工程において、製品ごとに条件が異なる作業を効率的に進めたいときに活用できます。
- 溶接条件を事前に記憶させておけば、作業者は都度設定を見直すことなく、ボタン一つで溶接を開始できます。
- また、異なるオペレーターでも品質が一定に保たれるため、現場ごとのばらつきの軽減にもつながります。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

デジタルアーク溶接機を導入することで、都度行っていた溶接条件の設定だけでなくスパッタ除去処理および故障時の原因調査などの作業時間の低減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-9-3	デジタルアーク溶接機	6件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

デジタル制御機能を有するアーク溶接機であり、製造業におけるあらゆるアーク溶接作業において使用される。デジタル機能の搭載で溶接条件の自動設定や溶接条件記憶ができるとともに、緻密なアーク制御により溶接品質の向上も実現できる。またデジタル化により電力効率が向上し CO2排出量も低減できる。
①デジタルCO 2 /MAG/MIG溶接機 ②デジタルTIG溶接機 ③デジタルプラズマ溶接機 ④デジタルサブマージ溶接機を本カテゴリの対象とする。

主に利用が想定される中小企業

主に金属部品の製造を行っている部品加工事業者や、溶接工程を内製化している板金業・製缶業などの事業者。

省力化効果

本機器は、記憶された溶接条件の呼び出しにより、段取り作業を簡略化できる。これにより、毎回のテスト溶接や微調整にかかる時間を削減できる。また、アーク電流の精密な制御により、スパッタ（溶接時の飛散物）を大幅に抑えることで、後処理の作業工数が軽減される。さらに、エラー表示機能により、故障時の原因究明が迅速化され、保守対応の省力化が可能である。

価格と導入費用（目安）

50万円～2,000万円（溶接工法によって異なる）

活用事例・ポイント

本機器は、頻繁に製品ごとに溶接条件が変わる現場で特に有効である。手動調整による設定ミスのリスクが減り、誰でも安定した溶接品質を確保できる点が強みである。特に多品種少量生産や、異なる作業者が交代で作業を行う現場においては、作業の平準化と品質の安定化を同時に実現できる。また、スパッタの抑制により清掃工程の削減にもつながるため、全体としての工程短縮が期待できる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-10-1	3Dプリンタ（AM）	3件	製造業、建設業、専門・技術サービス業	加工・生産、設計

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 新製品の立体モデルを試作したいときや、設計変更に伴って短納期で部品の再作成が必要なときなどに活用できます。
- また、展示会や顧客提案時に使うモックアップを、従来よりも早く・安く製作したい場合にも有効です。複雑な形状や従来の切削加工が難しい形状も容易に造形できます。

置き換えが可能となる機能・性能

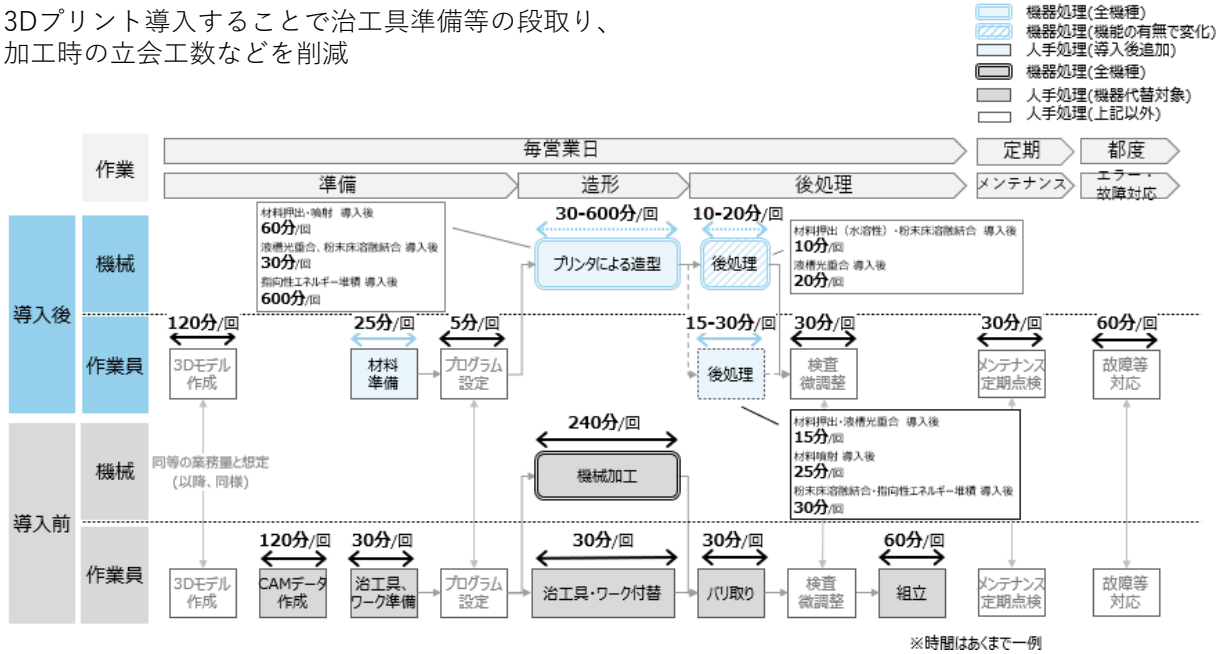
- 大型造形機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

3Dプリント導入することで治工具準備等の段取り、
加工時の立会工数などを削減



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-10-1	3Dプリンタ（AM）	3件	製造業、建設業、専門・技術サービス業	加工・生産、設計

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

３Dプリンタ用材料を用いて造形する。
製品構成は、３Dプリンタ、洗浄機、硬化機、造形ソフトなどの構成となる。３Dプリンタ：光や熱（レーザー等）による造形方式を用いて造形物の製作を行う、洗浄機：洗浄が必要な造形方式の場合は使用する、硬化機：2次硬化が必要な造形方式の場合は使用する、造形ソフト：造形時に必要な造形品配置やサポート付加等データ処理に使用する。

主に利用が想定される中小企業

主に金型製作、試作・設計開発を担う製造業の事業者や、建築・土木のモデル制作を行う設計事務所、製品デザインを請け負う少人数の技術サービス事業者等。

省力化効果

本機器の導入により、従来の加工機による段取り作業や加工中の人手による介入が不要となる。特に、多品種少量生産や試作品の製作においては、金型や治具、工作機械のプログラム切り替えが3Dデータの変更・材料交換のみとなり、段取り時間の削減による省力化が期待できる。

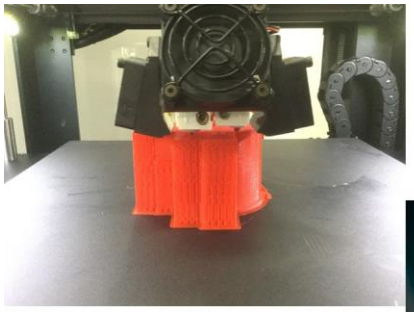
価格と導入費用（目安）

200万円～1,000万円（造形方式や使用可能な材料、本体のサイズや造形可能寸法によって異なる ）

活用事例・ポイント

本機器は、加工の自由度が高く、試作・開発段階での反復的な造形に適している。設計変更が頻発する製品の試作工程において、短時間でのモデル更新と出力が可能となるため、開発サイクルの短縮に寄与する。特に、金型レスでの部品成形が可能なため、少量生産にも対応しやすい。さらに、デザイン性の高い製品や複雑な内部構造を持つ製品でも、造形が容易であることが強みである。

（製品イメージ）（例）



※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-11-1	ワイヤーハーネス製造装置	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 製品ごとに異なる仕様の電線加工が必要な現場や、多品種少量生産が求められる場合に活用できます。
- たとえば、電装品メーカーで、工程ごとに異なる作業者が手作業でハーネス加工を行っていた場合、本装置を導入することで一連の作業を自動で行うことができ、作業者の負担が大きく軽減されます。

置き換えが可能となる機能・性能

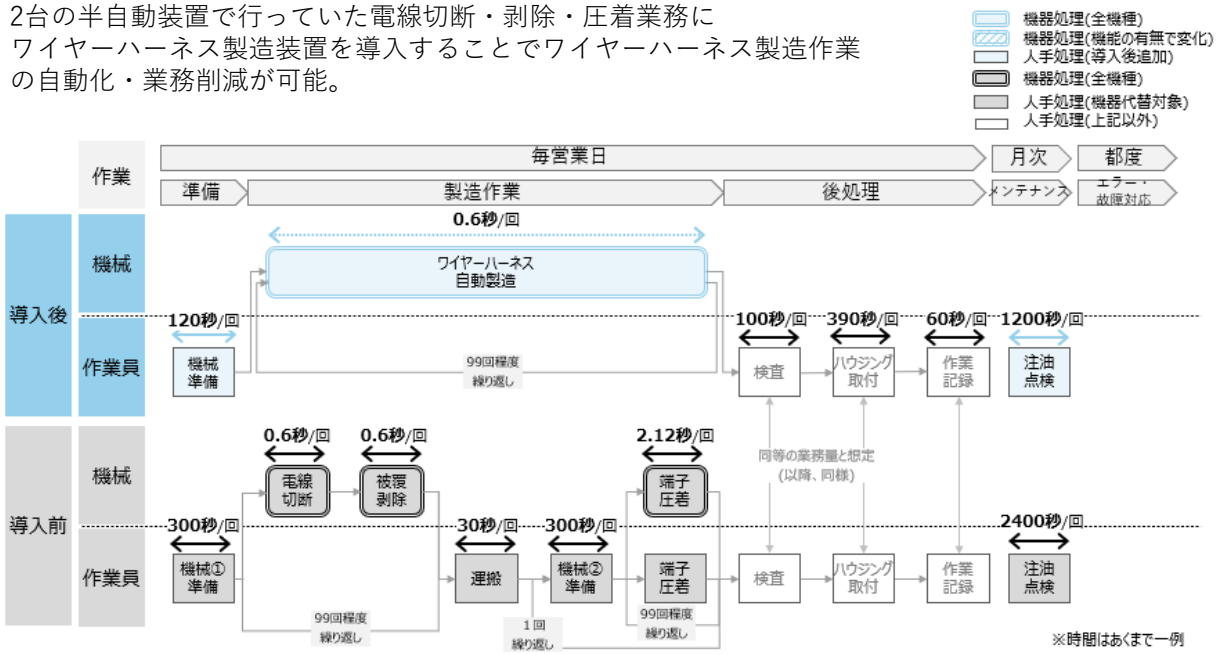
- ハウジングへの端子挿入機能
- 端子外観検査機能

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

2台の半自動装置で行っていた電線切断・剥除・圧着業務に
ワイヤーハーネス製造装置を導入することでワイヤーハーネス製造作業
の自動化・業務削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-11-1	ワイヤーハーネス製造装置	2件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

当該製品は、電線の切断、絶縁被覆のストリップ（剥除）、導体への端子圧着を自動で遂行する装置であり、自動機本体のほか、電線供給ユニット（給線機）、端子圧着金型（アプリケータ）などの周辺装置で構成される。

主に利用が想定される中小企業

主に家電部品や自動車用の電装品を組み立てている事業者。

省力化効果

従来、電線の切断、絶縁被覆の除去、端子の圧着といった工程は個別の機器と手作業を組み合わせて実施していたが、本製品の導入により、これらを一括して自動処理できるようになる。結果として、作業時間の短縮に加え、中間仕掛品の削減や、加工品質の安定化といった省力化効果が得られる。

価格と導入費用（目安）

600万円～1,500万円（加工範囲によって異なる）

活用事例・ポイント

限られた人員で多品種生産を行う小規模事業所において、本装置は段取り替えの手間を抑えつつ、高い加工精度と安定性を実現する点で有効である。特に、人手での加工では品質が不安定になりやすい絶縁被覆の剥除や端子圧着作業において、自動機の導入による品質安定は大きな効果をもたらす。また、不良削減や検査工程の簡素化にも貢献し、トータルの製造コスト削減にもつながる。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-12-1	窒素ガス精製ユニット	14件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

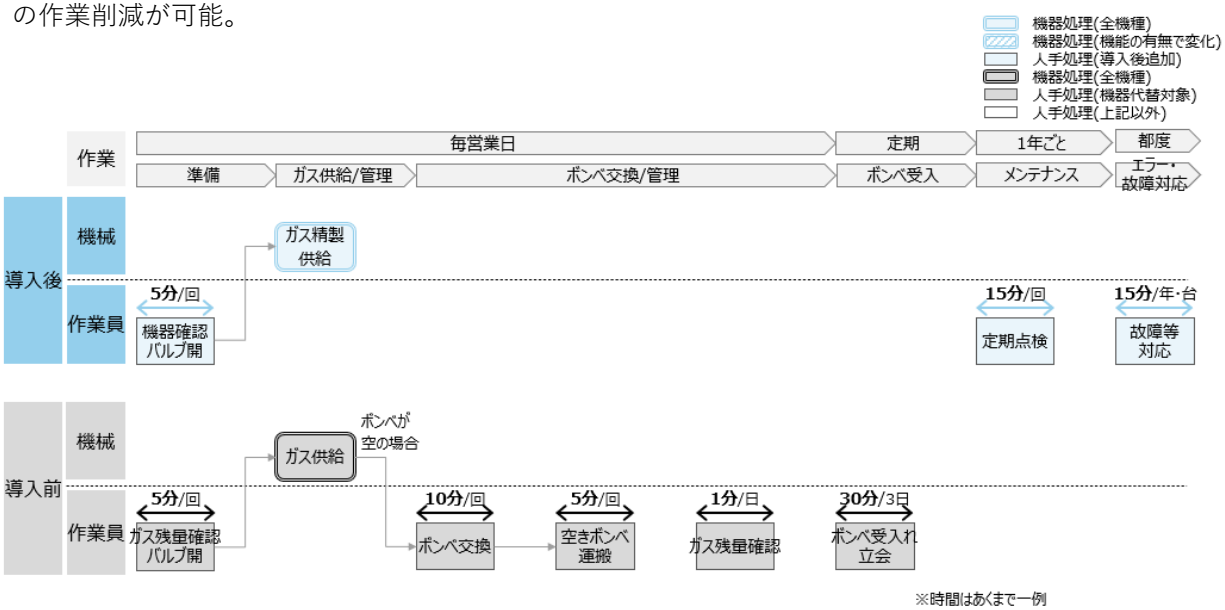
- たとえば、食品製造現場で包装時に酸化を防ぐために窒素ガスを充填する工程があります。
- このような場面で窒素ガス精製ユニットを導入すれば、都度ボンベを交換する必要がなくなり、作業負担を軽減できます。
- また、金属加工業などで、酸化を防ぎながら溶接や保管を行う場合にも役立ちます。装置を稼働させるだけで、必要な量の窒素ガスを安定して供給できます。

活用イメージ

※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

製品導入により、手作業で行っていたボンベ交換・運搬・ガス残量確認の作業削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-12-1	窒素ガス精製ユニット	14件	製造業	加工・生産

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

大気をコンプレッサで圧縮した圧縮空気を供給するユニット機器。圧縮空気が製品に内蔵されているガス分離膜（中空糸束）を通過する際に、分子のサイズが小さい酸素（O2）が膜を透過することで大気から除去された結果、出口側には大気から酸素が除去された窒素富化（ふか）ガスが供給されます。大気を物理現象で窒素富化ガスにかえる構造の為、静音で発熱がなく、供給する圧縮空気が清浄である場合、メンテナ ンスはほぼ必要ありません。
供給方法は膜分離方式を対象とし、ＰＳＡ方式は対象外とする。

主に利用が想定される中小企業

主に酸化防止用途に窒素ガスを使用していたが、ガスボンベの管理や交換作業に負担を感じていた事業者。

省力化効果

従来の窒素ガス供給では、高圧ガスボンベの在庫管理や交換作業、配送手配などに人的リソースを要していた。本装置を導入することで、こうした作業が不要となり、ボンベ交換にかかる手間や安全リスクを回避できる。また、PSA方式と異なり、定期的なメンテナンスがほぼ不要であるため、保守要員の作業負荷も大幅に軽減される。結果として、省力化と稼働率の安定化の両立が可能となる。

価格と導入費用（目安）

小型50万円～大型1,260万円（流量によって異なるが200～300万が主流）

活用事例・ポイント

食品製造業では、パッケージ内部に窒素ガスを充填する「ガス置換包装」が行われており、本装置を導入することで、外部委託によるガス供給から自社内供給への切り替えが実現できる。これにより、外部への依存度が下がり、生産計画の柔軟性が向上する。
金属部品の製造業においては、加工中に酸化を防ぐための不活性ガスとして窒素を用いる場面がある。ボンベを用いた供給では、都度の交換や残量確認が必要であったが、本装置を導入することで、装置から連続的に窒素富化ガスが供給され、工程を止めずに対応できる。また、膜分離方式により発熱が少なく静音性が高いため、屋内設置が可能であり、作業環境への影響が少ない点も利点である。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず

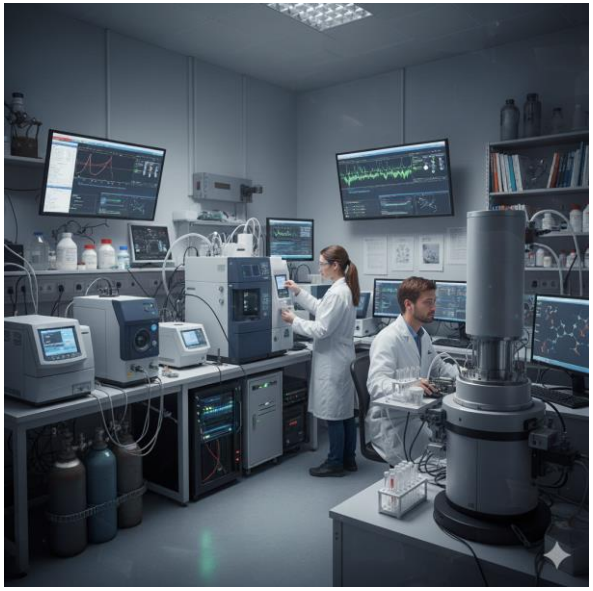
	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-13-1	自動分析計測機器	0件	製造業	計測・分析

2026年3月23日時点

例えばこんな場面で、

- 自動分析計測機器とは、「試料の分析や測定を自動化し、精密かつ効率的にデータを得るための装置」
- 本機器導入により、試料の分析をおこなうにあたってのプロセスである　①試料準備(粉砕、抽出)　②分析準備(希釈、振盪、濃縮)　③試料導入(導入器、バイアル等洗浄、計量)　④分析計測　⑤分析後処理(洗浄等)　⑥データ解析　のうち、②～⑥が自動化され、作業者の負担が大きく軽減されます。

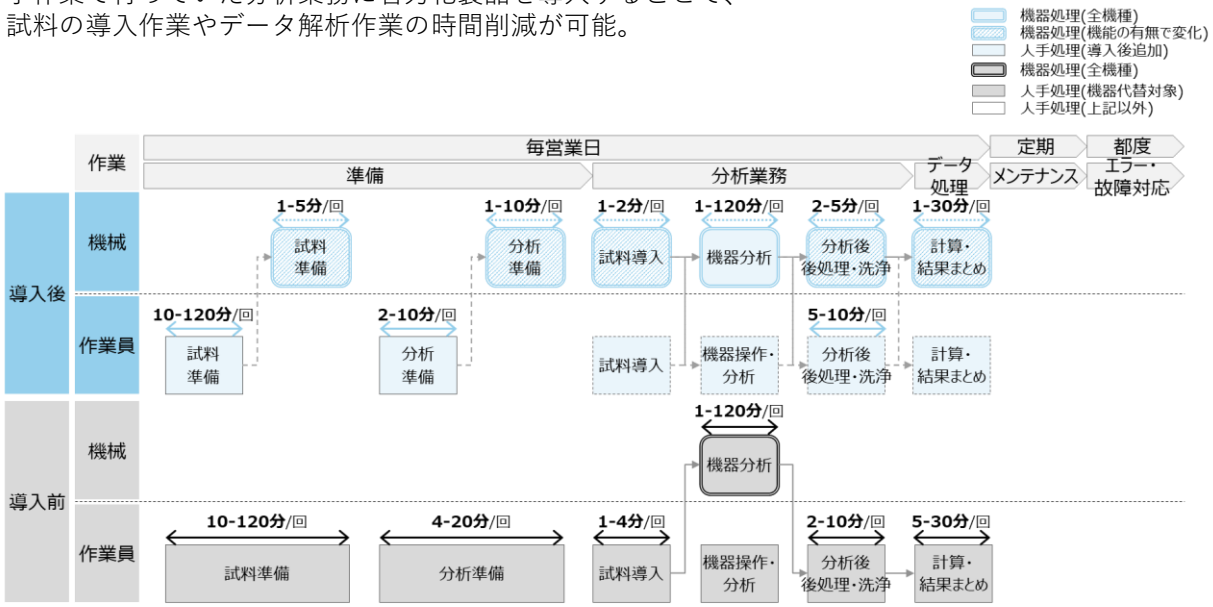
活用イメージ



※無断転載を禁ず

業務プロセスの変化（例）

手作業で行っていた分析業務に省力化製品を導入することで、
試料の導入作業やデータ解析作業の時間削減が可能。



	製品カテゴリ	登録製品数	対象業種	対象業務プロセス
3-13-1	自動分析計測機器	0件	製造業	計測・分析

2026年3月23日時点

製品カテゴリの概要

分析計測を行う際に、試料の自動導入装置（前処理機能付きのものを含む）が一体化され分析結果の導出までを行う自動分析計測機器、または、自動導入装置は有さないが分析結果の導出までの主要な分析作業の自動化機能が組み込まれている自動分析計測機器であって、省力化効果を発現するものをいう。
上記のうち、機種によっては、試料準備や分析準備の一部作業の自動化や分析結果のまとめが自動で実施可能なものもある。

主に利用が想定される中小企業

主に食品・製薬関連事業者など「データを正確に測る必要がある」事業者。

省力化効果

従来、手作業で行っていた分析業務に省力化製品を導入することで、試料の導入作業やデータ解析作業の時間削減が可能となる。
試料の分析をおこなうにあたってのプロセスにおいて　①試料準備(粉砕、抽出)　**②分析準備(希釈、振盪、濃縮)　③試料導入(導入器、バイアル等洗浄、計量)　④分析計測　⑤分析後処理(洗浄等)　⑥データ解析**　のうち、②～⑥が自動化され、省力化効果が得られる。

価格と導入費用（目安）

200万円～1,000万円（検査手法、検査対象によって異なる）

活用事例・ポイント

本機器の導入により、製品の品質管理や、安全性確認、成分分析、医薬品の有効成分量の定量計測などで活用される。
分析時間の短縮、人手に頼らず安定した品質を維持するなどの効果や、開発スピードの向上、人為的ミスの防止と再現性の確保などの効果を発揮する。

（製品イメージ）（例）

※無断転載を禁ず